都山流楽報・楽報　記事目録

＊都山流通報は会員への事務連絡を目的に発行された。

誌名	通号	発行年(西暦)	発行年(和暦)	月	題名	副題	著者	発行者
都山流通報	1	1910	明治43年	10				記載なし
	|	|						
	57	1914	大正3年	1				
都山流楽報	59	1914	大正3年	4	発展の辞		中尾都山	中尾琳三
	59	1914	大正3年	4	音楽界の趨勢		上田敏	
	59	1914	大正3年	4	新に師範に昇りし両楽星		岡崎雪山･和気島庸山	
	59	1914	大正3年	4	天才的名工如水			
	59	1914	大正3年	4	竹の露		北原篁山	
	59	1914	大正3年	4	音の味		上田佳山	
	59	1914	大正3年	4	楽聖の遺訓	シュウマンの六十八箇条		
	59	1914	大正3年	4	尺八考		兎耳子	
	59	1914	大正3年	4	蜘蛛の糸			
	59	1914	大正3年	4	感想録(1)	作譜上の苦心	中尾都山	
	60	1914	大正3年	5	追憶の金剛石	昭憲皇太后御製「金剛石」楽譜		
	60	1914	大正3年	5	音楽と聴覚		大隈重信	
	60	1914	大正3年	5	宗教と音楽		宮川経輝	
	60	1914	大正3年	5	感想録(2)	初めの演奏	中尾都山	
	60	1914	大正3年	5	蜘蛛の糸			
	60	1914	大正3年	5	師範北原篁山			
	60	1914	大正3年	5	音楽の肉体に及ぼす感化		パストナア	
	60	1914	大正3年	5	若葉会講評		佳山妄評	
	60	1914	大正3年	5	放屁音楽			
	60	1914	大正3年	5	文芸		小節「春雨」	
	61	1914	大正3年	6	金剛石の楽譜(3)			
	61	1914	大正3年	6	戦争と音楽		村岡恒利	
	61	1914	大正3年	6	医学上より見たる尺八		金森高山	
	61	1914	大正3年	6	音の色			
	61	1914	大正3年	6	感想録(3)	最初の温習会	中尾都山	
	61	1914	大正3年	6	准師範古林周山			
	61	1914	大正3年	6	尺八の起源		西村都接	
	61	1914	大正3年	6	読者文芸			
	61	1914	大正3年	6	佳友会演奏概評		中尾都山	
	61	1914	大正3年	6	蜘蛛の糸			
	61	1914	大正3年	6	楽器の起源と尺八の沿革		龍吟生	
	62	1914	大正3年	7	文明国民と音楽		佐多愛彦	
	62	1914	大正3年	7	耳の話		金森高山	
	62	1914	大正3年	7	楽人のために(上)		斎藤弔花	
	62	1914	大正3年	7	感想録(4)	我流の自信	中尾都山	
	62	1914	大正3年	7	准師範西村葵山			
	62	1914	大正3年	7	箏曲家略伝(1)	故菊植検校・中平検校		
	62	1914	大正3年	7	古林周山氏演奏会評		華山生	
	62	1914	大正3年	7	我が郷里の尺八界と金森高山師		上田一嗟	
	62	1914	大正3年	7	読者文芸			
	63	1914	大正3年	8	八代海相と語る		樵耕生	
	63	1914	大正3年	8	琴古流川瀬派名称に就て		中尾都山	
	63	1914	大正3年	8	感想録(5)	西大将の激励	中尾都山	
	63	1914	大正3年	8	庸山瑣談		和気島庸山	
	63	1914	大正3年	8	箏曲家略伝(2)	菊原検校・小松検校		
	63	1914	大正3年	8	予の尺八に対する所感		湯浅和一	
	63	1914	大正3年	8	第三曲作曲審査発表　作曲講評	一等　潮風　金森高山	中尾都山	
	63	1914	大正3年	8	読者文芸			
	64	1914	大正3年	9	日本音楽罵倒論		大隈重信　談	
	64	1914	大正3年	9	吉備行		中尾都山	

64	1914	大正3年	9	随感録		虎城散士
64	1914	大正3年	9	箏の音譜発行に就て		岡田卓次
64	1914	大正3年	9	作曲と演奏		上田佳山
64	1914	大正3年	9	趣味と技芸		金森高山
64	1914	大正3年	9	箏曲家略伝	楯山検校・中島検校	
64	1914	大正3年	9	第四曲審査発表　第四曲応募作曲講評		上田佳山
64	1914	大正3年	9	緋桐会演奏会のぞ記		上田佳山
64	1914	大正3年	9	尺八行脚記		一閑生
64	1914	大正3年	9	読者文芸		
65	1914	大正3年	10	主観主義の音楽を作れ		藤井健次郎
65	1914	大正3年	10	国民性と音楽		伊賀駒吉郎
65	1914	大正3年	10	坂本長官懐旧録	舞鶴鎮守府長官坂本中将聞き書き	C生
65	1914	大正3年	10	趣味と技芸（続）		金森高山
65	1914	大正3年	10	新唄曲論		大久保一夫人
65	1914	大正3年	10	日本海岸から		胡洋
65	1914	大正3年	10	尺八の器楽的価値に就て（1）		三浦圭三
65	1914	大正3年	10	箏曲家略伝	菊塚検校	
65	1914	大正3年	10	都山流尺八本曲会の印象		古林周山
65	1914	大正3年	10	読者文芸		
65	1914	大正3年	10	尺八行脚記（続）		一閑生
66	1914	大正3年	11	日本踊と露西亜踊		羽田教授　談
66	1914	大正3年	11	世界的戦争と世界的音楽		小畠賢八郎
66	1914	大正3年	11	芸術家？芸術？		大北準一郎
66	1914	大将3年	11	感想録(6)	韓国志士の覚醒	中尾都山
66	1914	大正3年	11	ああ挽歌―モーツアルトの音楽的臨終（上）		
66	1914	大正3年	11	博雅公の音楽的生涯（上）		
66	1914	大正3年	11	欧州交戦国の国歌		
66	1914	大正3年	11	大阪幹部会		
66	1914	大正3年	11	狭霧会秋季連合大会概記		中尾都山
66	1914	大正3年	11	鳥取演奏会概況		近藤華外
66	1914	大正3年	11	和歌山連合演奏会講評		西村葵山
66	1914	大正3年	11	楽しき武田尾行		
66	1914	大正3年	11	都山氏と我れ		菊後生
66	1914	大正3年	11	尺八行脚記（続）		一閑生
66	1914	大正3年	11	落語　尺八煩悩		菊後樓
66	1914	大正3年	11	読者文芸」		
67	1914	大正3年	12	世界的戦乱と我国の音楽家		藤代素人
67	1914	大正3年	12	音楽の戦		井野邊天籟
67	1914	大正3年	12	海軍と尺八	鹿島艦長と語る	
67	1914	大正3年	12	ああ挽歌―モーツアルトの音楽的臨終（中）		
67	1914	大正3年	12	尺八の運指に必要なる筋肉		金森高山
67	1914	大正3年	12	博雅公の音楽的生涯（下）		
67	1914	大正3年	12	京都鴻風会演奏会批評		上田佳山、金森高山
67	1914	大正3年	12	姫路直友会演奏会概況		鷺城彦左衛門
67	1914	大正3年	12	海の町より		胡洋
67	1914	大正3年	12	姫路の音楽		利安文四郎
67	1914	大正3年	12	読者文芸		
68	1915	大正4年	1	年頭所感		
68	1915	大正4年	1	ワグネルの「パルシファル」（上）		藤代博士
68	1915	大正4年	1	教育家としての芸術家		坂本見嶋艦長
68	1915	大正4年	1	福島将軍の尺八縁		楽報記者
68	1915	大正4年	1	日本最古の舞楽（上）		井野邊天籟
68	1915	大正4年	1	尺八の器楽的価値に就て		三浦圭三
68	1915	大正4年	1	三絃の起源（上）		
68	1915	大正4年	1	ああ挽歌―モーツアルトの音楽的臨終（下）		
68	1915	大正4年	1	竹封会演奏会評判記		金森高山
68	1915	大正4年	1	新年と音楽		
68	1915	大正4年	1	箏曲家略伝	吉沢検校・山下検校	

	68	1915	大正4年	1	山陽九州訪問記		金森高山
	68	1915	大正4年	1	春の海岸から		胡洋
	68	1915	大正4年	1	鹿島艦長より		
	68	1915	大正4年	1	受験冷汗記		安井霞山
	69	1915	大正4年	2	ワグネルの「パルシファル」(中)		藤代素人
	69	1915	大正4年	2	日本最古の舞楽(下)		井野邊天籟
	69	1915	大正4年	2	栖鳳画伯の音楽談		
	69	1915	大正4年	2	感想録(7)	如月の思出	中尾都山
	69	1915	大正4年	2	三絃の起源(下)		
	69	1915	大正4年	2	平家の楽人(上)		菊後生(尾崎菊后)
	69	1915	大正4年	2	歌舞伎と尺八		市川斎人
	69	1915	大正4年	2	音楽家訓		
	69	1915	大正4年	2	志士と俗謡		
	69	1915	大正4年	2	音楽当座帳		天鼓生
	69	1915	大正4年	2	戀慕流し		白生夜
	69	1915	大正4年	2	文福三味線		菊後庵
	70	1915	大正4年	3	時代精神と音楽—嗚呼マツサニエロ		島田三郎
	70	1915	大正4年	3	ワグネルの「パルシファル」(下)		藤代素人
	70	1915	大正4年	3	米僊遺稿		久保田金僊
	70	1915	大正4年	3	民謡と伝説—追分節と潮来節について(上)		井野邊天籟
	70	1915	大正4年	3	平家の楽人(中)		尾崎菊后
	70	1915	大正4年	3	音楽の旅		胡洋
	70	1915	大正4年	3	村童と楽器		天鼓生
	70	1915	大正4年	3	朝霧の試演を聴く		停雲生
	70	1915	大正4年	3	新曲朝霧を聴いて		上田佳山
	70	1915	大正4年	3	三軒茶屋		菊后庵
	70	1915	大正4年	3	珍派狂歌		ぬた山人
	71	1915	大正4年	4	戦後の日独音楽		井上密
	71	1915	大正4年	4	北浜の楽聖を想う		奥謝野寛
	71	1915	大正4年	4	米僊遺稿		久保田金僊
	71	1915	大正4年	4	伊太利人の観たる日本音楽(上)		ソナマーノ
	71	1915	大正4年	4	民謡と伝説—追分節と潮来節について(下)		井野邊天籟
	71	1915	大正4年	4	モット夫人と語る		胡洋
	71	1915	大正4年	4	平家の楽人		尾崎菊后
	71	1915	大正4年	4	お濱		水原節風
	71	1915	大正4年	4	新作小唄		
	72	1915	大正4年	5	音楽と家庭及国歌		大森鐘一
	72	1915	大正4年	5	春と音楽		樋口功
	72	1915	大正4年	5	時代と流行唄		井野邊天籟
	72	1915	大正4年	5	尺八吹奏と深呼吸		澤登芳嶺
	72	1915	大正4年	5	伊太利人の観たる日本音楽(下)		ソナマーノ
	72	1915	大正4年	5	紀年の尺八(上)		
	72	1915	大正4年	5	和歌浦(新曲)		
	72	1915	大正4年	5	動物と音楽		
	72	1915	大正4年	5	春季大阪幹部会		
	72	1915	大正4年	5	明石の春潮		
	72	1915	大正4年	5	名古屋演奏大会		
	72	1915	大正4年	5	都山流東都会青玉会演奏会を聴く		礫川棲主人
	72	1915	大正4年	5	文芸		
	73	1915	大正4年	6	舞踊と音楽(上)		木下東作
	73	1915	大正4年	6	東福寺管長の音楽談		
	73	1915	大正4年	6	聞け戦いの歌—キヨルネルと作曲家ウェーベル		上林胡洋
	73	1915	大正4年	6	回顧十年		岡崎雪山
	73	1915	大正4年	6	五年間の音楽生活		上田佳山
	73	1915	大正4年	6	紀年の尺八(下)		
	73	1915	大正4年	6	尺八研究雑感		山崎健太郎
	73	1915	大正4年	6	都山流福岡玄風会演奏会評		玄風会員
	73	1915	大正4年	6	近松座の一夜	雪山師十周年記念演奏会	

73	1915	大正4年	6	演舞場の一夜	佳山師五周年記念演奏会	
73	1915	大正4年	6	大隈首相邸の演奏		松井都訓
73	1915	大正4年	6	通俗日本音楽史略（1）	序言	井野邊天籟
74	1915	大正4年	7	青年と慰安		
74	1915	大正4年	7	舞踊と音楽（下）		木下東作
74	1915	大正4年	7	アイヌ民族の音楽—追分節と蝦夷の古謡（上）		上林胡洋
74	1915	大正4年	7	軍人より芸術家へ		牧野直山
74	1915	大正4年	7	准師範登第に就て		西村陽山
74	1915	大正4年	7	通俗日本音楽史略（2）	古代史	井野邊天籟
74	1915	大正4年	7	妙覚寺畔一基の碑		
74	1915	大正4年	7	緊張した准師範試験	暑い夕の冷たい汗	茶目助
74	1915	大正4年	7	会場の一隅から	直山師昇格披露演奏会の	TH生
74	1915	大正4年	7	福島楼の雅宴	盛なる都山師歓迎会	
75	1915	大正4年	8	芸術的天才の養成		織田萬
75	1915	大正4年	8	禅と尺八	妙心寺僧正と語る	
75	1915	大正4年	8	アイヌ民族の音楽—追分節と蝦夷の古謡（下）		上林胡洋
75	1915	大正4年	8	西比利亜渡航に際して		中尾都山
75	1915	大正4年	8	嗚呼此の一管		後藤楓山
75	1915	大正4年	8	通俗日本音楽史略（3）	権威ある古楽	井野邊天籟
75	1915	大正4年	8	舞星静	鎌倉に偲ぶ往年歌舞の姿	
75	1915	大正4年	8	笛と唄の追憶譚（上）		胡洋
75	1915	大正4年	8	東北開拓物語		細田都揚
75	1915	大正4年	8	渡航せらるる都山師に贐す		平松生
75	1915	大正4年	8	南洋の友より		
75	1915	大正4年	8	旅の節風君より		
75	1915	大正4年	8	老狸鼓腹		後藤楓山
75	1915	大正4年	8	珍派狂歌		ぬた山人
76	1915	大正4年	9	美学と音楽		羽田教授
76	1915	大正4年	9	女性と芸術		野尻精一
76	1915	大正4年	9	支那の楽論と日本音楽（上）		上林胡洋
76	1915	大正4年	9	海の音楽	夕立館長と語る	
76	1915	大正4年	9	禅と尺八		小泉秀月
76	1915	大正4年	9	通俗日本音楽史略(4)	神武帝と久米歌	井野邊天籟
76	1915	大正4年	9	露国へ！露国へ！	都山流一行の露都行	中尾都山
76	1915	大正4年	9	露国人の眼に映じたる日本音楽及音楽家		
76	1915	大正4年	9	笛と唄の追憶譚（下）		胡洋
76	1915	大正4年	9	京都駅に立って		ともむら生
77	1915	大正4年	10	民政陶冶と音楽（上）		内藤博士
77	1915	大正4年	10	帰朝後の新曲如何		北畠男爵
77	1915	大正4年	10	支那の楽論と日本音楽（中）		上林胡洋
77	1915	大正4年	10	金澤代議士の音楽談		
77	1915	大正4年	10	通俗日本音楽史略(5)	大歌のいろいろ	井野邊天籟
77	1915	大正4年	10	新曲「さんさ」時雨		HK生
77	1915	大正4年	10	大平原を駛走しつつ	都山師一行の露都消息	中尾都山
77	1915	大正4年	10	盆の静岡より		MK生
77	1915	大正4年	10	天草の天藾に包まれて		新雲介
77	1915	大正4年	10	三味線と国民詩形		胡洋生
78	1915	大正4年	11	奉祝	大正天皇即位礼	
78	1915	大正4年	11	帰朝せる都山師を迎ふ		
78	1915	大正4年	11	新日本の音楽（上）		大隈重信
78	1915	大正4年	11	民政陶冶と音楽（下）		内藤博士
78	1915	大正4年	11	支那の楽論と日本音楽（下）		上林胡洋
78	1915	大正4年	11	奈良春日宮司の音楽談		
78	1915	大正4年	11	愛国音楽家ショパン（上）		
78	1915	大正4年	11	通俗日本音楽史略(6)	中世史(1)舶来の音楽	井野邊天籟
78	1915	大正4年	11	故国へ！故国へ！	露都から大阪帰着迄	中尾都山
78	1915	大正4年	11	茅海樓上の歓声	盛んな都山師歓迎会	
78	1915	大正4年	11	故田中都遂君を懐ふ		上田佳山

79	1915	大正4年	12	歳暮の辞		
79	1915	大正4年	12	新日本の音楽（下）		大隈重信
79	1915	大正4年	12	青年と律動心理		木本源吉
79	1915	大正4年	12	感想録	芸術家の融合	中尾都山
79	1915	大正4年	12	日本俗楽の旋律		上林胡洋
79	1915	大正4年	12	愛国音楽家ショパン（下）		
79	1915	大正4年	12	通俗日本音楽史略(7)	中世史(2)仏教と音楽	井野邊天籟
79	1915	大正4年	12	色と音と		塩田一郎寄
79	1915	大正4年	12	大検校中島絃教氏		
79	1915	大正4年	12	都山師帰朝歓迎演奏会	於大阪帝国座	
79	1915	大正4年	12	鴨朋会演奏会を聞いて	本日三十一日京都六角会館に於ける	MY生
80	1916	大正5年	1	大正五年を迎ふ		
80	1916	大正5年	1	洋食ばかりでは済まぬ		田中正平
80	1916	大正5年	1	ワグネルの音楽に現われたる根本概念（上）		上田敏
80	1916	大正5年	1	肺尖加当答児と尺八		金森高山
80	1916	大正5年	1	小説青年楽長（1）		シュニッツラー原作
80	1916	大正5年	1	通俗日本音楽史略(8)	中世史(3)催馬楽の内容	井野邊天籟
80	1916	大正5年	1	モスクワ市会の謝意		
80	1916	大正5年	1	歌劇とは何ぞ（1）		天籟生
80	1916	大正5年	1	箏曲家列伝	大検校寺島花野・古賀城武	
80	1916	大正5年	1	哀曲「牡丹の景清」		
80	1916	大正5年	1	自分の尺八を習い初めし動機及研究せし流派に就て		藤田佳声
80	1916	大正5年	1	俳句雑吟		都感生
81	1916	大正5年	2	当流創設二十周年		
81	1916	大正5年	2	祝辞		牧野直山
81	1916	大正5年	2	祝辞		上田都貫
81	1916	大正5年	2	祝都山流二十周年		近藤華外
81	1916	大正5年	2	ワグネルの音楽に現れたる根本概念（下）		上田敏
81	1916	大正5年	2	剏始二十年		中尾都山
81	1916	大正5年	2	趣味と人生		前田都咸
81	1916	大正5年	2	通俗日本音楽史略(9)	天人の東遊	井野邊天籟
81	1916	大正5年	2	歌劇とは何ぞ（2）		井野邊天籟
81	1916	大正5年	2	二十年前の中尾さん		西垣政雄
81	1916	大正5年	2	十周年会の追憶		後藤楓山
81	1916	大正5年	2	十五周年と二十周年		北原篁山
82	1916	大正5年	3	祝辞		後藤楓山
82	1916	大正5年	3	未来派音楽と英仏の音楽的傾向		岩村透
82	1916	大正5年	3	趣味の向上と家庭巡回演奏会		北原篁山
82	1916	大正5年	3	医学と音楽		金森高山
82	1916	大正5年	3	霊竹一管		利安文四郎
82	1916	大正5年	3	二百五十年前の尺八音譜（上）		井野邊天籟
82	1916	大正5年	3	歌劇とは何ぞ（3）		井野邊天籟
82	1916	大正5年	3	中尾先生と私		宮川嘉吉
82	1916	大正5年	3	尺八制作の二十五ヶ年		桝田松月
82	1916	大正5年	3	浄界の三名人		
82	1916	大正5年	3	小説青年楽長（2）		シュニッツラア
82	1916	大正5年	3	大津絵節の原歌と本場琉球節		
83	1916	大正5年	4	祝大正丙辰春二月		森川都丘
83	1916	大正5年	4	群集心理と音楽		伊賀駒吉郎
83	1916	大正5年	4	廿周年記念会を司会して感あり		中尾都山
83	1916	大正5年	4	二百五十年前の尺八音譜（中）		井野邊天籟
83	1916	大正5年	4	通俗日本音楽史略(10)	中世史(5)朗詠	井野邊天籟
83	1916	大正5年	4	歌劇フィデリオの梗概		井野邊天籟
83	1916	大正5年	4	律呂揚暢		一記者
83	1916	大正5年	4	宗家八幡宮祭典記		一記者
83	1916	大正5年	4	白鷺城下の記念大会		姫路竹友会
83	1916	大正5年	4	所感		植芝篁圭
83	1916	大正5年	4	濤声		伊藤磯二

83	1916	大正5年	4	小説横笛		杜神泉
84	1916	大正5年	5	尺八の音と、洋楽の音と		三浦圭三
84	1916	大正5年	5	網笠姿を偲びつつ都山師の芸術を語る		有馬少佐
84	1916	大正5年	5	音楽的教育の必要		中尾都山
84	1916	大正5年	5	二百五十年前の尺八音譜（下）		井野邊天籟
84	1916	大正5年	5	通俗日本音楽史略(11)	中世史(6)今様	井野邊天籟
84	1916	大正5年	5	間拍子		久保田金僊
84	1916	大正5年	5	尺八の癖		上田佳山
84	1916	大正5年	5	大阪公会堂の記念演奏会		西村葵山師主催
84	1916	大正5年	5	姫路より啓上仕候		姫路TH生
84	1916	大正5年	5	龍野初めての大盛会		森川都丘氏主催
84	1916	大正5年	5	四月十一日の不動寺		岩崎奇山師・松本都正氏主催
84	1916	大正5年	5	四月十四日の松の座		大阪若葉会主催
84	1916	大正5年	5	雨中に催された堺の記念会		山田豊山師主催
84	1916	大正5年	5	曲数の多かった記念会		竹琳軒佳山師主催
84	1916	大正5年	5	岡山劇場八時間の清韻		竹琳軒庸山師主催
84	1916	大正5年	5	神戸青年会館に於ける記念大会		古林周山師主催
84	1916	大正5年	5	雨上がりの繁栄座の記念会		谷脇都宮氏主催
84	1916	大正5年	5	華やかに艶なりし京の六角会館		浅井都朋氏主催
85	1916	大正5年	6	音楽の妙用		藤沢黄鵠
85	1916	大正5年	6	笛は気で吹く腹で吹く		中尾都山
85	1916	大正5年	6	通俗日本音楽史略(12)	中世史(7)平曲	井野邊天籟
85	1916	大正5年	6	楽堂夜話		天籟生
85	1916	大正5年	6	北陸伴奏記		小池都令
85	1916	大正5年	6	竹琳軒篁山師司会の記念大会		篁会主催
85	1916	大正5年	6	茨木町より啓上仕候		QO生
85	1916	大正5年	6	備中茶屋町の記念大会		茶屋町狭霧会主催
85	1916	大正5年	6	高砂の松に和したる記念会		高砂竹龍会主催
85	1916	大正5年	6	備中笠岡狭霧会記念大会		笠岡狭霧会主催
85	1916	大正5年	6	廣島公会堂の記念大会		廣島竹封会主催
85	1916	大正5年	6	呉市岩越樓上半日の清韻		呉竹封会主催
85	1916	大正5年	6	新體詩		胡洋生、望月麗
86	1916	大正5年	7	吾人は物質欲を超越せざる可からず		和気島庸山
86	1916	大正5年	7	尺八仙人と語る		一記者
86	1916	大正5年	7	新たに准師範となりし三楽星	上田尚山、小池玲山、谷脇宮山	
86	1916	大正5年	7	通俗日本音楽史略(13)	中世史(8)田楽	井野邊天籟
86	1916	大正5年	7	箏曲名家の貌	菊仲大検校	
86	1916	大正5年	7	正明寺畔に残る尺八墳物語（上）		
86	1916	大正5年	7	うたの伝説	山中の恋歌	兎耳子
86	1916	大正5年	7	准師範試験に陪席するの記		一記者
86	1916	大正5年	7	但馬豊岡保天恵座の一夜		当流二十周年記念会豊岡竹蓼会主催
87	1916	大正5年	8	送都山師一行の満韓		編集同人
87	1916	大正5年	8	夏		松木正雄
87	1916	大正5年	8	時代精神と音楽		古林周山
87	1916	大正5年	8	楽堂夜話（2）		天籟生
87	1916	大正5年	8	通俗日本音楽史略(14)	中世史(9)白拍子	井野邊天籟
87	1916	大正5年	8	箏曲名家の貌	中川大検校	
87	1916	大正5年	8	北米より		久下畔
87	1916	大正5年	8	神戸迄	都山先生満韓行の第一日	
87	1916	大正5年	8	大連まで		細田都揚
87	1916	大正5年	8	七月十八日より廿一日迄の一行		
87	1916	大正5年	8	二日間に亘りし大連の演奏会		
87	1916	大正5年	8	唐詩選中笛に関せる詠詩を抜粋して		金森高山
87	1916	大正5年	8	うたの伝説	琉球節	兎耳子
87	1916	大正5年	8	臨時大阪幹部会	都山師帰朝歓迎会の決定	
87	1916	大正5年	8	小池玲山師昇格祝賀演奏会		都山流玲琳会主催
88	1916	大正5年	9	都山師帰る		編集同人
88	1916	大正5年	9	型に捉はるる勿れ		小宮三保松

88	1916	大正5年	9	芸術家の生活問題		山口俊一
88	1916	大正5年	9	猿の譫語		無官太夫
88	1916	大正5年	9	音楽小話(1)	秀吉と猿楽	宇田川文海
88	1916	大正5年	9	通俗日本音楽史略(15)	中世史(10)謡曲・能楽・狂言	井野邊天籟
88	1916	大正5年	9	地唄小解(1)	こすのと	墨江浦人
88	1916	大正5年	9	正明寺畔に残る尺八墳物語（下）		
88	1916	大正5年	9	うたの伝説	魔女の蘆笛	兎耳子
88	1916	大正5年	9	旅行日記の中から		細田都陽
88	1916	大正5年	9	仁政殿御前演奏の感慨		佐藤都令
88	1916	大正5年	9	満鮮各地演奏会概況		
88	1916	大正5年	9	宝塚相生楼の歓迎宴会		
89	1916	大正5年	10	語を寄す都門の楽生諸君		
89	1916	大正5年	10	医学上から見た尺八の効果		飯室省三
89	1916	大正5年	10	老志士の音楽談		国松文佐
89	1916	大正5年	10	音楽小話(2)	天下一・能興行・逸話	宇田川文海
89	1916	大正5年	10	通俗日本音楽史略(16)	近世史(1)三絃楽の勃興・箏曲と尺八	井野邊天籟
89	1916	大正5年	10	地唄小解「菊の露」		墨江浦人
89	1916	大正5年	10	北海の孤島に残る烈士の清韻（上）		
89	1916	大正5年	10	うたの伝説	恋の常明灯・八丈節・	兎耳子
89	1916	大正5年	10	徒然草中より		青木佳洲
89	1916	大正5年	10	尺八季節と都下の稽古場		一記者
89	1916	大正5年	10	粛親王と都山師		
89	1916	大正5年	10	露人主催の当流尺八合奏会		大木都宇、今儀佳鏡
90	1916	大正5年	11	演奏会季節に際して		
90	1916	大正5年	11	国運の盛衰と音楽		山東革命軍総司令官　居正
90	1916	大正5年	11	猿の譫語		台北　無官太夫
90	1916	大正5年	11	音楽小話(3)	逸話(2)・謡曲の新作・豊公と隆達	宇田川文海
90	1916	大正5年	11	地唄小解(3)	狭むしろ	墨江浦人
90	1916	大正5年	11	通俗日本音楽史略(17)		井野邊天籟
90	1916	大正5年	11	箏曲名家貌	遠藤検校	
90	1916	大正5年	11	北海の孤島に残る烈士の清韻（下）		
90	1916	大正5年	11	うたの伝説	ローレライの曲	兎耳子
90	1916	大正5年	11	フェルーローのイタリアンバンドを聴く		久下生
90	1916	大正5年	11	朝鮮行		若狭令華
90	1916	大正5年	11	晩秋の追憶		丹波　宮崎治右衛門
90	1916	大正5年	11	美術倶楽部の一夜		佳友会秋季演奏会
90	1916	大正5年	11	池田町川西座の大盛会		簫琳会福井簫月氏主催
91	1916	大正5年	12	大正五年逝く		
91	1916	大正5年	12	当流師匠諸君に檄す		一記者
91	1916	大正5年	12	演奏会出演曲に難易何れを選ぶべきや		上田佳山
91	1916	大正5年	12	音楽小話(4)	尺八の事・一路居士	宇田川文海
91	1916	大正5年	12	通俗日本音楽史略(18)	近世史(3)若衆歌舞伎と劇	井野邊天籟
91	1916	大正5年	12	箏曲名家貌	松田検校	
91	1916	大正5年	12	地唄小解(4)	袖香炉	墨江浦人
91	1916	大正5年	12	当流新米の当流雑感（1）		長谷川福一
91	1916	大正5年	12	秋季大阪幹部会		
91	1916	大正5年	12	地唄小解「さむしろ」を読みて		時雨山人
91	1916	大正5年	12	三笠山麓の歓声	秋季幹部懇親会	大阪幹部会
91	1916	大正5年	12	都山流楽報記者足下		今北佳香
91	1916	大正5年	12	各地に於ける廿周年記念演奏会の景況其他		和歌山市幹部、京都高琳会、壱壱会、葵会ほか
92	1917	大正6年	1	迎春語		
92	1917	大正6年	1	支那音楽の特質と将来（上）		井上圓了
92	1917	大正6年	1	当流幹部諸君に建議す		都山流狭露会
92	1917	大正6年	1	素人芸術		金森義雄
92	1917	大正6年	1	純銀飾りの大水晶鉢		大水晶鉢
92	1917	大正6年	1	音楽小話(5)	三鱗と一針・北条時政・杉山検校	宇田川文海
92	1917	大正6年	1	通俗日本音楽史略(19)	近世史(4)浄瑠璃	井野邊天籟

92	1917	大正6年	1	地唄小解(5)	松竹梅	墨江浦人
92	1917	大正6年	1	実録誉の胡弓	塙保己一御前演奏のこと	
92	1917	大正6年	1	当流新米の当流雑感(2)		長谷川福一
92	1917	大正6年	1	曲と譜		一記者
92	1917	大正6年	1	反魂丹本場の大盛会		
92	1917	大正6年	1	西讃連合演奏大会参聴記		虫明庸鳳述、安部庸薫稿
92	1917	大正6年	1	九州山陽四ヶ所に開かれし廿周年記念会の概況		
92	1917	大正6年	1	大正六年を迎ふ		コスモス生
93	1917	大正6年	2	創刊三周年		
93	1917	大正6年	2	楽壇緊張の程度如何		中村関東都督
93	1917	大正6年	2	支那音楽の特質と将来(中)		井上圓了
93	1917	大正6年	2	須らく堅実なれ		中尾都山
93	1917	大正6年	2	狭露会の建議に対し吾人の立脚地を瞭にす		上田佳山
93	1917	大正6年	2	信実なる私の望み		上田都貫
93	1917	大正6年	2	音楽小話(6)	蛇の音楽に感ずる事・武田信玄の死	宇田川文海
93	1917	大正6年	2	通俗日本音楽史略(20)	近世史(5)小歌	井野邊天籟
93	1917	大正6年	2	地唄小解(6)	銀世界	墨江浦人
93	1917	大正6年	2	当流新米の当流雑感(3)		長谷川福一
93	1917	大正6年	2	狭露会諸君の建議について一言す		藤田佳声
93	1917	大正6年	2	熱き感謝の楽の音		
93	1917	大正6年	2	狭露会の諸君に與ふ		要典
93	1917	大正6年	2	私は狭露会の建議に賛成します		水廉洞
93	1917	大正6年	2	狭露会の建議に同意す		和歌山葵会
93	1917	大正6年	2	吾人の叫び		一門人
93	1917	大正6年	2	宗家陪従の五日間		倉川簫山
93	1917	大正6年	2	稽古始め参聴記(一月八日の宗家都山師の稽古場烈風に恐れぬ楽壇勇者の面々)		
94	1917	大正6年	3	陽春三月		
94	1917	大正6年	3	支那音楽の特質と将来(下)		井上圓了
94	1917	大正6年	3	丹波路に残る古典楽	女歌舞伎の起源	
94	1917	大正6年	3	本誌二月号の竹琳軒佳山君の所論を読みて		和気島庸山
94	1917	大正6年	3	音楽小話(7)	人を相手にする人と神を相手にする人	宇田川文海
94	1917	大正6年	3	通俗日本音楽史略(21)	近世史(6)小唄	井野邊天籟
94	1917	大正6年	3	地唄小解(6)	根曳きの松	墨江浦人
94	1917	大正6年	3	笛の余韻	祭鍔氏と残月の曲	
94	1917	大正6年	3	狭露会提出の建議案を読んで		京都一幹部
94	1917	大正6年	3	狭露会の猛省を望む		文殊華接
94	1917	大正6年	3	狭露会及諸先輩の意見を聞いて		福岡TN生
94	1917	大正6年	3	統一と自由		青木佳洲
95	1917	大正6年	4	落花一片		
95	1917	大正6年	4	要するに人格にあり		金森高山
95	1917	大正6年	4	竹琳軒庸山師に答ふ		上田佳山
95	1917	大正6年	4	音楽小話(8)	没絃琴・無孔笛・天楽即地楽	宇田川文海
95	1917	大正6年	4	通俗日本音楽史略(22)	近世史(7)長唄・地歌	井野邊天籟
95	1917	大正6年	4	地唄小解(7)	摘草	墨江浦人
95	1917	大正6年	4	尺八通解(1)	音	中尾都山
95	1917	大正6年	4	異郷の曲		多田恵一
95	1917	大正6年	4	松島糸壽刀自を訪ふ		一記者
95	1917	大正6年	4	准師範試験の半日		一記者
95	1917	大正6年	4	外島保養院収容患者慰問演奏記		赤松篁童
96	1917	大正6年	5	当流評議員会		
96	1917	大正6年	5	移動は発展なり—言々火の如き音楽家激励論		林権助
96	1917	大正6年	5	新准師範	高山麗山・吉田泰山・富田渓山	
96	1917	大正6年	5	音楽小話(9)	声・鐘・目醒時計・除去せよ	宇田川文海
96	1917	大正6年	5	通俗日本音楽史略(23)	近世史(8)浄瑠璃の諸流派	井野邊天籟
96	1917	大正6年	5	地唄小解(9)	春の曲	墨江浦人
96	1917	大正6年	5	尺八通解(2)	音律	中尾都山
96	1917	大正6年	5	支那茶を啜りつつ二簧の余韻を味ふ		胡洋生

96	1917	大正6年	5	名古屋葵会演奏会記事	名古屋に於ける都山流	和見紀峰
96	1917	大正6年	5	上田喜一君に與ふ		平塚月光
96	1917	大正6年	5	四月十三日の北劇場		
96	1917	大正6年	5	神港倶楽部の昇格披露会		
96	1917	大正6年	5	雨に艱された吉田泰山師の演奏会		
97	1917	大正6年	6	根基成る		
97	1917	大正6年	6	耳の音楽より心の音楽へ		ゼン・デルン
97	1917	大正6年	6	新准師範	池田静山・木村遥山	木村遙山
97	1917	大正6年	6	音楽小話(10)	デモステネスとシセロ	宇田川文海
97	1917	大正6年	6	通俗日本音楽史略(24)	近世史(9)義太夫節	井野邊天籟
97	1917	大正6年	6	地唄小解(10)	楓の花	墨江浦人
97	1917	大正6年	6	尺八通解(3)	都山流音符配列表	中尾都山
97	1917	大正6年	6	研究的合奏に就て		生蕃猿
97	1917	大正6年	6	青島尺八界の現況		三好都昇
97	1917	大正6年	6	准師範試験に陪す		一記者
97	1917	大正6年	6	地方評議員諸師招待を兼ねたる春季大阪幹部会及懇親会		
97	1917	大正6年	6	第一回評議員会議事録		
97	1917	大正6年	6	呉市紙谷都白氏歓迎演奏会		
97	1917	大正6年	6	玲琳会春季演奏会を聴く	五月十九日の松屋町正寿館	
97	1917	大正6年	6	流祖に捧ぐる歌		無名氏
98	1917	大正6年	7	苦熱近し		
98	1917	大正6年	7	真の音楽家たらんには	傾聴すべき哲士の名教訓	原田助
98	1917	大正6年	7	音楽小話(11)	美しい音楽者の話	宇田川文海
98	1917	大正6年	7	通俗日本音楽史略(25)	近世史(10)一中節・小春髪結の段	井野邊天籟
98	1917	大正6年	7	地唄小解(11)	夕空	墨江浦人
98	1917	大正6年	7	尺八通解(4)	三絃の調子	中尾都山
98	1917	大正6年	7	支那伝説海の楽手譚（上）		
98	1917	大正6年	7	箏曲名家貌	佐藤正和	
98	1917	大正6年	7	本野外相母堂の訃		
98	1917	大正6年	7	木村遙山師昇格改号披露演奏会		
98	1917	大正6年	7	滑川港より		竹声会第三回夏季演奏会
99	1917	大正6年	8	音楽の偉力		
99	1917	大正6年	8	慶すべき芸術的好尚		中尾都山
99	1917	大正6年	8	師匠と弟子		古林周山
99	1917	大正6年	8	音楽小話(12)	芸術心と色気・芸術家としての柳里恭	宇田川文海
99	1917	大正6年	8	通俗日本音楽史略(26)	河東節	井野邊天籟
99	1917	大正6年	8	地唄小解(12)	瀧尽し	墨江浦人
99	1917	大正6年	8	尺八通解(5)	箏の調子	中尾都山
99	1917	大正6年	8	未開人の音楽的思想（1）		杜神泉
99	1917	大正6年	8	メリロとハリロ		
99	1917	大正6年	8	尺八を以て人を教へん		田中外坡
99	1917	大正6年	8	都々逸節と都々逸坊扇歌		柳沢坦道
99	1917	大正6年	8	吾師畳都浩氏送別演奏会の記	大正六年七月二日堀江万歳軒にて	香園生
100	1917	大正6年	9	富人と芸術		
100	1917	大正6年	9	第壱百号		
100	1917	大正6年	9	香の芸術としての尺八		林久次郎
100	1917	大正6年	9	音楽小話(13)	海の音楽・瑞典の鶯・笑ひの様々	宇田川文海
100	1917	大正6年	9	通俗日本音楽史略(27)	近世史(12)常磐津節	井野邊天籟
100	1917	大正6年	9	地唄小解(13)	嵯峨の秋	墨江浦人
100	1917	大正6年	9	竹調べの一音		HO生
100	1917	大正6年	9	つけられた悪い癖		HI生
100	1917	大正6年	9	音と色		
100	1917	大正6年	9	未開人の音楽的思想（2）		杜神泉
100	1917	大正6年	9	感ずべき当流研究団		XYZ
100	1917	大正6年	9	潮来節とあやめ踊り		柳沢坦道
100	1917	大正6年	9	虫の音		
100	1917	大正6年	9	金ケ崎神社神前奏楽記		敦賀北陽会
100	1917	大正6年	9	河南の尺八界		松本雪窓

101	1917	大正6年	10	試験の真諦		
101	1917	大正6年	10	学界と楽界		金森高山
101	1917	大正6年	10	海外に赴かんとする音楽家の為に		上林胡洋
101	1917	大正6年	10	新准師範	大橋鴻山・西瓏山	
101	1917	大正6年	10	音楽小話(14)	盲目の賛美歌作者クロスビー女史	宇田川文海
101	1917	大正6年	10	通俗日本音楽史略(28)	近世史(13)富本節・大菩薩節・園八節	井野邊天籟
101	1917	大正6年	10	地唄小解(14)	萩の露	墨江浦人
101	1917	大正6年	10	未開人の音楽的思想(3)		杜神泉
101	1917	大正6年	10	京都伊藤検校逝く		
101	1917	大正6年	10	師匠検定試験に陪する記		一記者
101	1917	大正6年	10	新記録を作れる准師範試験		一記者
101	1917	大正6年	10	坂出狭霧会演奏会を聞きて		東京FK生
102	1917	大正6年	11	神と人		
102	1917	大正6年	11	音楽小話(15)	音楽家としてのルーテル	宇田川文海
102	1917	大正6年	11	通俗日本音楽史略(29)	近世史(14)清元節	井野邊天籟
102	1917	大正6年	11	西瓏山免許状授与式		
102	1917	大正6年	11	地唄小解(15)	紅葉づくし	墨江浦人
102	1917	大正6年	11	師範免状授与式		一記者
102	1917	大正6年	11	未開人の音楽的思想(4)		杜神泉
102	1917	大正6年	11	笛を抱いて北支那より還るの記(上)		胡洋生
102	1917	大正6年	11	廣島竹封会五周年記念会		中村封山司会
102	1917	大正6年	11	大橋鴻山師昇格祝賀演奏会		大橋鴻山主催
102	1917	大正6年	11	西村葵山師昇格祝賀葵会五周年記念演奏会		葵会主催
102	1917	大正6年	11	神戸青年会館の大会		神戸都友会主催
102	1917	大正6年	11	玉島町甕港座の昇格演奏会		西瓏山主催
103	1917	大正6年	12	大正六年を送る		
103	1917	大正6年	12	大歴史家司馬遷の音楽論		
103	1917	大正6年	12	実験より得たる尺八研究者の心得		西村葵山
103	1917	大正6年	12	未開人の音楽的思想(5)		杜神泉
103	1917	大正6年	12	笛を抱いて北支那より還るの記(下)		胡洋生
103	1917	大正6年	12	土佐と音楽		前田奇石
104	1918	大正7年	1	迎歳辞		
104	1918	大正7年	1	箏曲三絃と尺八音楽		目具文十郎
104	1918	大正7年	1	尺八の選択について		小池玲山
104	1918	大正7年	1	未開人の音楽的思想(6)		杜神泉
104	1918	大正7年	1	黄河沿岸沼池畔に残る琴のローマンス(上)		胡洋生
105	1918	大正7年	2	價値		
105	1918	大正7年	2	音楽家と常識		中尾都山
105	1918	大正7年	2	度すべからざる人		石神都璋
105	1918	大正7年	2	尺八の選択に就て(承前)		小池玲山
105	1918	大正7年	2	未開人の音楽的思想(7)		杜神泉
105	1918	大正7年	2	黄河沿岸沼池畔に残る琴のローマンス(下)		胡洋生
105	1918	大正7年	2	魔笛		三浦圭三
105	1918	大正7年	2	尺八行脚丹後巡遊記(下)		悠々居士
105	1918	大正7年	2	世界の国歌		一記者
106	1918	大正7年	3	和気島庸山師を悼む		
106	1918	大正7年	3	理論と実際＝作曲と演奏		金森高山
106	1918	大正7年	3	尺八行脚丹後巡遊記(下)		悠々居士
106	1918	大正7年	3	竹琳軒庸山師都山流々葬記		
106	1918	大正7年	3	近松座の壹壹会		
107	1918	大正7年	4	天職の遂行		
107	1918	大正7年	4	歎賞すべき師弟の情誼		古林周山
107	1918	大正7年	4	未開人の音楽的思想(8)		杜神泉
107	1918	大正7年	4	新准師範列伝		
107	1918	大正7年	4	音楽の奈良(上)	脈々たる新機運動く	胡洋生
107	1918	大正7年	4	和気島庸山師を憶ふ		
107	1918	大正7年	4	琴と箏		
108	1918	大正7年	5	落花有意味		

108	1918	大正7年	5	新島老刀自の音楽談		
108	1918	大正7年	5	未開人の音楽的思想(9)		杜神泉
108	1918	大正7年	5	音楽の奈良(下)	脈々たる新機運動く	胡洋生
108	1918	大正7年	5	逝ける芝楽長の生涯に描かれたる奈良雅楽の変遷		
108	1918	大正7年	5	彼の一夜		生蕃猿
109	1918	大正7年	6	評議員諸氏に		
109	1918	大正7年	6	微温的音楽を打破せよ		尾崎行雄
109	1918	大正7年	6	未開人の音楽的思想(10)		杜神泉
109	1918	大正7年	6	信長と和楽		大原
109	1918	大正7年	6	世界の国歌		一記者
110	1918	大正7年	7	活会議		
110	1918	大正7年	7	尺八の器楽的価値		三浦圭三
110	1918	大正7年	7	教授者としての唱譜の必要		杜神泉
110	1918	大正7年	7	免状申請に就て		上田都貫
110	1918	大正7年	7	規則よりも人格		東朋村
111	1918	大正7年	8	暑即寒		
111	1918	大正7年	8	注意と練習の効果		古林周山
111	1918	大正7年	8	東朋村氏の所論を読みて		古林周山
111	1918	大正7年	8	偶感		北尾高吟
111	1918	大正7年	8	流規の解釈を誤れる者の為に		一幹部
111	1918	大正7年	8	東朋村氏の所論を読みて		XYZ
111	1918	大正7年	8	先生		太田也平
111	1918	大正7年	8	稿本類聚楽器名称考	連載第一回	杜神泉
112	1918	大正7年	9	精神修養		
112	1918	大正7年	9	進化論より身たる都山流の発展に就て		金森高山
112	1918	大正7年	9	呉鳳廟	(台湾に残る音楽的伝説)	
112	1918	大正7年	9	御高説を拝読して		東朋村
112	1918	大正7年	9	土用修養拝聴記		
112	1918	大正7年	9	竹琳軒居士墓参		狭露会の一幹部
112	1918	大正7年	9	して欲しい十題		吟の家
112	1918	大正7年	9	竹窓閑話		金森高山
113	1918	大正7年	10	覚醒せよ		
113	1918	大正7年	10	精神統一と吹奏		三浦圭三
113	1918	大正7年	10	新准師範列伝		
113	1918	大正7年	10	所感		STK生
113	1918	大正7年	10	敦賀港より		敦賀葵会員
114	1918	大正7年	11	師弟の情		
114	1918	大正7年	11	音楽の教育的価値		藤代禎輔
114	1918	大正7年	11	至誠		北尾高吟
114	1918	大正7年	11	五日の旅		
115	1918	大正7年	12	送年辞		
115	1918	大正7年	12	将来の家庭音楽		山田純精
115	1918	大正7年	12	戦いの閑に		和貝紀峰
115	1918	大正7年	12	大正七年を回顧す		
116	1919	大正8年	1	年首有感		
116	1919	大正8年	1	音楽とインスピレーション		三浦圭三
116	1919	大正8年	1	師恩		北尾高吟
116	1919	大正8年	1	一千年前の兵士の歌		胡洋生
116	1919	大正8年	1	物理学上より見たる尺八		山田封活
116	1919	大正8年	1	上林胡洋の海外視察		
117	1919	大正8年	2	優勝の鍵鑰		
117	1919	大正8年	2	当流二十三周年に際して		都山師
117	1919	大正8年	2	音楽とインスピレーション		三浦圭三
117	1919	大正8年	2	音楽と建築と詩歌と		一記者
117	1919	大正8年	2	名草忌部舞歌		
118	1919	大正8年	3	演奏季節		
118	1919	大正8年	3	日本趣味と尺八音楽		杜神泉
118	1919	大正8年	3	渡航の門出に際して		上林胡洋

119	1919	大正8年	4	評議員改選期近し		
119	1919	大正8年	4	芸術より人格		野上箸山
119	1919	大正8年	4	落第は不幸にあらず		杜神泉
119	1919	大正8年	4	新准師範列伝		
119	1919	大正8年	4	音楽家と銀行家		
119	1919	大正8年	4	寺島検校の壽像建設		
120	1919	大正8年	5	演者と聴者		
120	1919	大正8年	5	特別演奏会を主催して		中尾都山
120	1919	大正8年	5	演奏と細心の注意		
120	1919	大正8年	5	類聚楽器名称考(10)		杜神泉
120	1919	大正8年	5	音響美と描写(其一)		三浦圭三
120	1919	大正8年	5	笛		楯山登
121	1919	大正8年	6	都山流参事員		
121	1919	大正8年	6	第三回評議会を終わりて		杜神泉
121	1919	大正8年	6	京都医専都山流鴨風会		
122	1919	大正8年	7	当流の慶事		
122	1919	大正8年	7	尺八の音域に就て		金森高山
122	1919	大正8年	7	総督官邸の演奏		佐藤玲山
122	1919	大正8年	7	南洋サイパン島より		浜本直泉
123	1919	大正8年	8	国民性と音楽		
123	1919	大正8年	8	素人の音楽論		宇田川文海
123	1919	大正8年	8	聴衆と公徳心		杜神泉
123	1919	大正8年	8	音響美の描写(其二)		三浦圭三
123	1919	大正8年	8	Xの話		章山門生
124	1919	大正8年	9	上達在練習		
124	1919	大正8年	9	願わくば天真爛漫なれ		杜神泉
124	1919	大正8年	9	尽力涵養と講談落語浪華節		宇田川文海
124	1919	大正8年	9	海軍部内に於ける当流の消息を記し併せて当流幹部に望む		斉藤緑洋生
124	1919	大正8年	9	愚感偶感		静月生
125	1919	大正8年	10	四師に望む	(巻頭言)	
125	1919	大正8年	10	尺八の価格と其の真価		中尾都山
125	1919	大正8年	10	音響の美の描写(其三)		三浦圭三
125	1919	大正8年	10	西比利亜より		木村白浦
126	1919	大正8年	11	切磋の功	(巻頭言)	
126	1919	大正8年	11	演奏曲の選定と群集心理		古林周山
126	1919	大正8年	11	他山の石として		西村葵山
126	1919	大正8年	11	大和平原秋漸く深し		津村浩司
127	1919	大正8年	12	送年辞	(巻頭言)	
127	1919	大正8年	12	愛の表現		水原秋山
127	1919	大正8年	12	元気を出して競走せよ		古林周山
127	1919	大正8年	12	西比利亜より(第二信)		木村白浦
128	1920	大正9年	1	迎年の辞	(巻頭言)	
128	1920	大正9年	1	尺八と流派		金森高山
128	1920	大正9年	1	評議員候補者選定の要件		杜神泉
128	1920	大正9年	1	音響美の描写(其四)		三浦圭三
128	1920	大正9年	1	西比利亜通信(第三信)	シルカ河の一曲	木村白浦
128	1920	大正9年	1	我が輩の二十四年間	連載第一回	宗家看板
129	1920	大正9年	2	選挙期迫る	(巻頭言)	
129	1920	大正9年	2	当流開創記念月に際して		中尾都山
129	1920	大正9年	2	律を合はする苦心		古林周山
129	1920	大正9年	2	朝鮮尺八行脚		金森高山
130	1920	大正9年	3	幸福なる落第	(巻頭言)	
130	1920	大正9年	3	楽曲の吹奏時間に就て		金森高山
130	1920	大正9年	3	現代文学と音響美の描写		三浦圭三
130	1920	大正9年	3	新准師範列伝		
130	1920	大正9年	3	寒中の北海道旅行		中尾都山
131	1920	大正9年	4	近時四題	(巻頭言)	
131	1920	大正9年	4	選挙開票の結果を見て		杜神泉

132	1920	大正9年	5	正意端心	（巻頭言）	
132	1920	大正9年	5	地唄の旋律に就て		金森高山
132	1920	大正9年	5	西比利亜通信（四）		木村白浦
132	1920	大正9年	5	竹界片々		
133	1920	大正9年	6	第四評議会	（巻頭言）	
133	1920	大正9年	6	地唄の旋律に就て（2）		金森高山
134	1920	大正9年	7	瞑想と実行	（巻頭言）	
134	1920	大正9年	7	芸術と国際		宇田川文海
134	1920	大正9年	7	地唄の旋律に就て		金森高山
134	1920	大正9年	7	竹界片々		
135	1920	大正9年	8	第四回特別演奏会	（巻頭言）	
135	1920	大正9年	8	俗謡の旋律に就て		金森高山
135	1920	大正9年	8	ｶﾛを用ふる旋律に就て		只見風外
135	1920	大正9年	8	現代文学に於ける音楽美の描写（其二）		三浦圭三
135	1920	大正9年	8	愚感偶感		静月生
135	1920	大正9年	8	香風	連載第一回	
136	1920	大正9年	9	牛洩馬勃	（巻頭言）	
136	1920	大正9年	9	箏曲の旋律に就て		金森高山
136	1920	大正9年	9	地唄の基音に就て		森田高滄
136	1920	大正9年	9	思ひ出すままに		文野信也
136	1920	大正9年	9	乱輪舌子に与ふ		KH生
137	1920	大正9年	10	近時三題	（巻頭言）	
137	1920	大正9年	10	喜ぶべき現象		中尾都山
137	1920	大正9年	10	新准師範列伝		
138	1920	大正9年	11	師道の要諦		
138	1920	大正9年	11	二十五周年を迎えんとして		古林周山
138	1920	大正9年	11	邦楽の旋律に就て		金森高山
138	1920	大正9年	11	日記の中から		あかつき
139	1920	大正9年	12	送年辞		
139	1920	大正9年	12	尺八の価値		金森高山
139	1920	大正9年	12	尺八を穢す寄席芸人		
139	1920	大正9年	12	邦楽旋律の疑義		山内高蓉
139	1920	大正9年	12	竹界片々		
140	1921	大正10年	1	二十五周年		
140	1921	大正10年	1	演奏会の開催期に就て		藤田紫山
140	1921	大正10年	1	職業と趣味		文野信也
140	1921	大正10年	1	歩犬中棒の記		赤松天山
141	1921	大正10年	2	餞評議会		
141	1921	大正10年	2	邦楽拍子論（1）		角野風山
141	1921	大正10年	2	金森高山師の名誉	医学博士の学位を授与せらる	
141	1921	大正10年	2	専門家を優遇せよ		北尾高吟
141	1921	大正10年	2	尺八その折々		文野信也
141	1921	大正10年	2	誰か鳥の雄雌を知らむや		XY生
142	1921	大正10年	3	奨楽資金		
142	1921	大正10年	3	邦楽拍子論（2）		角野風山
142	1921	大正10年	3	本曲の味		北尾高吟
142	1921	大正10年	3	尺八その折々		文野信也
143	1921	大正10年	4	記念会		
143	1921	大正10年	4	芸評に就て		金森高山
143	1921	大正10年	4	尺八の選択法に就て		橋本濤山
143	1921	大正10年	4	尺八の品位		北尾高吟
143	1921	大正10年	4	都山流のために		古城花
143	1921	大正10年	4	石清水八幡宮に於て「朝緑」の献楽		
144	1921	大正10年	5	竹琳軒		
144	1921	大正10年	5	初歩の人々に		北尾高吟
144	1921	大正10年	5	和声について		京谷美楓
145	1921	大正10年	6	総合演奏家		
145	1921	大正10年	6	音楽中枢の位置		金森高山

145	1921	大正10年	6	月下の筆		北尾高吟
146	1921	大正10年	7	感懐一片		
146	1921	大正10年	7	各地に旅して		中尾都山
146	1921	大正10年	7	醒めよ邦楽界		北尾高吟
146	1921	大正10年	7	竹界雑話		京谷美楓
146	1921	大正10年	7	大連印象記(1)		大村耕山
147	1921	大正10年	8	禅と楽		
147	1921	大正10年	8	邦楽界の為に		杜神泉
147	1921	大正10年	8	竹界雑話		京谷美楓
147	1921	大正10年	8	台湾より		三原周嶺
147	1921	大正10年	8	肉声と楽声		長瀬庸彰
147	1921	大正10年	8	大連印象記(2)		大村耕山
147	1921	大正10年	8	研墨餘瀝		
148	1921	大正10年	9	流祖奨楽金		
148	1921	大正10年	9	演奏季に際して		杜神泉
148	1921	大正10年	9	竹界雑話		京谷美楓
148	1921	大正10年	9	思い出すままに		庸彰生
148	1921	大正10年	9	無題録		破魔禅
149	1921	大正10年	10	昇格十三名		
149	1921	大正10年	10	尺八の世界化と民衆化と		古林周山
149	1921	大正10年	10	折畳式オルガン		
149	1921	大正10年	10	魚のオーケストラ		
149	1921	大正10年	10	竹界雑話		京谷美楓
149	1921	大正10年	10	音律に就て		服部呂山
149	1921	大正10年	10	海軍生活と都山流		木村白浦
149	1921	大正10年	10	無題録(2)		破魔禅
149	1921	大正10年	10	知音の語源		
149	1921	大正10年	10	井底私語		
150	1921	大正10年	11	趣味性		
150	1921	大正10年	11	正倉院の尺八(1)		田邉尚雄
150	1921	大正10年	11	魚の音楽		
150	1921	大正10年	11	箏の洋曲		
150	1921	大正10年	11	尺八教授及受方に就て(1)		岡本葉山
150	1921	大正10年	11	竹界雑話		京谷美楓
150	1921	大正10年	11	音律に就て(2)		服部呂山
151	1921	大正10年	12	年は逝く		
151	1921	大正10年	12	正倉院の尺八(2)		田邉尚雄
151	1921	大正10年	12	芸術としての音楽とその演奏		矢板都弘
151	1921	大正10年	12	正倉院御物楽器に就て		
151	1921	大正10年	12	奏楽と背景に就いて		仙波康凌
151	1921	大正10年	12	尺八教授及受方に就て(2)		岡本葉山
151	1921	大正10年	12	尺八の師匠も教育家の一人である		鷺田宮鶴
152	1922	大正11年	1	新歳所感		
152	1922	大正11年	1	尺八の新使命		金森高山
152	1922	大正11年	1	芸術としての音楽とその演奏(2)		矢坂都弘
152	1922	大正11年	1	和蘭人の長唄		
152	1922	大正11年	1	奏楽と背景に就て(2)		仙波康凌
152	1922	大正11年	1	尺八教授法及受方に就て(3)		岡本葉山
152	1922	大正11年	1	音楽の形式と内容		
152	1922	大正11年	1	五声七声及十二律の割り出し法		服部呂山
153	1922	大正11年	2	音楽と思潮		
153	1922	大正11年	2	地唄の文学的価値と其の作者		佐々醒雪
153	1922	大正11年	2	美貌と肉體美と芸術との関係		長瀬庸彰
153	1922	大正11年	2	日本音楽特有の美		南嶺
153	1922	大正11年	2	三日坊主たる勿れ		鷺田宮鶴
154	1922	大正11年	3	贈評議員頌		
154	1922	大正11年	3	評議員選挙区及選挙定員改正私議		杜神泉
154	1922	大正11年	3	楽界時言		竹山人

154	1922	大正11年	3	音楽に就いて		安永直省
154	1922	大正11年	3	箏の調子		服部呂山
155	1922	大正11年	4	流勢東漸		
155	1922	大正11年	4	おもふひとふし		夕がほ
155	1922	大正11年	4	竹界雑話(続)		京谷美楓
155	1922	大正11年	4	市民館尺八部第一期概況		永田彰山
155	1922	大正11年	4	西洋音楽と尺八楽との比較		三原寶映
155	1922	大正11年	4	ヴァイオリンと尺八との合奏		亮華
156	1922	大正11年	5	最後の偉業		
156	1922	大正11年	5	都山流参与に就いて		杜神泉
156	1922	大正11年	5	吹奏の意義に就いて		仙波康凌
156	1922	大正11年	5	西洋音楽と尺八楽との比較(2)		三原寶映
156	1922	大正11年	5	ヴァイオリンと尺八との合奏		亮華
156	1922	大正11年	5	愚語		
157	1922	大正11年	6	夏季の演奏会		杜神泉
157	1922	大正11年	6	修行者の思想の変遷		菅谷静陽
157	1922	大正11年	6	竹界雑話(続)		京谷美楓
157	1922	大正11年	6	西洋音楽と尺八楽との比較(3)		三原周嶺
157	1922	大正11年	6	無題録		古倭乙山
157	1922	大正11年	6	茲に叫ばん		宮直夢
158	1922	大正11年	7	師弟の諠		
158	1922	大正11年	7	東京演奏会に出演して		小池玲山
158	1922	大正11年	7	曲趣の表現		杜神泉
158	1922	大正11年	7	西洋音楽と尺八楽との比較(4)		三原周嶺
158	1922	大正11年	7	緑蔭雑感		郭公
158	1922	大正11年	7	朝鮮に於ける当流の現状		佐藤令山
158	1922	大正11年	7	都山流宣伝旅行樺太島の半ヶ月		畑中康山
159	1922	大正11年	8	時言		
159	1922	大正11年	8	音譜速記法の研究		藤井隆山
159	1922	大正11年	8	演奏会と其の出演曲		杜神泉
159	1922	大正11年	8	南北満州旅行の短信(1)		吉田泰山
159	1922	大正11年	8	邦美巡回演奏旅行記		泰山
159	1922	大正11年	8	女学生の好む洋曲		
159	1922	大正11年	8	参観席より	連載第一回	
160	1922	大正11年	9	研究を発表せよ		
160	1922	大正11年	9	門生を愛せよ		畑中康山
160	1922	大正11年	9	聴衆		藤田紫山
160	1922	大正11年	9	南北満州旅行の短信(2)		吉田泰山
160	1922	大正11年	9	偶感		漫罵童子
160	1922	大正11年	9	七月楽報を読んで		義風子
160	1922	大正11年	9	漫録		古倭乙山
161	1922	大正11年	10	与論の力		
161	1922	大正11年	10	民衆教化更新の芸術		竹山人
161	1922	大正11年	10	現代文学に於ける音響美の描写		三浦圭三
161	1922	大正11年	10	本曲の公刊と其用意		林黎山
161	1922	大正11年	10	冷語熟語(1)		
161	1922	大正11年	10	竹界私見(1)		木葉虚山
161	1922	大正11年	10	北東岸行		三浦周嶺
161	1922	大正11年	10	書斎の窓より		古倭乙山
162	1922	大正11年	11	楽会の公聴		
162	1922	大正11年	11	当流尺八の進むべき道		星田都之雨
162	1922	大正11年	11	私の見た新師範		杜神泉
162	1922	大正11年	11	楽界時言		竹山人
162	1922	大正11年	11	冷語熟語(2)		
162	1922	大正11年	11	竹界私見(2)		木葉虚山
162	1922	大正11年	11	愚感(2)		
163	1922	大正11年	12	壬戌回顧		畑中康山
163	1922	大正11年	12	注意すべき合奏訪問		中井玲鱗

163	1922	大正11年	12	歌の自作に就いて		
163	1922	大正11年	12	番組の組方		
163	1922	大正11年	12	愚感(3)		漫罵童子
163	1922	大正11年	12	投稿の音譜文字に就いて		編集局
163	1922	大正11年	12	冷語熱後		門外漢
163	1922	大正11年	12	北陸行(3)		植村章山
163	1922	大正11年	12	初心楽理問答	連載第一回	
164	1923	大正12年	1	迎年辞		
164	1923	大正12年	1	邦楽の改良に就いて		藤井隆山
164	1923	大正12年	1	作曲上に於ける調子の変化に就いて		井上黄山
164	1923	大正12年	1	大甲音に就いて		大村耕山
164	1923	大正12年	1	偶感(4)		漫罵童子
164	1923	大正12年	1	竹界私見(3)		木葉虚山
165	1923	大正12年	2	当流の将来		
165	1923	大正12年	2	邦楽の変遷を顧みて		金森高山
165	1923	大正12年	2	根本的吹奏法の研究		古林周山
165	1923	大正12年	2	参与就任を記として		北原篁山
165	1923	大正12年	2	複式吹奏をせよ		畑中康山
165	1923	大正12年	2	余の新曲春霞に就いて		金森高山
165	1923	大正12年	2	当流師匠としての所感		初田恭山
165	1923	大正12年	2	尺八界に入りて		大森好太郎
165	1923	大正12年	2	冷語熟語		門外漢
165	1923	大正12年	2	台北蛍狩りの歌に就いて		みはら
166	1923	大正12年	3	選挙終わる		
166	1923	大正12年	3	新旋律に就いて		井上黄山
166	1923	大正12年	3	都山流尺八楽理の手引きを読んで		恭谷美楓
166	1923	大正12年	3	新曲「湖上の月」に就いて		金森高山
166	1923	大正12年	3	偶感(5)		漫罵童子
166	1923	大正12年	3	准師範落第記(1)		中井玲鱗
166	1923	大正12年	3	山口高商尺八倶楽部大使命を果たして		久保麗晴
167	1923	大正12年	4	将来の責任		
167	1923	大正12年	4	尺八の領域を拡張せよ		古林周山
167	1923	大正12年	4	議政壇を去るに臨み		野上簪山
167	1923	大正12年	4	准師範落第記(2)		中川麗鱗
167	1923	大正12年	4	立ち聞き		銀迦羅親爺
167	1923	大正12年	4	稽古場の一隅から		白光
168	1923	大正12年	5	選挙法を定めよ		
168	1923	大正12年	5	邦楽改造家に警告す		金森高山
168	1923	大正12年	5	楽理上に於ける私の疑義		窓幽
168	1923	大正12年	5	一門諸氏に		中尾都山
168	1923	大正12年	5	出駄羅目		大林好太郎
168	1923	大正12年	5	苦言録		安永直省
168	1923	大正12年	5	童謡と吾が音楽		森本光峻
169	1923	大正12年	6	第七回評議会		
169	1923	大正12年	6	再び新旋法に就いて		井上黄山
169	1923	大正12年	6	金森高山君に答ふ		古林周山
169	1923	大正12年	6	曲の説明		山下昌峻
169	1923	大正12年	6	緩言急言		藤田斗南
170	1923	大正12年	7	報本親和		
170	1923	大正12年	7	師匠試験を施行して		中尾都山
170	1923	大正12年	7	邦楽改造に関し井上黄山君に与ふ		金森高山
170	1923	大正12年	7	ノートから		古倭乙山
170	1923	大正12年	7	古林先生論		阿呆鳥
171	1923	大正12年	8	尊ぶべき犠牲		
171	1923	大正12年	8	尺八の音域を拡張せよ		平松応山
171	1923	大正12年	8	尺八の改良に就いて		平松玲撰
171	1923	大正12年	8	偶感		林黎山
171	1923	大正12年	8	古林先生論を読みて		武井都禪

171	1923	大正12年	8	冷笑熱罵		阿漢乙山
171	1923	大正12年	8	甲信地方当流開拓の現況		後藤昌川
171	1923	大正12年	8	北海道演奏行		中尾都山
172	1923	大正12年	9	偶語		
172	1923	大正12年	9	繁太夫物に就いて		大村耕山
172	1923	大正12年	9	作曲家出現の要		林黎山
172	1923	大正12年	9	都山師御無事		
172	1923	大正12年	9	黄色い嘴から		漫罵童子
172	1923	大正12年	9	日本舞踊の科学的研究		
172	1923	大正12年	9	満州雑戸棚		葛城牙宿
173	1923	大正12年	10	友よ起て		
173	1923	大正12年	10	独語三篇		杜神泉
173	1923	大正12年	10	舞台背景応用		沢登昌山
173	1923	大正12年	10	黄色い嘴から(2)		漫罵童子
173	1923	大正12年	10	震災と音楽		
173	1923	大正12年	10	関東知名三曲家罹災安否		
173	1923	大正12年	10	漫言		羽賀鴻泉
173	1923	大正12年	10	佐藤令山一行北鮮旅行記		岩田令政
173	1923	大正12年	10	都山流都尺八楽理概論	連載第一回	
174	1923	大正12年	11	七新師範		
174	1923	大正12年	11	都山流関東震災義捐金報告		
174	1923	大正12年	11	大震災と当流		中尾都山
174	1923	大正12年	11	評議会の決議を尊重せよ		杜神泉
174	1923	大正12年	11	黄色い嘴から(3)		漫罵童子
174	1923	大正12年	11	楽報の記事に就いて		愛流生
175	1923	大正12年	12	送年の辞		
175	1923	大正12年	12	大正十二年を顧みて		杜神泉
175	1923	大正12年	12	同名異曲に就いて		古林周山
175	1923	大正12年	12	何の為に尺八を吹く乎		林黎山
175	1923	大正12年	12	箏曲家訪問記		一記者
175	1923	大正12年	12	箏曲家訪問記	連載第一回	
176	1924	大正13年	1	復興第一年		
176	1924	大正13年	1	改訂音譜の邦楽に與へたる影響		古林周山
176	1924	大正13年	1	ほこりたたき		藤田斗南
176	1924	大正13年	1	天候と尺八の音		森山雅邦
176	1924	大正13年	1	支那の音楽(1)		橋本緑星
176	1924	大正13年	1	尺八伝説笛吹川		山下昌峻
176	1924	大正13年	1	音楽美学	連載第一回	井野辺天籟
176	1924	大正13年	1	楽理問題の解き方	連載第一回	藤井隆山
177	1924	大正13年	2	時言		
177	1924	大正13年	2	旋律上に於ける拍子外の位置		平松応山
177	1924	大正13年	2	義太夫節の研究		藤田斗南
177	1924	大正13年	2	曲目に忠実なる演奏を望む		荒木貞一郎
177	1924	大正13年	2	当流専門家道場巡礼	連載第一回	藤田斗南ほか
178	1924	大正13年	3	洋々無限		
178	1924	大正13年	3	一節切の研究		遠藤皐山
178	1924	大正13年	3	地唄の長唄に就いて		藤田斗南
178	1924	大正13年	3	敗軍の将をして語らしめよ		漫罵童子
178	1924	大正13年	3	尺八楽資料	連載第一回	
179	1924	大正13年	4	第八回評議会		
179	1924	大正13年	4	改訂音譜に就いて		吉田泰山
179	1924	大正13年	4	一節切の研究(下)		遠藤皐山
179	1924	大正13年	4	邦楽に就いての一見解		宮坂洋泉
180	1924	大正13年	5	宗家渡満		
180	1924	大正13年	5	三絃「一下り調子」に就いて		平松応山
180	1924	大正13年	5	改訂音譜に就いて(2)		吉田泰山
180	1924	大正13年	5	台湾の音楽(1)		三原周嶺
180	1924	大正13年	5	尺八の音と動物		佐藤令山

180	1924	大正13年	5	舞踏と舞踊		
180	1924	大正13年	5	かかる箏三絃師匠はなきか		京谷美楓
180	1924	大正13年	5	帰参御挨拶		今儀都表
181	1924	大正13年	6	議後所感		
181	1924	大正13年	6	遠藤皐山の一節切の研究に就いて		前川香麗
181	1924	大正13年	6	改訂音譜に就いて		吉田泰山
181	1924	大正13年	6	台湾の音楽(2)		三原周嶺
181	1924	大正13年	6	門外漢より当流を望む		橋本生
182	1924	大正13年	7	般塩不遜		
182	1924	大正13年	7	芸術に就いて		荒木維生
182	1924	大正13年	7	精神界の成功者		京谷美楓
182	1924	大正13年	7	台湾の音楽(3)		三原周嶺
182	1924	大正13年	7	満州再遊		中尾都山
182	1924	大正13年	7	流祖中尾都山師御一行を迎ふるの記		一見生
183	1924	大正13年	8	真面目の研究		
183	1924	大正13年	8	凌浩洞の漫語		杜神泉
183	1924	大正13年	8	白楽天の長恨歌の和訳		三浦圭三
183	1924	大正13年	8	満州再遊(2)		中尾都山
183	1924	大正13年	8	暑中雑談		
184	1924	大正13年	9	慎		
184	1924	大正13年	9	投稿に就いて		富山渓山
184	1924	大正13年	9	匿名氏音無乙山の評議会評判に就いて		上田貫山
184	1924	大正13年	9	緑陰漫録		音無乙山
184	1924	大正13年	9	局外者より		X、Y、Z
184	1924	大正13年	9	漫遊北陸の七日(上)		杜神泉
184	1924	大正13年	9	井底私語	連載第一回	蛙声庵
185	1924	大正13年	10	芸術と指導者		
185	1924	大正13年	10	拍子の取り方に就いて		京谷楓山
185	1924	大正13年	10	餘音と銘する尺八		三浦圭三
185	1924	大正13年	10	元禄年間行われた「紙のぼり」について(1)		前川香麗
185	1924	大正13年	10	漫遊北陸の七日」(下)		杜神泉
186	1924	大正13年	11	秋		
186	1924	大正13年	11	尺八に於ける三和音に就いて		金森高山
186	1924	大正13年	11	元禄年間行われた「紙のぼり」について(2)		前川香麗
186	1924	大正13年	11	石器時代の楽器		
186	1924	大正13年	11	東都楽信		紫雲楼人
186	1924	大正13年	11	磨磚洞夜話		藤田斗南
187	1924	大正13年	12	送年辞		
187	1924	大正13年	12	余の提唱する尺八三和音と洋楽三和音及び笙の和声との関係		金森高山
187	1924	大正13年	12	京谷楓山師の「拍子の取り方に就いて」を拝讀して		藤井隆山
187	1924	大正13年	12	新医学博士森田鸞山師		
187	1924	大正13年	12	元禄年間行われた「紙のぼり」に就いて(3)		前川香麗
187	1924	大正13年	12	評議員辞職に際して		吉田泰山
187	1924	大正13年	12	老人の冷水記		漢野昇蘆
188	1925	大正14年	1	乙丑第一声		
188	1925	大正14年	1	尺八界の輪郭をひろげて		秋田重季
188	1925	大正14年	1	芸術の本質と尺八界の将来		宮坂洋泉
188	1925	大正14年	1	再び尺八界に於ける三和音について		金森高山
188	1925	大正14年	1	俳句日誌の中より		萩原露鳴
188	1925	大正14年	1	京大叡風会成立		
188	1925	大正14年	1	流規の運用について		大橋鴻山
189	1925	大正14年	2	知則不惑		
189	1925	大正14年	2	旋律の名称と意義とについて		京谷楓山
189	1925	大正14年	2	東北帝大に青風会成る		
189	1925	大正14年	2	落葉に佇て		萩原露鳴
189	1925	大正14年	2	音律		
190	1925	大正14年	3	議案の提出		
190	1925	大正14年	3	合奏についての所感		前川香麗

190	1925	大正14年	3	冬より春へ		萩原露鳴
190	1925	大正14年	3	畑中師の無電放送		
190	1925	大正14年	3	都山流発展策		中山増也
190	1925	大正14年	3	落花の誉		植竹源太郎識
191	1925	大正14年	4	偶語		
191	1925	大正14年	4	楽者としての私の叫び		吉田泰山
191	1925	大正14年	4	邦楽に関する出版(1)		藤田斗南
191	1925	大正14年	4	都山流発展策		澤登昌由
191	1925	大正14年	4	流制三十周年を控えて		佐々木天来
191	1925	大正14年	4	浪速楽信	連載第一回	弄管堂人
192	1925	大正14年	5	新生の薫陶		
192	1925	大正14年	5	各国楽器の音域について		平松応山
192	1925	大正14年	5	邦楽に関する出版(2)		藤田斗南
192	1925	大正14年	5	都山流発展策		藤井隆山
192	1925	大正14年	5	当流師匠諸君に望む		多海本楓陽
192	1925	大正14年	5	抜天録		筑山人
192	1925	大正14年	5	今と昔		
193	1925	大正14年	6	彰		
193	1925	大正14年	6	余暇利用の意義と尺八楽		林黎山
193	1925	大正14年	6	邦楽に関する出版(3)		藤田斗南
193	1925	大正14年	6	都山流発展策		田中敬山
193	1925	大正14年	6	俗曲開顕		佐々木天来
193	1925	大正14年	6	抜天録		筑山人
194	1925	大正14年	7	芸術の本義		
194	1925	大正14年	7	箏曲発展策		古林周山
194	1925	大正14年	7	邦楽に関する出版(4)		藤田斗南
194	1925	大正14年	7	川路柳虹君の「ラデイオ文明否認」を嗤う		綿木絳柳
194	1925	大正14年	7	和気島庸山碑除幕式		
194	1925	大正14年	7	藪雀のささやき(1)		勝田羊山
195	1925	大正14年	8	安心立命		
195	1925	大正14年	8	当流最近の曲譜と其の将来		山﨑櫨山
195	1925	大正14年	8	箏曲発展策		古林周山
195	1925	大正14年	8	俗曲茶話		藤田斗南
195	1925	大正14年	8	都山流発展策		前川香麗
195	1925	大正14年	8	壱越と平調の間に幾律ありやの問題について		前川香麗
195	1925	大正14年	8	楽界点心録		磨磚洞主人
196	1925	大正14年	9	芸術と技術		
195	1925	大正14年	8	旋律移動の通有性並びに移動の方法について(1)		成谷夏山
195	1925	大正14年	8	実際教授に直面して		岸田曙舟
195	1925	大正14年	8	最近の准師範について		山﨑櫨山
195	1925	大正14年	8	都山流発展策		佐々木来山
195	1925	大正14年	8	壱越と平調の間に幾律ありやの問題について		高橋東風
195	1925	大正14年	8	楽界点心録		磨磚洞主人
195	1925	大正14年	8	楽壇行脚		斗南生
197	1925	大正14年	10	質疑と応答		
197	1925	大正14年	10	旋律移動の通有性並びに移動の方法について(2)		成谷夏山
197	1925	大正14年	10	都山流発展策		林黎山、綿木絳柳
197	1925	大正14年	10	壱越と平調の間に幾律ありやの問題について		雲湖西人、前川香麗
197	1925	大正14年	10	名古屋の印象		綿木絳柳
198	1925	大正14年	11	今後の演奏会		
198	1925	大正14年	11	演奏曲の速度		古林周山
198	1925	大正14年	11	音楽雑感		三浦圭三
198	1925	大正14年	11	都山流発展策		村上杏山、滝澤昌龍
198	1925	大正14年	11	邦楽哲学		斗南生
198	1925	大正14年	11	アイヌ物語	連載第一回	
199	1925	大正14年	12	送年の辞		
199	1925	大正14年	12	邦楽家に対する私の希望		平松応山
199	1925	大正14年	12	成谷夏山氏の論文について		遠藤夢絃

199	1925	大正14年	12	都山流発展策		西山大三郎
200	1926	大正15年	1	三十周年		
200	1926	大正15年	1	第二百号を迎えて		
200	1926	大正15年	1	尺八界の将来		大橋鴻山
200	1926	大正15年	1	尺八に於ける芸術的理念		岡崎臥山
200	1926	大正15年	1	遠藤夢絃氏に答ふ		成谷夏山
200	1926	大正15年	1	成谷氏の説に対するわt氏の意見についてお断り		遠藤夢絃
200	1926	大正15年	1	評議員改選に際し有権者諸君の覚醒を促す		佐々木来山
200	1926	大正15年	1	邦楽の特殊研究	兼常文学博士のこと	斗南生
200	1926	大正15年	1	恵まれざる仙台		猿の仮面生
201	1926	大正15年	2	議員の選考		
201	1926	大正15年	2	今後の日本音楽		金森義雄
201	1926	大正15年	2	商徴による旋律発見法		中山応篁
201	1926	大正15年	2	「三上り」廃止論		遠藤夢絃
201	1926	大正15年	2	尺八楽手ほどきに就いて		藤本柳山
201	1926	大正15年	2	当流発展上基礎条件としての師匠と其の問題		三原周嶺
201	1926	大正15年	2	宵鳴鶏		平松応山
201	1926	大正15年	2	抜天録		筑山人
201	1926	大正15年	2	句抄		佐々木碧子
202	1926	大正15年	3	番組の編成		
202	1926	大正15年	3	現代の音楽と社会（上）		田邉尚雄
202	1926	大正15年	3	創始三十周年に当たりて		中尾都山
202	1926	大正15年	3	師匠諸氏へ		編集部
202	1926	大正15年	3	驚異とするに足る都山流の発展		田邉尚雄
202	1926	大正15年	3	都山流の将来		古林周山
203	1926	大正15年	4	協力の一致		
203	1926	大正15年	4	現代の音楽と社会（下）		田邉尚雄
203	1926	大正15年	4	民族音楽		山松鶴吉
203	1926	大正15年	4	三上り廃止反対論		平松鷹山
203	1926	大正15年	4	尺八家が研究の一考察		藤田斗南
203	1926	大正15年	4	アイヌ物語の記事について		畑中康山
203	1926	大正15年	4	一人一論	連載第一回	
204	1926	大正15年	5	星新議員		
204	1926	大正15年	5	都山流三十周年に際して		小林一三
204	1926	大正15年	5	視ることの真の意義		岡崎臥山
204	1926	大正15年	5	三上り廃止反対論に就いて		遠藤夢絃
204	1926	大正15年	5	表芸の尊重		岸田舟山
204	1926	大正15年	5	光栄に感激しつつ		奥村遼秀
204	1926	大正15年	5	身上に関する弁明		矢吹汪山
204	1926	大正15年	5	大灯明	連載第一回	上行如来
205	1926	大正15年	6	公と私と		
205	1926	大正15年	6	都山流の行き方		藤原九十郎
205	1926	大正15年	6	研究と確断		平松応山
205	1926	大正15年	6	思ひ出の言葉		畑中康山
206	1926	大正15年	7	軽挙妄動		
206	1926	大正15年	7	尺八と西洋音楽		坪内士行
206	1926	大正15年	7	先ず実行せよ		古林周山
206	1926	大正15年	7	三上り廃止論に就て！		前川香麗
206	1926	大正15年	7	批評		藤田鳳山
207	1926	大正15年	8	夏を恐るる勿れ		
207	1926	大正15年	8	尺八教授法に就て（上）		藤井隆山
207	1926	大正15年	8	有料演奏会を開け		古林周山
207	1926	大正15年	8	暑中漫言（1）		山陰楽人
207	1926	大正15年	8	実話甲山の記事に		畑中康山
208	1926	大正15年	9	新時代の曙光		
208	1926	大正15年	9	再び当流尺八の将来を考察し茲に教科書の制定を建議す（上）		星田一山
208	1926	大正15年	9	尺八教授法に就て（中）		藤井隆山
208	1926	大正15年	9	三味線組唄雑考		藤田斗南

209	1926	大正15年	10	時代は動く		
209	1926	大正15年	10	最近の欧米音楽界		木南正宣
209	1926	大正15年	10	教科書の制定を建議す(下)		星田一山
209	1926	大正15年	10	尺八教授法に就て(下)		藤井隆山
209	1926	大正15年	10	故楯山検校と其の作曲(1)		中島利之
209	1926	大正15年	10	よゐん		
209	1926	大正15年	10	楽報記事に就て投稿者並編集者の反省を促す		武田浪山
210	1926	大正15年	11	音楽教育		
210	1926	大正15年	11	技巧よりも先ず人格を養へ		池長孟
210	1926	大正15年	11	尺八演奏会雑感(上)		藤田斗南
210	1926	大正15年	11	故楯山検校と其の作曲(2)		中島利之
210	1926	大正15年	11	樺太旅行記		畑中康山
211	1926	大正15年	12	歳末述志		
211	1926	大正15年	12	邦楽音楽の統一		杉江泰一郎
211	1926	大正15年	12	泰西音楽の影響を受けたる日本音楽		金森高山
211	1926	大正15年	12	尺八演奏会雑感(下)		藤田斗南
211	1926	大正15年	12	故楯山検校と其の作曲(3)		中島利之
212	1927	昭和2年	1	哀辞		
212	1927	昭和2年	1	日本将来の音楽		山松鶴吉
212	1927	昭和2年	1	素人の批評を尊重せよ		杉田稔
212	1927	昭和2年	1	調子笛に就いて(上)		平松応山
212	1927	昭和2年	1	検証論文審査成績発表		中尾都山
212	1927	昭和2年	1	故楯山検校と其の作曲(4)		中島利之
212	1927	昭和2年	1	諒闇の新年を迎えて		岸田舟山
212	1927	昭和2年	1	飛行機の上で君が代と八千代		牧延山
213	1927	昭和2年	2	邦楽と社会		
213	1927	昭和2年	2	尺八の調律と歌詞創作		隠岐玲濤
213	1927	昭和2年	2	調子笛に就いて(中)		平松応山
213	1927	昭和2年	2	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(1)		
213	1927	昭和2年	2	都山流楽譜として公刊さるる拙作に就いて		町田博三
213	1927	昭和2年	2	道成寺うろ覚え(1)		都鈴会員
214	1927	昭和2年	3	受貯と自重		
214	1927	昭和2年	3	汗		中尾都山
214	1927	昭和2年	3	六段調に就いて	(1)作曲者(2)六段の解釈に関する各説	
214	1927	昭和2年	3	調子笛に就いて(下)		平松応山
214	1927	昭和2年	3	私の作った調子笛		星田一山
214	1927	昭和2年	3	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(2)		
214	1927	昭和2年	3	道成寺うろ覚え(2)		都鈴会員
214	1927	昭和2年	3	断片語		田中琇波
214	1927	昭和2年	3	楽団の誇		祇園都美郎
215	1927	昭和2年	4	音楽の感化		
215	1927	昭和2年	4	作曲奨励機関の新設を望む		森田鸞山
215	1927	昭和2年	4	六段調に就いて(承前)		龍野一雄
215	1927	昭和2年	4	制管と流発展策		澤登昌山
215	1927	昭和2年	4	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(3)		
215	1927	昭和2年	4	道成寺うろ覚え(3)		都鈴会員
215	1927	昭和2年	4	北米加州に新たに生まれた都山流尺八研究会		土肥篁雨
215	1927	昭和2年	4	布哇に於ける邦楽放送		上田遥荘
215	1927	昭和2年	4	新曲解説	連載第一回	町田嘉章ほか
216	1927	昭和2年	5	評議会		
216	1927	昭和2年	5	精神の統一と無音の感		大村恕三郎
216	1927	昭和2年	5	アクセント		龍野一雄
216	1927	昭和2年	5	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(4)		
216	1927	昭和2年	5	春信幻想曲に就いて		町田嘉章
216	1927	昭和2年	5	地方に於ける合奏に就いて		井蛙生
216	1927	昭和2年	5	道成寺うろ覚え(4)		都鈴会員
216	1927	昭和2年	5	呉と廣島三日の旅		星田一山

217	1927	昭和2年	6	新曲の価値		
217	1927	昭和2年	6	演奏旅行に感じたことども		町田嘉章
217	1927	昭和2年	6	尺八楽の将来		金森高山
217	1927	昭和2年	6	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(5)		
218	1927	昭和2年	7	演奏会		
218	1927	昭和2年	7	都山流尺八の新曲に就いて		林亘
218	1927	昭和2年	7	千五百マークの寄贈		宇田川文海
218	1927	昭和2年	7	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(6)		
218	1927	昭和2年	7	ほの見ゆる尺八の黎明		下村清次郎
218	1927	昭和2年	7	計算問題の解き方(猫の巻)		すずのあめ
218	1927	昭和2年	7	都山流恩給法案に就いて		東谷楓山
218	1927	昭和2年	7	第十一回評議会陪聴記(2)		操人
218	1927	昭和2年	7	森介山師を送る	公務にて大連に転勤	
219	1927	昭和2年	8	似修行者		
219	1927	昭和2年	8	科学上より見たる尺八の研究(上)		菊地孝太郎稿、田邉尚雄訂註
219	1927	昭和2年	8	黒髪の作者		龍野一雄
219	1927	昭和2年	8	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(7)		
219	1927	昭和2年	8	變拍子と切分音		福楽佑山
219	1927	昭和2年	8	「猫の巻」を拝読して		某
219	1927	昭和2年	8	雑感		秋田菊山
220	1927	昭和2年	9	尺八の価格		
220	1927	昭和2年	9	科学上より見たる尺八の研究(下)		菊地孝太郎稿、田邉尚雄訂註
220	1927	昭和2年	9	大阪の歴史と歌謡音楽(2)		堀居左五郎
220	1927	昭和2年	9	金森高山懸賞募集現行評議員制度に改造の要なきか(完)		
220	1927	昭和2年	9	箏曲家略伝(1)		武内城継
220	1927	昭和2年	9	作曲について		松谷一想
220	1927	昭和2年	9	謡曲と医学		筍の子
220	1927	昭和2年	9	一人一論	(京城の現状)	佐藤令山
220	1927	昭和2年	9	町田氏、宮城氏作曲講習会		古林周山
221	1927	昭和2年	10	九州演奏会		
221	1927	昭和2年	10	大阪の歴史と歌謡音楽(2)		堀居左五郎
221	1927	昭和2年	10	滑稽音楽の特質		龍野一雄
221	1927	昭和2年	10	箏曲家略伝(2)		中平福之都
221	1927	昭和2年	10	演奏会の一大」改良を語る		平松応山
221	1927	昭和2年	10	拍子外に就いて		越智承山
221	1927	昭和2年	10	満州見学所感		神作亮郊
222	1927	昭和2年	11	自負と慢心		
222	1927	昭和2年	11	新日本音楽に就いて		田邉尚雄
222	1927	昭和2年	11	大阪の歴史と歌謡音楽(3)		堀居左五郎
222	1927	昭和2年	11	余の考案したる玲琴に就いて		田邉尚雄
222	1927	昭和2年	11	著名箏曲家略伝(3)		菊原琴治
222	1927	昭和2年	11	九州演奏会と大日本家庭音楽会の活動		
222	1927	昭和2年	11	宗家九州演奏随伴記		島村卿山
223	1927	昭和2年	12	送年時		
223	1927	昭和2年	12	大阪の歴史と歌謡音楽(4)		堀居左五郎
223	1927	昭和2年	12	一節切の沿革に就いて(上)		中澤周簫
223	1927	昭和2年	12	当流台湾の現状に就いて		菅雪山
223	1927	昭和2年	12	満鮮視察雑感		市村豊山
224	1928	昭和3年	1	新年言志		
224	1928	昭和3年	1	日本音楽進路の一考察(上)		木村彦左衛門
224	1928	昭和3年	1	一節切の沿革に就いて(中)		中澤周簫
224	1928	昭和3年	1	滑稽音楽の特質(2)		龍野一雄
224	1928	昭和3年	1	著名箏曲家略伝(4)		小野清友
224	1928	昭和3年	1	山田流の松田松姿女史		一記者
224	1928	昭和3年	1	当流辰歳の回顧		一記者
224	1928	昭和3年	1	番組其他の寄贈に就いて		松沢耕山
225	1928	昭和3年	2	研究と発表		
225	1928	昭和3年	2	日本音楽進路の一考察(下)		木村彦左衛門

225	1928	昭和3年	2	一節切の沿革に就いて(下)		中澤周簫
225	1928	昭和3年	2	滑稽音楽の特質(3)		龍野一雄
225	1928	昭和3年	2	接音による宮音の見出し方		平松応山
225	1928	昭和3年	2	竹韻移風録		平塚珖山
225	1928	昭和3年	2	明日の音楽は何処へ行く	連載第一回	
226	1928	昭和3年	3	落第の効		
226	1928	昭和3年	3	新舞踏と尺八音楽		楳茂都陸平
226	1928	昭和3年	3	当流幹部の分布状態に就いて		松澤耕山
226	1928	昭和3年	3	二三の雑感		柳瀬佼山
226	1928	昭和3年	3	糸竹初心集に見えたる俗謡とその訳譜	連載第一回	中澤周簫
227	1928	昭和3年	4	春日偶話		
227	1928	昭和3年	4	地唄振興に就いて		小野清友
227	1928	昭和3年	4	尺八の能		龍野一雄
227	1928	昭和3年	4	女流尺八家大畠楳山女史を訪ふの記(上)		繰人生
227	1928	昭和3年	4	朝鮮山陽演奏旅行記		町田嘉章
228	1928	昭和3年	5	餞評議員		
228	1928	昭和3年	5	作曲に就いて		宮城道雄
228	1928	昭和3年	5	技術の巧拙		荒木法山
228	1928	昭和3年	5	琴の段		龍野一雄
228	1928	昭和3年	5	金森氏の嘲罵に酬ひて		須方湖山
228	1928	昭和3年	5	女流尺八家大畠楳山女史を訪ふの記(下)		繰人生
229	1928	昭和3年	6	中庸の道		
229	1928	昭和3年	6	日本民族と音楽		井田秀明
229	1928	昭和3年	6	朝鮮で人を喰った話		岡本葉山
229	1928	昭和3年	6	故木村有山師顕碑式		
229	1928	昭和3年	6	天山荘楽談	連載第一回	田邉尚雄
229	1928	昭和3年	6	楽理問題と作譜盛込の仕方	(楽理問題の解き方)連載第一回	中山恵山
230	1928	昭和3年	7	世界音楽		
230	1928	昭和3年	7	音楽家と文学者の提携		高須芳次郎
230	1928	昭和3年	7	平松君と私		藤田紫山
231	1928	昭和3年	8	暑中偶語		
231	1928	昭和3年	8	近代思潮と日本音楽		藤井眞澄
231	1928	昭和3年	8	都山流尺八楽教授法私見	連載第一回	京谷楓山
232	1928	昭和3年	9	観察		
232	1928	昭和3年	9	箏曲地唄の変遷に就いて		藤田斗南
232	1928	昭和3年	9	近頃見聞のまま	連載第一回	龍野一雄
232	1928	昭和3年	9	火吹竹		捨小舟生
232	1928	昭和3年	9	北海道樺太旅行記		中島利之
233	1928	昭和3年	10	協調		
233	1928	昭和3年	10	高輪雑談		田中正平
233	1928	昭和3年	10	番組の編成に就いて		金森高山
233	1928	昭和3年	10	都山流通信教授の提唱		岸田舟山
233	1928	昭和3年	10	牧野貞山翁を訪ふ		一記者
234	1928	昭和3年	11	収穫		
234	1928	昭和3年	11	帝都の復興と新音楽の機運		伊藤びん
234	1928	昭和3年	11	近世の箏曲変遷に就いて(上)		藤田斗南
234	1928	昭和3年	11	金森高山懸賞募集芸術的番組編成審査発表(1)		
234	1928	昭和3年	11	南鮮の一角より		選山投
234	1928	昭和3年	11	波浪集		小寺畝山
234	1928	昭和3年	11	理想小説「平和礼讃曲」	連載第一回	永野蘇紅
235	1928	昭和3年	12	送年の辞		
235	1928	昭和3年	12	音楽と園芸		野口秀
235	1928	昭和3年	12	近世の箏曲変遷に就いて(中)		藤田斗南
235	1928	昭和3年	12	金森高山懸賞募集芸術的番組編成審査発表(2)		
236	1929	昭和4年	1	年始の感		
236	1929	昭和4年	1	我が国の芸術教育に就いて		乗杉嘉壽
236	1929	昭和4年	1	近世の箏曲変遷に就いて(下)		藤田斗南
236	1929	昭和4年	1	十二支の話		

236	1929	昭和4年	1	大福茶		
236	1929	昭和4年	1	芸術番組の実際的価値		
236	1929	昭和4年	1	流行唄を作る秘訣		
236	1929	昭和4年	1	合奏連管に就いて初心の人達へ		小竹歌山
236	1929	昭和4年	1	南船北馬	連載第一回	中尾都山
237	1929	昭和4年	2	開流三十三歳		
237	1929	昭和4年	2	現代芸術の趨向を嘆ず		酒本醍穣
237	1929	昭和4年	2	門子に呼掛ける言葉(1)		中野端山
238	1929	昭和4年	3	演奏と番組		
238	1929	昭和4年	3	稽古に於ける謙遜の心		土岐善麿
238	1929	昭和4年	3	門子に呼掛ける言葉(2)		中野端山
239	1929	昭和4年	4	國民性の欠陥		
239	1929	昭和4年	4	心の華		井上権治
239	1929	昭和4年	4	尺八史資料書目解題	連載第一回	菊亭主人
240	1929	昭和4年	5	吾人の希望		
240	1929	昭和4年	5	新日本音楽の批判に就いて		岩崎盾夫
241	1929	昭和4年	6	進一歩		
241	1929	昭和4年	6	演奏会の聴衆の動き		落合浪雄
241	1929	昭和4年	6	邪途音楽より純正音楽へ		安井紅寮
241	1929	昭和4年	6	余白を借りて		
241	1929	昭和4年	6	つれづれ草	連載第一回	喧囂法師
242	1929	昭和4年	7	公人私人		
242	1929	昭和4年	7	芸術と其の批評		荒木法山
242	1929	昭和4年	7	蛙の旅		水原新山
243	1929	昭和4年	8	芸術の神聖		
243	1929	昭和4年	8	「夏の音楽」に就いて		鈴木光次郎
243	1929	昭和4年	8	蛙の旅		木原秋山
244	1929	昭和4年	9	音楽報國		
244	1929	昭和4年	9	日本音楽将来の使命		秋葉馬治
244	1929	昭和4年	9	ジャズは聴くべき音楽ではない		安井紅寮
244	1929	昭和4年	9	聴く音楽と唄ふ音楽		田村玲品
244	1929	昭和4年	9	「東京行進曲」を中心に東京音楽界の論戦		
244	1929	昭和4年	9	蛙の旅		水原秋山
244	1929	昭和4年	9	浮かぶままに		不肖山
245	1929	昭和4年	10	秋空一碧		
245	1929	昭和4年	10	日本音楽将来の使命(2)		秋葉馬治
245	1929	昭和4年	10	尺八吹奏の掌療法		澤登昌山
246	1929	昭和4年	11	思潮と音楽		
246	1929	昭和4年	11	日本音楽の鑑賞に就いて(1)		田中正平
246	1929	昭和4年	11	職格所有者の技術向上策		古林周山
246	1929	昭和4年	11	雑感		市村榿山
247	1929	昭和4年	12	送年の辞		
247	1929	昭和4年	12	日本音楽の鑑賞に就いて(2)		田中正平
247	1929	昭和4年	12	作曲上のジャズ的手法		田村玲晶
247	1929	昭和4年	12	本年の回顧		佐野操人
247	1929	昭和4年	12	生田流箏曲家加藤柔子女史		
247	1929	昭和4年	12	酒から尺八へ		桑田聖童
247	1929	昭和4年	12	雑感		市村榿山
247	1929	昭和4年	12	師匠に愬ふる記		本州中央部の一楽人
248	1930	昭和5年	1	新春の詞		
248	1930	昭和5年	1	答		編集部
248	1930	昭和5年	1	箏曲家宮城道雄師		
248	1930	昭和5年	1	吹く喜び		吉川嫩山
248	1930	昭和5年	1	随感		市村榿山
248	1930	昭和5年	1	旅順遠征余話		YK生
248	1930	昭和5年	1	音楽と感化	連載第一回	高野辰之
249	1930	昭和5年	2	評議会		
249	1930	昭和5年	2	師匠に就いての一考察		市村榿山

249	1930	昭和5年	2	初伝免状下附数より見たる当流発展の跡（下）		中野廣山
249	1930	昭和5年	2	田邉尚雄氏の「日本音楽」		
249	1930	昭和5年	2	東京たより	連載第一回	佐野操人ほか
249	1930	昭和5年	2	生田流箏曲家米川親敏師		
250	1930	昭和5年	3	漫語		
250	1930	昭和5年	3	今回新刊の新俚謡集に就いて		町田嘉章
250	1930	昭和5年	3	喃縷弁旨三題		としまろ
250	1930	昭和5年	3	山田流箏曲家村田松泉女史		
250	1930	昭和5年	3	随感		市村榿山
251	1930	昭和5年	4	修史と資料		
251	1930	昭和5年	4	玲琴に就いて		藤井隆山
251	1930	昭和5年	4	雪		純山
251	1930	昭和5年	4	生田流箏曲家アメリカへ行った天笠才壽女史		
251	1930	昭和5年	4	都山流尺八制作史		古曾虎山
251	1930	昭和5年	4	随感		市村榿山
252	1930	昭和5年	5	創作と模倣		
252	1930	昭和5年	5	近古小説『笛の巻』		三浦圭三
252	1930	昭和5年	5	山田流箏曲家越野栄松師		
252	1930	昭和5年	5	都山流尺八制作史		古曾虎山
252	1930	昭和5年	5	随感		市村榿山
253	1930	昭和5年	6	好風潮		
253	1930	昭和5年	6	日本音楽の更生		秋葉馬治
253	1930	昭和5年	6	箏曲と地唄の話		藤田斗南
253	1930	昭和5年	6	生田流箏曲家福岡箏曲界をリードする古賀光代師		
253	1930	昭和5年	6	随感		市村榿山
254	1930	昭和5年	7	合奏と下合		
254	1930	昭和5年	7	床牀譫語		町田嘉章
254	1930	昭和5年	7	新入門者増加の実験		古林周山
254	1930	昭和5年	7	随感		市村榿山
254	1930	昭和5年	7	現代箏曲界の巨擘山田流箏曲家今井慶松師		
254	1930	昭和5年	7	地唄夜話	連載第一回	藤田斗南
255	1930	昭和5年	8	酷暑の感		
255	1930	昭和5年	8	皇后陛下御前演奏		
255	1930	昭和5年	8	猛暑講習の旅		中尾都山
255	1930	昭和5年	8	洋譜の翻訳		松谷三山
255	1930	昭和5年	8	随感		市村榿山
255	1930	昭和5年	8	海邊漫録		大高外記山
255	1930	昭和5年	8	生田流箏曲家杉山田鶴子師		
255	1930	昭和5年	8	満鮮楽界のぞき		
256	1930	昭和5年	9	偉大なる業績		
256	1930	昭和5年	9	書取の練習（1）		月見草
256	1930	昭和5年	9	山陰講習と試験の旅		中尾都山
256	1930	昭和5年	9	随感		市村榿山
256	1930	昭和5年	9	天才的声楽家少女辻姉妹三嬢		十山生
256	1930	昭和5年	9	山田流箏曲家氣駕慶重師		
256	1930	昭和5年	9	ホヽ笑みの記		無名氏
257	1930	昭和5年	10	快活と禮讓		
257	1930	昭和5年	10	欲望と音楽		今井琪山
257	1930	昭和5年	10	書取の練習（2）		月見草
257	1930	昭和5年	10	故和気島庸山先生を憶ふ	連載第一回	野上簪山
257	1930	昭和5年	10	山田流箏曲家若く、新しき中能島欣一師		
257	1930	昭和5年	10	回顧録（懐古録、回古録）	連載第一回	中尾都山
258	1930	昭和5年	11	決心即成功		
258	1930	昭和5年	11	俳諧尺八志（1）		近藤簫佶
258	1930	昭和5年	11	双蝶記の名笛『濡髪』（下）		三浦圭三
258	1930	昭和5年	11	私の入門と農村の尺八界		八木正葉
258	1930	昭和5年	11	私の用ふる箏曲音譜（1）		池上蘇山
258	1930	昭和5年	11	九月講習の旅		中尾都山

258	1930	昭和5年	11	生田流箏曲家正統派楽会家元中島雅楽之都師		
258	1930	昭和5年	11	書取の練習(3)		月見草
258	1930	昭和5年	11	随感		市村榿山
258	1930	昭和5年	11	海邊漫録		大高外記山
259	1930	昭和5年	12	送年獨語		
259	1930	昭和5年	12	俳諧尺八志(2)		近藤簫佶
259	1930	昭和5年	12	書取の練習(4)		月見草
259	1930	昭和5年	12	私の用ふる箏曲音譜(2)		池上蘇山
259	1930	昭和5年	12	新進作曲家久本玄智師		
259	1930	昭和5年	12	和衷協力		藤本柳山
260	1931	昭和6年	1	三十五周年		
260	1931	昭和6年	1	尺八譜を五線音譜にするの可否		藤井隆山
260	1931	昭和6年	1	俳諧尺八志(3)		近藤簫佶
260	1931	昭和6年	1	都山流尺八教授法の研究(1)		玉井温山
260	1931	昭和6年	1	四代山登松齡師		
260	1931	昭和6年	1	新学期隆笛の生るるまで		町田嘉章
260	1931	昭和6年	1	浪速楽人の動静を語る		緋紗太棲人
260	1931	昭和6年	1	京城の昭和五年を回顧して		前田洸山
261	1931	昭和6年	2	三十五周年頌		
261	1931	昭和6年	2	当流創始満三十五周年を迎へて		中尾都山
261	1931	昭和6年	2	都山流三十五周年を迎へて		乗杉嘉壽、秋葉馬治、喜多孝治、水島彦一郎、田邉尚雄、松本富三、藤田鈴朗、町田嘉章、小池玲山、倉川簫山、紙谷白山、上田貫山、大木景山、矢吹汪山、富田渓山、野上簪山、星田一山、安部香山
261	1931	昭和6年	2	吾等の初声		李鐵根
261	1931	昭和6年	2	都山流尺八教授法の研究(2)		玉井温山
261	1931	昭和6年	2	楽阿彌(1)		龍野一雄
261	1931	昭和6年	2	都山流浪華楽団を組織せるに就いて		北原篁山
261	1931	昭和6年	2	近江大音の楽器系		岡崎與山
261	1931	昭和6年	2	浪速楽人の展望		緋紗太棲人
261	1931	昭和6年	2	桐の荘漫録		大高外記山
261	1931	昭和6年	2	和洋楽対照論	連載第一回	都築紅山(紅風)
262	1931	昭和6年	3	饗宴		
262	1931	昭和6年	3	都山流三十五周年を祝して		田中正平、久我常通、佐竹庄七、稲田譲、河合祐二、杉田稔、林亘、安城環、菊原琴治、北原篁山、金森高山、細田揚山、水原秋山、井上黄山、片山雄山、西村晴山、山崎孝山
262	1931	昭和6年	3	内鮮融和について		李運山
262	1931	昭和6年	3	検校佐藤正和師		
262	1931	昭和6年	3	五七之春浪速楽人異状あり		緋紗太棲人
262	1931	昭和6年	3	赤ペン置く前		杜神泉
263	1931	昭和6年	4	偉大なる収穫		
263	1931	昭和6年	4	都山流三十五周年を祝して		生田葵、伊庭孝、吉川伴、堀内敬三、古林周山、吉田泰山、田島昇山、畑中康山、津田維山、西田方山、岡本葉山
263	1931	昭和6年	4	楽阿彌(2)		龍野一雄
263	1931	昭和6年	4	生田流箏絃家呉の菊民大勾当		
263	1931	昭和6年	4	都山流春秋社の新計画		
264	1931	昭和6年	5	視満鮮特演		
264	1931	昭和6年	5	都山流三十五周年を祝して		小幡重一、関虎龍、小西春麗、木堂虎正、藤井隆山、森川瀧山、深親壽山、渋澤靄山、虫明圭山、
264	1931	昭和6年	5	演奏会の下合せに就いて		秋田菊山
264	1931	昭和6年	5	大連に於ける当流の今昔		小笠原米山
264	1931	昭和6年	5	山田流長老萩岡松韻師		

264	1931	昭和6年	5	くろかね日記		長塩章鶯
265	1931	昭和6年	6	新緑の訓		
265	1931	昭和6年	6	都山流三十五周年を祝して		浅見和小、横山正男、阿部文雄、明石錦星会、牧野直山、林黎山、角田梧山、矢板鈴山、小西松山、田中週山
265	1931	昭和6年	6	五月満鮮旅行		中尾都山
265	1931	昭和6年	6	散策		柳雲
265	1931	昭和6年	6	生田流箏絃家野坂操鷲氏		
266	1931	昭和6年	7	頂門の一針		
266	1931	昭和6年	7	都山流三十五周年を祝して		肥塚正太、中西窓山、松岡泉山、丸野岡山、用瀬霊山、藤本柳山
266	1931	昭和6年	7	演奏会の組成を一歩前進せしめよ		古林周山
266	1931	昭和6年	7	大連の代表的生田流箏絃家福永周子女史		
266	1931	昭和6年	7	新楽劇物語幻想の文覚		栗島狭衣･作　金森高山･作曲
267	1931	昭和6年	8	師弟		
267	1931	昭和6年	8	都山流三十五周年を祝して		松岡寛、須方湖山、若狭花山、今井防山、東郷曄山、越智承山
267	1931	昭和6年	8	山号に就いて		安部香山
267	1931	昭和6年	8	当流物故者に就いて		
267	1931	昭和6年	8	宗家の一日		中島雅楽之都
267	1931	昭和6年	8	京都三曲界の誇り生田流箏絃家萩原正吟女史		
267	1931	昭和6年	8	流制雑考		大高外記山
267	1931	昭和6年	8	散策		柳雲
268	1931	昭和6年	9	演奏会		
268	1931	昭和6年	9	都山流三十五周年を祝して		大橋鴻山、藤塚琇山、磯野茶山、
268	1931	昭和6年	9	日本音楽の新傾向		金森高山
268	1931	昭和6年	9	朝鮮と当流の発展策		李運山
268	1931	昭和6年	9	朝鮮箏曲界に鳴る大勾当太田與志師		
268	1931	昭和6年	9	当流楽譜を基礎としての楽曲研究法私見		松本嵩山
268	1931	昭和6年	9	流制雑考(2)		大高外記山
268	1931	昭和6年	9	北海道の土産話		中尾都山
269	1931	昭和6年	10	大きくなれ		
269	1931	昭和6年	10	都山流三十五周年を祝して		安藤文平、平澤嘉正、池田静山、平塚洸山、加藤栖山
269	1931	昭和6年	10	古曲の将来		高野辰之
269	1931	昭和6年	10	スコーアの発表を望む		星出潮山
269	1931	昭和6年	10	門司の大師匠、瓢逸酒脱な恵元光輝師		
269	1931	昭和6年	10	見たまゝ聞いたまゝ		炭子
270	1931	昭和6年	11	流人に嘱す		
270	1931	昭和6年	11	都山流三十五周年を祝して		橋本濤山、岸田舟山、谷端し博山、安永省山、山本瑞山
270	1931	昭和6年	11	音楽芸術の國を旅して		秋葉馬治
270	1931	昭和6年	11	胡弓のこと		藤田斗南
270	1931	昭和6年	11	頃日愚感		石田源山
270	1931	昭和6年	11	事変後の長春から		新宅伍山
270	1931	昭和6年	11	校正を終りて		杜神泉
271	1931	昭和6年	12	送年の辞		
271	1931	昭和6年	12	都山流三十五周年を祝して		長壽吉、奥平稔、松岡清山、一柳画山、久山襄山
271	1931	昭和6年	12	昭和六年の当流のあと		佐野繰人
271	1931	昭和6年	12	思ひ出す九年前の奇遇		安藤銀山
271	1931	昭和6年	12	満州事変実見記		西田方山
271	1931	昭和6年	12	徒然の想出		松江福山
271	1931	昭和6年	12	朝鮮箏曲界の白眉湊毅師		
271	1931	昭和6年	12	蓬莱に旅して(1)		水原毅山
272	1932	昭和7年	1	更始一新		
272	1932	昭和7年	1	古典と尺八と唄		長壽吉
272	1932	昭和7年	1	祝三十五周年　三首		三浦弧山

272	1932	昭和7年	1	邦楽和声としての順八三和音に就いて		金森高山
272	1932	昭和7年	1	尺八雑考(1)		三浦圭三
272	1932	昭和7年	1	音楽的ユートピア片鱗(1)		武内寄山
272	1932	昭和7年	1	北九州の才媛箏絃家森田澄子女史		
272	1932	昭和7年	1	蓬莱に旅して(2)		水原毅山
272	1932	昭和7年	1	音楽上より観たる近世流行歌の研究	連載第一回	宮崎勲洋
273	1932	昭和7年	2	流史成る		
273	1932	昭和7年	2	流三十七年を迎へて		中尾都山
273	1932	昭和7年	2	尺八雑考(2)		三浦圭三
273	1932	昭和7年	2	松竹梅物語		藤田斗南
273	1932	昭和7年	2	音楽的ユートピア片鱗(2)		武内寄山
273	1932	昭和7年	2	岡山生田流の大師匠林天留子女史		
273	1932	昭和7年	2	偶感		日置笭山
274	1932	昭和7年	3	偶感獨語		
274	1932	昭和7年	3	都山流宗家を迎へて		幣原坦
274	1932	昭和7年	3	菊原の四つもの		藤田斗南
274	1932	昭和7年	3	音楽的ユートピア片鱗(3)		武内寄山
274	1932	昭和7年	3	北海道山田流の重鎮樽川匡井女史		
274	1932	昭和7年	3	演奏姿勢に就いて		小笠原嗃山
274	1932	昭和7年	3	私の見る久本玄智氏及び其の作曲		星田一山
275	1932	昭和7年	4	深き研究		
275	1932	昭和7年	4	血液型と芸術家との関係		金森高山
275	1932	昭和7年	4	文字に表れたる音楽美		三浦圭三
275	1932	昭和7年	4	音楽的ユートピア片鱗(4)		武内寄山
275	1932	昭和7年	4	中国に生れたる名曲		藤田斗南
275	1932	昭和7年	4	数学上で見る都山流の発展		越智承山
275	1932	昭和7年	4	師匠優遇案に就いて		磯野茶山
275	1932	昭和7年	4	温厚篤実な生田流箏絃家中川寛一師		
275	1932	昭和7年	4	偶感		山本繞山
275	1932	昭和7年	4	都山流史刊行を祝す		橋本周鳳
276	1932	昭和7年	5	議員諸氏に		杜神泉
276	1932	昭和7年	5	現代文化と作曲芸術(上)		武内寄山
276	1932	昭和7年	5	尺八再生の喜び		中村庸露
276	1932	昭和7年	5	釜山に聞ゆる女流箏絃家小島初子女史		
276	1932	昭和7年	5	北九州三曲界の動き		宮原吟珖
276	1932	昭和7年	5	近畿楽壇そのをりをり	連載第一回	杜神泉
276	1932	昭和7年	5	相対月旦	連載第一回	
276	1932	昭和7年	5	台湾の都山流		吉田泰山
277	1932	昭和7年	6	道を塞ぐ勿れ		杜神泉
277	1932	昭和7年	6	現代文化と作曲芸術(下)		武内寄山
277	1932	昭和7年	6	秘曲について		四方慮山
277	1932	昭和7年	6	京都新日本音楽界の花形北川雅楽能女史		
277	1932	昭和7年	6	物故師匠追弔法要		
277	1932	昭和7年	6	匪郷潜入記(1)		日置笭山
278	1932	昭和7年	7	偶語一遍		杜神泉
278	1932	昭和7年	7	都山流史の完成を見て		中尾都山
278	1932	昭和7年	7	努力と成功		前田洸山
278	1932	昭和7年	7	流百年の計如何		畑中康山
278	1932	昭和7年	7	くろめがね日記		平野章冬
278	1932	昭和7年	7	大分で評判のよい香川雪枝女史		
278	1932	昭和7年	7	最近九州の箏絃界		菅田吟山
278	1932	昭和7年	7	三曲界稀有の大快事		藤本柳山
279	1932	昭和7年	8	議論と実際		杜神泉
279	1932	昭和7年	8	都山流史を讀む		三浦圭三
279	1932	昭和7年	8	流史の反響		
279	1932	昭和7年	8	追憶		前田洸山
279	1932	昭和7年	8	検校木村鉉次師		
279	1932	昭和7年	8	匪郷潜入記(2)		日置笭山

279	1932	昭和7年	8	各師匠暑中の消息		
280	1932	昭和7年	9	中庸		杜神泉
280	1932	昭和7年	9	尺八の今昔		中尾都山
280	1932	昭和7年	9	箏曲の持味		金森高山
280	1932	昭和7年	9	流史の反響		
280	1932	昭和7年	9	山号の文字について		安部香山
280	1932	昭和7年	9	箏絃の地熊本に躍る山田いさ子女史		
280	1932	昭和7年	9	中尾都山君		川瀬順輔
280	1932	昭和7年	9	尺八を志して		A. B. デ・クート
280	1932	昭和7年	9	楽曲私説		
281	1932	昭和7年	10	実力		杜神泉
281	1932	昭和7年	10	古典芸術についての感		小濱了山
281	1932	昭和7年	10	昔物語り(1)		松岡清山
281	1932	昭和7年	10	金澤の名花一輪、白菊の鶴島貞子女史		
282	1932	昭和7年	11	楽界の転機か		杜神泉
282	1932	昭和7年	11	都山流初期時代の稽古(1)		北原篁山
282	1932	昭和7年	11	巻頭楽譜「磯の唄」解説		
282	1932	昭和7年	11	昔物語り(2)		松岡清山
282	1932	昭和7年	11	古典によく新曲のよき田中春江女史		
282	1932	昭和7年	11	一寸警告		小寺畝山
282	1932	昭和7年	11	随感	月を見ながら	今西硯山
283	1932	昭和7年	12	壬申歳を送る		杜神泉
283	1932	昭和7年	12	昭和七年当流のあと		佐野繰人
283	1932	昭和7年	12	昔物語り(3)		松岡清山
283	1932	昭和7年	12	神戸に於ける新曲の第一人者佐々木絹子女史		
283	1932	昭和7年	12	思出断片(1)		小寺畝山
283	1932	昭和7年	12	歳末雑感		山田懐山
283	1932	昭和7年	12	川柳尺八考		
284	1933	昭和8年	1	朝海		杜神泉
284	1933	昭和8年	1	昭和八年を迎ふ		中尾都山
284	1933	昭和8年	1	感謝の言葉と流についての感想		吉田晴風
284	1933	昭和8年	1	現在の日本音楽概観		金森高山
284	1933	昭和8年	1	童謡と舞踊及び童話劇に就いて		小濱了山
284	1933	昭和8年	1	台北箏絃界の元老大検校川井良都師		
284	1933	昭和8年	1	吾々の幸福感線(1)		武内寄山
284	1933	昭和8年	1	上本町道場時代の回顧(1)		高山麗山
284	1933	昭和8年	1	思出断片(2)		小寺畝山
284	1933	昭和8年	1	「滅び行く尺八」に就いて		矢野銑山
284	1933	昭和8年	1	ある日の天狗行状記		田中允山
285	1933	昭和8年	2	新と旧と		杜神泉
285	1933	昭和8年	2	世阿弥の芸術観(1)		三浦圭三
285	1933	昭和8年	2	吾々の幸福感線(2)		武内寄山
285	1933	昭和8年	2	三曲雑誌と流内の会誌機関誌(1)		佐野繰人
285	1933	昭和8年	2	京城に於ける人気絃方藤原逢子女史		
285	1933	昭和8年	2	「滅び行く尺八」に就いて(2)		矢野銑山
285	1933	昭和8年	2	不屈不撓		杜神泉
285	1933	昭和8年	2	音響心理学		ゲェザ・レェヴェ
286	1933	昭和8年	3	世阿弥の芸術観(2)		三浦圭三
286	1933	昭和8年	3	吾々の幸福感線(3)		武内寄山
286	1933	昭和8年	3	三曲雑誌と流内の会誌機関誌(2)		佐野繰人
286	1933	昭和8年	3	溌剌とした舞台藝猪木明友師		
286	1933	昭和8年	3	論語讀の論語不知		谷端博山
286	1933	昭和8年	3	紙谷白山氏の断食		矢吹汪山
286	1933	昭和8年	3	赤ペンのままに		杜神泉
287	1933	昭和8年	4	新と旧と(再び)		杜神泉
287	1933	昭和8年	4	時に触れて		中尾都山
287	1933	昭和8年	4	「落日讃」解説		古澤鵞山
287	1933	昭和8年	4	吾々の幸福感線(4)		武内寄山

287	1933	昭和8年	4	三曲雑誌と流内の会誌機関誌(3)		佐野繰人
287	1933	昭和8年	4	上本町道場時代の回顧(2)		高山麓山
287	1933	昭和8年	4	正派大師範太田雅拡師		
287	1933	昭和8年	4	思出断片(3)		小寺畝山
287	1933	昭和8年	4	読者感想報告思ひのまま		
287	1933	昭和8年	4	赤ペンのまま		杜神泉
288	1933	昭和8年	5	論議と感情		杜神泉
288	1933	昭和8年	5	福井准師範試験を執行して		中尾都山
288	1933	昭和8年	5	懸賞作譜をめぐる当流の新人層		佐野繰人
288	1933	昭和8年	5	読者感想思ひのまま		
288	1933	昭和8年	5	明石の新箏曲家亀井琴正師		
288	1933	昭和8年	5	満州国国歌		大橋雅博
288	1933	昭和8年	5	春宵満語		小寺畝山
289	1933	昭和8年	6	藝術と個性		杜神泉
289	1933	昭和8年	6	感ずべき師弟の心情發露		小林周山
289	1933	昭和8年	6	滋賀県箏曲界の大勢力山本菊子女史		
289	1933	昭和8年	6	恥ずかしきナンバーワン		清水嗃山
290	1933	昭和8年	7	協和の力		杜神泉
290	1933	昭和8年	7	近松の藝術感(1)		三浦圭三
290	1933	昭和8年	7	扶助規定について		小寺畝山
290	1933	昭和8年	7	宮城直門の才媛師範新谷喜恵子女史		
290	1933	昭和8年	7	読者感想思ひのままに		
291	1933	昭和8年	8	所感一編		杜神泉
291	1933	昭和8年	8	近松の藝術感(2)		三浦圭三
291	1933	昭和8年	8	名人の話		市子津二郎
291	1933	昭和8年	8	福島市の新曲研究家小林操栄女史		
291	1933	昭和8年	8	読者感想思ひのまま		水原秋山、下村外山、岡崎與山
292	1933	昭和8年	9	新秋活躍季		杜神泉
292	1933	昭和8年	9	懸賞作曲入選楽譜「松問白帆」	星出潮山作	
292	1933	昭和8年	9	尺八楽と社会		前田洸山
292	1933	昭和8年	9	名人の話		市子津二郎
292	1933	昭和8年	9	読者感想思いのまま		水原秋山、山田懐山、西川当山
292	1933	昭和8年	9	故戸川召山氏の石碑		
292	1933	昭和8年	9	伊予の新曲研究家加藤豊栄師		
292	1933	昭和8年	9	新涼雑感		岸田舟山
292	1933	昭和8年	9	環翠山房独語	連載第一回	杜神泉
293	1933	昭和8年	10	寄秋語		杜神泉
293	1933	昭和8年	10	尺八の長短に依りて異なる音律の差に就いての私見(1)		本庄誠玉
293	1933	昭和8年	10	読者感想思いのまま		水原秋山、上月蕾月
293	1933	昭和8年	10	録蔭閑話		小寺畝山
293	1933	昭和8年	10	岐阜の新人蒲原象雄師		
293	1933	昭和8年	10	平塚洸山師都山流脱退		
293	1933	昭和8年	10	久本星田両師を迎へて(満州)		草崎主山
294	1933	昭和8年	11	演奏会		杜神泉
294	1933	昭和8年	11	朝鮮巡演より帰りて		久本玄智
294	1933	昭和8年	11	尺八の長短に依りて異なる音律の差に就いての私見(2)		本庄誠玉
294	1933	昭和8年	11	「一師匠」に教ふ		倉川簫山
294	1933	昭和8年	11	姫路白鷺城下の誇り才媛牧野雅楽香嬢		
294	1933	昭和8年	11	読者感想思いのまま		水原秋山
294	1933	昭和8年	11	水戸黄門の業績と尺八		橋本治山
294	1933	昭和8年	11	澎湖丁大嶼の当流現状		
295	1933	昭和8年	12	代送年辞		杜神泉
295	1933	昭和8年	12	音楽と健康		金森高山
295	1933	昭和8年	12	芭蕉の俳諧と藝術感(1)		三浦圭三
295	1933	昭和8年	12	小宮城牧瀬喜代子嬢		
295	1933	昭和8年	12	音譜と音律について		橋本暁山
295	1933	昭和8年	12	読者感想思いのまま		山田懐山
295	1933	昭和8年	12	水戸黄門の業績と尺八(2)		橋本治山

295	1933	昭和8年	12	霜雪粉々録	小寺畝山
296	1934	昭和9年	1	頌春辞	杜神泉
296	1934	昭和9年	1	非常時新年の決意と昨年の回顧	田邊尚雄
296	1934	昭和9年	1	芭蕉の俳諧と芸術観(2)	三浦圭三
296	1934	昭和9年	1	吾れ「羚慕の曲」を吹かん	安永省山
296	1934	昭和9年	1	昭和八年都山流年表	
296	1934	昭和9年	1	音譜と音律の関係について(2)	橋本暁山
296	1934	昭和9年	1	新人齋藤松聲師	
296	1934	昭和9年	1	新春を迎へて	水原秋山
296	1934	昭和9年	1	非常時都山流	玉井温山
296	1934	昭和9年	1	職格者系譜を編集して	小池玲山
296	1934	昭和9年	1	都山流に在る者の幸福	今井百山
297	1934	昭和9年	2	記念日	杜神泉
297	1934	昭和9年	2	我が国上代に於ける固有楽器の研究	紿田茂太郎
297	1934	昭和9年	2	新興日本音楽の体系とその変遷	金森高山
297	1934	昭和9年	2	音譜と音律の関係について(3)	橋本暁山
297	1934	昭和9年	2	門人の多い京城箏絃家濱波竹子女史	
297	1934	昭和9年	2	師匠について	水原秋山
297	1934	昭和9年	2	梅窓夜話	小寺畝山
297	1934	昭和9年	2	澎湖島大嶼に於ける当流師匠小野頼窓氏のその後	
298	1934	昭和9年	3	所感一則	杜神泉
298	1934	昭和9年	3	金森高山師に質す	森田鸞山
298	1934	昭和9年	3	教授について	水原秋山
298	1934	昭和9年	3	歓喜の歌	蔭山滸山
298	1934	昭和9年	3	試験場に敬礼について	橋本頌山
298	1934	昭和9年	3	伊庭孝氏のレコードに依る「日本音楽史」	佐野繰人
298	1934	昭和9年	3	宗家の邦象	當軒先人
298	1934	昭和9年	3	福井箏曲界の新勢力妹尾重之都師	
298	1934	昭和9年	3	偶感録	中田比山
298	1934	昭和9年	3	欅亭叢談	小寺畝山
298	1934	昭和9年	3	布哇馬哇島の現状	阿部三四
299	1934	昭和9年	4	評議会	杜神泉
299	1934	昭和9年	4	邦楽旋法の名称について	金森高山
299	1934	昭和9年	4	音楽と健康について	黒田慶次
299	1934	昭和9年	4	紅冠緑衣集	小寺畝山
299	1934	昭和9年	4	札幌の大師匠新田佐美治師	
299	1934	昭和9年	4	所感五題	西川塘山
299	1934	昭和9年	4	雑談数題	藤本柳山
299	1934	昭和9年	4	棒言多謝	くろがね生
300	1934	昭和9年	5	流言浮説	杜神泉
300	1934	昭和9年	5	日本精神の発露と音楽家	藤田斗南
300	1934	昭和9年	5	阿蘇の味	西川塘山
300	1934	昭和9年	5	私の望む刊行物	水原秋山
300	1934	昭和9年	5	薫風静雨録	小寺畝山
300	1934	昭和9年	5	兵庫名家の跡を継いだ中島絃教師	
300	1934	昭和9年	5	耶多羅楽談	連載第一回	藤本柳山
300	1934	昭和9年	5	川柳箏志	連載第一回	近藤簫佶
301	1934	昭和9年	6	典昇完備	杜神泉
301	1934	昭和9年	6	指揮者と燕尾服	山田耕作氏談
301	1934	昭和9年	6	更衣更心録	小寺畝山
301	1934	昭和9年	6	頭が良くて凝り性の渡谷琴恵師	
301	1934	昭和9年	6	物故師匠追弔法要	
302	1934	昭和9年	7	偶感時言	杜神泉
302	1934	昭和9年	7	日本音楽に関する暁舌	上月篪宗
302	1934	昭和9年	7	緑丘碧空録	小寺畝山
302	1934	昭和9年	7	関西尺八の好き菊峰市野女史	
302	1934	昭和9年	7	偶性空言	允山生
302	1934	昭和9年	7	雨と演奏会	山田懐山

303	1934	昭和9年	8	時言一則		杜神泉
303	1934	昭和9年	8	綱紀粛正		中尾都山
303	1934	昭和9年	8	青簾清風録		小寺畝山
303	1934	昭和9年	8	准師範の回顧録		吉田泰山
303	1934	昭和9年	8	「琴心笛精神相会」平中豊子女史		
303	1934	昭和9年	8	まづ一矢を射る		上田起山
304	1934	昭和9年	9	真の研究		杜神泉
304	1934	昭和9年	9	熱を持って協力一致せよ		三原岑山
304	1934	昭和9年	9	湾声松籟集		小寺畝山
304	1934	昭和9年	9	某新聞に掲載された私の談話について		星田一山
304	1934	昭和9年	9	竹尺八に対する私の愚感		島田整優
304	1934	昭和9年	9	関西箏曲界の新人中村双葉師		
304	1934	昭和9年	9	朝鮮楽屋談		李運山
304	1934	昭和9年	9	馬琴の閲歴と芸風		三浦圭三
304	1934	昭和9年	9	竹林閑話		小寺畝山
305	1934	昭和9年	10	大風水禍		杜神泉
305	1934	昭和9年	10	楽器の材料の音色に及ぼす影響		星田一山
305	1934	昭和9年	10	尺八の音色について(1)		中村治
305	1934	昭和9年	10	情操教育と尺八		橋本暁山
305	1934	昭和9年	10	閑居黙禅録		小寺畝山
305	1934	昭和9年	10	角の取れた温情師匠秋田恵津子女史		
305	1934	昭和9年	10	教授上の実際と経験		岸田舟山
305	1934	昭和9年	10	飄飄録		西田塘山
305	1934	昭和9年	10	朝鮮楽屋談		李運山
306	1934	昭和9年	11	弔白山大師範(巻頭言)		
306	1934	昭和9年	11	尺八の音色について(2)		中村治
306	1934	昭和9年	11	霜天落葉集		小寺畝山
306	1934	昭和9年	11	熱烈なる求道家谷井歳貫師		
306	1934	昭和9年	11	今度の評議員選挙について		佐野繰人
306	1934	昭和9年	11	特別講習会受講記		
306	1934	昭和9年	11	赤ペンにて		杜神泉
307	1934	昭和9年	12	代送年辞		杜神泉
307	1934	昭和9年	12	頌声隆		肥塚正太
307	1934	昭和9年	12	尺八の音色について(続編)		中村治
307	1934	昭和9年	12	その後の感想		星田一山
307	1934	昭和9年	12	関門筑豊の先輩木下城秀師		
307	1934	昭和9年	12	歳晩匆忙記		小寺畝山
308	1935	昭和10年	1	迎春詞		杜神泉
308	1935	昭和10年	1	一流の興隆は流人の融和協調にあり		阿部文雄
308	1935	昭和10年	1	尺八の倍音について		藤井隆山
308	1935	昭和10年	1	ｶﾁ調陰旋法について		藤本柳山
308	1935	昭和10年	1	宮島に生まれた英才菊橋元美師		
308	1935	昭和10年	1	昭和九年度都山流年表		
308	1935	昭和10年	1	東京和風会座談会(2)		
308	1935	昭和10年	1	新春雑感		市村榿山
308	1935	昭和10年	1	鮮満旅行での悦び		今井百山
308	1935	昭和10年	1	吾が脚の記		森行山
309	1935	昭和10年	2	楽器改良		杜神泉
309	1935	昭和10年	2	科学万能主義と兼常君の「音楽の迷信」		田邊尚雄
309	1935	昭和10年	2	偶感		今井琪山
309	1935	昭和10年	2	思ひのままに		山田懐山
309	1935	昭和10年	2	東京生田流の弾き手河内登志代女史		
309	1935	昭和10年	2	都山流二行博士		玉井温山
309	1935	昭和10年	2	他山の石『金森博士を診断す』		玉置眞吉
310	1935	昭和10年	3	贐新議員		杜神泉
310	1935	昭和10年	3	向後の箴計		玉木寧山
310	1935	昭和10年	3	平眼に戦跡を見る		山田懐山
310	1935	昭和10年	3	井蛙小窓		今西硯山

310	1935	昭和10年	3	愛管を失った悲しみの旅		今井百山
310	1935	昭和10年	3	開拓の天使佐香小由岐女史		
310	1935	昭和10年	3	河竹黙阿弥の「人」と「芸風」	連載第一回	三浦圭三
311	1935	昭和10年	4	新評議会		杜神泉
311	1935	昭和10年	4	大検校関野光雄師		
311	1935	昭和10年	4	北原篁山師母堂の訃		杜神泉
311	1935	昭和10年	4	春宵随感		横井岦山
312	1935	昭和10年	5	新緑の誠		杜神泉
312	1935	昭和10年	5	山号の文字について		阿部香山
312	1935	昭和10年	5	人生の芸術		故安志求山
312	1935	昭和10年	5	近頃感激したこと		建部二山
312	1935	昭和10年	5	麗人演奏家「菊原初子嬢」		
312	1935	昭和10年	5	選挙後の噂		石井洸山
312	1935	昭和10年	5	神港楽団の事		布施僊雨山
313	1935	昭和10年	6	時言一則		杜神泉
313	1935	昭和10年	6	三味線小唄供養		
313	1935	昭和10年	6	南輪毛山怪文書について		上田貫山
313	1935	昭和10年	6	菊殿琴龍師		
313	1935	昭和10年	6	台湾大震災について		吉田泰山
313	1935	昭和10年	6	入院中の随筆		今井百山
314	1935	昭和10年	7	随感一篇		杜神泉
314	1935	昭和10年	7	近来の流行歌に対する感想		田邊尚雄
314	1935	昭和10年	7	作譜上達法についての所感(1)		宮崎勲洋
314	1935	昭和10年	7	野口雨情先生を迎へて		星出潮山
314	1935	昭和10年	7	富華澄子女史		
314	1935	昭和10年	7	古賀光代師を迎へて		越智承山
315	1935	昭和10年	8	宗家渡航		杜神泉
315	1935	昭和10年	8	都山流職格者名列表(1)		
315	1935	昭和10年	8	曲趣説明		宮崎一重
315	1935	昭和10年	8	作譜上達法についての所感(2)		宮崎一重
315	1935	昭和10年	8	京の水災		橋本暁山
315	1935	昭和10年	8	中橋暁夢師		
315	1935	昭和10年	8	渡満三周年満州の現状を報ず		山城曙山
315	1935	昭和10年	8	静岡の地震		若山杏山
315	1935	昭和10年	8	科学的に見た都山流	連載第一回	小濱了山
316	1935	昭和10年	9	天の黙示		杜神泉
316	1935	昭和10年	9	都山先生を迎ふ		木原宍凡
316	1935	昭和10年	9	各種旋法運用法(1)		橋本暁山
316	1935	昭和10年	9	芸術と個性		小濱了山
316	1935	昭和10年	9	都山流職格者名列表(2)		
316	1935	昭和10年	9	志賀栄美女史		
316	1935	昭和10年	9	満州紀行		池田静山
316	1935	昭和10年	9	宗家御来去記		大連幹部会
316	1935	昭和10年	9	宮城道雄氏を迎えて(1)		水原秋山
316	1935	昭和10年	9	日本アルミニューム社尺八部組織		安永維
317	1935	昭和10年	10	収穫の秋		杜神泉
317	1935	昭和10年	10	日本主義と尺八楽		金森高山
317	1935	昭和10年	10	陰旋法の調名について(1)		中村悟山
317	1935	昭和10年	10	各種陰旋法運用法(2)		橋本暁山
317	1935	昭和10年	10	都山流職格者名列表(3)		
317	1935	昭和10年	10	坂下井豊女史		
317	1935	昭和10年	10	随想		上月篪宗
317	1935	昭和10年	10	現代尺八楽私見		瀧川陵山
317	1935	昭和10年	10	東京試験に現れた驚くべき天才少女秋野香旭嬢		
317	1935	昭和10年	10	宮城道雄氏を迎へて(2)		水原秋山
317	1935	昭和10年	10	故富田溪山師の墓碑建設		細川幽山
318	1935	昭和10年	11	錬磨の効		杜神泉
318	1935	昭和10年	11	小説神髄に表れたる芸術観(1)		三浦圭三

	318	1935	昭和10年	11	発声法		中山晋平
	318	1935	昭和10年	11	陰旋法の調名について(2)		中村悟山
	318	1935	昭和10年	11	各種陰旋法運用表(3)		橋本暁山
	318	1935	昭和10年	11	都山流職格者名列表(4)		
	318	1935	昭和10年	11	龍野の箏絃家菊賀好江女史		
	318	1935	昭和10年	11	夢路と初霜		古林周山
	318	1935	昭和10年	11	台南泉町紅葉会創設一周年		内藤尤勝
	318	1935	昭和10年	11	新曲選釈	連載第一回	藤田斗南
	319	1935	昭和10年	12	根本原素		杜神泉
	319	1935	昭和10年	12	小説神髄に表れたる芸術観(2)		三浦圭三
	319	1935	昭和10年	12	陰旋法の調名について(3)		中村悟山
	319	1935	昭和10年	12	都山流職格者名列表(5)		
	319	1935	昭和10年	12	師範に昇格して(1)		里村佩山
	319	1935	昭和10年	12	春陽社に入社して		建部二山
	319	1935	昭和10年	12	阪国バス尺八部結成		古森退次
	319	1935	昭和10年	12	秋四題		上田完山
	320	1936	昭和11年	1	祝四十周年		杜神泉
	320	1936	昭和11年	1	還暦に紀元を画して都山師の世界的飛躍を望む		水島彦一郎
	320	1936	昭和11年	1	四十周年を迎へて		
	320	1936	昭和11年	1	都山流万々歳!!		今井百山
	320	1936	昭和11年	1	小説神髄に表れたる藝術感(3)		三浦圭三
	320	1936	昭和11年	1	陰旋法の調名について(完)		中村悟山
	320	1936	昭和11年	1	名人気質の弁		上月蕾月
	320	1936	昭和11年	1	都山流年表		
	320	1936	昭和11年	1	都山流職格者名列表(6)		
	320	1936	昭和11年	1	師範に昇格して(2)		里村佩山
	320	1936	昭和11年	1	平凡な現実		上田完山
	320	1936	昭和11年	1	私の宗家		小濱了山
	320	1936	昭和11年	1	松岡先生とトウマン		鎌田治子
	320	1936	昭和11年	1	昼想夜夢	連載第一回	建部二山
	320	1936	昭和11年	1	陰旋音階の調名固定可否論	連載第一回	都築紅山
	321	1936	昭和11年	2	隆昌無窮		杜神泉
	321	1936	昭和11年	2	四十周年に際し所感を述ぶ		中尾都山
	321	1936	昭和11年	2	壽且昌		林黎山
	321	1936	昭和11年	2	小説神髄に表れたる藝術感(4)		三浦圭三
	321	1936	昭和11年	2	中村氏の陰旋法の調名についてを読みて		藤井隆山
	321	1936	昭和11年	2	名人気質の弁(下)		上月蕾月
	321	1936	昭和11年	2	金港生田流の明星太田里子女史		
	321	1936	昭和11年	2	合奏の秘訣(1)		竹琳軒暁山
	321	1936	昭和11年	2	トーキー雑談(1)		中村悟山
	321	1936	昭和11年	2	近況一束		岸田舟山
	321	1936	昭和11年	2	師範に昇格して(3)		里村佩山
	321	1936	昭和11年	2	新日本音楽側面史	連載第一回	藤田斗南
	322	1936	昭和11年	3	都山流精神		杜神泉
	322	1936	昭和11年	3	日本国民性と尺八音楽		山岡満之助
	322	1936	昭和11年	3	創始四十年を祝す		片山昇
	322	1936	昭和11年	3	創始四十年を祝福して		谷端博山
	322	1936	昭和11年	3	四十年を寿ぐ		清水珂山
	322	1936	昭和11年	3	合奏の秘訣(2)		竹琳軒暁山
	322	1936	昭和11年	3	当流末輩一門の感想		市井船童
	322	1936	昭和11年	3	トーキー雑談(2)		中村悟山
	322	1936	昭和11年	3	彦根の生田流箏曲家中村君子女史		
	322	1936	昭和11年	3	風邪中の放送		松岡清山
	322	1936	昭和11年	3	師範に昇格して(4)		里村佩山
	322	1936	昭和11年	3	ニコライ、シモウスキフ氏に尺八を聴かす		星出潮山
	322	1936	昭和11年	3	音楽小話	連載第一回	藤田斗南
	323	1936	昭和11年	4	量より質へ		杜神泉
	323	1936	昭和11年	4	都山流の四十年		堀内敬三

323	1936	昭和11年	4	旋法と調について		中村悟山
323	1936	昭和11年	4	創始四十年を迎へて三十年前の追懐		上田貫山
323	1936	昭和11年	4	合奏の秘訣(3)		竹琳軒暁山
323	1936	昭和11年	4	当流四十周年の感激		小谷稀山
323	1936	昭和11年	4	幸田露伴氏の閲歴と作風		三浦圭三
324	1936	昭和11年	5	評議会に望む		杜神泉
324	1936	昭和11年	5	旋法と調について		中村悟山
324	1936	昭和11年	5	尺八と修養		三木正一
324	1936	昭和11年	5	トーキーに箏		
324	1936	昭和11年	5	開軒初期の思ひ出		吉田蒋山
324	1936	昭和11年	5	東幡三曲界の古参菊庭富士子女史と新人として巣立った萩野和子嬢		
324	1936	昭和11年	5	春の大和路		玉木寧山
324	1936	昭和11年	5	JOKK	連載第一回	塚原詵山
325	1936	昭和11年	6	宗家の放送		杜神泉
325	1936	昭和11年	6	都山師と八幡宮との関係		田中俊清
325	1936	昭和11年	6	祝辞		野村壽三郎
325	1936	昭和11年	6	宇津保物語の音楽について		
325	1936	昭和11年	6	音楽のメカニズム(1)		小濱了山
325	1936	昭和11年	6	当流物故師匠法要		杜神泉
325	1936	昭和11年	6	周年の春雑感		山田懐山
325	1936	昭和11年	6	大授導寺田千代子女史		
325	1936	昭和11年	6	作曲研究同志を募る		藤井隆山
325	1936	昭和11年	6	尺八劇「盲目の弟」		
326	1936	昭和11年	7	不断の修養		杜神泉
326	1936	昭和11年	7	楠公精神と都山流		稲田譲
326	1936	昭和11年	7	調名問題について(1)		中村悟山
326	1936	昭和11年	7	音楽のメカニズム(2)		小濱了山
326	1936	昭和11年	7	宗家のラジオ講座について全国の皆さんにお奨めする		佐野繰人
326	1936	昭和11年	7	都山流尺八を愛好する人たち		藤井隆山
326	1936	昭和11年	7	日本音楽の将来		早瀬克郎
326	1936	昭和11年	7	雑感		東郷曄山
327	1936	昭和11年	8	楽者禮成		杜神泉
327	1936	昭和11年	8	祝歌に添えて		今中楓渓
327	1936	昭和11年	8	国民性より視たる芸術思想(1)		小濱了山
327	1936	昭和11年	8	調名問題について(2)		中村悟山
327	1936	昭和11年	8	隆達節の作者自筆本発見さる		
327	1936	昭和11年	8	ラジオ講座について		中尾都山
327	1936	昭和11年	8	宗家随行北海の旅		野村成山
327	1936	昭和11年	8	宗家の放送を併用した各地の講習会		佐野繰人
327	1936	昭和11年	8	宗家の放送を拝聴して		小谷稀山
327	1936	昭和11年	8	師弟美談受管探偵実語		
328	1936	昭和11年	9	皇軍慰問行		杜神泉
328	1936	昭和11年	9	祝辞		菊原琴治
328	1936	昭和11年	9	国民性より視たる芸術思想(2)		小濱了山
328	1936	昭和11年	9	尺八禮讃		市井船童
328	1936	昭和11年	9	女流山田の大師匠山室千代子女史		
328	1936	昭和11年	9	放送講座余韻		山田懐山
328	1936	昭和11年	9	東京のいろいろ		今井百山
329	1936	昭和11年	10	宗家還暦		
329	1936	昭和11年	10	祝辞		阿倍文雄
329	1936	昭和11年	10	国民性より見たる芸術思想(3)		小濱了山
329	1936	昭和11年	10	尺八独習書の変遷		磨磚洞主人
329	1936	昭和11年	10	お稽古の秘訣		畑中康山
330	1936	昭和11年	11	偶感一則		
330	1936	昭和11年	11	都山流四十周年記念祝賀祝宴に臨みて		五十嵐悌三郎
330	1936	昭和11年	11	在満皇軍将士慰問を終へて		中尾都山
330	1936	昭和11年	11	宗家随行渡満日誌		小池玲山
330	1936	昭和11年	11	宗家随行渡満日誌		関野生山

330	1936	昭和11年	11	聴衆心理(1)		建部二山
330	1936	昭和11年	11	小林周山師胸像贈呈式		坂井奎山
331	1936	昭和11年	12	送年辞		杜神泉
331	1936	昭和11年	12	宗家を迎送して		里村佩山
331	1936	昭和11年	12	慶祝調放送を聴いて(上)		杜神泉
331	1936	昭和11年	12	慶祝調を聴きて		園田生
331	1936	昭和11年	12	慶祝調を聴く		都築紅山
331	1936	昭和11年	12	聴衆心理(2)		建部二山
331	1936	昭和11年	12	樺太に於ける當流の推移		飯塚樺秀
331	1936	昭和11年	12	コロムビア入社感と其後		田中允山
331	1936	昭和11年	12	偶感		吉田蒋山
331	1936	昭和11年	12	楽界近事雑纂		
332	1937	昭和12年	1	迎歳辞		杜神泉
332	1937	昭和12年	1	天下一品		本野清吾
332	1937	昭和12年	1	自然と相和された宗家		津田青寛
332	1937	昭和12年	1	都山流年表		
332	1937	昭和12年	1	兵より帰りて		清水珂山
333	1937	昭和12年	2	誌齢三百三十三		杜神泉
333	1937	昭和12年	2	国民的歌謡についての私感		建部二山
333	1937	昭和12年	2	楽報三百三十三号と当流三大先輩の思い出		北原篁山、小林周山
333	1937	昭和12年	2	「山」号の「都」号にかはつた事について		
333	1937	昭和12年	2	慰問袋に対する其後の謝状		
333	1937	昭和12年	2	開軒後の一年		大山秋詠
333	1937	昭和12年	2	新京春風社発会式		春風社同人
333	1937	昭和12年	2	楽報編揖三百巻	連載第一回	杜神泉
334	1937	昭和12年	3	名家の用意		杜神泉
334	1937	昭和12年	3	国民的歌謡についての私感(2)		建部二山
334	1937	昭和12年	3	姫路の才媛箏曲家井上智恵子嬢		
334	1937	昭和12年	3	免許状授与式		杜神泉他
334	1937	昭和12年	3	音への思想	連載第一回	小濱了山
335	1937	昭和12年	4	番組の編成		杜神泉
335	1937	昭和12年	4	国民的歌謡についての私感(3)		建部二山
335	1937	昭和12年	4	楽理第三の問題について(1)		橋本暁山
335	1937	昭和12年	4	大阪幹部会」三十周年記念二大行事		杜神泉
335	1937	昭和12年	4	久しぶりに内地に帰りて		平中示山
335	1937	昭和12年	4	宇治川夜話		磯野茶山
335	1937	昭和12年	4	感激の一夕		丸井船燈
335	1937	昭和12年	4	大阪青バス部青会記		三谷箒壽
336	1937	昭和12年	5	音楽報国		杜神泉
336	1937	昭和12年	5	国民的歌謡についての私感(4)		建部二山
336	1937	昭和12年	5	楽理第三の問題について(2)		橋本暁山
336	1937	昭和12年	5	宗家随行四国の旅		岡田浦山
337	1937	昭和12年	6	新緑と人生		杜神泉
337	1937	昭和12年	6	楽理第三の問題について(3)		橋本暁山
337	1937	昭和12年	6	学校尺八楽		松田鎮雄
337	1937	昭和12年	6	宗家七月の北海道行日程		
337	1937	昭和12年	6	加奈陀渡航に際して		蔭山滸山
338	1937	昭和12年	7	研究と感情		杜神泉
338	1937	昭和12年	7	夏目漱石の「人」と「作風」(1)		三浦圭三
338	1937	昭和12年	7	楽理第三の問題について		遠藤眠山
338	1937	昭和12年	7	新京を去るに際して		中村奘山
339	1937	昭和12年	8	軍人と楽人		杜神泉
339	1937	昭和12年	8	夏目漱石の「人」と「作風」(2)		三浦圭三
339	1937	昭和12年	8	音楽報国我観		篠島　翠山
339	1937	昭和12年	8	偶感		西川都朋
339	1937	昭和12年	8	樺太随行記		野村成山
339	1937	昭和12年	8	宗家九州巡演余事		松岡清山
339	1937	昭和12年	8	故富田渓山師追弔法要		細川幽山

340	1937	昭和12年	9	非常時と楽人		杜神泉
340	1937	昭和12年	9	夏目漱石の「人」と「作風」(3)		三浦圭三
340	1937	昭和12年	9	表情記号についての希望		長井曲山
340	1937	昭和12年	9	「月澄む野」の曲趣解説		實兼咲山
340	1937	昭和12年	9	百貨店で尺八楽教授		
340	1937	昭和12年	9	神仙爐漫談		李運山
341	1937	昭和12年	10	楽人の本分		杜神泉
341	1937	昭和12年	10	夏目漱石の「人」と「作風」(4)		三浦圭三
341	1937	昭和12年	10	時局と尺八		梶野鍠山
341	1937	昭和12年	10	尺八と大衆化		吉川嫩山
342	1937	昭和12年	11	成功の秘訣		杜神泉
342	1937	昭和12年	11	音楽の内容と将来		小濱了山
342	1937	昭和12年	11	軍部献金演奏会を語る夕		浜津夕山
343	1937	昭和12年	12	送年の辞		杜神泉
343	1937	昭和12年	12	将相の儀礼と名楽手の修養		杜神泉
343	1937	昭和12年	12	明日の音楽と作曲		佐藤樗山
343	1937	昭和12年	12	尺八の音と表現		藤田羊山
343	1937	昭和12年	12	音楽心理学	連載第一回	小濱了山
343	1937	昭和12年	12	加奈陀通信		蔭山滸山
344	1938	昭和13年	1	於比美学		杜神泉
344	1938	昭和13年	1	尺八の将来		金森高山
344	1938	昭和13年	1	現代日本音楽について(1)		中村悟山
344	1938	昭和13年	1	昭和十二年都山流年表		
344	1938	昭和13年	1	時は今なり		水原秋山
344	1938	昭和13年	1	趣味道場を提供す		北田呂正山
344	1938	昭和13年	1	表情記号について	連載第一回	藤井隆山
345	1938	昭和13年	2	時論二編		杜神泉
345	1938	昭和13年	2	現代日本音楽について(2)		中村悟山
345	1938	昭和13年	2	一つの提言		大橋鴻山
345	1938	昭和13年	2	戦死した愛弟を偲ぶ選線の田中澧山少尉		
345	1938	昭和13年	2	非常時局に処して我等の音楽運動		佐野當山
346	1938	昭和13年	3	陣中消息三篇		向井背山
346	1938	昭和13年	3	観過斯知仁		杜神泉
346	1938	昭和13年	3	現代日本音楽について(3)		中村悟山
346	1938	昭和13年	3	苦茗呈上		永田彰山
346	1938	昭和13年	3	東京たより	(宗家の御病気について)	
347	1938	昭和13年	4	番組編成の苦労		杜神泉
347	1938	昭和13年	4	八幡浜市に於ける当流の変遷	連載第一回	菊地矢山
347	1938	昭和13年	4	出征師匠消息	連載第一回	
348	1938	昭和13年	5	新緑の頌		杜神泉
348	1938	昭和13年	5	満州乎、北支乎(1)		里村佩山
348	1938	昭和13年	5	今度の入場税解説		
348	1938	昭和13年	5	金剛流詠歌放送を聴く		都築紅山
349	1938	昭和13年	6	後嗣決定		杜神泉
349	1938	昭和13年	6	国木田独歩の閲歴		三浦圭三
349	1938	昭和13年	6	満州乎、北支乎(2)		里村佩山
349	1938	昭和13年	6	荘厳なりし議会後の二大式典		杜神泉
349	1938	昭和13年	6	都山流師匠共済会設立案の通過を見て		小池玲山
349	1938	昭和13年	6	応召師匠諸氏の消息	連載第一回	
350	1938	昭和13年	7	豪雨禍		杜神泉
350	1938	昭和13年	7	国木田独歩の閲歴(2)		三浦圭三
350	1938	昭和13年	7	尺八教授法余論(上)		藤井隆山
350	1938	昭和13年	7	非常時音楽観(上)		建部二山
350	1938	昭和13年	7	満州より中支に来りて		中村奘山
351	1938	昭和13年	8	天力と人力		杜神泉
351	1938	昭和13年	8	国木田独歩の閲歴(3)		三浦圭三
351	1938	昭和13年	8	尺八教授法余論(下)		藤井隆山
351	1938	昭和13年	8	非常時音楽観(下)		建部二山

351	1938	昭和13年	8	日本交歓音楽会(1)		里村佩山
351	1938	昭和13年	8	大連扈従の記(上)		遠藤眠山
351	1938	昭和13年	8	渡満支所感		小池玲山
351	1938	昭和13年	8	追分楽譜の公刊に就て		渡邊松月
352	1938	昭和13年	9	道の極まる所		杜神泉
352	1938	昭和13年	9	現世相と音楽		小濱了山
352	1938	昭和13年	9	日本交歓音楽会(2)		里村佩山
352	1938	昭和13年	9	大連扈従の記(下)		遠藤眠山
352	1938	昭和13年	9	事変一周年を迎えて		中村奘山
352	1938	昭和13年	9	奉天駅にて懐山山田中尉に逢ふの記		今井百山
353	1938	昭和13年	10	芸術と人格		杜神泉
353	1938	昭和13年	10	楽人に與ふる書		藤田斗南
353	1938	昭和13年	10	時局下に處する音楽家の使命(上)		建部二山
353	1938	昭和13年	10	銃後を指す		里村佩山
353	1938	昭和13年	10	大津幹部会臨時総会並に心身鍛錬ハイキング		福井執山
353	1938	昭和13年	10	陸軍病院に愛弟子を訪れて		田中筦山
353	1938	昭和13年	10	月と語るの会		篠島澤山
353	1938	昭和13年	10	無題記		小濱了山
354	1938	昭和13年	11	新天地を看よ		杜神泉
354	1938	昭和13年	11	時局下に處する音楽家の使命(下)		建部二山
355	1938	昭和13年	12	送年辞		杜神泉
355	1938	昭和13年	12	昭和十三年の回顧		佐野繰人
355	1938	昭和13年	12	流人の野戦病院長		北田呂正山
355	1938	昭和13年	12	傷兵諸氏に尺八を教授して		中西蝶山
355	1938	昭和13年	12	ひとりごと		原田玄山
356	1939	昭和14年	1	昭和十三年度都山流楽報総目次		
356	1939	昭和14年	1	新年頌		杜神泉
356	1939	昭和14年	1	ハズミ音に就ての一考察		藤井隆山
356	1939	昭和14年	1	音楽に於ける個性の表現について		建部二山
356	1939	昭和14年	1	昭和十三年都山流年表		
356	1939	昭和14年	1	年等雑感		原田玄山
356	1939	昭和14年	1	持久戦下上海の情勢		中村奘山
356	1939	昭和14年	1	上海にて		野村叶山
357	1939	昭和14年	2	亢龍有悔		杜神泉
357	1939	昭和14年	2	音楽に於ける個性の表現について(2)		建部二山
357	1939	昭和14年	2	ロと尺八(上)		橋本暁山
357	1939	昭和14年	2	都山流尺八研修要目設定私見		原田玄山
357	1939	昭和14年	2	日本精神に取り扱った作品		都築紅山
358	1939	昭和14年	3	芸術と社会		杜神泉
358	1939	昭和14年	3	音楽に於ける個性の表現について(3)		建部二山
358	1939	昭和14年	3	ロと尺八(中)		橋本暁山
358	1939	昭和14年	3	戦線便り	隊長の尺八	山崎僚山
359	1939	昭和14年	4	捨身の行		杜神泉
359	1939	昭和14年	4	芸術は人である(1)		建部二山
359	1939	昭和14年	4	ロと尺八(下)		橋本暁山
359	1939	昭和14年	4	「日本の合奏」見たまま		今井百山
359	1939	昭和14年	4	「日の丸男子」の作詞に就いて		田中允山
359	1939	昭和14年	4	独歩の芸風	連載第一回	三浦圭三
360	1939	昭和14年	5	箏曲、地唄の発声機構に就いて		
360	1939	昭和14年	5	新緑と楽人		杜神泉
360	1939	昭和14年	5	芸術は人である(2)		建部二山
360	1939	昭和14年	5	偶感		凡児生
360	1939	昭和14年	5	かがりび(1)		岡崎與山
361	1939	昭和14年	6	機在目前		杜神泉
361	1939	昭和14年	6	かがりび(2)		岡崎與山
361	1939	昭和14年	6	想楽楼語録	連載第一回	小濱了山
362	1939	昭和14年	7	明日の音楽		杜神泉
362	1939	昭和14年	7	五線譜を尺八譜に訳し方		藤井隆山

362	1939	昭和14年	7	かがりび(3)		岡崎與山
363	1939	昭和14年	8	酷暑の誠		杜神泉
363	1939	昭和14年	8	名吹奏家よ!!		今井百山
363	1939	昭和14年	8	時局と尺八		遠藤眠山
363	1939	昭和14年	8	九州講習随行記		松岡清山
364	1939	昭和14年	9	新秋と楽人		杜神泉
364	1939	昭和14年	9	新曲「榮光」の曲趣		實兼咲山
364	1939	昭和14年	9	札幌紀行		五十嵐疎山
365	1939	昭和14年	10	我等の責務		杜神泉
365	1939	昭和14年	10	役法子		吉田秦山
366	1939	昭和14年	11	模倣を戒む		杜神泉
366	1939	昭和14年	11	恩寵		里村佩山
366	1939	昭和14年	11	晩香坡渡航船中日記(1)		長野済山
367	1939	昭和14年	12	昭和十四年度都山流楽報総目次		
367	1939	昭和14年	12	送年の辞		杜神泉
367	1939	昭和14年	12	尺八指導概論		橋本暁山
367	1939	昭和14年	12	恩寵(下)		里村佩山
367	1939	昭和14年	12	白衣の勇士に教授して		石川旋山
367	1939	昭和14年	12	晩香坡渡航船中日記(2)		長野済山
368	1940	昭和15年	1	新年言志		杜神泉
368	1940	昭和15年	1	都山流年表		
368	1940	昭和15年	1	研究楽団「新協社」設立に際して		板倉羽山
368	1940	昭和15年	1	清元と尺八		田中允山
368	1940	昭和15年	1	大心海	連載第一回	小濱了山
369	1940	昭和15年	2	餞昇格諸氏		杜神泉
369	1940	昭和15年	2	管属吹奏の要諦		三浦圭三
369	1940	昭和15年	2	番組の統制		岡本葉山
369	1940	昭和15年	2	天平時代の音楽		田邊尚雄
370	1940	昭和15年	3	評議員当選		杜神泉
370	1940	昭和15年	3	感激の一刻		小濱了山
371	1940	昭和15年	4	春は諭す		杜神泉
371	1940	昭和15年	4	三曲の社会的進出		藤田斗南
373	1940	昭和15年	6	檀那主義		杜神泉
373	1940	昭和15年	6	新尺八楽論		磨磚洞主人
374	1940	昭和15年	7	檄流人諸氏		杜神泉
375	1940	昭和15年	8	質実剛健		杜神泉
375	1940	昭和15年	8	明日の音楽		小濱了山
376	1940	昭和15年	9	大都山流の誇		杜神泉
376	1940	昭和15年	9	「邦楽旋律」私見(1)		櫻井忠
376	1940	昭和15年	9	二千六百人の尺八大行進		
377	1940	昭和15年	10	呈満支流人		杜神泉
377	1940	昭和15年	10	尺八と洞簫と一節切と		田邊尚雄
377	1940	昭和15年	10	「邦楽旋律」私見(2)		櫻井忠
377	1940	昭和15年	10	評論性と実行性		小濱了山
377	1940	昭和15年	10	宗家の大陸巡演を迎ふ		里村佩山
378	1940	昭和15年	11	音楽報国		杜神泉
378	1940	昭和15年	11	「邦楽旋律」私見(3)		櫻井忠
378	1940	昭和15年	11	都山流四十五周年に就て		里村佩山
378	1940	昭和15年	11	東京から神戸		岡本葉山
379	1940	昭和15年	12	送年辞		杜神泉
379	1940	昭和15年	12	「邦楽旋律」私見(4)		櫻井忠
379	1940	昭和15年	12	戦傷後療法と尺八		尾坂攀山
379	1940	昭和15年	12	和音感教育について		都築紅山
379	1940	昭和15年	12	都山流尺八コンクール		杜神泉
379	1940	昭和15年	12	米人に箏と尺八で日本文化を紹介		久都内速山
380	1941	昭和16年	1	敬神の徳		杜神泉
380	1941	昭和16年	1	都山先生の大業を讃ふ(上)		建部二山
380	1941	昭和16年	1	四十五周年		杜神泉

381	1941	昭和16年	2	都山先生の大業を讃ふ(下)		建部二山
381	1941	昭和16年	2	都山流の新体制と准師範試験について		小濱了山
381	1941	昭和16年	2	雑想		市村榿山
382	1941	昭和16年	3	日本音楽の海外雄飛		杜神泉
382	1941	昭和16年	3	皇国の優秀性		金森義雄
382	1941	昭和16年	3	流名考現学		小濱了山
382	1941	昭和16年	3	建国の調べ高らか		今西硯山
382	1941	昭和16年	3	内地を去るに臨みて		尾坂攀山
382	1941	昭和16年	3	レコードと音楽		富田都曳
382	1941	昭和16年	3	雑想		市村榿山
382	1941	昭和16年	3	楽理と作譜問題解法	連載第一回	中山恵津山
383	1941	昭和16年	4	芸術の恩恵		杜神泉
383	1941	昭和16年	4	趣味の魔力		太宰施門
383	1941	昭和16年	4	意志と健康と而して終始一貫の人		幣原坦
383	1941	昭和16年	4	一芸に秀づる人の力		松原寛
383	1941	昭和16年	4	世界人類の受くる妙音の感激		片山昇
383	1941	昭和16年	4	都山流の四十二の厄歳は乗り切った		田邉尚雄
383	1941	昭和16年	4	芸術によって本当の文化の花が咲く		山岡満之助
383	1941	昭和16年	4	新体制と三曲		藤田斗南
383	1941	昭和16年	4	四十五周年記念の自祝晩餐会		
384	1941	昭和16年	5	模範楽団		杜神泉
384	1941	昭和16年	5	希くは我が国尺八界の指導に当たれ		松本富三
384	1941	昭和16年	5	芸術家と予感		三浦圭三
384	1941	昭和16年	5	「戦陣訓」の音楽家に與ふる教訓(1)		小濱了山
385	1941	昭和16年	6	外地と楽器		杜神泉
385	1941	昭和16年	6	「誠」の心を神が感應されたのである		田中俊清
385	1941	昭和16年	6	尺八を以て世界平和に貢献せよ		井野邊天籟
385	1941	昭和16年	6	淀川の流れの如く変わらぬ		田中勲
385	1941	昭和16年	6	先祖代々芸術の香高き家柄		浦谷清
385	1941	昭和16年	6	芸術家と予感(2)		三浦圭三
385	1941	昭和16年	6	「戦陣訓」の音楽家に與ふる教訓(2)		小濱了山
385	1941	昭和16年	6	国民音楽の創生を目指して		藤田斗南
385	1941	昭和16年	6	感想		小濱了山
385	1941	昭和16年	6	都山流邦楽報国会の発足に当たりて		國谷雅恵山
386	1941	昭和16年	7	強者は勝つ		杜神泉
386	1941	昭和16年	7	芸術家と予感(3)		三浦圭三
386	1941	昭和16年	7	近代の箏		田邉尚雄
386	1941	昭和16年	7	農学校における尺八教育の実際(1)		
386	1941	昭和16年	7	瞑想から醒めて		小濱了山
387	1941	昭和16年	8	昨是今非		杜神泉
387	1941	昭和16年	8	芸術家と予感(4)		三浦圭三
387	1941	昭和16年	8	家庭と芸術		小濱了山
387	1941	昭和16年	8	農学校における尺八教育の実際(2)		
387	1941	昭和16年	8	趣味としての尺八		小池玲山
388	1941	昭和16年	9	時言一則		杜神泉
388	1941	昭和16年	9	練成		金森高山
388	1941	昭和16年	9	余白		小濱了山
388	1941	昭和16年	9	趣味としての尺八		小池玲山
388	1941	昭和16年	9	国民音楽としての尺八楽		今井百山
388	1941	昭和16年	9	洋楽家の新日本音楽論		市子津次郎
389	1941	昭和16年	10	昇格者諸氏		杜神泉
389	1941	昭和16年	10	国民学校芸能科音楽について		都築紅山
389	1941	昭和16年	10	三曲界の新体制		藤田斗南
389	1941	昭和16年	10	産業戦士に尺八を		岡本公山
389	1941	昭和16年	10	帰去来		富田都曳
390	1941	昭和16年	11	総力の基本		杜神泉
390	1941	昭和16年	11	芸術の第一義諦		小濱了山
390	1941	昭和16年	11	国民学校と新日本音楽		高木椙山

390	1941	昭和16年	11	驚くべき音楽の力		
390	1941	昭和16年	11	風流談義		井上毎山
390	1941	昭和16年	11	今や努力の好機		今井百山
391	1941	昭和16年	12	送年辞		杜神泉
391	1941	昭和16年	12	生活の芸術化と娯楽問題		金森義雄
391	1941	昭和16年	12	芸術論(上)		小濱了山
391	1941	昭和16年	12	白衣の勇士諸君に教授して満二ヶ年半		渡邊軒山
391	1941	昭和16年	12	雑信		原田玄山
392	1942	昭和17年	1	石川県邦楽協会成る		山口薫山
392	1942	昭和17年	1	興亜第二年		杜神泉
392	1942	昭和17年	1	芸術論(下)		小濱了山
392	1942	昭和17年	1	新日本音楽完成への一考察		今井百山
392	1942	昭和17年	1	昭和十六年都山流年表		
392	1942	昭和17年	1	松江陸軍病院に於ける尺八指導状況		小見澤燕山
393	1942	昭和17年	2	自楽の境		杜神泉
393	1942	昭和17年	2	音楽の本体		田邉尚雄
393	1942	昭和17年	2	戦争と芸術		小濱了山
393	1942	昭和17年	2	名人達人とその心境		杜神泉
394	1942	昭和17年	3	二月十五日		杜神泉
394	1942	昭和17年	3	征戦の門人を送りて		西川都朋
394	1942	昭和17年	3	白衣勇士合奏研究会		渡邊軒山
395	1942	昭和17年	4	新役員諸氏		杜神泉
395	1942	昭和17年	4	流人の進むべき路		久良木都楊
395	1942	昭和17年	4	楽壇近頃の話題		土肥篁雨山
396	1942	昭和17年	5	健全なる娯楽		杜神泉
396	1942	昭和17年	5	日本音楽の本質		田邉尚雄
396	1942	昭和17年	5	芸術精進の佳話(1)		三浦圭三
396	1942	昭和17年	5	「都山流挺身報国隊」組織の提唱		小濱了山
396	1942	昭和17年	5	日本音楽文化		藤田斗南
396	1942	昭和17年	5	大東亜戦の散華		西川都朋
396	1942	昭和17年	5	葵会新曲「世紀の黎明」試演を聴く		杜神泉
397	1942	昭和17年	6	指導と協力		杜神泉
397	1942	昭和17年	6	戦争と芸術		小濱了山
397	1942	昭和17年	6	芸術精進の佳話(2)		三浦圭三
397	1942	昭和17年	6	決死の尺八「君が代」		
397	1942	昭和17年	6	国民服颯爽たる宗家		今井百山
397	1942	昭和17年	6	護国神社尺八献楽慰霊祭		齋藤岱意山
398	1942	昭和17年	7	吾人の覚悟		杜神泉
398	1942	昭和17年	7	芸術精進の佳話(3)		三浦圭三
398	1942	昭和17年	7	音楽と我らの使命(1)		四村都庄
398	1942	昭和17年	7	勤皇志士と其の音楽	連載第一回	右近凡淡
399	1942	昭和17年	8	時感一則		杜神泉
399	1942	昭和17年	8	芸術精進の佳話(4)		三浦圭三
399	1942	昭和17年	8	音楽と我らの使命(2)		四村都庄
399	1942	昭和17年	8	後進の疑問		高橋信乃
400	1942	昭和17年	9	楽人の責務		杜神泉
400	1942	昭和17年	9	全体主義		小濱了山
400	1942	昭和17年	9	思うことの二三		中山都單
400	1942	昭和17年	9	最近の思ひ出		濱田鴎山
401	1942	昭和17年	10	報国の道(1)		小濱了山
401	1942	昭和17年	10	縦談横議	連載第一回	里村佩山
402	1942	昭和17年	11	建国中周年慶祝行事と新京試験に就て		秋元薩山
402	1942	昭和17年	11	祝昇格		杜神泉
402	1942	昭和17年	11	新京と山陽に使して		池田静山
403	1942	昭和17年	12	演奏会と芸能奉公		小濱了山
403	1942	昭和17年	12	箏曲教授法の変遷		藤田斗南
403	1942	昭和17年	12	楽者道也		藤本柳山
404	1943	昭和18年	1	迎年の辞		杜神泉

	404	1943	昭和18年	1	年頭所感		金森高山	
	404	1943	昭和18年	1	都山流年表			
	404	1943	昭和18年	1	和歌山県翼賛文化聯盟結成と行事			
	405	1943	昭和18年	2	精神の練成		杜神泉	
	405	1943	昭和18年	2	銃後の生活と音楽		藤田斗南	
	405	1943	昭和18年	2	報国の道		小濱了山	
	405	1943	昭和18年	2	検定試験の受験者に対して		佐野繰人	
	405	1943	昭和18年	2	竹の「顔」		出口建山	
	406	1943	昭和18年	3	戦時の意識高揚		杜神泉	
	406	1943	昭和18年	3	基本音符音程練習譜について		橋本暁山	
	407	1943	昭和18年	4	療養効果		杜神泉	
	407	1943	昭和18年	4	傷痍軍人療養所慰問について諸氏に希望す		中尾都山	
	407	1943	昭和18年	4	皇恩		小濱了山	
	407	1943	昭和18年	4	箏曲と地歌の変遷		藤田斗南	
	407	1943	昭和18年	4	宗家若先生の御近況		矢吹汪山	
	408	1943	昭和18年	5	国体明徴		杜神泉	
	408	1943	昭和18年	5	傷痍軍人大阪療養所慰問演奏の記		杜神泉	
	409	1943	昭和18年	6	吾等の覚悟		杜神泉	
	409	1943	昭和18年	6	私の誤謬		小濱了山	
	409	1943	昭和18年	6	故里村佩山氏のことども		佐野繰人	
	409	1943	昭和18年	6	物故師匠慰霊法要と懇親会		杜神泉	
	409	1943	昭和18年	6	白衣勇士の力奏		加勢夕伊山	
	410	1943	昭和18年	7	存在価値		杜神泉	
	411	1943	昭和18年	8	火も亦涼し		杜神泉	
	411	1943	昭和18年	8	歴史について		小濱了山	
	412	1943	昭和18年	9	楽しみと歓び		杜神泉	
	412	1943	昭和18年	9	生と死(1)		小濱了山	
	412	1943	昭和18年	9	絲竹夜話	(国文学抄)	三浦圭三	
	413	1943	昭和18年	10	戦時と音楽		杜神泉	
	413	1943	昭和18年	10	生と死(2)		小濱了山	
	414	1943	昭和18年	11	以和為貴		杜神泉	
	414	1943	昭和18年	11	生と死(3)		小濱了山	
	415	1943	昭和18年	12	滅私奉公		杜神泉	
	415	1943	昭和18年	12	生と死(4)		小濱了山	
	415	1943	昭和18年	12	満支への使命を果たして		岡田浦山	
	415	1943	昭和18年	12	倉川簫山先生墓碑建立記		実兼咲山	
	415	1943	昭和18年	12	決戦下と演奏会		三浦藝山	
	415	1943	昭和18年	12	中支前線から		吉岡祝山	
	416	1944	昭和19年	1	迎歳所感		杜神泉	
	416	1944	昭和19年	1	決戦第三年を迎へて		小濱了山	
	416	1944	昭和19年	1	昭和十八年都山流年表			
	416	1944	昭和19年	1	所感		山村早山	
	417	1944	昭和19年	2	日本精神と音楽		杜神泉	
	417	1944	昭和19年	2	芸術の護国性		小濱了山	
	418	1944	昭和19年	3	休刊の辞		杜神泉	
	418	1944	昭和19年	3	本誌休刊について		中尾都山	
	418	1944	昭和19年	3	新日本音楽と古典箏曲		藤田斗南	
	418	1944	昭和19年	3	回顧三十年		杜神泉	
都山流通報	419 | 435	1944 | 1952	昭和19年 昭和27年	11 3				都山流宗家
都山流楽報	436	1952	昭和27年	9	楽報復刊に当たりて		中尾都山	島田貞二
	436	1952	昭和27年	9	楽報復刊に際して		金森高山	
	436	1952	昭和27年	9	楽報の復刊に際して		上田貫山	
	436	1952	昭和27年	9	楽報復刊の喜び		星出潮山	
	436	1952	昭和27年	9	天山荘樂談	150	田辺尚雄	
	436	1952	昭和27年	9	樂窓夜話	200	金森高山	
	436	1952	昭和27年	9	樂曲の解剖	1	星出潮山・河内杏山	

436	1952	昭和27年	9	御挨拶			中尾都山
436	1952	昭和27年	9	楽曲の解剖	連載第一回		星出潮山　河内杏山
436	1952	昭和27年	9	東京便り			仲子玉山
437	1952	昭和27年	7	天山荘樂談		151	田辺尚雄
437	1952	昭和27年	7	樂窓夜話		201	金森高山
437	1952	昭和27年	7	樂曲の解剖		2	星出潮山・河内杏山
437	1952	昭和27年	7	其蜩堂随筆	連載第一回		杜神泉
437	1952	昭和27年	7	大都山流の基礎			田中義一
437	1952	昭和27年	7	当流尺八に関する私見			河内杏山
437	1952	昭和27年	7	新居浜試験に随伴して			森田鸞山
437	1952	昭和27年	7	東京都准師範試験委員を拝命して			富井舜山
437	1952	昭和27年	7	五百人の大舞台に出演して			藤田紫山
437	1952	昭和27年	7	東京便り			仲子玉山
437	1952	昭和27年	7	布哇通信			
437	1952	昭和27年	7	神戸楽信			中山敞山
437	1952	昭和27年	7	復刊に寄す			山崎北山
437	1952	昭和27年	7	復刻第一号を手にして			森行山
438	1953	昭和28年	1	謹賀新年			中尾都山
438	1953	昭和28年	1	天山荘樂談		152	田辺尚雄
438	1953	昭和28年	1	樂窓夜話		202	金森高山
438	1953	昭和28年	1	其蜩堂随筆	癸己新春		杜神泉
438	1953	昭和28年	1	「磯の松風」について			星出潮山
438	1953	昭和28年	1	「磯の松風」を讃ふ			島原帆山
438	1953	昭和28年	1	病窓より			矢吹汪山
438	1953	昭和28年	1	楽報復刊に期待するもの大			角田梧山
438	1953	昭和28年	1	都山流楽報の復刊を喜びて			林彦山
438	1953	昭和28年	1	伊賀蘭山三十周年記念都山流尺八演奏会記			河野綏樹山
438	1953	昭和28年	1	東京便り			仲子玉山
438	1953	昭和28年	1	廣島樂信			永田順山
439	1953	昭和28年	4	天山荘樂談		153	田辺尚雄
439	1953	昭和28年	4	樂窓夜話		203	金森高山
439	1953	昭和28年	4	樂曲の解剖			星出潮山・河内杏山
439	1953	昭和28年	4	其蜩堂随筆	弥生三月		杜神泉
439	1953	昭和28年	4	楽報記者カケダシ時代		1	杜神泉
440	1953	昭和28年	7	日本芸術院賞拝受について			中尾都山
440	1953	昭和28年	7	天山荘樂談		154	田辺尚雄
440	1953	昭和28年	7	樂窓夜話		204	金森高山
440	1953	昭和28年	7	樂曲の解剖			星出潮山・河内杏山
440	1953	昭和28年	7	其蜩堂随筆			杜神泉
440	1953	昭和28年	7	都山流史をひもどきて	連載第一回		上田起山
440	1953	昭和28年	7	楽報記者カケダシ時代		2	杜神泉
441	1953	昭和28年	10	天山荘樂談		155	田辺尚雄
441	1953	昭和28年	10	樂窓夜話		205	金森高山
441	1953	昭和28年	10	都山流史をひもどいて		2	上田起山
441	1953	昭和28年	10	尺八の選択について			橋本暁山
441	1953	昭和28年	10	尺八改良に関する実験			河内杏山
441	1953	昭和28年	10	新国際音階を都山流尺八に採用方に就て			星出潮山、河内杏山
442	1954	昭和29年	1	都山流史をひもどきて	（三）		上田起山
442	1954	昭和29年	1	其蜩堂随筆			杜神泉
442	1954	昭和29年	1	新純正調律管について			橋本暁山
442	1954	昭和29年	1	尺八の教へ方と教わり方			
442	1954	昭和29年	1	楽報記者カケダシ時代		3	杜神泉
443	1954	昭和29年	4	天山荘樂談			田辺尚雄
443	1954	昭和29年	4	樂窓夜話		206	金森高山
443	1954	昭和29年	4	都山流史をひもどきて	（四）		上田起山
443	1954	昭和29年	4	陰旋法の調名について			中村悟山
444	1954	昭和29年	6	陰旋法の調名について		2	中村悟山
444	1954	昭和29年	6	受験のしるべ	作譜問題の考へ方		杏山人

444	1954	昭和29年	6	音譜速記法の研究		藤井隆山
444	1954	昭和29年	6	修業者の思想の変遷		菅谷静陽
444	1954	昭和29年	6	俗楽旋法の母胎		河内杏山
445	1954	昭和29年	9	受験のしるべ	作譜問題の考へ方	杏山人
446	1954	昭和29年	11	古希庵速語		龍鐘野曳
446	1954	昭和29年	11	受験のしるべ	作譜問題の考へ方	杏山人
447	1955	昭和30年	1	天山荘樂談	160	田辺尚雄
447	1955	昭和30年	1	樂窓夜話	209	金森高山
447	1955	昭和30年	1	樂曲の解剖	8	星出潮山・河内杏山
447	1955	昭和30年	1	都山流史をひもどきて	15	上田起山
447	1955	昭和30年	1	巻頭の辞		杜神泉
447	1955	昭和30年	1	古稀庵迷語		龍鐘野曳
448	1955	昭和30年	4	天山荘樂談	161	田辺尚雄
448	1955	昭和30年	4	樂曲の解剖	9	星出潮山・河内杏山
448	1955	昭和30年	4	都山流史をひもどきて	16	上田起山
448	1955	昭和30年	4	其調堂随筆		杜神泉
448	1955	昭和30年	4	受験のしるべ	作譜問題の考へ方	杏山人
448	1955	昭和30年	4	音譜と音律の関係について		橋本暁山
448	1955	昭和30年	4	獅子について		河内杏山
448	1955	昭和30年	4	短管尺八の試作		河内杏山
449	1955	昭和30年	5	天山荘樂談	162	田辺尚雄
449	1955	昭和30年	5	樂窓夜話	210	金森高山
449	1955	昭和30年	5	「磯の松風・瑞光」所見		都築紅山
449	1955	昭和30年	5	都山流史をひもどきて	17	上田起山
449	1955	昭和30年	5	其調堂随筆		杜神泉
449	1955	昭和30年	5	獅子について(下)		河内杏山
450	1955	昭和30年	7	天山荘樂談	163	田辺尚雄
450	1955	昭和30年	7	樂窓夜話	211	金森高山
450	1955	昭和30年	7	樂曲の解剖	10	星出潮山・河内杏山
450	1955	昭和30年	7	都山流史をひもどきて	18	上田起山
450	1955	昭和30年	7	其調堂随筆		杜神泉
451	1955	昭和30年	9	天山荘樂談	164	田辺尚雄
451	1955	昭和30年	9	樂窓夜話	212	金森高山
451	1955	昭和30年	9	都山流史をひもどきて	19	上田起山
451	1955	昭和30年	9	其調堂随筆		杜神泉
452	1955	昭和30年	11	天山荘樂談	165	田辺尚雄
452	1955	昭和30年	11	樂窓夜話	213	金森高山
452	1955	昭和30年	11	樂曲の解剖	11	星出潮山・河内杏山
452	1955	昭和30年	11	都山流史をひもどきて	20	上田起山
452	1955	昭和30年	11	其調堂随筆		杜神泉
453	1956	昭和31年	1	天山荘樂談	166	田辺尚雄
453	1956	昭和31年	1	樂窓夜話	214	金森高山
453	1956	昭和31年	1	樂曲の解剖	12	星出潮山・河内杏山
453	1956	昭和31年	1	都山流史をひもどきて	21	上田起山
453	1956	昭和31年	1	其調堂随筆		杜神泉
453	1956	昭和31年	1	当道由来記(3)		河内杏山
453	1956	昭和31年	1	「幻想の文覚」について		都築紅山
453	1956	昭和31年	1	山人独語	連載第一回	詩道山人
453	1956	昭和31年	1	「幻想の文覚」について		都築紅山
454	1956	昭和31年	4	天山荘樂談	167	田辺尚雄
454	1956	昭和31年	4	樂窓夜話	215	金森高山
454	1956	昭和31年	4	樂曲の解剖	13	星出潮山・河内杏山
454	1956	昭和31年	4	山人独語	2	詩道山人
454	1956	昭和31年	4	都山流史をひもどきて	22	上田起山
454	1956	昭和31年	4	其調堂随筆		杜神泉
455	1956	昭和31年	6	天山荘樂談	168	田辺尚雄
455	1956	昭和31年	6	樂窓夜話	215	金森高山
455	1956	昭和31年	6	山人独語	3	詩道山人

455	1956	昭和31年	6	都山流史をひもどきて	22	蘇翁山人	
456	1956	昭和31年	8	天山荘樂談	168	田辺尚雄	
456	1956	昭和31年	8	樂窓夜話	216	金森高山	
456	1956	昭和31年	8	山人独語	4	詩道山人	
456	1956	昭和31年	8	都山流史をひもどきて	23	蘇翁山人	
456	1956	昭和31年	8	樂曲の解剖	14	星出潮山・河内杏山	
456	1956	昭和31年	8				
457	1957	昭和32年	1	弔辞			都山流楽報社
457	1957	昭和32年	1	流葬記			
457	1957	昭和32年	1	流祖中尾都山先生の御逝去まで			
457	1957	昭和32年	1	流祖を偲びて			
458	1957	昭和32年	2	閑日無題		田中義一	
458	1957	昭和32年	2	指揮法の実際	連載第一回	金森高山	
458	1957	昭和32年	2	私の好きな曲	連載第一回	河内杏山	
458	1957	昭和32年	2	獅子について			
459	1957	昭和32年	4	天山荘楽談	171	田辺尚雄	
459	1957	昭和32年	4	楽窓夜話	219	金森高山	
459	1957	昭和32年	4	山人独語	6	詩道山人	
459	1957	昭和32年	4	流政四十年の歩み		上田貫山	
459	1957	昭和32年	4	指揮法の実際	2	金森高山	
459	1957	昭和32年	4	私の好きな曲	2	河内杏山	
459	1957	昭和32年	4	笹屋集記	連載第一回	中尾治正	
460	1957	昭和32年	6	天山荘楽談	172	田辺尚雄	
460	1957	昭和32年	6	楽窓夜話	220	金森高山	
460	1957	昭和32年	6	山人独語	7	詩道山人	
460	1957	昭和32年	6	評議会議事録			
460	1957	昭和32年	6	指揮法の実際	3	金森高山	
460	1957	昭和32年	6	都山流グラフ			
460	1957	昭和32年	6	私の好きな曲	3	河内杏山	
460	1957	昭和32年	6	笹屋集記	2	中尾治正	
461	1957	昭和32年	8	天山荘楽談	173	田辺尚雄	
461	1957	昭和32年	8	京地唄		猪熊兼繁	
461	1957	昭和32年	8	楽窓夜話	221	金森高山	
461	1957	昭和32年	8	山人独語	8	詩道山人	
461	1957	昭和32年	8	続評議会議事録			
461	1957	昭和32年	8	都山流グラフ			
461	1957	昭和32年	8	私の好きな曲	4	河内杏山	
461	1957	昭和32年	8	鶯春亭奇語		藤田久彌	
462	1957	昭和32年	10	天山荘楽談	174	田辺尚雄	
462	1957	昭和32年	10	笹屋集記	3	中尾治正	
462	1957	昭和32年	10	楽窓夜話	222	金森高山	
462	1957	昭和32年	10	私の好きな曲	5	河内杏山	
462	1957	昭和32年	10	指揮法の実際	5	金森高山	
462	1957	昭和32年	10	七尾市における准試問題について		中尾治正	
463	1958	昭和33年	1	天山荘楽談	175	田辺尚雄	
463	1958	昭和33年	1	笹屋集記	4	中尾治正	
463	1958	昭和33年	1	楽窓夜話	223	金森高山	
463	1958	昭和33年	1	楽想千一夜（一）	1	宮下秀洌・山川園松	
463	1958	昭和33年	1	モスクワに旅して（上）		二代北原篁山（以下二代略）	
463	1958	昭和33年	1	私の好きな曲	5	河内杏山	
464	1958	昭和33年	3	天山荘楽談	175	田辺尚雄	
464	1958	昭和33年	3	笹屋集記	5	中尾治正	
464	1958	昭和33年	3	楽窓夜話	224	金森高山	
464	1958	昭和33年	3	楽想千一夜（二）	2	菊井松音・星出潮山・実兼咲山	
464	1958	昭和33年	3	指揮法の実際	6	金森高山	
464	1958	昭和33年	3	モスクワに旅して（下）		北原篁山	
464	1958	昭和33年	3	私の好きな曲	6	河内杏山	
464	1958	昭和33年	3	天山荘楽談	177	田辺尚雄	

465	1958	昭和33年	5	笹屋集記	6	中尾治正
465	1958	昭和33年	5	楽窓夜話	225	金森高山
465	1958	昭和33年	5	楽想千一夜(三)	3	萩原正吟・金森高山・高野喜長
465	1958	昭和33年	5	私の好きな曲	7	河内杏山
466	1958	昭和33年	7	天山荘楽談	178	田辺尚雄
466	1958	昭和33年	7	笹屋集記	7	中尾治正
466	1958	昭和33年	7	楽窓夜話	226	金森高山
466	1958	昭和33年	7	楽想千一夜(四)		菊原初子・大橋鴻山・西原波玖山
467	1958	昭和33年	9	天山荘楽談	179	田辺尚雄
467	1958	昭和33年	9	笹屋集記	8	中尾治正
467	1958	昭和33年	9	楽窓夜話	227	金森高山
467	1958	昭和33年	9	「楽曲の解説」について		実兼咲山
467	1958	昭和33年	9	楽想千一夜(五)		山川園松・金森高山・宮下秀冽
468	1958	昭和33年	11	天山荘楽談	180	田辺尚雄
468	1958	昭和33年	11	笹屋集記	9	中尾治正
468	1958	昭和33年	11	楽窓夜話	228	金森高山
468	1958	昭和33年	11	私の好きな曲	8	河内杏山
468	1958	昭和33年	11	楽想千一夜(六)		実兼咲山・山川園松・佐藤清波・中塩幸祐
468	1958	昭和33年	11	都山流宗家講習会記		都築紅山
469	1959	昭和34年	1	天山荘楽談	181	田辺尚雄
469	1959	昭和34年	1	楽窓夜話	229	金森高山
469	1959	昭和34年	1	楽想千一夜(七)	7	高野喜長・中塩幸祐・河内杏山
470	1959	昭和34年	3	天山荘楽談	182	田辺尚雄
470	1959	昭和34年	3	笹屋集記	10	中尾治正
470	1959	昭和34年	3	楽窓夜話	230	金森高山
470	1959	昭和34年	3	楽想千一夜(八)	8	実兼咲山・都築紅山・中塩幸祐
471	1959	昭和34年	5	天山荘楽談	183	田辺尚雄
471	1959	昭和34年	5	笹屋集記	11	中尾治正
471	1959	昭和34年	5	楽窓夜話	231	金森高山
471	1959	昭和34年	5	楽想千一夜(九)	9	河内杏山・星出潮山・中塩幸祐・都築紅山
472	1959	昭和34年	7	天山荘楽談	184	田辺尚雄
472	1959	昭和34年	7	笹屋集記	12	中尾治正
472	1959	昭和34年	7	楽窓夜話	232	金森高山
472	1959	昭和34年	7	楽想千一夜(十)	10	都築紅山・中塩幸祐
473	1959	昭和34年	9	天山荘楽談	185	田辺尚雄
473	1959	昭和34年	9	楽窓夜話	233	金森高山
473	1959	昭和34年	9	都山流本曲コンクール		
473	1959	昭和34年	9	楽想千一夜(十一)	11	河内杏山
474	1959	昭和34年	11	天山荘楽談	186	田辺尚雄
474	1959	昭和34年	11	楽窓夜話	234	金森高山
474	1959	昭和34年	11	楽想千一夜(十二)	12	河内杏山・山川園松
475	1960	昭和35年	1	天山荘楽談	187	田辺尚雄
475	1960	昭和35年	1	笹屋集記	13	中尾治正
475	1960	昭和35年	1	楽窓夜話	235	金森高山
475	1960	昭和35年	1	楽想千一夜(十三)	13	河内杏山
475	1960	昭和35年	1	台風のツメ跡		
476	1960	昭和35年	3	故池田静山流葬記		
476	1960	昭和35年	3	天山荘楽談	188	田辺尚雄
476	1960	昭和35年	3	笹屋集記	14	中尾治正
476	1960	昭和35年	3	楽窓夜話	236	金森高山
476	1960	昭和35年	3	楽想千一夜(十四)	14	河内杏山
477	1960	昭和35年	5	天山荘楽談	189	田辺尚雄
477	1960	昭和35年	5	楽窓夜話	237	金森高山
477	1960	昭和35年	5	楽想千一夜(十五)	15	河内杏山
477	1960	昭和35年	5	新しい指揮法について	1	金森高山
478	1960	昭和35年	7	天山荘楽談	190	田辺尚雄

478	1960	昭和35年	7	笹屋集記	15	中尾治正
478	1960	昭和35年	7	楽窓夜話	238	金森高山
478	1960	昭和35年	7	楽想千一夜(十六)	16	河内杏山・福田杏州・一柳画山
478	1960	昭和35年	7	新しい指揮法について(2)	2	金森高山
479	1960	昭和35年	9	天山荘楽談	191	田辺尚雄
479	1960	昭和35年	9	楽窓夜話	239	金森高山
479	1960	昭和35年	9	楽想千一夜(十七)	17	河内杏山・筑紫歌都子
479	1960	昭和35年	9	新しい指揮法について(3)	3	金森高山
480	1960	昭和35年	11	天山荘楽談	192	田辺尚雄
480	1960	昭和35年	11	笹屋集記	16	中尾治正
480	1960	昭和35年	11	楽窓夜話	248	金森高山
480	1960	昭和35年	11	楽想千一夜(十八)	18	河内杏山
481	1961	昭和36年	1	天山荘楽談	193	田辺尚雄
481	1961	昭和36年	1	楽窓夜話	241	金森高山
481	1961	昭和36年	1	声　陽旋法について		遠藤眠山
482	1961	昭和36年	3	天山荘楽談	194	田辺尚雄
482	1961	昭和36年	3	楽窓夜話	242	金森高山
482	1961	昭和36年	3	楽想千一夜　秋夜の賦について、菊原検校について(上)	19	河内杏山
482	1961	昭和36年	3	声　新春妄想		迫田湶以山
483	1961	昭和36年	5	天山荘楽談	195	田辺尚雄
483	1961	昭和36年	5	楽窓夜話	243	金森高山
483	1961	昭和36年	5	眠山竹林軒を偲んで		加勢夕伊山
483	1961	昭和36年	5	嗚呼眠山師今や亡し		藤田大山
483	1961	昭和36年	5	楽想千一夜　菊原検校について(中)		河内杏山
484	1961	昭和36年	7	天山荘楽談	196	田辺尚雄
484	1961	昭和36年	7	楽窓夜話	244	金森高山
484	1961	昭和36年	7	楽想千一夜　菊原検校について(下)	21	河内杏山
485	1961	昭和36年	9	天山荘楽談	197	田辺尚雄
485	1961	昭和36年	9	楽窓夜話	245	金森高山
485	1961	昭和36年	9	楽想千一夜　宮城道雄とその作品	22	河内杏山
486	1961	昭和36年	11	天山荘楽談	198	田辺尚雄
486	1961	昭和36年	11	楽窓夜話	246	金森高山
486	1961	昭和36年	11	楽想千一夜　宮城道雄とその作品(二)	23	河内杏山
487	1962	昭和37年	1	天山荘楽談	199	田辺尚雄
487	1962	昭和37年	1	楽窓夜話	247	金森高山
487	1962	昭和37年	1	楽想千一夜　宮城道雄とその作品(三)	24	河内杏山
488	1962	昭和37年	3	天山荘楽談	200	田辺尚雄
488	1962	昭和37年	3	楽窓夜話	248	金森高山
488	1962	昭和37年	3	楽想千一夜　宮城道雄とその作品(四)	25	河内杏山
488	1962	昭和37年	3	都山流楽譜における甲乙について		西原波玖山
489	1962	昭和37年	5	天山荘楽談	201	田辺尚雄
489	1962	昭和37年	5	楽窓夜話	249	金森高山
489	1962	昭和37年	5	楽想千一夜　笹の露	26	河内杏山
489	1962	昭和37年	5	流祖頌徳碑建設募金趣意書		
490	1962	昭和37年	7	天山荘楽談	202	田辺尚雄
490	1962	昭和37年	7	楽窓夜話	250	金森高山
490	1962	昭和37年	7	追悼記事　仲子玉山師の死を悼む		一戸奥山
490	1962	昭和37年	7	ああ吾等がおやじ仲子先生		田中悦山
490	1962	昭和37年	7	井上毎山師のご逝去を悼む		横松尋山、吉田栄山
490	1962	昭和37年	7	横笛に想う		迫田湶以山
490	1962	昭和37年	7	楽想千一夜　夜々の星	27	河内杏山
491	1962	昭和37年	9	天山荘楽談	203	田辺尚雄
491	1962	昭和37年	9	楽窓夜話	251	金森高山
491	1962	昭和37年	9	追悼記事　一柳画山先生の死を悼む		福冨完冷
491	1962	昭和37年	9	故竹林軒高根致山君の死を悼む		牧野遼山
491	1962	昭和37年	9	竹林軒一柳画山を悼む		石本芝山
491	1962	昭和37年	9	続　横笛に想う		迫田湶以山
491	1962	昭和37年	9	楽想千一夜　八重衣	28	河内杏山

492	1962	昭和37年	11	天山荘楽談	204	田辺尚雄
492	1962	昭和37年	11	楽窓夜話	252	金森高山
492	1962	昭和37年	11	追悼記事　故今井越山師を偲んで		中塚昭山
492	1962	昭和37年	11	楽想千一夜　さむしろ	29	河内杏山
492	1962	昭和37年	11	声　都山流尺八5線譜制定を提唱する		富井輦山
492	1962	昭和37年	11	私の疑問		吉田謡越
493	1963	昭和38年	1	天山荘楽談	205	田辺尚雄
493	1963	昭和38年	1	楽窓夜話	253	金森高山
493	1963	昭和38年	1	流祖の建碑に寄せて		高橋啓三
493	1963	昭和38年	1	流祖頌徳碑竣工式に参列して		山口稜山
493	1963	昭和38年	1	全国大会委員長としての大任を果して		藤田紫山
493	1963	昭和38年	1	楽想千一夜　松竹梅	30	河内杏山
493	1963	昭和38年	1	大合奏に関するまとめ		富井輦山
493	1963	昭和38年	1	声　輦山氏の「五線譜制定を提唱」につづいて		西原波玖山
493	1963	昭和38年	1	都山流の灯		稲村頌山
494	1963	昭和38年	3	天山荘楽談	206	田辺尚雄
494	1963	昭和38年	3	楽窓夜話	254	金森高山
494	1963	昭和38年	3	藤田紫山君・植村章山君の追憶		永田彰山
494	1963	昭和38年	3	献楽の師藤田紫山先生のご逝去を悼む		田川籟山
494	1963	昭和38年	3	楽想千一夜　八嶋の鑑賞	31	河内杏山
494	1963	昭和38年	3	大合奏に関するまとめ（二）		富井輦山
494	1963	昭和38年	3	声　五線譜採用に関する西原案に対する考察		中村希山、
494	1963	昭和38年	3	色いろ		深海澄子
494	1963	昭和38年	3	藍綬褒章を拝受して		田中坡山
494	1963	昭和38年	3	本曲コンクールに参加して		沢井成童
495	1963	昭和38年	5	天山荘楽談	207	田辺尚雄
495	1963	昭和38年	5	楽窓夜話	255	金森高山
495	1963	昭和38年	5	楽想千一夜　宇治巡りについて	32	河内杏山
495	1963	昭和38年	5	大合奏に関するまとめ（三）		富井輦山
495	1963	昭和38年	5	声　作曲コンクール所感		実兼咲山
496	1963	昭和38年	7	天山荘楽談	208	田辺尚雄
496	1963	昭和38年	7	楽窓夜話	256	金森高山
496	1963	昭和38年	7	竹林軒藤村鳳山師を偲びて		石橋吾山
496	1963	昭和38年	7	楽想千一夜　滝づくし	33	河内杏山
496	1963	昭和38年	7	大合奏に関するまとめ（四）		富井輦山
496	1963	昭和38年	7	声		実兼咲山
497	1963	昭和38年	9	天山荘楽談	209	田辺尚雄
497	1963	昭和38年	9	楽窓夜話	257	金森高山
497	1963	昭和38年	9	楽想千一夜　桂男	34	河内杏山
497	1963	昭和38年	9	大合奏に関するまとめ（五）		石橋吾山
498	1963	昭和38年	11	天山荘楽談	210	田辺尚雄
498	1963	昭和38年	11	楽窓夜話	258	金森高山
498	1963	昭和38年	11	笹屋集記	17	中尾治正
498	1963	昭和38年	11	追悼記事　飯田君子さんを偲びて		菊原初子・永田彰山
498	1963	昭和38年	11	楽想千一夜　虫の声	35	河内杏山
499	1964	昭和39年	1	天山荘楽談	211	田辺尚雄
499	1964	昭和39年	1	笹屋集記	18	中尾治正
499	1964	昭和39年	1	楽窓夜話	259	金森高山
499	1964	昭和39年	1	楽想千一夜　根曳の松	36	河内杏山
500	1964	昭和39年	3	天山荘楽談	212	田辺尚雄
500	1964	昭和39年	3	笹屋集記	19	中尾治正
500	1964	昭和39年	3	楽窓夜話	260	金森高山
500	1964	昭和39年	3	楽想千一夜　金剛石・水は器	37	河内杏山
501	1964	昭和39年	5	天山荘楽談	213	田辺尚雄
501	1964	昭和39年	5	アラブ連合共和国第一回国際民俗芸術祭典参加報告		中島雅楽之都
501	1964	昭和39年	5	アラブ連合国の旅		高平艟山
501	1964	昭和39年	5	楽窓夜話	261	金森高山
501	1964	昭和39年	5	楽想千一夜　新浮舟の鑑賞	38	河内杏山

	502	1964	昭和39年	7	天山荘楽談	214	田辺尚雄	
	502	1964	昭和39年	7	楽窓夜話	262	金森高山	
	502	1964	昭和39年	7	楽想千一夜　新玉かづら	39	河内杏山	
	502	1964	昭和39年	7	追悼記事　上田貫山師流葬記		柳田褘山	
	502	1964	昭和39年	7	上田貫山師のご逝去を悼む		田村亭山・辻青山	
	502	1964	昭和39年	7	藤本柳山師のご逝去を悼む		川口九山	
	502	1964	昭和39年	7	船原揺山師の思い出		高平艟山	
	503	1964	昭和39年	9	天山荘楽談	215	田辺尚雄	
	503	1964	昭和39年	9	楽窓夜話	263	金森高山	
	503	1964	昭和39年	9	楽想千一夜　臼の声、宮廷譜、山の精・木の精、箏尺八に寄せる幻想曲、海の曙、この道一筋に生きる田島昇山師	40	河内杏山、斎藤松声、坂本勉、高野喜長、中塩幸祐、明桐山	
	504	1964	昭和39年	11	天山荘楽談	216	田辺尚雄	
	504	1964	昭和39年	11	楽窓夜話	264	金森高山	
	504	1964	昭和39年	11	楽想千一夜　墨絵の月、秋風吟	41	河内杏山、金森高山	
	504	1964	昭和39年	11	追悼記事　神田艶山君を偲んで		藤田宣山	
	504	1964	昭和39年	11	故神田艶山先生を偲んで		竹翠会	
	505	1965	昭和40年	1	天山荘楽談		田辺尚雄	
	505	1965	昭和40年	1	楽窓夜話		金森高山	
	505	1965	昭和40年	1	楽想千一夜　椿づくし	41	河内杏山	
	506	1965	昭和40年	3	天山荘楽談		田辺尚雄	
	506	1965	昭和40年	3	楽窓夜話		金森高山	
楽報	507	1965	昭和40年	5	天山荘楽談	219	田辺尚雄	都山流尺八楽会
	507	1965	昭和40年	5	楽窓夜話	267	金森高山	
	507	1965	昭和40年	5	楽想千一夜　夢路、神仙調短章、二葉のかおり	42	金森高山、星田一山、星出潮山	
	508	1965	昭和40年	7	天山荘楽談	220	田辺尚雄	
	508	1965	昭和40年	7	楽窓夜話	268	金森高山	
	508	1965	昭和40年	7	楽想千一夜　竹、二葉のかおり	43	山本邦山、都築紅山	
	509	1965	昭和40年	9	天山荘楽談	221	田辺尚雄	
	509	1965	昭和40年	9	楽窓夜話	269	金森高山	
	509	1965	昭和40年	9	追悼記事　二階堂須山君のご逝去を悼む		吉田韓山	
	509	1965	昭和40年	9	二階堂須山師を偲んで		高松元山	
	509	1965	昭和40年	9	頌徳碑の追憶		森田鸞山	
	509	1965	昭和40年	9	楽想千一夜　竹	43	山本邦山	
	510	1965	昭和40年	11	天山荘楽談	222	田辺尚雄	
	510	1965	昭和40年	11	楽窓夜話	270	金森高山	
	511	1966	昭和41年	1	天山荘楽談	223	田辺尚雄	
	511	1966	昭和41年	1	楽窓夜話	271	金森高山	
	512	1966	昭和41年	3	天山荘楽談	224	田辺尚雄	
	512	1966	昭和41年	3	楽窓夜話	272	金森高山	
	513	1966	昭和41年	5	天山荘楽談	225	田辺尚雄	
	513	1966	昭和41年	5	楽窓夜話	273	金森高山	
	514	1966	昭和41年	7	天山荘楽談	226	田辺尚雄	
	514	1966	昭和41年	7	楽窓夜話	274	金森高山	
	514	1966	昭和41年	7	都山流尺八楽器の新しい調律	鑑定方法（上）	橋本暁山	
	515	1966	昭和41年	9	天山荘楽談	227	田辺尚雄	
	515	1966	昭和41年	9	楽窓夜話	275	金森高山	
	515	1966	昭和41年	9	都山流尺八楽器の新しい調律	鑑定方法（下）	橋本暁山	
	516	1966	昭和41年	11	天山荘楽談	228	田辺尚雄	
		1966	昭和41年	11	楽窓夜話	276	金森高山	
		1966	昭和41年	11	追悼記事　田村亭山師を偲んで		前田芸山	
	517	1967	昭和42年	1	天山荘楽談	229	田辺尚雄	
	517	1967	昭和42年	1	楽窓夜話	249	金森高山	
	518	1967	昭和42年	3	天山荘楽談	230	田辺尚雄	
	518	1967	昭和42年	3	楽窓夜話	250	金森高山	
	518	1967	昭和42年	3	欧州楽信	（その一）	金森高山	
	518	1967	昭和42年	3	ソ連への音楽の旅		久保邦山	
	519	1967	昭和42年	5	天山荘楽談	231	田辺尚雄	
	519	1967	昭和42年	5	楽窓夜話	251	金森高山	

519	1967	昭和42年	5	欧州楽信	（その二）	金森高山
519	1967	昭和42年	5	アメリカ視察旅行	（一）	中尾都山
519	1967	昭和42年	5	潮山師を悼む		実兼咲山
519	1967	昭和42年	5	黒川晁山師逝かれる		入江前山
520	1967	昭和42年	7	天山荘楽談	232	田辺尚雄
520	1967	昭和42年	7	楽窓夜話	252	金森高山
520	1967	昭和42年	7	欧州楽信	（その三）	金森高山
520	1967	昭和42年	7	アメリカ視察旅行	（二）	中尾都山
520	1967	昭和42年	7	宗家御結婚披露宴の記		編集部
520	1967	昭和42年	7	祝辞		石清水八幡宮宮司　田中文麿
520	1967	昭和42年	7	祝辞		都山流尺八楽会理事　角田梧山
520	1967	昭和42年	7	追悼記事　中西蝶山師を偲ぶ		山本邦山
521	1967	昭和42年	9	天山荘楽談	233	田辺尚雄
521	1967	昭和42年	9	楽窓夜話	253	金森高山
521	1967	昭和42年	9	欧州楽信	（その四）	金森高山
521	1967	昭和42年	9	アメリカ視察旅行	（終）	中尾都山
521	1967	昭和42年	9	追悼記事　岡田浦山師を悼む		山の井葵村
521	1967	昭和42年	9	憶故三好寿山先生		宮下寿昭
522	1967	昭和42年	11	天山荘楽談	234	田辺尚雄
522	1967	昭和42年	11	楽窓夜話	254	金森高山
522	1967	昭和42年	11	欧州楽信	（その五）	金森高山
522	1967	昭和42年	11	技能指導員養成講習を終えて		沢井三山
523	1968	昭和43年	1	天山荘楽談	235	田辺尚雄
523	1968	昭和43年	1	楽想夜話	255	金森高山
523	1968	昭和43年	1	欧州楽信	（その六）	金森高山
524	1968	昭和43年	3	天山荘楽談	236	田辺尚雄
524	1968	昭和43年	3	楽窓夜話	256	金森高山
524	1968	昭和43年	3	欧州楽信	（その七）	金森高山
524	1968	昭和43年	3	追悼記事　嗚呼田中允山先生		清水岭山
525	1968	昭和43年	5	天山荘楽談	237	田辺尚雄
525	1968	昭和43年	5	楽窓夜話	257	金森高山
525	1968	昭和43年	5	故　星田一山先生楽会葬記と追憶		
525	1968	昭和43年	5	太平洋を渡る		本谷惣山
526	1968	昭和43年	5	天山荘楽談	238	田辺尚雄
526	1968	昭和43年	7	楽窓夜話	258	金森高山
526	1968	昭和43年	7	欧州楽信	（その八）	金森高山
526	1968	昭和43年	7	大橋鴻山師の追憶		加藤栖山、中村悟山、池田絲山、実兼咲山、長野済山、田中冬山、平元鴻都
526	1968	昭和43年	7	師匠故吉田幌山師を偲ぶ		高垣韻山
526	1968	昭和43年	7	研究論文　尺八の音律と歌口における流速の関係		西川理山
526	1968	昭和43年	7	普化禅師と臨済大師		近藤鏤山
526	1968	昭和43年	7	楽想千一夜　御所の秋、春の光、希望の春、古代の幻想、山里の春・みずうみの詩		富井輦山、久本玄智、三上澄恵、三上振作、盛岡章
527	1968	昭和43年	9	天山荘楽談	239	田辺尚雄
527	1968	昭和43年	9	楽窓夜話	259	金森高山
527	1968	昭和43年	9	師範定期昇格制についての私見と提案		山口龍山
527	1968	昭和43年	9	楽想千一夜　望郷の賦		実兼咲山
528	1968	昭和43年	11	天山荘楽談	240	田辺尚雄
528	1968	昭和43年	11	楽窓夜話	260	金森高山
528	1968	昭和43年	11	追悼記事　一戸奥山師の死を悼む		加藤栖山
528	1968	昭和43年	11	心友奥山を憶う		磯野茶山
528	1968	昭和43年	11	尺八のボリュームと気流の流速及び吹込み角度の関係		西川理山
528	1968	昭和43年	11	研究論文　尺八の音色の分析	（その一）	西川理山
529	1969	昭和44年	1	天山荘楽談	241	田辺尚雄
529	1969	昭和44年	1	楽窓夜話	261	金森高山
529	1969	昭和44年	1	流祖十三回忌追善演奏全国大会記		池田絲山
529	1969	昭和44年	1	都山流老兵の思い出		持永祐宣
529	1969	昭和44年	1	老人の寝言		岩田新山

529	1969	昭和44年	1	楠正勝		近藤鏤山
529	1969	昭和44年	1	研究論文　尺八の音色の分析	（その二）	西川理山
530	1969	昭和44年	3	天山荘楽談	242	田辺尚雄
530	1969	昭和44年	3	楽窓夜話	262	金森高山
530	1969	昭和44年	3	研究論文　尺八の音色の分析	（その三）	西川理山
530	1969	昭和44年	3	本曲の奏法について		加藤習宇山
530	1969	昭和44年	3	東京准師範試験を受験して		岩間篁峰
530	1969	昭和44年		自訓		橋本暁山
531	1969	昭和44年	5	天山荘楽談	243	田辺尚雄
531	1969	昭和44年	5	楽窓夜話	291	金森高山
531	1969	昭和44年	5	研究論文　尺八の音色の分析	（その四）	西川理山
532	1969	昭和44年	7	天山荘楽談	244	田辺尚雄
532	1969	昭和44年	7	楽窓夜話	292	金森高山
532	1969	昭和44年	7	山口熏山先生のご逝去を悼む		長谷川澄雨山
532	1969	昭和44年	7	研究論文　尺八の音色の分析	（その五）	西川理山
532	1969	昭和44年	7	布哇検定試験行記		高平艟山
533	1969	昭和44年	9	天山荘楽談	245	田辺尚雄
533	1969	昭和44年	9	楽窓夜話	293	金森高山
533	1969	昭和44年	9	追悼記事　岡垣皎山先生の死を悼む		針谷ヶ観山
533	1969	昭和44年	9	嗚呼岩田新山先生		北川照山
533	1969	昭和44年	9	研究論文　尺八の音色の分析	（その六）	西川理山
533	1969	昭和44年	9	尺八の選び方		加藤習宇山
534	1969	昭和44年	11	天山荘楽談	246	田辺尚雄
534	1969	昭和44年	11	楽窓夜話	294	金森高山
534	1969	昭和44年	11	追悼記事　大木景山師を偲びて		藤田摯山
534	1969	昭和44年	11	法灯国師とその弟子達		近藤鏤山
534	1969	昭和44年	11	アメリカ合衆国演奏旅行記	（一）	北原篁山
535	1970	昭和45年	1	天山荘楽談	247	田辺尚雄
535	1970	昭和45年	1	楽窓夜話	295	金森高山
535	1970	昭和45年	1	アメリカ合衆国演奏旅行記	（二）	北原篁山
535	1970	昭和45年	1	研究論文　尺八の音色の分析	（その七）	西川理山
536	1970	昭和45年	3	天山荘楽談	248	田辺尚雄
536	1970	昭和45年	3	楽窓夜話	296	金森高山
536	1970	昭和45年	3	研究論文　尺八の音色の分析	（その八）	西川理山
536	1970	昭和45年	3	竹の維管束について		川口九山
536	1970	昭和45年	3	准師範試験を受けるまで		成田呂興
537	1970	昭和45年	5	天山荘楽談	249	田辺尚雄
537	1970	昭和45年	5	楽窓夜話	297	金森高山
537	1970	昭和45年	5	研究論文　尺八の音色の分析	（その九）	西川理山
537	1970	昭和45年	5	追悼記事　水野禅山先生のご長逝を悼む		一つ柳竹山
537	1970	昭和45年	5	思い出の記		近藤鏤山
537	1970	昭和45年	5	大師範ただいま初伝修行中		鈴木采山
538	1970	昭和45年	7	天山荘楽談	250	田辺尚雄
537	1970	昭和45年	7	楽窓夜話	298	金森高山
538	1970	昭和45年	7	研究論文　尺八の音色の分析	（その十）	西川理山
539	1970	昭和45年	9	天山荘楽談	251	田辺尚雄
539	1970	昭和45年	9	楽窓夜話	299	金森高山
539	1970	昭和45年	9	唱譜励行への提言		坂　鋼山
539	1970	昭和45年	9	観察愚考		迫田湶以山
539	1970	昭和45年	9	竹の思想		島田篁昌
539	1970	昭和45年	9	グッドウィル讃歌が世界平和を祈念		深海澄子
540	1970	昭和45年	11	天山荘楽談	252	田辺尚雄
540	1970	昭和45年	11	楽窓夜話	300	金森高山
540	1970	昭和45年	11	追悼記事　故中島郭山師を偲ぶ		篠原蛾山
540	1970	昭和45年	11	故加藤名山先生を悼んで		杉原名真
540	1970	昭和45年	11	随想　続観察愚考		迫田湶以山
540	1970	昭和45年	11	篁山会研究会発表会始末		加藤篁琳
540	1970	昭和45年	11	本曲コンクール参加始末記		浜根溪山

540	1970	昭和45年	11	宗家を迎えて		稲村頌山
540	1970	昭和45年	11	第二回磯野茶山演奏会記		鈴木采山
541	1971	昭和46年	1	天山荘楽談	253	
541	1971	昭和46年	1	楽窓夜話	301	金森高山
541	1971	昭和46年	1	尺八音の色の分析	11	西川理山
541	1971	昭和46年	1	わが師を語る		田中畦山
541	1971	昭和46年	1	東西南北 （かくちのたより）		
542	1971	昭和46年	2	楽窓夜話	302	金森高山
542	1971	昭和46年	2	現代邦楽と演奏家の貢献		丹羽正明
542	1971	昭和46年	2	わが師を語る		
542	1971	昭和46年	2	東西南北　かくちのたより		
543	1971	昭和46年	3	天山荘楽談	254	田辺尚雄
543	1971	昭和46年	3	尺八音の色の分析	12	西川理山
543	1971	昭和46年	3	ｯチ（ハ）孔管の採用についての提言		山口龍山
543	1971	昭和46年	3	声の高さと尺八の関係		平塚皎宇山
543	1971	昭和46年	3	東西南北　かくちのたより		
544	1971	昭和46年	4	楽窓夜話	303	金森高山
544	1971	昭和46年	4	梅・グッドウイル讃歌		深海澄子
544	1971	昭和46年	4	わが師を語る		
544	1971	昭和46年	4	楽会旗入魂式		丸山兼山
544	1971	昭和46年	4	続　尺八の吹き方		加藤習宇山
544	1971	昭和46年	4	牧野遼山師追慕記		遠藤教山
544	1971	昭和46年	4	竹琳軒近藤釼山師		中村旗山
544	1971	昭和46年	4	東西南北　かくちのたより		
545	1971	昭和46年	5	天山荘楽談	255	田辺尚雄
545	1971	昭和46年	5	尺八音の色の分析	13	西川理山
545	1971	昭和46年	5	わが師を語る		
545	1971	昭和46年	5	都山流通報第一号		中尾治正
545	1971	昭和46年	5	准師範試験におもう		北原篁山
545	1971	昭和46年	5	鈴鹿随想		深津英山
545	1971	昭和46年	5	国栖舞について		三浦芸山
545	1971	昭和46年	5	黒沢瑒山師追慕		草信香雨山
545	1971	昭和46年	5	東西南北　かくちのたより		
546	1971	昭和46年	6	楽窓夜話	304	金森高山
546	1971	昭和46年	6	門人の育て方		加藤習宇山
546	1971	昭和46年	6	釼山師を偲ぶ		鈴木調山
546	1971	昭和46年	6	東西南北　かくちのたより		
547	1971	昭和46年	7	天山荘楽談	256	田辺尚雄
547	1971	昭和46年	7	尺八音の色の分析	14	西川理山
547	1971	昭和46年	7	わが師を語る		
547	1971	昭和46年	7	声の高さと尺八の関係		平塚皎宇山
547	1971	昭和46年	7	鈴鹿随想		深津英山
547	1971	昭和46年	7	東西南北　かくちのたより		
548	1971	昭和46年	8	ジャズ音楽に就いての一考察		中島雅楽之都
548	1971	昭和46年	8	楽窓夜話	305	金森高山
548	1971	昭和46年	8	暁山師と京大の頃		繁田超山
548	1971	昭和46年	8	倉川簫山師の追憶		田中茗山
548	1971	昭和46年	8	アンケート		
548	1971	昭和46年	8	東西南北　かくちのたより		
549	1971	昭和46年	9	天山荘楽談	257	田辺尚雄
549	1971	昭和46年	9	対曲「朧夜・枯野」について		金森高山
549	1971	昭和46年	9	石清水周辺・流祖書譜		
549	1971	昭和46年	9	尺八音の色の分析	15	西川理山
549	1971	昭和46年	9	アンケート		
549	1971	昭和46年	9	東西南北　かくちのたより		
550	1971	昭和46年	10	楽窓夜話	307	金森高山
550	1971	昭和46年	10	東海北陸文化振興会に出席して		深津英山
550	1971	昭和46年	10	東西南北　かくちのたより		

551	1971	昭和46年	11	天山荘楽談	258	田辺尚雄
551	1971	昭和46年	11	最初の温習会		流祖感想録
551	1971	昭和46年	11	東西南北　かくちのたより		
552	1971	昭和46年	12	楽窓夜話	308	金森高山
552	1971	昭和46年	12	徒然草に学ぶ		藤井芳山
552	1971	昭和46年	12	ソヴィエートの旅を終えて		石井若寛
552	1971	昭和46年	12	アンケート		
552	1971	昭和46年	12	東西南北　かくちのたより		
553	1972	昭和47年	1	天山荘楽談	259	田辺尚雄
553	1972	昭和47年	1	尺八音の色の分析	16	西川理山
553	1972	昭和47年	1	小国鶏		下間要
553	1972	昭和47年	1	正月の5日間		倉川簫山
553	1972	昭和47年	1	徒然草に学ぶ	2	藤井芳山
553	1972	昭和47年	1	迎春譜		今井白山
553	1972	昭和47年	1	森の中で		中島翠山
553	1972	昭和47年	1	祝賀演奏会		山本甲山
553	1972	昭和47年	1	第2回合奏研究会		森砂山
553	1972	昭和47年	1	五島だより		山崎彰宇山
554	1972	昭和47年	2	楽窓夜話	309	金森高山
554	1972	昭和47年	2	ウイン・オペラの印象		下間要
554	1972	昭和47年	2	尺八道七徳		雑賀杜山
554	1972	昭和47年	2	佳話三題		
554	1972	昭和47年	2	楽信		
555	1972	昭和47年	3	天山荘楽談	260	田辺尚雄
555	1972	昭和47年	3	尺八の「歌口」雑感		平塚皎宇山
555	1972	昭和47年	3	型について		藤井芳山
555	1972	昭和47年	3	都山流通楽譜の合理性		広田春峯
555	1972	昭和47年	3	楽信		
556	1972	昭和47年	4	顕彰の記		
556	1972	昭和47年	4	楽窓夜話	310	金森高山
556	1972	昭和47年	4	雑感		池田静山
556	1972	昭和47年	4	書を通して		藤井芳山
556	1972	昭和47年	4	ふらさとの竹		山部誠峯
556	1972	昭和47年	4	刀剣談話		福島剣山
556	1972	昭和47年	4	楽信		
557	1972	昭和47年	5	天山荘楽談	261	田辺尚雄
557	1972	昭和47年	5	師と橋		江口賀豊
557	1972	昭和47年	5	続尺八道余徳		雑賀杜山
557	1972	昭和47年	5	楽信		
558	1972	昭和47年	6	楽窓夜話	311	金森高山
558	1972	昭和47年	6	刀剣談話	2	福島剣山
558	1972	昭和47年	6	本曲吹奏のありかた		宇城信山
558	1972	昭和47年	6	旧い楽報		
558	1972	昭和47年	6	楽信		
559	1972	昭和47年	7	天山荘楽談	262	田辺尚雄
559	1972	昭和47年	7	江戸みやげ		下間要
559	1972	昭和47年	7	虫明圭山ご夫妻賀宴		宮田瑞山
559	1972	昭和47年	7	報恩への道		迫田湶以山
559	1972	昭和47年	7	第1回評議員会		
559	1972	昭和47年	7	楽信		
560	1972	昭和47年	8	楽窓夜話	312	金森高山
560	1972	昭和47年	8	梅グッドウィル讃歌		深海満治
560	1972	昭和47年	8	唱歌「蝶々」に寄せて		藤井芳山
560	1972	昭和47年	8	お箏のけいこ本		石橋令邑
560	1972	昭和47年	8	楽信		
561	1972	昭和47年	9	天山荘楽談	263	田辺尚雄
561	1972	昭和47年	9	文化振興会議		門野城雨山
561	1972	昭和47年	9	刀剣談話		福島剣山

561	1972	昭和47年	9	楽信		
562	1972	昭和47年	10	楽窓夜話	313	金森高山
562	1972	昭和47年	10	合奏と音譜		磯野茶山
562	1972	昭和47年	10	欧州公演の反響		北原篁山
562	1972	昭和47年	10	大学のクラブ活動		迫　呉山
562	1972	昭和47年	10	楽信		
563	1972	昭和47年	11	天山荘楽談	264	田辺尚雄
563	1972	昭和47年	11	宮城野		藤井芳山
563	1972	昭和47年	11	資料瞥見		中尾治正
563	1972	昭和47年	11	楽信		
564	1972	昭和47年	12	楽窓夜話	314	金森高山
564	1972	昭和47年	12	尺八音の色の分析	17	西川理山
564	1972	昭和47年	12	思うこと		加藤習宇山
564	1972	昭和47年	12	楽信		
565	1973	昭和48年	1	新春の心		中尾都山
565	1973	昭和48年	1	天山荘楽談	265	田辺尚雄
565	1973	昭和48年	1	尺八音の色の分析	18	西川理山
565	1973	昭和48年	1	尺八の音高		迫　呉山
565	1973	昭和48年	1	熊本50年の歩み		須藤輔山
565	1973	昭和48年	1	楽信		
566	1973	昭和48年	2	楽窓夜話	315	金森高山
566	1973	昭和48年	2	尺八音の色の分析	19	西川理山
566	1973	昭和48年	2	大阪三つの公演思う		藤井芳山
566	1973	昭和48年	2	楽信		
567	1973	昭和48年	3	天山荘楽談	266	田辺尚雄
567	1973	昭和48年	3	箏の音色の分析		西川理山
567	1973	昭和48年	3	紫の野		藤井芳山
567	1973	昭和48年	3	尺八と水石		増田都意山
567	1973	昭和48年	3	楽信		
568	1973	昭和48年	4	慶すべき芸術的好尚		初代都山
568	1973	昭和48年	4	楽窓夜話	316	金森高山
568	1973	昭和48年	4	箏の音色の分析	2	西川理山
568	1973	昭和48年	4	吹奏技術上達の原則		迫　呉山
568	1973	昭和48年	4	楽信		
569	1973	昭和48年	5	天山荘楽談	267	田辺尚雄
569	1973	昭和48年	5	音痴についての一考		下間要
569	1973	昭和48年	5	ニュージランドとオーストラリアに旅して		三宅蒐山
569	1973	昭和48年	5	生活のうるおい		石田皓山
569	1973	昭和48年	5	楽信		
570	1973	昭和48年	6	吉備行		初代都山
570	1973	昭和48年	6	楽窓夜話	317	金森高山
570	1973	昭和48年	6	思うこと		加藤習宇山
570	1973	昭和48年	6	楽信		
571	1973	昭和48年	7	天山荘楽談	268	田辺尚雄
571	1973	昭和48年	7	よろこび		
571	1973	昭和48年	7	五丈原		藤井芳山
571	1973	昭和48年	7	竹琳軒近藤釼山師		西本応山
571	1973	昭和48年	7	楽信		
572	1973	昭和48年	8	楽窓夜話	318	金森高山
572	1973	昭和48年	8	八幡行幸		文昌堂主人
572	1973	昭和48年	8	義歯私考		迫田湶以山
572	1973	昭和48年	8	楽信		
573	1973	昭和48年	9	天山荘楽談	269	田辺尚雄
573	1973	昭和48年	9	多孔尺八私考		池田静山
573	1973	昭和48年	9	楽信		
574	1973	昭和48年	10	楽窓夜話	319	金森高山
574	1973	昭和48年	10	究楽一考		雑賀杜山
574	1973	昭和48年	10	世界青年学生平和友好祭		森田篁昭

574	1973	昭和48年	10	思い出		石田篪山
574	1973	昭和48年	10	演奏会報		
574	1973	昭和48年	10	楽信		
575	1973	昭和48年	11	天山荘楽談	270	田辺尚雄
575	1973	昭和48年	11	ブラジルを訪ねて		梅原佳山
575	1973	昭和48年	11	笹屋続記		中尾治正
575	1973	昭和48年	11	楽信		
576	1973	昭和48年	12	楽窓夜話	320	金森高山
576	1973	昭和48年	12	尺八音色の分析	20	西川理山
576	1973	昭和48年	12	無常		藤井芳山
576	1973	昭和48年	12	笹屋続記		中尾治正
576	1973	昭和48年	12	楽信		
577	1974	昭和49年	1	万象盡蔵一管中		
577	1974	昭和49年	1	天山荘楽談	271	田辺尚雄
577	1974	昭和49年	1	双韻		小山菁山
577	1974	昭和49年	1	吹奏と制作		星田一山
577	1974	昭和49年	1	笹屋続記		中尾治正
577	1974	昭和49年	1	楽信		
578	1974	昭和49年	2	楽窓夜話	321	金森高山
578	1974	昭和49年	2	老楽私考		雑賀杜山
578	1974	昭和49年	2	笹屋続記		中尾治正
578	1974	昭和49年	2	楽信		
579	1974	昭和49年	3	天山荘楽談	272	田辺尚雄
579	1974	昭和49年	3	笹屋続記		中尾治正
579	1974	昭和49年	3	楽信		
580	1974	昭和49年	4	楽窓夜話	322	金森高山
580	1974	昭和49年	4	樅の木は残そう		迫　呉山
580	1974	昭和49年	4	隠岐民謡		岡部笙山
580	1974	昭和49年	4	雑感		稲村頌山
580	1974	昭和49年	4	香華章　橋本暁山・長野清山追悼		
581	1974	昭和49年	5	天山荘楽談	273	田辺尚雄
581	1974	昭和49年	5	考える		高平艟山
581	1974	昭和49年	5	反省と希望		小山菁山
581	1974	昭和49年	5	京都師範試験記		間崎愁山
581	1974	昭和49年	5	よろこび		ネプチュン・芫海
581	1974	昭和49年	5	香華章　橋本暁山・大西貴山追悼		
581	1974	昭和49年	5	笹屋続記		中尾治正
581	1974	昭和49年	5	楽信		
582	1974	昭和49年	6	楽窓夜話	323	金森高山
582	1974	昭和49年	6	私観		文昌堂主人
582	1974	昭和49年	6	笹屋続記		中尾治正
582	1974	昭和49年	6	楽信		
583	1974	昭和49年	7	天山荘楽談	274	田辺尚雄
583	1974	昭和49年	7	冨井さんのこと		中尾都山
583	1974	昭和49年	7	竹を語る		玉井竹仙
583	1974	昭和49年	7	伊勢神宮献楽		深津英山
583	1974	昭和49年	7	春の海を観る		今井百山
583	1974	昭和49年	7	笹屋続記		中尾治正
583	1974	昭和49年	7	さつき会		田中巨山
584	1974	昭和49年	8	楽窓夜話	324	金森高山
584	1974	昭和49年	8	楽者道也		雑賀杜山
584	1974	昭和49年	8	石清水を聴いて		座談会
584	1974	昭和49年	8	香華章		田代顕山
584	1974	昭和49年	8	随感二題		武内倆山・森砂山
584	1974	昭和49年	8	笹屋続記		中尾治正
584	1974	昭和49年	8	楽信		
585	1974	昭和49年	9	天山荘楽談	275	田辺尚雄
585	1974	昭和49年	9	楽者道也	2	雑賀杜山

585	1974	昭和49年	9	竹林問答	2	河内杏山
585	1974	昭和49年	9	私観二題		迫田湶以山
585	1974	昭和49年	9	一つの主張		八田愴山
585	1974	昭和49年	9	楽信		
586	1974	昭和49年	10	楽窓夜話	325	金森高山
586	1974	昭和49年	10	楽者道也	3	雑賀杜山
586	1974	昭和49年	10	名試点描		
586	1974	昭和49年	10	香華章		宮沢寒山
586	1974	昭和49年	10	あの頃のこと		座談会
586	1974	昭和49年	10	笹屋続記		中尾治正
586	1974	昭和49年	10	楽信		
587	1974	昭和49年	11	天山荘楽談	276	田辺尚雄
587	1974	昭和49年	11	作曲雑感		実兼咲山
587	1974	昭和49年	11	試験の意義		平田洪山
587	1974	昭和49年	11	楽信		
588	1974	昭和49年	12	思い出集		
588	1974	昭和49年	12	楽窓夜話	326	金森高山
588	1974	昭和49年	12	作曲雑感	2	実兼咲山
588	1974	昭和49年	12	邦楽講座		弟子丸恵山
588	1974	昭和49年	12	阿波踊		雑賀杜山
588	1974	昭和49年	12	香華章		菊原初子・加藤習宇山・今井百山
588	1974	昭和49年	12	楽信		
589	1975	昭和50年	1	天山荘楽談	277	田辺尚雄
589	1975	昭和50年	1	作曲雑感	3	実兼咲山
589	1975	昭和50年	1	竹林問答	3	河内杏山
589	1975	昭和50年	1	阿波踊り	2	雑賀杜山
589	1975	昭和50年	1	新しい宗家を迎えて		田辺尚雄
589	1975	昭和50年	1	三代宗家を祝いて		町田佳声
589	1975	昭和50年	1	京の灯が一つ消えた		中能島欣一
589	1975	昭和50年	1	およろこび		北川雅楽能
589	1975	昭和50年	1	新しい宗家に		島田貞二
589	1975	昭和50年	1	楽会葬		
589	1975	昭和50年	1	楽信		
590	1975	昭和50年	2	楽窓夜話	327	金森高山
590	1975	昭和50年	2	作曲雑感	4	実兼咲山
590	1975	昭和50年	2	琉球音楽の紹介		上野堅山
590	1975	昭和50年	2	問題考		高平艟山
590	1975	昭和50年	2	寸感		広瀬惴山
590	1975	昭和50年	2	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
590	1975	昭和50年	2	楽信		
591	1975	昭和50年	3	天山荘楽談	278	田辺尚雄
591	1975	昭和50年	3	作曲雑感	5	実兼咲山
591	1975	昭和50年	3	琉球音楽の紹介	2	上野堅山
591	1975	昭和50年	3	伝統音楽と学校教育	1	雑賀杜山
591	1975	昭和50年	3	竹林問答	4	河内杏山
591	1975	昭和50年	3	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
591	1975	昭和50年	3	香華章		大谷洳山
591	1975	昭和50年	3	講評		金森高山
591	1975	昭和50年	3	楽信		
592	1975	昭和50年	4	楽窓夜話	328	金森高山
592	1975	昭和50年	4	琉球音楽の紹介		上野堅山
592	1975	昭和50年	4	伝統音楽と学校教育	2	雑賀杜山
592	1975	昭和50年	4	竹林問答	5	河内杏山
592	1975	昭和50年	4	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
592	1975	昭和50年	4	試験考		
592	1975	昭和50年	4	欧・米演奏旅行記		北原篁山
592	1975	昭和50年	4	楽信		
593	1975	昭和50年	5	天山荘楽談	279	田辺尚雄

593	1975	昭和50年	5	琉球音楽の紹介		上野堅山
593	1975	昭和50年	5	伝統音楽と学校教育	3	雑賀杜山
593	1975	昭和50年	5	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
593	1975	昭和50年	5	記念作曲の所感		実兼咲山
593	1975	昭和50年	5	師範試験考		北原篁山･飯吉正山
593	1975	昭和50年	5	尺八楽鑑賞会考		森維久山
593	1975	昭和50年	5	楽信		
594	1975	昭和50年	6	楽窓夜話	329	金森高山
594	1975	昭和50年	6	琉球音楽の紹介		上野堅山
594	1975	昭和50年	6	伝統音楽と学校教育	4	雑賀杜山
594	1975	昭和50年	6	竹林問答	6	河内杏山
594	1975	昭和50年	6	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
594	1975	昭和50年	6	講習会雑感		森維久山
594	1975	昭和50年	6	闘病記		迫田湶以山
594	1975	昭和50年	6	楽信		
595	1975	昭和50年	7	天山荘楽談	280	田辺尚雄
595	1975	昭和50年	7	琉球音楽の紹介		上野堅山
595	1975	昭和50年	7	竹林問答	7	河内杏山
595	1975	昭和50年	7	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
595	1975	昭和50年	7	本曲講習会		森維久山
595	1975	昭和50年	7	検定試験傾向に思う		古賀誠山
595	1975	昭和50年	7	欧米演奏旅行記	2	北原篁山
595	1975	昭和50年	7	楽信		
596	1975	昭和50年	8	楽窓夜話	329	金森高山
596	1975	昭和50年	8	琉球音楽の紹介		上野堅山
596	1975	昭和50年	8	楽者道也	1	雑賀杜山
596	1975	昭和50年	8	竹林問答	8	河内杏山
596	1975	昭和50年	8	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
596	1975	昭和50年	8	欧･米演奏旅行記	3	北原篁山
596	1975	昭和50年	8	楽信		
597	1975	昭和50年	9	天山荘楽談	281	田辺尚雄
597	1975	昭和50年	9	琉球音楽の紹介		上野堅山
597	1975	昭和50年	9	竹林問答	9	河内杏山
597	1975	昭和50年	9	楽者人也	2	雑賀杜山
597	1975	昭和50年	9	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
597	1975	昭和50年	9	欧米演奏旅行記	4	北原篁山
597	1975	昭和50年	9	楽信		
598	1975	昭和50年	10	楽窓夜話	330	金森高山
598	1975	昭和50年	10	琉球音楽の紹介		上野堅山
598	1975	昭和50年	10	竹林問答	10	河内杏山
598	1975	昭和50年	10	観察愚考		迫田湶以山
598	1975	昭和50年	10	楽者人也	3	雑賀杜山
598	1975	昭和50年	10	御山獅子を中心とした神宮と伊勢考古		泉原整山
598	1975	昭和50年	10	楽信		
599	1975	昭和50年	11	天山荘楽談	282	田辺尚雄
599	1975	昭和50年	11	岩清水の分析		山本邦山
599	1975	昭和50年	11	楽者人也	4	雑賀杜山
599	1975	昭和50年	11	手事吹奏について		柴田聖山
599	1975	昭和50年	11	記事訂正		富沢和山･鈴木吟山
599	1975	昭和50年	11	楽信		
600	1975	昭和50年	12	楽窓夜話	331	金森高山
600	1975	昭和50年	12	岩清水の分析		山本邦山
600	1975	昭和50年	12	楽者人也		雑賀杜山
600	1975	昭和50年	12	随想		森維久山
600	1975	昭和50年	12	香華章		小平心山
600	1975	昭和50年	12	楽信		
601	1976	昭和51年	1	天山荘楽談	283	田辺尚雄
601	1976	昭和51年	1	尺八音色の分析	21	西川理山

601	1976	昭和51年	1	岩清水の分析		山本邦山
601	1976	昭和51年	1	楽者人也	6	雑賀杜山
601	1976	昭和51年	1	流祖に叱られる		坂　鋼山
601	1976	昭和51年	1	流祖を偲びて	1	泉原整山
601	1976	昭和51年	1	竹林問答	11	河内杏山
601	1976	昭和51年	1	楽信		
602	1976	昭和51年	2	楽窓夜話	332	金森高山
602	1976	昭和51年	2	楽者人也	7	雑賀杜山
602	1976	昭和51年	2	流祖を偲びて	2	泉原整山
602	1976	昭和51年	2	竹林問答	12	河内杏山
602	1976	昭和51年	2	試験考		嶋叡山・岡田誠山・富本華山
602	1976	昭和51年	2	ソ連・東欧演奏旅行	1	北原篁山
602	1976	昭和51年	2	沖縄紀行		森　維久山
602	1976	昭和51年	2	楽信		
603	1976	昭和51年	3	天山荘楽談	284	田辺尚雄
603	1976	昭和51年	3	思うこと		加藤習宇山
603	1976	昭和51年	3	ソ連・東欧演奏旅行	2	北原篁山
603	1976	昭和51年	3	楽信		
604	1976	昭和51年	4	楽窓夜話	333	金森高山
604	1976	昭和51年	4	歌と曲趣の研究	1	雑賀杜山
604	1976	昭和51年	4	尺八保管の心得		上月丹山
604	1976	昭和51年	4	ソ連・東欧演奏旅行	3	北原篁山
604	1976	昭和51年	4	楽信		
605	1976	昭和51年	5	天山荘楽談	285	田辺尚雄
605	1976	昭和51年	5	歌と曲趣の研究	2	雑賀杜山
605	1976	昭和51年	5	准師範検定試験新方式の問題点		森　維久山
605	1976	昭和51年	5	試験考		井上雁山・太田貴山・出口九山・小倉旭山
605	1976	昭和51年	5	ソ連・東欧演奏旅行	4	北原篁山
605	1976	昭和51年	5	楽信		
606	1976	昭和51年	6	楽窓夜話	334	金森高山
606	1976	昭和51年	6	歌と曲趣の研究	3	雑賀杜山
606	1976	昭和51年	6	ソ連・東欧演奏旅行	5	北原篁山
606	1976	昭和51年	6	楽信		
607	1976	昭和51年	7	天山荘楽談	286	田辺尚雄
607	1976	昭和51年	7	歌と曲趣の研究	4	雑賀杜山
607	1976	昭和51年	7	演奏画報		
607	1976	昭和51年	7	特別演奏会記		増田都意山
607	1976	昭和51年	7	楽信		
608	1976	昭和51年	8	楽窓夜話	335	金森高山
608	1976	昭和51年	8	歌と曲趣の研究	5	雑賀杜山
608	1976	昭和51年	8	楽信		
609	1976	昭和51年	9	天山荘楽談	287	田辺尚雄
609	1976	昭和51年	9	歌と曲趣の研究	6	雑賀杜山
609	1976	昭和51年	9	楽信		
610	1976	昭和51年	10	楽窓夜話	336	金森高山
610	1976	昭和51年	10	吹き物吹奏所感		梶原映山
610	1976	昭和51年	10	楽者人也		雑賀杜山
610	1976	昭和51年	10	ステージこそ命		文昌堂主人
610	1976	昭和51年	10	楽信		
611	1976	昭和51年	11	天山荘楽談	288	田辺尚雄
611	1976	昭和51年	11	歌と曲趣の研究	7	雑賀杜山
611	1976	昭和51年	11	准師範試験考		宮原竜山
611	1976	昭和51年	11	近時所感		泉原整山
611	1976	昭和51年	11	楽信		
612	1976	昭和51年	12	楽窓夜話	337	金森高山
612	1976	昭和51年	12	歌と曲趣の研究	8	雑賀杜山
612	1976	昭和51年	12	二代宗家の逝去		森　林太郎

612	1976	昭和51年	12	本曲コンクールを終えて		高平艟山
612	1976	昭和51年	12	楽信		
613	1977	昭和52年	1	天山荘楽談		
613	1977	昭和52年	1	鏡中の秋霜	289	田辺尚雄
613	1977	昭和52年	1	試験考		雑賀杜山
613	1977	昭和52年	1	楽信		鹿島千山
614	1977	昭和52年	2	中米演奏旅行記	1	北原篁山
614	1977	昭和52年	2	楽信		
615	1977	昭和52年	3	天山荘楽談	290	田辺尚雄
615	1977	昭和52年	3	薩摩の天吹について		白尾径山
615	1977	昭和52年	3	中米演奏旅行記	2	北原篁山
615	1977	昭和52年	3	楽信		
616	1977	昭和52年	4	薩摩の天吹について	2	白尾径山
616	1977	昭和52年	4	中米演奏旅行記	3	北原篁山
616	1977	昭和52年	4	楽信		
617	1977	昭和52年	5	天山荘楽談	291	田辺尚雄
617	1977	昭和52年	5	薩摩の天吹について	3	白尾径山
617	1977	昭和52年	5	楽信		
618	1977	昭和52年	6	楽窓夜話	340	金森高山
618	1977	昭和52年	6	薩摩の天吹について	4	白尾径山
618	1977	昭和52年	6	楽信		
619	1977	昭和52年	7	天山荘楽談	292	田辺尚雄
619	1977	昭和52年	7	中米演奏旅行記	4	北原篁山
619	1977	昭和52年	7	楽信		
620	1977	昭和52年	8	楽窓夜話	341	金森高山
620	1977	昭和52年	8	竹林断章		中尾治正･流祖都山･上田敏
620	1977	昭和52年	8	薩摩の天吹楽譜		白尾径山
620	1977	昭和52年	8	楽曲解説		
620	1977	昭和52年	8	楽信		
621	1977	昭和52年	9	天山荘楽談	293	田辺尚雄
621	1977	昭和52年	9	竹林断章		流祖都山
621	1977	昭和52年	9	歌と曲趣の研究	9	雑賀杜山
621	1977	昭和52年	9	竹絃和音	楽曲解説	
621	1977	昭和52年	9	楽信		
622	1977	昭和52年	10	竹林断章		流祖都山･小島賢八郎
622	1977	昭和52年	10	竹絃和音		高平艟山
622	1977	昭和52年	10	小林中邦楽鑑賞		西川理山
622	1977	昭和52年	10	楽信		
623	1977	昭和52年	11	天山荘楽談	294	田辺尚雄
623	1977	昭和52年	11	千葉尺八教室		西川理山
623	1977	昭和52年	11	礼節管見		雑賀杜山
623	1977	昭和52年	11	竹絃和音		高平艟山
623	1977	昭和52年	11	楽信		
624	1977	昭和52年	12	楽窓夜話	338	金森高山
624	1977	昭和52年	12	竹林断章		中尾治正
624	1977	昭和52年	12	私の心に響いた想い出		泉原整山
624	1977	昭和52年	12	竹絃和音		高平艟山
624	1977	昭和52年	12	楽信		
625	1978	昭和53年	1	新年の詞		三代中尾都山
625	1978	昭和53年	1	天山荘楽談	295	田辺尚雄
625	1978	昭和53年	1	竹林断章		流祖都山
625	1978	昭和53年	1	素質と修練		雑賀杜山
625	1978	昭和53年	1	楽信		
626	1978	昭和53年	2	ハワイの旅		三代中尾都山
627	1978	昭和53年	3	天山荘楽談	296	田辺尚雄
627	1978	昭和53年	3	竹林断章		流祖都山
627	1978	昭和53年	3	芸道と鍛錬		雑賀杜山
627	1978	昭和53年	3	楽信		

628	1978	昭和53年	4	巻頭言		三代中尾都山
628	1978	昭和53年	4	師弟道	1	雑賀杜山
628	1978	昭和53年	4	楽信		
629	1978	昭和53年	5	天山荘楽談	297	田辺尚雄
629	1978	昭和53年	5	尺八文化史		島田望久山
630	1978	昭和53年	6	竹琳軒偶感		三代中尾都山
630	1978	昭和53年	6	師弟道	2	雑賀杜山
630	1978	昭和53年	6	楽信		
631	1978	昭和53年	7	巻頭言		三代中尾都山
631	1978	昭和53年	7	天山荘楽談	298	田辺尚雄
631	1978	昭和53年	7	楽信		
632	1978	昭和53年	8	巻頭言		三代中尾都山
632	1978	昭和53年	8	楽信		
633	1978	昭和53年	9	天山荘楽談	299	田辺尚雄
633	1978	昭和53年	9	本曲基本型の確立		間崎愁山
633	1978	昭和53年	9	竹絃和音		高平艟山
633	1978	昭和53年	9	師弟道	3	雑賀杜山
633	1978	昭和53年	9	尺八文化史	2	島田望久山
634	1978	昭和53年	10	巻頭言		三代中尾都山
634	1978	昭和53年	10	人間尊重		雑賀杜山
635	1978	昭和53年	11	巻頭言		三代中尾都山
635	1978	昭和53年	11	天山荘楽談	300	田辺尚雄
635	1978	昭和53年	11	楽信		
636	1978	昭和53年	12	巻頭言		三代中尾都山
636	1978	昭和53年	12	竹絃和音		高平艟山
636	1978	昭和53年	12	満ち足りた陥穽		雑賀杜山
637	1979	昭和54年	1	巻頭言		三代中尾都山
637	1979	昭和54年	1	天山荘楽談	301	田辺尚雄
637	1979	昭和54年	1	尺八楽余談		雑賀杜山
637	1979	昭和54年	1	竹絃和音		高平艟山
638	1979	昭和54年	2	巻頭言		三代中尾都山
638	1979	昭和54年	2	楽信		
638	1979	昭和54年	2	竹絃和音		高平艟山
639	1979	昭和54年	3	巻頭言		三代中尾都山
639	1979	昭和54年	3	天山荘楽談	302	田辺尚雄
639	1979	昭和54年	3	楽信		
639	1979	昭和54年	3	竹絃和音		高平艟山
640	1979	昭和54年	4	巻頭言		三代中尾都山
640	1979	昭和54年	4	感恩		雑賀杜山
640	1979	昭和54年	4	竹絃和音		高平艟山
641	1979	昭和54年	5	巻頭言		三代中尾都山
641	1979	昭和54年	5	天山荘楽談	303	田辺尚雄
641	1979	昭和54年	5	楽信		
641	1979	昭和54年	5	竹絃和音		高平艟山
642	1979	昭和54年	6	巻頭言		三代中尾都山
642	1979	昭和54年	6	竹絃和音		高平艟山
643	1979	昭和54年	7	巻頭言		三代中尾都山
643	1979	昭和54年	7	天山荘楽談	304	田辺尚雄
643	1979	昭和54年	7	空腹の感得		雑賀杜山
643	1979	昭和54年	7	楽信		
643	1979	昭和54年	7	竹絃和音		高平艟山
644	1979	昭和54年	8	巻頭言		三代中尾都山
644	1979	昭和54年	8	服装偶感		雑賀杜山
644	1979	昭和54年	8	楽信		
644	1979	昭和54年	8	竹絃和音		高平艟山
645	1979	昭和54年	9	偲ぶ		三代中尾都山
645	1979	昭和54年	9	天山荘楽談	305	田辺尚雄
645	1979	昭和54年	9	楽信		

645	1979	昭和54年	9	竹絃和音		高平艟山
646	1979	昭和54年	10	巻頭言		三代中尾都山
646	1979	昭和54年	10	竹絃和音		高平艟山
647	1979	昭和54年	11	巻頭言		三代中尾都山
647	1979	昭和54年	11	天山荘楽談	306	田辺尚雄
647	1979	昭和54年	11	両頭蛇		雑賀杜山
647	1979	昭和54年	11	楽信		
648	1979	昭和54年	12	巻頭言		三代中尾都山
648	1979	昭和54年	12	竹絃和音		高平艟山
648	1979	昭和54年	12	本曲コンクール解析		森維久山
648	1979	昭和54年	12	楽信		
649	1980	昭和55年	1	巻頭言		三代中尾都山
649	1980	昭和55年	1	天山荘楽談	307	田辺尚雄
649	1980	昭和55年	1	竹絃和音		高平艟山
649	1980	昭和55年	1	生きがい		雑賀杜山
650	1980	昭和55年	2	巻頭言		三代中尾都山
650	1980	昭和55年	2	楽信		
651	1980	昭和55年	3	巻頭言		三代中尾都山
651	1980	昭和55年	3	天山荘楽談	308	田辺尚雄
651	1980	昭和55年	3	竹絃和音		高平艟山
651	1980	昭和55年	3	楽信		
652	1980	昭和55年	4	巻頭言		三代中尾都山
652	1980	昭和55年	4	竹絃和音		高平艟山
652	1980	昭和55年	4	談話室		森維久山･間崎愁山
652	1980	昭和55年	4	楽信		
653	1980	昭和55年	5	巻頭言		三代中尾都山
653	1980	昭和55年	5	お知らせ		
653	1980	昭和55年	5	論説		島田望久山
653	1980	昭和55年	5	随筆		今井百山･間崎愁山
653	1980	昭和55年	5	楽信		牧野乗山
653	1980	昭和55年	5	談話室		
654	1980	昭和55年	6	巻頭言		三代中尾都山
654	1980	昭和55年	6	天山荘楽談	309	田辺尚雄
654	1980	昭和55年	6	竹絃和音		高平艟山
654	1980	昭和55年	6	楽信		
655	1980	昭和55年	7	巻頭言		三代中尾都山
655	1980	昭和55年	7	天山荘楽談	310	田辺尚雄
655	1980	昭和55年	7	竹絃和音		高平艟山
655	1980	昭和55年	7	楽信		
655	1980	昭和55年	7	談話室		
656	1980	昭和55年	8	巻頭言		三代中尾都山
656	1980	昭和55年	8	追悼文		田中伊三次･田辺尚雄･中能島欣一･菊原初子･唯是震一･中島靖子･筑紫歌都子
656	1980	昭和55年	8	鑑賞会を終って		今井舞山
656	1980	昭和55年	8	鑑賞会を聴く		霧島三郎
656	1980	昭和55年	8	鑑賞会に参加して		
656	1980	昭和55年	8	第7回都山流尺八楽鑑賞会の雑感		
656	1980	昭和55年	8	アンケート集録		間崎愁山
657	1980	昭和55年	9	巻頭言		三代中尾都山
657	1980	昭和55年	9	天山荘楽談	311	田辺尚雄
657	1980	昭和55年	9	楽信		
657	1980	昭和55年	9	談話室		
658	1980	昭和55年	10	巻頭言		三代中尾都山
658	1980	昭和55年	10	第7回都山流尺八楽鑑賞会の雑感		文昌堂
658	1980	昭和55年	10	談話室		
659	1980	昭和55年	11	巻頭言		三代中尾都山
659	1980	昭和55年	11	天山荘楽談	312	田辺尚雄

659	1980	昭和55年	11	竹絃和音		高平艟山
659	1980	昭和55年	11	コンクール寸評		
659	1980	昭和55年	11	楽信･談話室		
660	1980	昭和55年	12	巻頭言		三代中尾都山
660	1980	昭和55年	12	竹絃和音		高平艟山
660	1980	昭和55年	12	ブラジル便り		宮下芳山
660	1980	昭和55年	12	論説		森　維久山
660	1980	昭和55年	12	談話室		
661	1981	昭和56年	1	祝詞		三代中尾都山
661	1981	昭和56年	1	天山荘楽談		田辺尚雄
661	1981	昭和56年	1	竹絃和音		高平艟山
662	1981	昭和56年	2	巻頭言		三代中尾都山
662	1981	昭和56年	2	竹絃和音		高平艟山
662	1981	昭和56年	2	楽信･談話室		
663	1981	昭和56年	3	巻頭言		三代中尾都山
663	1981	昭和56年	3	天山荘楽談		田辺尚雄
663	1981	昭和56年	3	各会議を終えて		高平艟山
663	1981	昭和56年	3	楽信･談話室		
664	1981	昭和56年	4	巻頭言		三代中尾都山
664	1981	昭和56年	4	竹絃和音		高平艟山
664	1981	昭和56年	4	談話室		
665	1981	昭和56年	5	巻頭言		三代中尾都山
665	1981	昭和56年	5	天山荘楽談		田辺尚雄
665	1981	昭和56年	5	竹絃和音		高平艟山
665	1981	昭和56年	5	楽信		
666	1981	昭和56年	6	巻頭言		三代中尾都山
666	1981	昭和56年	6	竹絃和音		高平艟山
666	1981	昭和56年	6	楽信		
667	1981	昭和56年	7	巻頭言		三代中尾都山
667	1981	昭和56年	7	竹絃和音		田辺尚雄
667	1981	昭和56年	7	竹絃和音		高平艟山
667	1981	昭和56年	7	談話室		
667	1981	昭和56年	7	楽信		
668	1981	昭和56年	8	巻頭言		三代中尾都山
668	1981	昭和56年	8	竹絃和音		高平艟山
668	1981	昭和56年	8	音楽ということば		文昌堂
669	1981	昭和56年	9	巻頭言		三代中尾都山
669	1981	昭和56年	9	竹絃和音		高平艟山
669	1981	昭和56年	9	談話室		
669	1981	昭和56年	9	楽信		
670	1981	昭和56年	10	巻頭言		三代中尾都山
670	1981	昭和56年	10	続天山荘楽談	1	田辺秀雄
670	1981	昭和56年	10	論説		文昌堂
670	1981	昭和56年	10	談話室		竹原惶山
670	1981	昭和56年	10	楽信		小西鏘山
671	1981	昭和56年	11	巻頭言		三代中尾都山
671	1981	昭和56年	11	感謝状について		
671	1981	昭和56年	11	竹絃和音		高平艟山
671	1981	昭和56年	11	特別表彰について		
671	1981	昭和56年	11	伝統音楽交歓訪中記		
671	1981	昭和56年	11	談話室		
671	1981	昭和56年	11	楽信		
672	1981	昭和56年	12	巻頭言		三代中尾都山
672	1981	昭和56年	12	続天山荘楽談	2	田辺秀雄
672	1981	昭和56年	12	竹絃和音		高平艟山
672	1981	昭和56年	12	楽信		
673	1982	昭和57年	1	祝詞		三代中尾都山
673	1982	昭和57年	1	続天山荘楽談	3	田辺秀雄

673	1982	昭和57年	1	竹絃和音		高平艟山
673	1982	昭和57年	1	若先生、准師範登第		間崎愁山
673	1982	昭和57年	1	談話室		間崎愁山
674	1982	昭和57年	2	巻頭言		三代中尾都山
674	1982	昭和57年	2	竹絃和音		高平艟山
674	1982	昭和57年	2	青少年に対する邦楽鑑賞会		原　規山
674	1982	昭和57年	2	殿上の権威刻彫の尺八		戸田守亮
674	1982	昭和57年	2	談話室		木谷壮棲
675	1982	昭和57年	3	巻頭言		三代中尾都山
675	1982	昭和57年	3	続天山荘楽談	4	田辺秀雄
675	1982	昭和57年	3	財団法人の実質的確立への道		
675	1982	昭和57年	3	三代宗家喜寿祝賀会記		
675	1982	昭和57年	3	談話室		
676	1982	昭和57年	4	巻頭言		三代中尾都山
676	1982	昭和57年	4	竹絃和音		冨沢和山
677	1982	昭和57年	5	巻頭言		三代中尾都山
677	1982	昭和57年	5	続天山荘楽談	5	田辺秀雄
677	1982	昭和57年	5	竹絃和音		高平艟山
677	1982	昭和57年	5	楽信		
677	1982	昭和57年	5	談話室		田中旺山
678	1982	昭和57年	6	巻頭言		三代中尾都山
678	1982	昭和57年	6	竹絃和音		高平艟山
678	1982	昭和57年	6	楽信		
679	1982	昭和57年	7	巻頭言		三代中尾都山
679	1982	昭和57年	7	続天山荘楽談	6	田辺秀雄
679	1982	昭和57年	7	竹絃和音		冨沢和山
679	1982	昭和57年	7	第9回都山流尺八鑑賞会のプログラムを手にして		文昌堂
679	1982	昭和57年	7	談話室		樫元黎遊
680	1982	昭和57年	8	巻頭言		三代中尾都山
680	1982	昭和57年	8	竹絃和音		高平艟山
680	1982	昭和57年	8	第9回都山流尺八鑑賞会を参聴して		秋野鳴山
681	1982	昭和57年	9	巻頭言		三代中尾都山
681	1982	昭和57年	9	続天山荘楽談	7	田辺秀雄
681	1982	昭和57年	9	竹絃和音		高平艟山
681	1982	昭和57年	9	第8回本曲コンクール全国大会に参加して		石垣征山
682	1982	昭和57年	10	巻頭言		三代中尾都山
682	1982	昭和57年	10	楽信		紙谷工山
682	1982	昭和57年	10	談話室		紙谷工山
683	1982	昭和57年	11	巻頭言		三代中尾都山
683	1982	昭和57年	11	続天山荘楽談	8	田辺秀雄
683	1982	昭和57年	11	談話室		
683	1982	昭和57年	11	楽信		
684	1982	昭和57年	12	巻頭言		三代中尾都山
684	1982	昭和57年	12	談話室		
684	1982	昭和57年	12	楽信		
685	1983	昭和58年	1	祝詞		三代中尾都山･都幸
685	1983	昭和58年	1	続天山荘楽談	9	田辺秀雄
685	1983	昭和58年	1	泰日親善のための日本伝統音楽演奏団旅行の意義		高平艟山
686	1983	昭和58年	2	巻頭言		三代中尾都山
686	1983	昭和58年	2	楽信		
686	1983	昭和58年	2	談話室		
687	1983	昭和58年	3	巻頭言		三代中尾都山
687	1983	昭和58年	3	続天山荘楽談	10	田辺秀雄
687	1983	昭和58年	3	竹絃和音		高平艟山
687	1983	昭和58年	3	楽信		
688	1983	昭和58年	4	巻頭言		三代中尾都山
688	1983	昭和58年	4	竹絃和音		高平艟山
688	1983	昭和58年	4	関東支部演奏大会を斬る		冨沢和山

689	1983	昭和58年	5	巻頭言		三代中尾都山
689	1983	昭和58年	5	続天山荘楽談	11	田辺秀雄
689	1983	昭和58年	5	竹絃和音		高平艟山
689	1983	昭和58年	5	楽信		安宅雄山
690	1983	昭和58年	6	巻頭言		三代中尾都山
690	1983	昭和58年	6	竹絃和音		高平艟山
690	1983	昭和58年	6	関東支部尺八演奏を拝聴して		野口韶山
691	1983	昭和58年	7	巻頭言		三代中尾都山
691	1983	昭和58年	7	続天山荘楽談	12	田辺秀雄
691	1983	昭和58年	7	楽信		
692	1983	昭和58年	8	巻頭言		三代中尾都山
692	1983	昭和58年	8	竹絃和音		高平艟山
693	1983	昭和58年	9	巻頭言		三代中尾都山
693	1983	昭和58年	9	続天山荘楽談	13	田辺秀雄
693	1983	昭和58年	9	竹絃和音		高平艟山
693	1983	昭和58年	9	楽信		奥　亀秋
694	1983	昭和58年	10	巻頭言		三代中尾都山
694	1983	昭和58年	10	竹絃和音		高平艟山
695	1983	昭和58年	11	巻頭言		三代中尾都山
695	1983	昭和58年	11	都山流四代宗家位継承者披露記念祝賀会		三宅蔦山
695	1983	昭和58年	11	記念祝賀会に参列して		小山菁山
695	1983	昭和58年	11	開会の辞・四代宗家位継承者紹介		高平艟山
695	1983	昭和58年	11	祝辞		菊原初子・中能島慶子・小野衛・唯是震一
695	1983	昭和58年	11	謝辞		中尾都山
695	1983	昭和58年	11	顕彰・表彰		
695	1983	昭和58年	11	開演の挨拶		角田梧山
695	1983	昭和58年	11	スピーチ		田中文清・大月宗明・杉江海山・坂田庭山
695	1983	昭和58年	11	閉会の辞		吉田暹山
696	1983	昭和58年	12	巻頭言		三代中尾都山
696	1983	昭和58年	12	続天山荘楽談	14	田辺秀雄
696	1983	昭和58年	12	竹絃和音		高平艟山
697	1984	昭和59年	1	巻頭言		三代中尾都山
697	1984	昭和59年	1	竹絃和音		高平艟山
697	1984	昭和59年	1	楽信		平尾忍鳳・森田誨箭・山村佳鳳
698	1984	昭和59年	2	巻頭言		三代中尾都山
698	1984	昭和59年	2	続天山荘楽談	12	田辺秀雄
698	1984	昭和59年	2	第10回鑑賞会参聴記		川井恍山
699	1984	昭和59年	3	巻頭言		三代中尾都山
699	1984	昭和59年	3	竹絃和音		高平艟山
699	1984	昭和59年	3	第26回評議員会について		(財)都山流尺八楽会理事会
700	1984	昭和59年	4	巻頭言		三代中尾都山
700	1984	昭和59年	4	続天山荘楽談	13	田辺秀雄
700	1984	昭和59年	4	都山流尺八楽会合奏団同行記		文昌堂
701	1984	昭和59年	5	巻頭言		三代中尾都山
701	1984	昭和59年	5	関東支部演奏会参聴の記		間﨑愁山
701	1984	昭和59年	5	楽信		
702	1984	昭和59年	6	巻頭言		三代中尾都山
702	1984	昭和59年	6	続天山荘楽談	14	田辺秀雄
702	1984	昭和59年	6	竹絃和音		高平艟山
703	1984	昭和59年	7	巻頭言		三代中尾都山
703	1984	昭和59年	7	竹絃和音		高平艟山
703	1984	昭和59年	7	楽信		梅原佳山
704	1984	昭和59年	8	巻頭言		三代中尾都山
704	1984	昭和59年	8	続天山荘楽談	15	田辺秀雄
704	1984	昭和59年	8	竹絃和音		高平艟山
704	1984	昭和59年	8	鑑賞会を視察参聴して		吉村誨山・八田愴山

705	1984	昭和59年	9	巻頭言		三代中尾都山
705	1984	昭和59年	9	竹絃和音		高平艟山
705	1984	昭和59年	9	本曲コンクールについての思考		高平艟山
706	1984	昭和59年	10	巻頭言		三代中尾都山
706	1984	昭和59年	10	竹絃和音		高平艟山
706	1984	昭和59年	10	改訂寄附行為		
707	1984	昭和59年	11	巻頭言		三代中尾都山
707	1984	昭和59年	11	続天山荘楽談	16	田辺秀雄
707	1984	昭和59年	11	竹絃和音		高平艟山
707	1984	昭和59年	11	楽信		貝原邑山
708	1984	昭和59年	12	巻頭言		三代中尾都山
708	1984	昭和59年	12	竹絃和音		高平艟山
708	1984	昭和59年	12	楽信		木谷壮棲･小野穂山･八尾倫山
709	1985	昭和60年	1	巻頭言		三代中尾都山
709	1985	昭和60年	1	竹絃和音		高平艟山
709	1985	昭和60年	1	参聴の記		冨沢和山
710	1985	昭和60年	2	巻頭言		三代中尾都山
710	1985	昭和60年	2	続天山荘楽談	17	田辺秀雄
710	1985	昭和60年	2	竹絃和音		高平艟山
710	1985	昭和60年	2	楽信		湯原始山
711	1985	昭和60年	3	巻頭言		三代中尾都山
711	1985	昭和60年	3	竹絃和音		高平艟山
711	1985	昭和60年	3	楽信		宮下芳山
712	1985	昭和60年	4	巻頭言		三代中尾都山
712	1985	昭和60年	4	続天山荘楽談	18	田辺秀雄
712	1985	昭和60年	4	竹絃和音		高平艟山
712	1985	昭和60年	4	楽信		紙谷工山･中島酔山
713	1985	昭和60年	5	巻頭言		三代中尾都山
713	1985	昭和60年	5	竹絃和音		高平艟山
714	1985	昭和60年	6	巻頭言		三代中尾都山
714	1985	昭和60年	6	続天山荘楽談	19	田辺秀雄
714	1985	昭和60年	6	流史編纂資料より	都山流の活躍史　青島編	本谷惣山
714	1985	昭和60年	6	楽信		
715	1985	昭和60年	7	巻頭言		三代中尾都山
715	1985	昭和60年	7	竹絃和音		高平艟山
716	1985	昭和60年	8	巻頭言		三代中尾都山
716	1985	昭和60年	8	続天山荘楽談	20	田辺秀雄
716	1985	昭和60年	8	竹絃和音		高平艟山
716	1985	昭和60年	8	楽信		
717	1985	昭和60年	9	巻頭言		三代中尾都山
717	1985	昭和60年	9	竹絃和音		高平艟山
717	1985	昭和60年	9	本曲コンクールについて		高平艟山
717	1985	昭和60年	9	楽信		
718	1985	昭和60年	10	巻頭言		三代中尾都山
718	1985	昭和60年	10	続天山荘楽談	21	田辺秀雄
718	1985	昭和60年	10	竹絃和音		高平艟山
718	1985	昭和60年	10	楽信		
719	1985	昭和60年	11	巻頭言		三代中尾都山
719	1985	昭和60年	11	竹絃和音		高平艟山
719	1985	昭和60年	11	流史資料		針ヶ谷観山
720	1985	昭和60年	12	巻頭言		三代中尾都山
720	1985	昭和60年	12	続天山荘楽談	22	田辺秀雄
720	1985	昭和60年	12	竹絃和音		高平艟山
721	1986	昭和61年	1	巻頭言		三代中尾都山
721	1986	昭和61年	1	続天山荘楽談	23	田辺秀雄
721	1986	昭和61年	1	竹絃和音		高平艟山
721	1986	昭和61年	1	楽信		
722	1986	昭和61年	2	巻頭言		三代中尾都山

722	1986	昭和61年	2	竹絃和音		高平艟山
722	1986	昭和61年	2	楽信		中島浩山･岩竹匠清
723	1986	昭和61年	3	巻頭言		三代中尾都山
723	1986	昭和61年	3	続天山荘楽談	24	田辺秀雄
723	1986	昭和61年	3	竹絃和音		高平艟山
723	1986	昭和61年	3	都山流尺八楽会　香港･広州･桂林視察団		文昌堂
723	1986	昭和61年	3	楽信		
724	1986	昭和61年	4	巻頭言		三代中尾都山
724	1986	昭和61年	4	竹絃和音		高平艟山
724	1986	昭和61年	4	検定試験学科部門の問題について		高平艟山
725	1986	昭和61年	5	巻頭言		三代中尾都山
725	1986	昭和61年	5	続天山荘楽談	25	田辺秀雄
725	1986	昭和61年	5	竹絃和音		高平艟山
725	1986	昭和61年	5	楽信		武林燁山･佐野常山
726	1986	昭和61年	6	巻頭言		三代中尾都山
726	1986	昭和61年	6	竹絃和音		高平艟山
726	1986	昭和61年	6	関東支部演奏会参聴の記		大場晴山
727	1986	昭和61年	7	巻頭言		三代中尾都山
727	1986	昭和61年	7	続天山荘楽談	26	田辺秀雄
727	1986	昭和61年	7	竹絃和音		高平艟山
727	1986	昭和61年	7	”テトラコード”による“和歌の浦”	低音箏の調絃の解明	冨沢和山
728	1986	昭和61年	8	巻頭言		三代中尾都山
728	1986	昭和61年	8	竹絃和音		高平艟山
728	1986	昭和61年	8	アメリカ演奏旅行記		山本邦山
728	1986	昭和61年	8	楽信		清水聖山
729	1986	昭和61年	9	巻頭言		三代中尾都山
729	1986	昭和61年	9	続天山荘楽談	27	田辺秀雄
729	1986	昭和61年	9	竹絃和音		高平艟山
730	1986	昭和61年	10	巻頭言		三代中尾都山
730	1986	昭和61年	10	竹絃和音		高平艟山
730	1986	昭和61年	10	本曲コンクール所感		高平艟山
731	1986	昭和61年	11	巻頭言		三代中尾都山
731	1986	昭和61年	11	続天山荘楽談	28	田辺秀雄
731	1986	昭和61年	11	竹絃和音		高平艟山
731	1986	昭和61年	11	古曲「残月」の尺八手付けについてのエピソードと都山流尺八本曲基本形に想うこと		冨沢和山
732	1986	昭和61年	12	巻頭言		三代中尾都山
732	1986	昭和61年	12	竹絃和音		高平艟山
732	1986	昭和61年	12	楽信	演奏会顛末記	小山睦山
733	1987	昭和62年	1	巻頭言		三代中尾都山
733	1987	昭和62年	1	続天山荘楽談	29	田辺秀雄
733	1987	昭和62年	1	竹絃和音		高平艟山
734	1987	昭和62年	2	巻頭言		三代中尾都山
734	1987	昭和62年	2	竹絃和音		高平艟山
734	1987	昭和62年	2	楽信		大竹泗山
735	1987	昭和62年	3	巻頭言		三代中尾都山
735	1987	昭和62年	3	若宗家ご成婚		
736	1987	昭和62年	4	巻頭言		三代中尾都山
736	1987	昭和62年	4	続天山荘楽談	29	田辺秀雄
736	1987	昭和62年	4	竹絃和音		高平艟山
736	1987	昭和62年	4	楽信		
737	1987	昭和62年	5	巻頭言		三代中尾都山
737	1987	昭和62年	5	竹絃和音		高平艟山
737	1987	昭和62年	5	楽信		田代顕山･藤曲草山
738	1987	昭和62年	6	巻頭言		三代中尾都山
738	1987	昭和62年	6	続天山荘楽談	30	田辺秀雄
738	1987	昭和62年	6	竹絃和音		高平艟山
738	1987	昭和62年	6	楽信	我が尺八道	多田仙岳

739	1987	昭和62年	7	巻頭言		三代中尾都山
739	1987	昭和62年	7	竹絃和音		高平艟山
739	1987	昭和62年	7	楽信		瀬戸心山･中嶋酔山
740	1987	昭和62年	8	巻頭言		三代中尾都山
740	1987	昭和62年	8	続天山荘楽談	31	田辺秀雄
740	1987	昭和62年	8	竹絃和音		高平艟山
740	1987	昭和62年	8	楽信		
741	1987	昭和62年	9	巻頭言		三代中尾都山
741	1987	昭和62年	9	竹絃和音		高平艟山
741	1987	昭和62年	9	楽信		
742	1987	昭和62年	10	巻頭言		三代中尾都山
742	1987	昭和62年	10	続天山荘楽談	32	田辺秀雄
742	1987	昭和62年	10	竹絃和音		高平艟山
742	1987	昭和62年	10	楽信		
743	1987	昭和62年	11	巻頭言		三代中尾都山
743	1987	昭和62年	11	竹絃和音		高平艟山
743	1987	昭和62年	11	本曲基本型について		小山菁山
744	1987	昭和62年	12	巻頭言		三代中尾都山
744	1987	昭和62年	12	竹絃和音		高平艟山
745	1988	昭和63年	1	巻頭言		三代中尾都山
745	1988	昭和63年	1	続天山荘楽談	33	田辺秀雄
745	1988	昭和63年	1	竹絃和音		高平艟山
746	1988	昭和63年	2	巻頭言		三代中尾都山
746	1988	昭和63年	2	竹絃和音		高平艟山
746	1988	昭和63年	2	楽信		
747	1988	昭和63年	3	巻頭言		三代中尾都山
747	1988	昭和63年	3	続天山荘楽談	34	田辺秀雄
747	1988	昭和63年	3	竹絃和音		高平艟山
747	1988	昭和63年	3	都山流尺八楽合奏団同行記		文昌堂
748	1988	昭和63年	4	巻頭言		三代中尾都山
748	1988	昭和63年	4	竹絃和音		高平艟山
749	1988	昭和63年	5	巻頭言		三代中尾都山
749	1988	昭和63年	5	続天山荘楽談	35	田辺秀雄
749	1988	昭和63年	5	竹絃和音		高平艟山
750	1988	昭和63年	6	巻頭言		三代中尾都山
750	1988	昭和63年	6	竹絃和音		高平艟山
751	1988	昭和63年	7	巻頭言		三代中尾都山
751	1988	昭和63年	7	都山流尺八全国大会について		全国大会委員長
751	1988	昭和63年	7	続天山荘楽談	36	田辺秀雄
751	1988	昭和63年	7	竹絃和音		高平艟山
752	1988	昭和63年	8	巻頭言		三代中尾都山
752	1988	昭和63年	8	竹絃和音		高平艟山
752	1988	昭和63年	8	田島昇山師をしのぶ		萱間螢山
753	1988	昭和63年	9	巻頭言		三代中尾都山
753	1988	昭和63年	9	続天山荘楽談	37	田辺秀雄
753	1988	昭和63年	9	竹絃和音		高平艟山
754	1988	昭和63年	10	巻頭言		三代中尾都山
754	1988	昭和63年	10	竹絃和音		高平艟山
755	1988	昭和63年	11	巻頭言		三代中尾都山
755	1988	昭和63年	11	続天山荘楽談	38	田辺秀雄
755	1988	昭和63年	11	竹絃和音		高平艟山
756	1988	昭和63年	12	巻頭言		三代中尾都山
756	1988	昭和63年	12	竹絃和音		高平艟山
757	1989	昭和64年	1	巻頭言		三代中尾都山
757	1989	昭和64年	1	続天山荘楽談	39	田辺秀雄
757	1989	昭和64年	1	竹絃和音		高平艟山
758	1989	平成元年	2	巻頭言		三代中尾都山
758	1989	平成元年	2	竹絃和音		高平艟山

759	1989	平成元年	3	巻頭言		三代中尾都山
759	1989	平成元年	3	続天山荘楽談	40	田辺秀雄
759	1989	平成元年	3	竹絃和音		高平艟山
760	1989	平成元年	4	巻頭言		三代中尾都山
760	1989	平成元年	4	竹絃和音		高平艟山
761	1989	平成元年	5	巻頭言		三代中尾都山
761	1989	平成元年	5	続天山荘楽談	41	田辺秀雄
761	1989	平成元年	5	竹絃和音		高平艟山
762	1989	平成元年	6	巻頭言		三代中尾都山
762	1989	平成元年	6	竹絃和音		高平艟山
763	1989	平成元年	7	巻頭言		三代中尾都山
763	1989	平成元年	7	続天山荘楽談	42	田辺秀雄
763	1989	平成元年	7	竹絃和音		高平艟山
764	1989	平成元年	8	巻頭言		三代中尾都山
764	1989	平成元年	8	竹絃和音		高平艟山
765	1989	平成元年	9	巻頭言		三代中尾都山
765	1989	平成元年	9	続天山荘楽談	43	田辺秀雄
765	1989	平成元年	9	竹絃和音		高平艟山
766	1989	平成元年	10	巻頭言		三代中尾都山
766	1989	平成元年	10	竹絃和音		高平艟山
767	1989	平成元年	11	巻頭言		三代中尾都山
767	1989	平成元年	11	続天山荘楽談	44	田辺秀雄
767	1989	平成元年	11	竹絃和音		高平艟山
768	1989	平成元年	12	巻頭言		三代中尾都山
768	1989	平成元年	12	平成元年度本曲コンクール考	（二）	高平艟山
769	1990	平成2年	1	続天山荘楽談	43	田辺秀雄
769	1990	平成2年	1	竹絃和音		高平艟山
770	1990	平成2年	2	私たちの母、三代宗家永遠の旅へ		
770	1990	平成2年	2	竹絃和音		高平艟山
771	1990	平成2年	3	ご挨拶		四代中尾都山
771	1990	平成2年	3	三代中尾都山　都山流尺八楽会葬		
772	1990	平成2年	4	三代御宗家の巻頭言に憶ふ		高平艟山
772	1990	平成2年	4	続天山荘楽談	44	田辺秀雄
772	1990	平成2年	4	竹絃和音		高平艟山
773	1990	平成2年	5	巻頭言		高平艟山
773	1990	平成2年	5	竹絃和音		高平艟山
774	1990	平成2年	6	巻頭言		高平艟山
774	1990	平成2年	6	続天山荘楽談	46	田辺秀雄
774	1990	平成2年	6	竹絃和音		高平艟山
775	1990	平成2年	7	巻頭言		四代中尾都山
775	1990	平成2年	7	竹絃和音		高平艟山
775	1990	平成2年	7	関東支部『都山流尺八演奏大会』を終えて		稲村隆山
776	1990	平成2年	8	続天山荘楽談	47	田辺秀雄
776	1990	平成2年	8	竹絃和音		高平艟山
777	1990	平成2年	9	巻頭言		
777	1990	平成2年	9	竹絃和音		高平艟山
778	1990	平成2年	10	第15回都山流鑑賞会を終えて		四代中尾都山
778	1990	平成2年	10	続天山荘楽談	47	田辺秀雄
778	1990	平成2年	10	竹絃和音		高平艟山
779	1990	平成2年	11	巻頭言		四代中尾都山
779	1990	平成2年	11	竹絃和音		高平艟山
780	1990	平成2年	12	巻頭言		四代中尾都山
780	1990	平成2年	12	竹絃和音		高平艟山
781	1991	平成3年	1	続天山荘楽談	48	田辺秀雄
781	1991	平成3年	1	竹絃和音		高平艟山
782	1991	平成3年	2	巻頭言		四代中尾都山
782	1991	平成3年	2	竹絃和音		高平艟山

783	1991	平成3年	3	巻頭言	理事会、評議員会、支部長連絡会を了えて	高平艟山
783	1991	平成3年	3	続天山荘楽談	49	田辺秀雄
783	1991	平成3年	3	竹絃和音		高平艟山
784	1991	平成3年	4	巻頭言	陽春の候を迎えて	四代中尾都山
784	1991	平成3年	4	竹絃和音		高平艟山
785	1991	平成3年	5	巻頭言	個性と自我	高平艟山
785	1991	平成3年	5	続天山荘楽談	50	田辺秀雄
785	1991	平成3年	5	竹絃和音		高平艟山
786	1991	平成3年	6	巻頭言	都山流尺八道場再建に際して	高平艟山
786	1991	平成3年	6	竹絃和音		高平艟山
787	1991	平成3年	7	巻頭言	慶びのおたより	高平艟山
787	1991	平成3年	7	続天山荘楽談	51	田辺秀雄
787	1991	平成3年	7	竹絃和音		高平艟山
788	1991	平成3年	8	巻頭言	濫読の中より	高平艟山
788	1991	平成3年	8	竹絃和音		高平艟山
788	1991	平成3年	8	楽信		
789	1991	平成3年	9	巻頭言	宗家の四代襲名披露に際して	高平艟山
789	1991	平成3年	9	続天山荘楽談	53	田辺秀雄
789	1991	平成3年	9	竹絃和音		高平艟山
790	1991	平成3年	10	巻頭言		四代中尾都山
790	1991	平成3年	10	竹絃和音		高平艟山
790	1991	平成3年	10	師範試験に挑戦して		細山鋒山
791	1991	平成3年	11	巻頭言		四代中尾都山
791	1991	平成3年	11	続天山荘楽談	54	田辺秀雄
791	1991	平成3年	11	竹絃和音		高平艟山
792	1991	平成3年	12	巻頭言		四代中尾都山
792	1991	平成3年	12	竹絃和音		高平艟山
793	1992	平成4年	1	年頭の辞		四代中尾都山
793	1992	平成4年	1	続天山荘楽談	55	田辺秀雄
793	1992	平成4年	1	竹絃和音		高平艟山
794	1992	平成4年	2	巻頭言		高平艟山
794	1992	平成4年	2	竹絃和音		高平艟山
794	1992	平成4年	2	楽信		
795	1992	平成4年	3	巻頭言		高平艟山
795	1992	平成4年	3	都山流尺八楽の向上について		高平艟山
795	1992	平成4年	3	続天山荘楽談	56	田辺秀雄
795	1992	平成4年	3	竹絃和音		高平艟山
795	1992	平成4年	3	楽信		仁科盛維山
796	1992	平成4年	4	巻頭言		高平艟山
796	1992	平成4年	4	竹絃和音		高平艟山
797	1992	平成4年	5	巻頭言		四代中尾都山
797	1992	平成4年	5	続天山荘楽談	57	田辺秀雄
797	1992	平成4年	5	竹絃和音		高平艟山
798	1992	平成4年	6	巻頭言		高平艟山
798	1992	平成4年	6	温故知新	フエをたずねて（1）	久保田敏子
798	1992	平成4年	6	竹絃和音		高平艟山
799	1992	平成4年	7	巻頭言		高平艟山
799	1992	平成4年	7	続天山荘楽談	58	田辺秀雄
799	1992	平成4年	7	竹絃和音		高平艟山
800	1992	平成4年	8	巻頭言		四代中尾都山
800	1992	平成4年	8	温故知新	フエをたずねて（2）	久保田敏子
800	1992	平成4年	8	竹絃和音		高平艟山
801	1992	平成4年	9	巻頭言		高平艟山
801	1992	平成4年	9	続天山荘楽談	59	田辺秀雄
801	1992	平成4年	9	竹絃和音		高平艟山
802	1992	平成4年	10	巻頭言		四代中尾都山
802	1992	平成4年	10	温故知新	フエをたずねて（3）	久保田敏子

802	1992	平成4年	10	竹絃和音		高平艟山
803	1992	平成4年	11	巻頭言		高平艟山
803	1992	平成4年	11	続天山荘楽談	60	田辺秀雄
803	1992	平成4年	11	竹絃和音		高平艟山
803	1992	平成4年	11	楽信		
804	1992	平成4年	12	巻頭言		四代中尾都山
804	1992	平成4年	12	温故知新	フエをたずねて （4）	久保田敏子
804	1992	平成4年	12	竹絃和音		高平艟山
804	1992	平成4年	12	夏季講習会を終って		今井舞山
804	1992	平成4年	12	還暦を過ぎて想うこと		石原頌山
805	1993	平成5年	1	新春の挨拶		四代中尾都山
805	1993	平成5年	1	続天山荘楽談	61	田辺秀雄
805	1993	平成5年	1	竹絃和音		高平艟山
806	1993	平成5年	2	巻頭言		高平艟山
806	1993	平成5年	2	竹絃和音		高平艟山
806	1993	平成5年	2	竹琳軒正吉田暹山先生殿堂入り、竹琳軒正允許、開軒55周年	演奏会及び祝賀会	深津海汪山
806	1993	平成5年	2	竹琳軒正吉田暹山先生殿堂入り、竹琳軒正允許、開軒55周年	祝賀行事顛末記	山崎曠山
806	1993	平成5年	2	竹琳軒正吉田暹山先生殿堂入り、竹琳軒正允許、開軒55周年	祝賀演奏会	澤井棟山
806	1993	平成5年	2	竹琳軒正吉田暹山先生殿堂入り、竹琳軒正允許、開軒55周年	殿堂入り顕彰祝賀	山達操山
806	1993	平成5年	2	竹琳軒正吉田暹山先生殿堂入り、竹琳軒正允許、開軒55周年	祝賀演奏会を終えて	山本秦山
806	1993	平成5年	2	竹琳軒正吉田暹山先生殿堂入り、竹琳軒正允許、開軒55周年	祝賀演奏会を終えて	村岡昊山
807	1993	平成5年	3	巻頭言		四代中尾都山
807	1993	平成5年	3	温故知新	フエをたずねて （5）	久保田敏子
807	1993	平成5年	3	竹絃和音		高平艟山
808	1993	平成5年	4	巻頭言		高平艟山
808	1993	平成5年	4	続天山荘楽談	62	田辺秀雄
808	1993	平成5年	4	竹絃和音		高平艟山
809	1993	平成5年	5	巻頭言		高平艟山
809	1993	平成5年	5	温故知新	フエをたずねて （6）	久保田敏子
809	1993	平成5年	5	竹絃和音		高平艟山
810	1993	平成5年	6	巻頭言		高平艟山
810	1993	平成5年	6	続天山荘楽談	63	田辺秀雄
810	1993	平成5年	6	竹絃和音		高平艟山
810	1993	平成5年	6	受賞によせて		西岡黎山
811	1993	平成5年	7	巻頭言		高平艟山
811	1993	平成5年	7	温故知新	フエをたずねて （7）	久保田敏子
811	1993	平成5年	7	竹絃和音		高平艟山
812	1993	平成5年	8	巻頭言		高平艟山
812	1993	平成5年	8	続天山荘楽談	64	田辺秀雄
812	1993	平成5年	8	竹絃和音		高平艟山
812	1993	平成5年	8	都山流尺八本曲基本型研修の集い		松田淞山
813	1993	平成5年	9	巻頭言		高平艟山
813	1993	平成5年	9	温故知新	フエをたずねて （8）	久保田敏子
813	1993	平成5年	9	竹絃和音		高平艟山
813	1993	平成5年	9	平成5年度本部講習を受講して		冨沢和山･松本礎山･森籠山
813	1993	平成5年	9	宗家臨席の本曲講習会		長瀧奏山
813	1993	平成5年	9	第18回支部演奏会		背戸心山
814	1993	平成5年	10	巻頭言		高平艟山
814	1993	平成5年	10	続天山荘楽談	65	田辺秀雄
814	1993	平成5年	10	竹絃和音		高平艟山
815	1993	平成5年	11	巻頭言		高平艟山
815	1993	平成5年	11	温故知新	フエをたずねて （9）	久保田敏子
815	1993	平成5年	11	竹絃和音		高平艟山
815	1993	平成5年	11	第19回本曲コンクールについて		高平艟山
815	1993	平成5年	11	雑感		背戸心山
816	1993	平成5年	12	巻頭言		高平艟山
816	1993	平成5年	12	続天山荘楽談	66	田辺秀雄
816	1993	平成5年	12	竹絃和音		高平艟山

817	1994	平成6年	1	新春の挨拶			四代中尾都山
817	1994	平成6年	1	温故知新	フエをたずねて（10）		久保田敏子
817	1994	平成6年	1	竹絃和音			高平艟山
817	1994	平成6年	1	愛知県支部特別演奏会			佃夕山･渡邊邑山
818	1994	平成6年	2	巻頭言			高平艟山
818	1994	平成6年	2	竹絃和音			高平艟山
818	1994	平成6年	2	艟山師の祝賀記念の催しに憶う			杉原泰山
818	1994	平成6年	2	高平先生開軒55周年記念演奏会を終えて			岩本創山
818	1994	平成6年	2	高平先生開軒55周年記念演奏会の都山流演奏会に参加して			小林粋舟
819	1994	平成6年	3	巻頭言			高平艟山
819	1994	平成6年	3	温故知新	フエをたずねて（11）		久保田敏子
819	1994	平成6年	3	平成6年度･第30期事業計画について			高平艟山
819	1994	平成6年	3	竹絃和音			高平艟山
819	1994	平成6年	3	本曲コンクールに寄せて			木谷棲山
819	1994	平成6年	3	やっと取れた准師範			木村遠盛
820	1994	平成6年	4	巻頭言			高平艟山
820	1994	平成6年	4	続天山荘楽談		67	田辺秀雄
820	1994	平成6年	4	竹絃和音			高平艟山
820	1994	平成6年	4	評議員会、本部支部連絡会印象記			田代顕山
820	1994	平成6年	4	邦楽鑑賞会を通して			背戸心山
820	1994	平成6年	4	我が都山流尺八に想う			平江風山
821	1994	平成6年	5	巻頭言			高平艟山
821	1994	平成6年	5	温故知新	フエをたずねて（12）		久保田敏子
821	1994	平成6年	5	竹絃和音			高平艟山
821	1994	平成6年	5	試験問題考			高平艟山
822	1994	平成6年	6	巻頭言			高平艟山
822	1994	平成6年	6	發展之辞			流祖中尾都山
822	1994	平成6年	6	音楽界の趨勢			上田敏
822	1994	平成6年	6	感想録			流祖中尾都山
822	1994	平成6年	6	続天山荘楽談		68	田辺秀雄
822	1994	平成6年	6	竹絃和音			高平艟山
823	1994	平成6年	7	巻頭言			高平艟山
823	1994	平成6年	7	感想録			流祖中尾都山
823	1994	平成6年	7	温故知新	フエをたずねて（13）		久保田敏子
823	1994	平成6年	7	竹絃和音			高平艟山
823	1994	平成6年	7	蒔かぬ種は生えぬ			田代顕山
823	1994	平成6年	7	本曲講習会を終えて			小西鏘山
823	1994	平成6年	7	永年継続開軒表彰によせて			大東庵聖
824	1994	平成6年	8	巻頭言			高平艟山
824	1994	平成6年	8	感想録			流祖中尾都山
824	1994	平成6年	8	続天山荘楽談		69	田辺秀雄
824	1994	平成6年	8	竹絃和音			高平艟山
824	1994	平成6年	8	「美しき音流」を終えて			花山嵐山
824	1994	平成6年	8	私と都山流尺八			稲田日山
824	1994	平成6年	8	師を偲んで			阿江繁山
825	1994	平成6年	9	巻頭言			高平艟山
825	1994	平成6年	9	感想録			流祖中尾都山
825	1994	平成6年	9	温故知新	フエをたずねて（14）		久保田敏子
825	1994	平成6年	9	竹絃和音			高平艟山
825	1994	平成6年	9	「都山流百年史」へ向けて	（一）		森田柊山
825	1994	平成6年	9	「試験記」検定試験世話係として			中島浩山
825	1994	平成6年	9	富山検定試験記－会場世話係として			常木緑久山
825	1994	平成6年	9	検定試験を終えて			井上管山
825	1994	平成6年	9	大峯山登山随行記			田中汪山
826	1994	平成6年	10	巻頭言			高平艟山
826	1994	平成6年	10	感想録			流祖中尾都山
826	1994	平成6年	10	続天山荘楽談		70	田辺秀雄
826	1994	平成6年	10	竹絃和音			高平艟山

826	1994	平成6年	10	「都山流百年史」へ向けて	（二）	森田柊山
826	1994	平成6年	10	丸山城山先生に憶う		高平艟山
826	1994	平成6年	10	弔辞		四代中尾都山･岡舟山･横山励山
826	1994	平成6年	10	野村峰山20周年演奏会		藤谷涼山
826	1994	平成6年	10	第29回岡山県支部演奏会		大前真山
827	1994	平成6年	11	巻頭言		高平艟山
827	1994	平成6年	11	感想録		流祖中尾都山
827	1994	平成6年	11	竹絃和音		高平艟山
827	1994	平成6年	11	コンクール全国大会評		森故山･小山菁山･石垣征山･野村峰山･川村泰山･森田柊山
827	1994	平成6年	11	「都山流百年史」へ向けて	（三）	森田柊山
827	1994	平成6年	11	京都府支部連合大演奏会始末記		安田耕山
827	1994	平成6年	11	パナマ便り		大串翻山
828	1994	平成6年	12	巻頭言		高平艟山
828	1994	平成6年	12	感想録		流祖中尾都山
828	1994	平成6年	12	続天山荘楽談	71	田辺秀雄
828	1994	平成6年	12	竹絃和音		高平艟山
828	1994	平成6年	12	「都山流百年史」へ向けて	（四）	森田柊山
828	1994	平成6年	12	萬象尽蔵一管中		川井恍山
828	1994	平成6年	12	都山流本曲基本型講習会		工藤研山
829	1995	平成7年	1	新春の挨拶		四代中尾都山
829	1995	平成7年	1	巻頭言		高平艟山
829	1995	平成7年	1	懐古録	（一）	流祖中尾都山
829	1995	平成7年	1	温故知新	フエをたずねて （15）	久保田敏子
829	1995	平成7年	1	竹絃和音		高平艟山
829	1995	平成7年	1	「都山流百年史」へ向けて	（五）	森田柊山
829	1995	平成7年	1	第17回都山流鑑賞会の報告		比地原叡山
829	1995	平成7年	1	第17回都山流鑑賞会		背戸心山
830	1995	平成7年	2	巻頭言		高平艟山
830	1995	平成7年	2	懐古録	（二）	流祖中尾都山
830	1995	平成7年	2	続天山荘楽談	72	田辺秀雄
830	1995	平成7年	2	竹絃和音		高平艟山
830	1995	平成7年	2	平成7年度事業計画について		高平艟山
830	1995	平成7年	2	阪神大震災について		
830	1995	平成7年	2	「都山流百年史」へ向けて	（六）	森田柊山
830	1995	平成7年	2	師範登第によせて		中絵図酔山
831	1995	平成7年	3	巻頭言		高平艟山
831	1995	平成7年	3	懐古録	（三）	流祖中尾都山
831	1995	平成7年	3	温故知新	フエをたずねて （17）	久保田敏子
831	1995	平成7年	3	竹絃和音		高平艟山
831	1995	平成7年	3	「都山流百年史」へ向けて		森田柊山
831	1995	平成7年	3	准師範試験学科問題考		高平艟山
832	1995	平成7年	4	巻頭言		高平艟山
832	1995	平成7年	4	続天山荘楽談	73	田辺秀雄
832	1995	平成7年	4	竹絃和音		高平艟山
832	1995	平成7年	4	通告		四代中尾都山
833	1995	平成7年	5	巻頭言		高平艟山
833	1995	平成7年	5	懐古録	（四）	流祖中尾都山
833	1995	平成7年	5	温故知新	フエをたずねて （18）	久保田敏子
833	1995	平成7年	5	竹絃和音		高平艟山
833	1995	平成7年	5	「都山流百年史」へ向けて	（八）	森田柊山
833	1995	平成7年	5	義援金を頂いて		橋野黙山
833	1995	平成7年	5	広島呉地区あれこれ		背戸心山
833	1995	平成7年	5	英語弁論大会によせて		大東庵聖
833	1995	平成7年	5	私の趣味		橋口庵楽
834	1995	平成7年	6	巻頭言		高平艟山
834	1995	平成7年	6	回古録	（四）	流祖中尾都山
834	1995	平成7年	6	続天山荘楽談	74	田辺秀雄

834	1995	平成7年	6	竹絃和音		高平艟山
834	1995	平成7年	6	「都山流百年史」へ向けて	（九）	森田柊山
834	1995	平成7年	6	平田洪山師開軒65周年演奏会によせて		川井恍山
834	1995	平成7年	6	平田洪山先生開軒65周年演奏会を終えて		大谷保山
834	1995	平成7年	6	蒔かぬ種は生えぬ		田代慎山
835	1995	平成7年	7	暑中見舞		四代中尾都山
835	1995	平成7年	7	回顧録	（六）	流祖中尾都山
835	1995	平成7年	7	温故知新	フエをたずねて （19）	久保田敏子
835	1995	平成7年	7	竹絃和音		高平艟山
835	1995	平成7年	7	「都山流百年史」へ向けて	（十）	森田柊山
836	1995	平成7年	8	巻頭言		
836	1995	平成7年	8	回顧録	（七）	流祖中尾都山
836	1995	平成7年	8	続天山荘楽談	75	田辺秀雄
836	1995	平成7年	8	竹絃和音		高平艟山
836	1995	平成7年	8	「都山流百年史」へ向けて	（十一）	森田柊山
837	1995	平成7年	9	巻頭言		高平艟山
837	1995	平成7年	9	回顧録	（八）	流祖中尾都山
837	1995	平成7年	9	温故知新	フエをたずねて （20）	久保田敏子
837	1995	平成7年	9	竹絃和音		高平艟山
837	1995	平成7年	9	本部夏季講習会に憶う		杉原泰山
837	1995	平成7年	9	「都山流百年史」へ向けて	（十二）	森田柊山
837	1995	平成7年	9	小中学生を対象にした邦楽鑑賞会		宮崎靖山
837	1995	平成7年	9	小中学生対象「尺八と箏」に親しむ会に出演して		森田柊山
838	1995	平成7年	10	巻頭言		高平艟山
838	1995	平成7年	10	続天山荘楽談	76	田辺秀雄
838	1995	平成7年	10	竹絃和音		高平艟山
838	1995	平成7年	10	シンガポール国立大学音楽部に尺八講座設置される		森田柊山
839	1995	平成7年	11	巻頭言		高平艟山
839	1995	平成7年	11	回顧録		流祖中尾都山
839	1995	平成7年	11	温故知新	フエをたずねて （21）	久保田敏子
839	1995	平成7年	11	竹絃和音		高平艟山
839	1995	平成7年	11	第21回本曲コンクール評		石垣征山･森田柊山･野村峰山･小山菁山･森故山･川村泰山
839	1995	平成7年	11	「都山流百年史」へ向けて	（十三）	森田柊山
839	1995	平成7年	11	故竹琳軒大竹泗山師を悼む		木村道山
839	1995	平成7年	11	女子高校生邦楽大会出演		山本眉山
840	1995	平成7年	12	巻頭言		高平艟山
840	1995	平成7年	12	回顧録		流祖中尾都山
840	1995	平成7年	12	続天山荘楽談	77	田辺秀雄
840	1995	平成7年	12	竹絃和音		高平艟山
840	1995	平成7年	12	「都山流百年史」へ向けて	（十四）	森田柊山
841	1996	平成8年	1	新春の挨拶		四代中尾都山
841	1996	平成8年	1	巻頭言		高平艟山
841	1996	平成8年	1	温故知新	フエをたずねて （22）	久保田敏子
841	1996	平成8年	1	竹絃和音		高平艟山
841	1996	平成8年	1	「都山流百年史」へ向けて	（十五）	森田柊山
842	1996	平成8年	2	巻頭言		高平艟山
842	1996	平成8年	2	続天山荘楽談	78	田辺秀雄
842	1996	平成8年	2	「都山流百年史」へ向けて	（十六）	森田柊山
842	1996	平成8年	2	永すぎた准師範までの道程		森田暹真
842	1996	平成8年	2	東京准師範検定試験の帰路		津田暹舟
842	1996	平成8年	2	小学生と尺八とのふれあい		中島翠山
842	1996	平成8年	2	呉地区より便り		背戸心山
843	1996	平成8年	3	巻頭言		高平艟山
843	1996	平成8年	3	温故知新	フエをたずねて （23）	久保田敏子
843	1996	平成8年	3	「都山流百年史」へ向けて	（十七）	森田柊山
843	1996	平成8年	3	温度と尺八のピッチについて		宮本吟山
843	1996	平成8年	3	日本の伝統の響きに酔う		

844	1996	平成8年	4	巻頭言		高平艟山
844	1996	平成8年	4	続天山荘楽談	79	田辺秀雄
844	1996	平成8年	4	竹絃和音		高平艟山
844	1996	平成8年	4	「都山流百年史」へ向けて	（十八）	森田柊山
845	1996	平成8年	5	巻頭言		高平艟山
845	1996	平成8年	5	続天山荘楽談	80	田辺秀雄
845	1996	平成8年	5	竹絃和音		高平艟山
845	1996	平成8年	5	「都山流百年史」へ向けて	（十九）	森田柊山
845	1996	平成8年	5	創立記念式典･百周年記念祝賀会に参列して		森田柊山
845	1996	平成8年	5	宮崎県支部の中村炫山さんにお礼を		山部桃山
845	1996	平成8年	5	呉市小学校邦楽鑑賞会報告		背戸心山
846	1996	平成8年	6	巻頭言		高平艟山
846	1996	平成8年	6	温故知新	フエをたずねて （24）	久保田敏子
846	1996	平成8年	6	竹絃和音		高平艟山
846	1996	平成8年	6	准師範試験学科問題考		高平艟山
846	1996	平成8年	6	「都山流百年史」へ向けて	（二十）	森田柊山
846	1996	平成8年	6	香港の近況報告		藤田柊山
847	1996	平成8年	7	巻頭言		高平艟山
847	1996	平成8年	7	続天山荘楽談	81	田辺秀雄
847	1996	平成8年	7	竹絃和音		高平艟山
848	1996	平成8年	8	巻頭言		高平艟山
848	1996	平成8年	8	温故知新	フエをたずねて （25）	久保田敏子
848	1996	平成8年	8	竹絃和音		高平艟山
848	1996	平成8年	8	「都山流百年史」へ向けて	（二十一）	森田柊山
849	1996	平成8年	9	巻頭言		高平艟山
849	1996	平成8年	9	続天山荘楽談	81	田辺秀雄
849	1996	平成8年	9	竹絃和音		高平艟山
849	1996	平成8年	9	女子高校生「千鳥の曲」演奏		山本眉山
850	1996	平成8年	10	巻頭言		高平艟山
850	1996	平成8年	10	温故知新	フエをたずねて （26）	久保田敏子
850	1996	平成8年	10	竹絃和音		高平艟山
850	1996	平成8年	10	都山流百周年記念富山県支部演奏会を終えて		山田祐山
850	1996	平成8年	10	第十六回松風尺八演奏会		背戸心山
851	1996	平成8年	11	巻頭言		高平艟山
851	1996	平成8年	11	続天山荘楽談	82	田辺秀雄
851	1996	平成8年	11	竹絃和音		高平艟山
851	1996	平成8年	11	本曲コンクール全国大会について		高平艟山
851	1996	平成8年	11	百年史資料と紹介とお尋ね		森田柊山
851	1996	平成8年	11	パナマ便り(2)		大串翻山
851	1996	平成8年	11	今年の大阪府支部定期演奏会		石原頌山
852	1996	平成8年	12	巻頭言		高平艟山
852	1996	平成8年	12	温故知新	フエをたずねて （27）	久保田敏子
852	1996	平成8年	12	竹絃和音		高平艟山
852	1996	平成8年	12	都山流百周年記念「都山流シンガポール公演」に参加して		森田柊山
852	1996	平成8年	12	関東支部顧問菊池立山師逝く		合田禮山
853	1997	平成9年	1	巻頭言		高平艟山
853	1997	平成9年	1	続天山荘楽談	83	田辺秀雄
853	1997	平成9年	1	竹絃和音		高平艟山
853	1997	平成9年	1	百年史資料と紹介とお尋ね		森田柊山
854	1997	平成9年	2	巻頭言		高平艟山
854	1997	平成9年	2	温故知新	フエをたずねて （28）	久保田敏子
854	1997	平成9年	2	竹絃和音		高平艟山
854	1997	平成9年	2	百年史資料紹介		森田柊山
854	1997	平成9年	2	参聴員としての所感		杉原泰山
854	1997	平成9年	2	八幸会演奏会		宮下徹山
855	1997	平成9年	3	巻頭言		高平艟山
855	1997	平成9年	3	続天山荘楽談	84	田辺秀雄
855	1997	平成9年	3	竹絃和音		高平艟山

855	1997	平成9年	3	百年史資料紹介		森田柊山
855	1997	平成9年	3	尺八清和の会		背戸心山」
855	1997	平成9年	3	師範検定試験を受験して		中村邑山
855	1997	平成9年	3	道場便り		
856	1997	平成9年	4	巻頭言		高平艟山
856	1997	平成9年	4	温故知新	フエをたずねて（29）	久保田敏子
856	1997	平成9年	4	竹絃和音		高平艟山
856	1997	平成9年	4	試験問題考		高平艟山
856	1997	平成9年	4	演奏会報		
856	1997	平成9年	4	吉田先生芸能賞受賞おめでとう		深津海汪山
857	1997	平成9年	5	巻頭言		高平艟山
857	1997	平成9年	5	続天山荘楽談	85	田辺秀雄
857	1997	平成9年	5	竹絃和音		高平艟山
857	1997	平成9年	5	百年史資料紹介		森田柊山
857	1997	平成9年	5	邦楽演奏会報告		背戸心山」
858	1997	平成9年	6	巻頭言		高平艟山
858	1997	平成9年	6	温故知新	フエをたずねて（30）	久保田敏子
858	1997	平成9年	6	竹絃和音		高平艟山
858	1997	平成9年	6	昇格披露演奏会		岡本響山
858	1997	平成9年	6	岡山の演奏会		背戸心山
858	1997	平成9年	6	福岡本曲講習会に参加して		山崎北山
859	1997	平成9年	7	巻頭言		高平艟山
859	1997	平成9年	7	続天山荘楽談	86	田辺秀雄
859	1997	平成9年	7	竹絃和音		高平艟山
860	1997	平成9年	8	巻頭言		高平艟山
860	1997	平成9年	8	続天山荘楽談	87	田辺秀雄
860	1997	平成9年	8	竹絃和音		高平艟山
860	1997	平成9年	8	本部講習に憶う		高平艟山
860	1997	平成9年	8	邦楽合奏研究会を受講して		田代顕山
860	1997	平成9年	8	邦楽と洋楽と舞踊		背戸心山
861	1997	平成9年	9	巻頭言		高平艟山
861	1997	平成9年	9	温故知新	フエをたずねて（31）	久保田敏子
861	1997	平成9年	9	竹絃和音		高平艟山
862	1997	平成9年	10	巻頭言		高平艟山
862	1997	平成9年	10	続天山荘楽談	88	田辺秀雄
862	1997	平成9年	10	竹絃和音		高平艟山
862	1997	平成9年	10	演奏会報		
863	1997	平成9年	11	巻頭言		高平艟山
863	1997	平成9年	11	竹絃和音		高平艟山
863	1997	平成9年	11	九州支部連合会演奏会参聴記		杉原泰山
863	1997	平成9年	11	竹戯芸生		加賀山菖山
864	1997	平成9年	12	巻頭言		高平艟山
864	1997	平成9年	12	温故知新	フエをたずねて（33）	久保田敏子
864	1997	平成9年	12	竹絃和音		高平艟山
864	1997	平成9年	12	「木枯」の曲想を得た芝公演		森田柊山
865	1998	平成10年	1	巻頭言		高平艟山
865	1998	平成10年	1	続天山荘楽談	89	田辺秀雄
865	1998	平成10年	1	竹絃和音		高平艟山
865	1998	平成10年	1	第11回都栖会演奏会報告		大串翻山
865	1998	平成10年	1	もう一つのケニア		大島眺山
866	1998	平成10年	2	巻頭言		高平艟山
866	1998	平成10年	2	温故知新	古曲をたずねて（34）	久保田敏子
866	1998	平成10年	2	竹絃和音		高平艟山
866	1998	平成10年	2	生田流箏曲大師範大勾当菊保多都子師逝く		廣見要山
866	1998	平成10年	2	尺八清和の会演奏会		背戸心山
867	1998	平成10年	3	巻頭言		高平艟山
867	1998	平成10年	3	続天山荘楽談	90	田辺秀雄
867	1998	平成10年	3	竹絃和音		高平艟山

868	1998	平成10年	4	巻頭言		高平艟山
868	1998	平成10年	4	温故知新	古曲をたずねて（35）	久保田敏子
868	1998	平成10年	4	竹絃和音		高平艟山
868	1998	平成10年	4	京都准師範検定試験を首席で終えて		橘海王邦
868	1998	平成10年	4	道場便り		
869	1998	平成10年	5	巻頭言		高平艟山
869	1998	平成10年	5	続天山荘楽談	91	田辺秀雄
869	1998	平成10年	5	竹絃和音		高平艟山
869	1998	平成10年	5	呉市小・中学校邦楽鑑賞会報告＝6回＝		背戸心山
869	1998	平成10年	5	昂山会・扇会第22回演奏会を終えて		奥　昂山
870	1998	平成10年	6	巻頭言		高平艟山
870	1998	平成10年	6	温故知新	古曲をたずねて（36）	久保田敏子
870	1998	平成10年	6	竹絃和音		高平艟山
870	1998	平成10年	6	流祖の足跡をたずねて		高木峰山
871	1998	平成10年	7	巻頭言		高平艟山
871	1998	平成10年	7	続天山荘楽談	92	田辺秀雄
871	1998	平成10年	7	富山県支部演奏会報告		京極紀山
871	1998	平成10年	7	竹嶺会主催で楽理講習開催す		辻井嶺山
872	1998	平成10年	8	巻頭言		四代中尾都山
872	1998	平成10年	8	温故知新	古曲をたずねて（37）	久保田敏子
872	1998	平成10年	8	中学校での尺八鑑賞会		玉置雪法山
873	1998	平成10年	9	巻頭言		高平艟山
873	1998	平成10年	9	続天山荘楽談	93	田辺秀雄
873	1998	平成10年	9	竹絃和音		高平艟山
873	1998	平成10年	9	研修会・夏季講習会受講記		藤田舞山
873	1998	平成10年	9	つれづれなるままに		久保苔山
874	1998	平成10年	10	巻頭言		高平艟山
874	1998	平成10年	10	温故知新	古曲をたずねて（38）	久保田敏子
874	1998	平成10年	10	竹絃和音		高平艟山
874	1998	平成10年	10	若葉記		藤田舞山
874	1998	平成10年	10	丈清社演奏会「小林丈山先生を偲んで」を終えて		舟槻穣山
874	1998	平成10年	10	平成10年度夏季講習会受講者		
875	1998	平成10年	11	巻頭言		高平艟山
875	1998	平成10年	11	続天山荘楽談	94	田辺秀雄
875	1998	平成10年	11	竹絃和音		高平艟山
875	1998	平成10年	11	大阪府支部定期演奏会報告		久田原行山
875	1998	平成10年	11	実兼咲山先生の思い出		藤田舞山
876	1998	平成10年	12	巻頭言		高平艟山
876	1998	平成10年	12	温故知新	古曲をたずねて（39）	久保田敏子
876	1998	平成10年	12	故「森維久山先生を偲ぶ会」の記		佐藤和久山
876	1998	平成10年	12	本曲コンクール全国大会を聞いて		藤田舞山
877	1999	平成11年	1	巻頭言		高平艟山
877	1999	平成11年	1	続天山荘楽談	95	田辺秀雄
877	1999	平成11年	1	「都山流本曲ルーツを訪ねてツアー」道中記		橋川天山
877	1999	平成11年	1	子どもが伝統を創った邦楽鑑賞教室		桝田恭山
878	1999	平成11年	2	巻頭言		高平艟山
878	1999	平成11年	2	温故知新	古曲をたずねて（40）	久保田敏子
878	1999	平成11年	2	竹琳軒正　吉田暹山先生　米寿記念事業		深津海王山
878	1999	平成11年	2	米寿祝賀会事業を終えて		山崎曠山
878	1999	平成11年	2	吉田暹山米寿祝賀会	最終ステージを振り返って	津田暹舟
879	1999	平成11年	3	巻頭言		高平艟山
879	1999	平成11年	3	続天山荘楽談	96	田辺秀雄
879	1999	平成11年	3	百年史拾遺	（一）	森田柊山
879	1999	平成11年	3	四国連合演奏会　徳島大会報告記		山本眉山
879	1999	平成11年	3	第三代ブラジル支部長　相良洋山先生を偲んで		佐伯秋山
879	1999	平成11年	3	出会いとご縁		背戸心山
880	1999	平成11年	4	巻頭言		高平艟山
880	1999	平成11年	4	温故知新	古曲をたずねて（41）	久保田敏子

880	1999	平成11年	4	百年史拾遺	（二）	森田柊山
880	1999	平成11年	4	紀元祭献楽に参加して		松木泌山
880	1999	平成11年	4	「シドニー・ジャパンフェスティバル」に参加して		高見柊山
880	1999	平成11年	4	小・中学校に於ける尺八学習		栗山晟山
881	1999	平成11年	5	巻頭言		高平艟山
881	1999	平成11年	5	続天山荘楽談	97	田辺秀雄
881	1999	平成11年	5	第41回評議会、本部･支部連絡会より		藤田舞山
882	1999	平成11年	6	巻頭言		高平艟山
882	1999	平成11年	6	温故知新	古曲をたずねて （42）	久保田敏子
882	1999	平成11年	6	百年史拾遺	（三）	森田柊山
882	1999	平成11年	6	竹吹談語		浜根湲山
882	1999	平成11年	6	甲府だより		山口祝山
883	1999	平成11年	7	巻頭言		高平艟山
883	1999	平成11年	7	続天山荘楽談	98	田辺秀雄
883	1999	平成11年	7	百年史拾遺	（四）	森田柊山
883	1999	平成11年	7	桜花祭献楽記		吉田瘁山
884	1999	平成11年	8	巻頭言		高平艟山
884	1999	平成11年	8	温故知新	古曲をたずねて （43）	久保田敏子
884	1999	平成11年	8	百年史拾遺	（五）	森田柊山
884	1999	平成11年	8	宗家講演「都山流と21世紀」		佐藤庵山
884	1999	平成11年	8	川井恍山師「都山賞」受賞お祝いの集い		赤松凛山
885	1999	平成11年	9	巻頭言		高平艟山
885	1999	平成11年	9	続天山荘楽談	99	田辺秀雄
885	1999	平成11年	9	四国の高嶺花　平田洪山師のこと		川井恍山
885	1999	平成11年	9	平田洪山師匠（実兄）を偲んで		吉岡苑山
885	1999	平成11年	9	「とにかく吹け」		穴吹荘山
885	1999	平成11年	9	平田洪山先生の思い出		今田琴山
885	1999	平成11年	9	殿堂入り竹琳軒正平田洪山先生の思い出		三好昭山
885	1999	平成11年	9	平田洪山先生をお偲びして		濱　燿山
885	1999	平成11年	9	「平成十一年度圭琳社温州会」について		若山惺山
886	1999	平成11年	10	巻頭言		高平艟山
886	1999	平成11年	10	温故知新	古曲をたずねて （45）	久保田敏子
886	1999	平成11年	10	夏季講習会を受講して		浅野母久山
886	1999	平成11年	10	学習指導要領について		藤田舞山
886	1999	平成11年	10	竹吹談語		浜根湲山
886	1999	平成11年	10	夏季講習会受講者名簿		
887	1999	平成11年	11	巻頭言		高平艟山
887	1999	平成11年	11	続天山荘楽談	100	田辺秀雄
887	1999	平成11年	11	学習指導要領について		藤田舞山
887	1999	平成11年	11	准師範試験を受験して		吉住周璘
887	1999	平成11年	11	試験後記		中島浩山
887	1999	平成11年	11	富山検定試験　裏方の記		高田蘋山
887	1999	平成11年	11	大阪府支部定期演奏会の記		佐藤和久山
888	1999	平成11年	12	巻頭言		高平艟山
888	1999	平成11年	12	温故知新	古曲をたずねて （46）	久保田敏子
888	1999	平成11年	12	コンクールを終えて		高平艟山･藤田舞山･濱野羊山･森故山･小山菁山･川村泰山･石垣征山･森田柊山･野村峰山
888	1999	平成11年	12	千葉韶山継続開軒記念演奏会を終えて		板谷莫千山
889	2000	平成12年	1	巻頭言		高平艟山
889	2000	平成12年	1	続天山荘楽談	101	田辺秀雄
889	2000	平成12年	1	尺八人生のはじまりと師範試験		板谷莫千山
889	2000	平成12年	1	大阪府支部本曲講習会に参加して		石原霊山
889	2000	平成12年	1	支部定期演奏会を終えて		中島浩山
890	2000	平成12年	2	巻頭言		高平艟山
890	2000	平成12年	2	温故知新	古曲をたずねて （47）	久保田敏子
890	2000	平成12年	2	竹琳軒米沢敏山先生を偲んで		大浦敢山
890	2000	平成12年	2	平成12年度最後の本部講習を受講して		梅田瑾山

891	2000	平成12年	3	巻頭言		高平艟山
891	2000	平成12年	3	続天山荘楽談	102	田辺秀雄
891	2000	平成12年	3	ごあいさつ		間﨑愁山
891	2000	平成12年	3	都山流尺八の伝承		中坊公平
891	2000	平成12年	3	「生きがい」から感じたこと		松本翠山
892	2000	平成12年	4	巻頭言		四代中尾都山
892	2000	平成12年	4	温故知新	古曲をたずねて （48）	久保田敏子
892	2000	平成12年	4	尺八界を変えるのは、女学生か		藤谷涼山
892	2000	平成12年	4	小中学校対象邦楽演奏会体験記		喜田嘉山
892	2000	平成12年	4	学校邦楽鑑賞会報告		背戸心山
892	2000	平成12年	4	1.17		寺岡憧山
893	2000	平成12年	5	巻頭言		間﨑愁山
893	2000	平成12年	5	続天山荘楽談	103	田辺秀雄
893	2000	平成12年	5	宮城合奏団を招いての三曲特別公演の開催		岡　舟山
893	2000	平成12年	5	流山市教育委員会における邦楽鑑賞研修会と継続十三年の小学校体験学習教室について		桝田恭山
893	2000	平成12年	5	6年生に贈る		寺岡憧山
893	2000	平成12年	5	師範登第への舟漕ぎ		津田暹舟山
894	2000	平成12年	6	巻頭言		
894	2000	平成12年	6	温故知新	古曲をたずねて （49）	久保田敏子
894	2000	平成12年	6			
894	2000	平成12年	6			
895	2000	平成12年	7	巻頭言		安宅雄山
895	2000	平成12年	7	続天山荘楽談	104	田辺秀雄
895	2000	平成12年	7	柳内童山先生に憶う		寺岡憧山
895	2000	平成12年	7	論究　塩化ビニールによる簡単な尺八の作り方		吉田秦山
895	2000	平成12年	7	楽信　辻井嶺山先生尺八継続開軒五十周年記念祝賀会に寄せて		芝口玉舟山
895	2000	平成12年	7	尺八演奏会（岡本本曲研究会）始末記		桐山隆山
895	2000	平成12年	7	支部だより　香川県支部の今昔		三好昭山
895	2000	平成12年	7	愛媛県支部の活動報告		島津篠山
895	2000	平成12年	7	徳島県における都山流の歩み		濱野羊山
895	2000	平成12年	7	抱負		田島虚山
895	2000	平成12年	7	支部長時代を顧みて		長瀧奏山
896	2000	平成12年	8	巻頭言		川井恍山
896	2000	平成12年	8	温故知新	古曲をたずねて （50）	久保田敏子
896	2000	平成12年	8	論究　音階考		西田仙秋山
896	2000	平成12年	8	楽信　中学校の邦楽（尺八）講師を担当して		荻野翰山
896	2000	平成12年	8	音楽教諭尺八に挑戦		穴吹荘山
896	2000	平成12年	8	支部だより　新潟だより		渡辺展山
896	2000	平成12年	8	富山の祭り		中島浩山
896	2000	平成12年	8	都山流と学校教育について		小阪瑩山
896	2000	平成12年	8	福井の田舎より		冨澤和山
897	2000	平成12年	9	巻頭言		四代中尾都山
897	2000	平成12年	9	続天山荘楽談	105	田辺秀雄
897	2000	平成12年	9	論究　テトラコード理論とは	（一）	森田柊山
897	2000	平成12年	9	楽信　県庁職員尺八クラブの活動紹介		肱岡理山
897	2000	平成12年	9	合奏研究会に参加して		小郷原箜山
897	2000	平成12年	9	支部宿泊役員会		背戸心山
897	2000	平成12年	9	支部だより　宮崎県支部の活動状況について		押川太山
897	2000	平成12年	9	出合い		森　籠山
897	2000	平成12年	9	沖縄だより		富本華山
898	2000	平成12年	10	巻頭言		柳田周山
898	2000	平成12年	10	温故知新	古曲をたずねて （51）	久保田敏子
898	2000	平成12年	10	論究　テトラコード理論とは	（二）	森田柊山
898	2000	平成12年	10	楽信　夏季講習受講記		合田禮山
898	2000	平成12年	10	尺八の輪を拡げよう		藤谷涼山
898	2000	平成12年	10	支部だより　青森県支部の近況		工藤研山
898	2000	平成12年	10	毛越寺での演奏活動		千葉磐山

898	2000	平成12年	10	苦渋		長野円山
899	2000	平成12年	11	巻頭言		山本邦山
899	2000	平成12年	11	続天山荘楽談	106	田辺秀雄
899	2000	平成12年	11	第二十六回本曲コンクール終わる		
899	2000	平成12年	11	論究　テトラコード理論とは	（三）	森田柊山
899	2000	平成12年	11	楽信　大阪府支部第三十三回定期演奏会の記		佐藤和久山
899	2000	平成12年	11	佐賀市高木瀬小学校の邦楽クラブ活動状況		真崎楠山
899	2000	平成12年	11	趣味を生かして		小田了頌
899	2000	平成12年	11	支部だより　ブラジル支部雑観		斉藤深山
899	2000	平成12年	11	大阪府支部結成九十年		高木峰山
899	2000	平成12年	11	紀州と宮城道雄先生と		市川陽山
900	2000	平成12年	12	巻頭言		藤田舞山
900	2000	平成12年	12	温故知新	古曲をたずねて（52）	久保田敏子
900	2000	平成12年	12	論究　テトラコード理論とは	（四）	森田柊山
900	2000	平成12年	12	楽信　「稽古の貯金は利息がついて戻ってくる」		田代顕山
900	2000	平成12年	12	「竹戯芸生」私たちの会		三木菖憂
900	2000	平成12年	12	支部演奏会などについて		梅原佳山
900	2000	平成12年	12	支部だより　岡山県支部の活動状況について		近藤関山
900	2000	平成12年	12	国民文化祭ひろしま2000		折本千山
900	2000	平成12年	12	山口県支部の近況とご案内		西村観山
901	2001	平成13年	1	巻頭言		四代中尾都山
901	2001	平成13年	1	続天山荘楽談	107	田辺秀雄
901	2001	平成13年	1	論究　「音階考」その後　尺八の音に関する私見	（一）	西田仙秋山
901	2001	平成13年	1	楽信　第十八回都山流鑑賞会を終わって		三浦韻山
901	2001	平成13年	1	鑑賞会成功までの道のり		成田虹山
901	2001	平成13年	1	藤原匠山、河合奨山竹琳軒冠称記念演奏会報告		國米薪山
901	2001	平成13年	1	支部だより　山形だより		青山峯山
901	2001	平成13年	1	仙台の都山流について		岩崎郷山
901	2001	平成13年	1	芭蕉の歩いた福島県		柚原粛山
902	2001	平成13年	2	巻頭言		佐藤涼山
902	2001	平成13年	2	温故知新	古曲をたずねて（53）	久保田敏子
902	2001	平成13年	2	論究　「音階考」その後　尺八の音に関する私見	（二）	西田仙秋山
902	2001	平成13年	2	楽信　都山流尺八演奏会を終えて		柴田聡山
902	2001	平成13年	2	観梅会		上田粂山
902	2001	平成13年	2	支部だより　尺八馬鹿万歳！	（入門当時と現在）	安積皎宇山
902	2001	平成13年	2	埼玉県支部の近況		岩崎恒山
902	2001	平成13年	2	神奈川県支部の活動状況報告	平成十二年度最終役員会を終えて	太田仁山
902	2001	平成13年	2	あれこれ　子供達と邦楽を楽しむ		梅原佳山
903	2001	平成13年	3	巻頭言		間崎愁山
903	2001	平成13年	3	続天山荘楽談	106	田辺秀雄
903	2001	平成13年	3	第四十五回評議員会終わる		
903	2001	平成13年	3	論究　「音階考」その後　尺八の音に関する私見	（三）	西田仙秋山
903	2001	平成13年	3	楽信　点字楽譜への挑戦	三代宗家のご恩に報いて	波田野慎山
903	2001	平成13年	3	和気神社歳旦祭尺八献楽		小野穂山
903	2001	平成13年	3	三好芫山開軒四十周年・清芫社三十周年記念演奏会		渡辺粲山
903	2001	平成13年	3	支部だより　留学生に尺八を聞かせる		畑　快山
903	2001	平成13年	3	高齢化支部京都の憶悩		渡辺澄山
903	2001	平成13年	3	あれこれ　網走の挑戦		小西鏘山
903	2001	平成13年	3	邦楽が生き残るには		鹿島千山
904	2001	平成13年	4	巻頭言		柳田周山
904	2001	平成13年	4	温故知新	古曲をたずねて（51）'	久保田敏子
904	2001	平成13年	4	殿堂入り・竹琳軒正　吉田暹山師を偲んで	御逝去を悼む	中島浩山
904	2001	平成13年	4	「楽会葬」を執り終えて		深澤海王山
904	2001	平成13年	4	吉田暹山先生をおくる		山崎曠山
904	2001	平成13年	4	吉田暹山先生の楽会葬を終えて		村岡昊山
904	2001	平成13年	4	清宴にて		津田暹南
904	2001	平成13年	4	楽会葬にあたり		
904	2001	平成13年	4	論究　「音階考」その後　尺八の音に関する私見	（四）	西田仙秋山

904	2001	平成13年	4	楽信　ヴェネズエラ尺八親善演奏旅行		高島煌山
904	2001	平成13年	4	支部だより　山城支部の最近の活動について		高橋嵌山
904	2001	平成13年	4	両丹支部の現況		小山輝山
904	2001	平成13年	4	あれこれ　「春の海」	鞆の浦	冨澤和山
904	2001	平成13年	4	地域の中学校選択授業を受持って		壁谷鳶山
905	2001	平成13年	5	巻頭言		四代中尾都山
905	2001	平成13年	5	続天山荘楽談	107	田辺秀雄
905	2001	平成13年	5	論究　「音階考」その後　尺八の音に関する私見	（五）	西田仙秋山
905	2001	平成13年	5	楽信　和楽器の学校教育導入について		小山菁山
905	2001	平成13年	5	地域と学校が一体となったオープンスクールでの演奏会		池田好山
905	2001	平成13年	5	支部だより　支部近況		赤井敢山
905	2001	平成13年	5	支部今昔		藤井粛山
905	2001	平成13年	5	合奏研究会を終えて		藤井耕山
905	2001	平成13年	5	あれこれ　東京芸術大学に入学して		櫻井征香
905	2001	平成13年	5	楽理解読器（仮称）		平江風山
906	2001	平成13年	6	巻頭言		藤田舞山
906	2001	平成13年	6	温故知新	古曲をたずねて　（54）	久保田敏子
906	2001	平成13年	6	論究　「音階考」その後　尺八の音に関する私見	（六）	西田仙秋山
906	2001	平成13年	6	楽信　悠久の大地で	「簫鳴鳳下空」を求めて	伊藤侃山
906	2001	平成13年	6	支部だより　兵庫県第四支部便り		廣見要山
906	2001	平成13年	6	兵庫県第五支部の現況		木下勝山
906	2001	平成13年	6	あれこれ　高木瀬小学校尺八部の一年を振返って		真崎楠山
907	2001	平成13年	7	巻頭言		川井恍山
907	2001	平成13年	7	続天山荘楽談	108	田辺秀雄
907	2001	平成13年	7	宗家司会第七十回　関東支部記念演奏大会	宗家司会と関東支部演奏会との関係	藤田舞山
907	2001	平成13年	7	七十回の歩み		森田柊山
907	2001	平成13年	7	大会を終えて		合田禮山
907	2001	平成13年	7	記念演奏大会始末記		稲村隆山
907	2001	平成13年	7	舞台進行係を担当して		藤木甫山
907	2001	平成13年	7	記念演奏大会を振り返って		加藤了山
907	2001	平成13年	7	会計を担当して		山川響山
907	2001	平成13年	7	楽信　献茶祭		編集部
907	2001	平成13年	7	支部だより　佐賀市立高木瀬小学校の伝統芸能クラブ活動について		真崎楠山
907	2001	平成13年	7	あの子等の竹が鳴っている		下田積山
907	2001	平成13年	7	熊本県支部だより		松村五山
908	2001	平成13年	8	巻頭言		安宅雄山
908	2001	平成13年	8	温故知新	古曲をたずねて　（55）	久保田敏子
908	2001	平成13年	8	故菊庭和子先生記念碑建立にあたって		寺岡憧山
908	2001	平成13年	8	論究　和楽器の学校教育		小山菁山
908	2001	平成13年	8	楽信　中村悟山先生開軒七十周年に寄せる	悟友社連合コンサート奮戦記	太田貴山
908	2001	平成13年	8	嗃琳社五十周年記念演奏会		野一色遥宇山
908	2001	平成13年	8	尺八清和の会第二回邦楽演奏会		背戸心山
908	2001	平成13年	8	支部だより　千葉県支部の近況		野口恍山
908	2001	平成13年	8	竹吹談語	（三）	浜根湲山
909	2001	平成13年	9	巻頭言		四代中尾都山
909	2001	平成13年	9	続天山荘楽談	109	田辺秀雄
909	2001	平成13年	9	楽信　「サンクト・ペテルブルグ春の日本フェスティバル」に参加して		古畑鑓山
909	2001	平成13年	9	秋元瑛山　開軒五十周年記念演奏会		磯山陵雨山
909	2001	平成13年	9	第三回圭琳社合奏研究会		松森真山
909	2001	平成13年	9	支部だより　山梨へぜひ一度		山口祝山
909	2001	平成13年	9	岐阜県支部の活動		古田優山
909	2001	平成13年	9	第四十五回三重県支部演奏会		伊藤菰山
909	2001	平成13年	9	あれこれ　「本曲ルーツの旅」今度は和歌山		橋川天山
909	2001	平成13年	9	竹吹談語	（四）	浜根湲山
909	2001	平成13年	9	公民館活動の長・短所	テレビ取材を受けて思う	木谷棲山
910	2001	平成13年	10	巻頭言		伊藤涼山
910	2001	平成13年	10	温故知新	古曲をたずねて　（56）	久保田敏子
910	2001	平成13年	10	藤田舞山師を偲んで		辰巳芙山

910	2001	平成13年	10	楽信　夏季講習会を受講して		工藤研山
910	2001	平成13年	10	支部だより　鳥取県第二支部の近況		宮脇怜山
910	2001	平成13年	10	あれこれ　「峰の月」ゆかりの「錫杖が岳」登頂記		伊藤菰山
910	2001	平成13年	10	熟年入門者への対応について		山本蘆山
910	2001	平成13年	10	道の駅での尺八普及会		長谷川震吹山
910	2001	平成13年	10	小学校で箏・尺八講座のボランティア		壁谷鶯山
911	2001	平成13年	11	巻頭言		山本邦山
911	2001	平成13年	11	続天山荘楽談	110	田辺秀雄
911	2001	平成13年	11	あれこれ　尺八を上手に吹くために		佐藤庵山
911	2001	平成13年	11	愛媛新聞「憩いのとき」欄に花山宗山師掲載される		上田粂山
911	2001	平成13年	11	四年ぶりの同窓会		兼平隼山
912	2001	平成13年	12	巻頭言		間崎愁山
912	2001	平成13年	12	温故知新	古曲をたずねて（57）	久保田敏子
912	2001	平成13年	12	第二十七回本曲コンクール終わる		
912	2001	平成13年	12	論究　新学習指導要領の実施を間近にして		寺岡憧山
912	2001	平成13年	12	あれこれ　さすが音楽の先生　童謡を吹く	尺八体験講座を手伝って	藤谷涼山
912	2001	平成13年	12	流祖直門古中桂山先生七回忌追善法要		入江兆山
913	2002	平成14年	1	巻頭言		四代中尾都山
913	2002	平成14年	1	続天山荘楽談		田辺秀雄
913	2002	平成14年	1	論究　「今、なぜ日本伝統音楽か」	（一）	
913	2002	平成14年	1	楽信　九州支部連合演奏会を終えて		松本逍山
913	2002	平成14年	1	伊勢神宮献楽		川出道川
913	2002	平成14年	1	大阪府支部定期演奏会報告		久田原行山
913	2002	平成14年	1	あれこれ　海外演奏旅行		千葉韶山
913	2002	平成14年	1	尺八の音、長城より天に達す	菖友会、北京旅行	奥田省山
913	2002	平成14年	1	台湾演奏ツアー		岩田央嘉
914	2002	平成14年	2	巻頭言		川井恍山
914	2002	平成14年	2	温故知新	古曲をたずねて（58）	久保田敏子
914	2002	平成14年	2	文化庁の実地検査の結果について		
914	2002	平成14年	2	論究　「今、なぜ日本伝統音楽か」		仲俣聖山
914	2002	平成14年	2	楽信　第三十回記念八幸会尺八演奏会を終えて		肱岡理山
914	2002	平成14年	2	あれこれ　博物館イベント「箏・尺八の世界」公演について		山田都久山
914	2002	平成14年	2	アメリカでの演奏活動		
915	2002	平成14年	3	巻頭言		間崎愁山
915	2002	平成14年	3	続天山荘楽談	112	田辺秀雄
915	2002	平成14年	3	第四十七回評議員会報告		
915	2002	平成14年	3	論究　「今、なぜ日本伝統音楽か」		
915	2002	平成14年	3	楽信　都山流高琳会会祖・」吉田暹山先生　一周期追悼演奏会を終えて		深澤海王山・村岡昊山・橘龍王山・丸山暹南
915	2002	平成14年	3	あれこれ　一在外会員より		矢崎信山
915	2002	平成14年	3	桐山隆山師岡山市有効表彰受賞祝賀会		小野穂山
916	2002	平成14年	4	巻頭言		柳田周山
916	2002	平成14年	4	温故知新	古曲をたずねて（59）	久保田敏子
916	2002	平成14年	4	論究　中学校の邦楽教育		桐山隆山
916	2002	平成14年	4	支部だより　地球の裏側より		斎藤深山
916	2002	平成14年	4	あれこれ　受賞について		川元龍山
917	2002	平成14年	5	巻頭言		安宅雄山
917	2002	平成14年	5	続天山荘楽談	113	田邉秀雄
917	2002	平成14年	5	楽信　邦楽オーケストラ「春の賦」棒振り記		太田貴山
917	2002	平成14年	5	支部だより　サッポロ便り		金子縑山
917	2002	平成14年	5	汽車の旅		島岡雅山
917	2002	平成14年	5	流水がやってきた		小西鏘山
918	2002	平成14年	6	巻頭言		佐藤涼山
918	2002	平成14年	6	温故知新	古曲をたずねて（60）	久保田敏子
918	2002	平成14年	6	石垣征山さんのご冥福を祈って		富山清琴
918	2002	平成14年	6	楽信　ビニル管尺八製作記		横山震洋
918	2002	平成14年	6	あれこれ　関東支部演奏大会		郡司荘山
918	2002	平成14年	6	体験授業の試み		下山恭山

919	2002	平成14年	7	祝　重要無形文化財保持者認定　山本邦山師		
919	2002	平成14年	7	続天山荘楽談	114	田邉秀雄
919	2002	平成14年	7	楽信　三重県支部第四十六回定期演奏会を終えて		木村道山
919	2002	平成14年	7	門人育成に向け「初心者指導法講習会」を開催		村上翁山
919	2002	平成14年	7	呉市制百年記念事業（邦楽）		背戸心山
919	2002	平成14年	7	支部だより　支部活動に向けて		松村五山
919	2002	平成14年	7	佐賀の近況		眞崎楠山
919	2002	平成14年	7	あれこれ　尺八音楽の魅力・再発見の調べ	市制五十五周年記念　枚方出身「中尾都山」の偉業を忍ぶ	安宅雄山
920	2002	平成14年	8	巻頭言		柳田周山
920	2002	平成14年	8	温故知新	古曲をたずねて （61）	久保田敏子
920	2002	平成14年	8	楽信　明治神宮で奉納演奏		稲村隆山
920	2002	平成14年	8	初めての関東支部東地区演奏会		佐藤家山
920	2002	平成14年	8	支部だより　明日への夢		長野円山
920	2002	平成14年	8	あれこれ　新学習指導要領に伴う近況報告		千葉韶山
920	2002	平成14年	8	小中学生に「邦楽教室」を開く		久保誓山
920	2002	平成14年	8	課外授業		時政匠山
921	2002	平成14年	9	巻頭言		安宅雄山
921	2002	平成14年	9	続天山荘楽談	115	田邉秀雄
921	2002	平成14年	9	支部だより　万葉うたまつり		矢崎浩宇山
921	2002	平成14年	9	不確かな展望断片		佐藤庵山
921	2002	平成14年	9	あれこれ　尺八と民謡の思い出		尾浴穂山
921	2002	平成14年	9	圭琳社合奏研究会		中原烽山
922	2002	平成14年	10	巻頭言		四代中尾都山
922	2002	平成14年	10	温故知新	古曲をたずねて （62）	久保田敏子
922	2002	平成14年	10	論究　尺八の管内振動モードと倍音の調律		西川理山
922	2002	平成14年	10	楽信　平成十四年度夏季講習会		背戸心山
922	2002	平成14年	10	夏季講習会に参加して思う		大野輪山
922	2002	平成14年	10	支部だより　支部本曲コンクール予選		駒井光山
922	2002	平成14年	10	合宿便り		宮北椿山
922	2002	平成14年	10	第三十七回支部演奏会を上越市で		丸山翔宇山
922	2002	平成14年	10	あれこれ　新学習指導要領に伴う体験実習		加賀山菖山
922	2002	平成14年	10	余生を都山流尺八と共に		河田松山
923	2002	平成14年	11	巻頭言		川井恍山
923	2002	平成14年	11	続天山荘楽談	116	田邉秀雄
923	2002	平成14年	11	論究　「音階考」それから　音階・音律からみた和楽器導入授業に際しての私見	（一）	西田仙秋山
923	2002	平成14年	11	楽信　森林の中に谺する（やまびこコンサート）に参加して		伊藤真山
923	2002	平成14年	11	あれこれ　宮城師範・准師範試験の会場設営と運営		成田虹山
923	2002	平成14年	11	第十七回国民文化祭・とっとり2002		渡辺肇山
923	2002	平成14年	11	岐阜県支部定期演奏会		
924	2002	平成14年	12	巻頭言		間崎愁山
924	2002	平成14年	12	温故知新	古曲をたずねて （63）	久保田敏子
924	2002	平成14年	12	三代宗家十三回忌追善　偲ぶ会		
924	2002	平成14年	12	追善演奏会		
924	2002	平成14年	12	三代宗家十三回忌追善演奏会の記		佐藤和久山
924	2002	平成14年	12	三代宗家中尾都山（レン）先生を偲んで		小島許山
924	2002	平成14年	12	第二十八回本曲コンクール終わる		
924	2002	平成14年	12	論究　「音階考」それから　音階・音律からみた和楽器導入授業に際しての私見	（二）	西田仙秋山
924	2002	平成14年	12	支部だより　尺八行脚から一年		寺石路山
924	2002	平成14年	12	中学校の尺八授業を体験して		石田璋山
924	2002	平成14年	12	独りごと		赤井敢山
924	2002	平成14年	12	あれこれ　披露演奏会始末記		岡本響山
925	2003	平成15年	1	巻頭言		四代中尾都山
925	2003	平成15年	1	続天山荘楽談	117	田邉秀雄
925	2003	平成15年	1	山本邦山師　重要無形文化財保持者認定祝賀		
925	2003	平成15年	1	プロフィール		

925	2003	平成15年	1	記念祝賀会		
925	2003	平成15年	1	対談	山本邦山・久保田敏子・間崎愁山（司会）	
925	2003	平成15年	1	人間国宝認定を共に祝えた光栄		稲村隆山
925	2003	平成15年	1	宝珠のの回想		永廣真翁山
925	2003	平成15年	1	支部だより　徳島だより		山本眉山
925	2003	平成15年	1	日本の音の魅力を後世に		西尾連山
926	2003	平成15年	2	巻頭言		千葉韶山
926	2003	平成15年	2	温故知新	尾上の松1	久保田敏子
926	2003	平成15年	2	星田一山師を偲ぶ		檜山佳山
926	2003	平成15年	2	論究　「音階考」それから　音階・音律からみた和楽器導入授業に際しての私見	（三）	西田仙秋山
926	2003	平成15年	2	支部だより　兵庫県の一隅にて		藤井岩山
926	2003	平成15年	2	講習会について		廣見要山
926	2003	平成15年	2	”合宿”で…、切磋琢磨		工藤和久山
926	2003	平成15年	2	あれこれ　学校尺八指導についての懇談会		千葉韶山
926	2003	平成15年	2	重要無形文化財保持者・人間国宝　山本邦山先生による作曲者講習会に参加して	思うことのあれこれ	柿田貢山
926	2003	平成15年	2	渡る世間に鬼も居る		柳　朋山
927	2003	平成15年	3	巻頭言		川井恍山
927	2003	平成15年	3	続天山荘楽談	118	田邉秀雄
927	2003	平成15年	3	大場先生を偲んで		石垣晴牧
927	2003	平成15年	3	大場晴山先生の思い出		
927	2003	平成15年	3	第四十九回評議員会報告		
927	2003	平成15年	3	楽信　演奏会の記		冨本崋山
927	2003	平成15年	3	九州支部連合演奏会に参加して		千葉韶山
927	2003	平成15年	3	あれこれ　ノーベル賞授与式に参加して		井戸湛山
927	2003	平成15年	3	”竹嶺会”新年総会開催!!		辻井嶺山
927	2003	平成15年	3	「邦楽鑑賞会」および」「体験学習」		深澤海王山
927	2003	平成15年	3	邦楽講座・尺八体験学習スケッチ		津田暹舟山
927	2003	平成15年	3	竹鳳会創立二十周年記念発表会を終えて		松島了羊山
927	2003	平成15年	3	和楽器に挑戦		織井粋昌
928	2003	平成15年	4	巻頭言		柳田周山
928	2003	平成15年	4	温故知新	尾上の松2	久保田敏子
928	2003	平成15年	4	論究　「音階考」それから　音階・音律からみた和楽器導入授業に際しての私見	（四）	西田仙秋山
928	2003	平成15年	4	楽信　北海道支部連合演奏会を終えて		横山悠山
928	2003	平成15年	4	支部だより「晴の国おかやま」県支部の一年		河合奨山
928	2003	平成15年	4	瀬戸内の「安芸の小京都」より		渡川聖風山
928	2003	平成15年	4	山口県支部の近況		渡辺無山
928	2003	平成15年	4	あれこれ　本曲ルーツの旅　虚無僧時の訪問		橋川天山
928	2003	平成15年	4	小学校の邦楽鑑賞と体験学習		岡松翠山
928	2003	平成15年	4	講習会を受講して		島崎夕山
929	2003	平成15年	5	巻頭言		安宅雄山
929	2003	平成15年	5	続天山荘楽談	119	田邉秀雄
929	2003	平成15年	5	大前真山先生を悼む　お別れのことば		近藤関山
929	2003	平成15年	5	思い出		平田顕山・小松原卿山・松井佶山
929	2003	平成15年	5	支部だより　日伯の姉妹都市交流に参加して		斉藤深山
929	2003	平成15年	5	竹吹けば竹の縁		宮澤寒山
929	2003	平成15年	5	邦楽について		高橋聡山
929	2003	平成15年	5	あれこれ　京都准師範試験に合格して		寄田芫水
930	2003	平成15年	6	巻頭言		四代中尾都山
930	2003	平成15年	6	温故知新	西行桜1	久保田敏子
930	2003	平成15年	6	楽信　第七十二回演奏大会を終えて		合田禮山
930	2003	平成15年	6	支部だより　老いも若きもそして女性も尺八を		浅野母久山
931	2003	平成15年	7	巻頭言		千葉韶山
931	2003	平成15年	7	続天山荘楽談	120	田邉秀雄
931	2003	平成15年	7	支部だより　富山県民気質の二面性		中島浩山

931	2003	平成15年	7	かなざわ断章		池田水山
931	2003	平成15年	7	都山流尺八楽に想う		宮澤寒山
931	2003	平成15年	7	あれこれ　私の小・中学校邦楽授業		水島観山
932	2003	平成15年	8	巻頭言		柳田周山
932	2003	平成15年	8	温故知新	西行桜2	久保田敏子
932	2003	平成15年	8	論究　「三曲」の言葉の意味について		森田柊山
932	2003	平成15年	8	楽信　最後の支部演奏会		吉田峯山
932	2003	平成15年	8	あれこれ　学校教育に邦楽の風		引地衆山
932	2003	平成15年	8	留学生尺八体験	遂に留学生入門者現れる	藤谷涼山
932	2003	平成15年	8	始まった邦楽教育	1	
933	2003	平成15年	9	巻頭言		川井恍山
933	2003	平成15年	9	続天山荘楽談	121	田邉秀雄
933	2003	平成15年	9	論究　「音階考」それから補足編	ゼロビート法による箏の調絃	西田仙秋山
933	2003	平成15年	9	楽信　四国支部連合演奏会を終えて		島村生山
933	2003	平成15年	9	支部だより　関東支部「交歓交流合宿」に参加して		久富道山
933	2003	平成15年	9	邦楽の調べに親しむ音楽会		小林槙山
933	2003	平成15年	9	あれこれ　「本曲のルーツを尋ねて」伊勢路へ		橋川天山
933	2003	平成15年	9	圭琳社合奏研究会を終えて		大森勢山
934	2003	平成15年	10	巻頭言		佐藤涼山
934	2003	平成15年	10	温故知新	古曲をたずねて（64）	久保田敏子
934	2003	平成15年	10	論究　高齢の入門者に対する指導について懇談会		千葉韶山
934	2003	平成15年	10	楽信　夏季講習会を受講して		八幡麦山
934	2003	平成15年	10	支部演奏会を終えて		中島浩山
934	2003	平成15年	10	第四十七回三重県支部定期演奏会を終えて		石井冠山
934	2003	平成15年	10	支部だより　本年度の主な事業計画について		押川太山
934	2003	平成15年	10	「縄文の森」に尺八の響を		竹下華山
934	2003	平成15年	10	伊勢神宮献楽のご案内		中村志山
934	2003	平成15年	10	あれこれ　平和の灯に寄せて		下田積山
934	2003	平成15年	10	「慷月調」を独奏して		阿南将山
935	2003	平成15年	11	巻頭言		山本邦山
935	2003	平成15年	11	続天山荘楽談	122	田邉秀雄
935	2003	平成15年	11	私の修行時代		二代北原篁山
935	2003	平成15年	11	池田琉山師を偲んで		酒井空山
935	2003	平成15年	11	楽信　大阪府支部定期演奏会雑感		佐桑叡山
935	2003	平成15年	11	支部邦楽演奏会を終えて		篠田耆山
935	2003	平成15年	11	あれこれ　傘寿から師範挑戦		森田輝山
935	2003	平成15年	11	本曲コンクール予選に出て		善家峯文
935	2003	平成15年	11	第四十回を迎えた陵山会夏期合宿		島崎夕山
935	2003	平成15年	11	「邦楽絵巻　鑑賞会」に参加して		井上楽武山
936	2003	平成15年	12	巻頭言		間﨑愁山
936	2003	平成15年	12	温故知新	古曲をたずねて（65）	久保田敏子
936	2003	平成15年	12	第二十九回本曲コンクール終わる		
936	2003	平成15年	12	楽信　第三十回定期演奏会を終えて		渡邊邑山
936	2003	平成15年	12	「宗家を囲む会」が盛大に行われた		佐藤朔山
936	2003	平成15年	12	あれこれ　二度目の同窓会		兼平隼山
936	2003	平成15年	12	八尾市文化連盟二十周年記念誌発行に寄せて		正田研山
937	2004	平成16年	1	巻頭言		四代中尾都山
937	2004	平成16年	1	続天山荘楽談	123	田邉秀雄
937	2004	平成16年	1	論究　邦楽教育のための純正音律論	（一）	佐伯秋山
937	2004	平成16年	1	楽信　第三十一回九州支部連合演奏会を終えて		押川太山
937	2004	平成16年	1	あれこれ　中学校での尺八の体験学習		池上苑山
937	2004	平成16年	1	国民文化祭		背戸心山
937	2004	平成16年	1	小学校で准師範になれて		井本孝星
938	2004	平成16年	2	巻頭言		千葉韶山
938	2004	平成16年	2	温故知新	古曲をたずねて（66）	久保田敏子
938	2004	平成16年	2	論究　邦楽教育のための純正音律論	（二）	佐伯秋山
938	2004	平成16年	2	楽信　京都府支部連合定期演奏会を終えての		小松公山
938	2004	平成16年	2	あれこれ　秋の京都小旅行	都山流の由緒を訪ねて	地紙鶯山

938	2004	平成16年	2	中学生がステージで披露		千葉韶山
938	2004	平成16年	2	網走のコンサート		小西鏘山
939	2004	平成16年	3	巻頭言		川井恍山
939	2004	平成16年	3	続天山荘楽談		田邉秀雄
939	2004	平成16年	3	第五十一回評議員会報告		
939	2004	平成16年	3	支部だより　今年も姉妹都市交流に参加しました		斉藤深山
939	2004	平成16年	3	あれこれ　旅はみちづれ　竹音西安に響く	都山流尺八美琳会訪中団に同行して	近藤関山
940	2004	平成16年	4	巻頭言		柳田周山
940	2004	平成16年	4	温故知新	古曲をたずねて（67）	久保田敏子
940	2004	平成16年	4	論究　邦楽教育のための純正音律論	（三）	佐伯秋山
940	2004	平成16年	4	想い出の人々		二代北原篁山
940	2004	平成16年	4	あれこれ　小学校に和楽器の紹介訪問		尾浴穂山
941	2004	平成16年	5	巻頭言		安宅雄山
941	2004	平成16年	5	続天山荘楽談		田邉秀雄
941	2004	平成16年	5	論究　邦楽教育のための純正音律論	（四）	佐伯秋山
941	2004	平成16年	5	あれこれ　尺八と寮歌祭		佐藤和久山
941	2004	平成16年	5	中学生尺八教室に参加して		長谷川博山
941	2004	平成16年	5	今年も小学校の邦楽体験授業を実施しました		西山逍山
942	2004	平成16年	6	巻頭言		四代中尾都山
942	2004	平成16年	6	温故知新	古曲をたずねて（68）	久保田敏子
942	2004	平成16年	6	論究　邦楽教育のための純正音律論	（五）	佐伯秋山
942	2004	平成16年	6	楽信　九州道場始まる		安河内嘉山
942	2004	平成16年	6	支部だより　熊本近況		井上萃山
942	2004	平成16年	6	総合的学習の時間の尺八指導		武藤五紘
942	2004	平成16年	6	あれこれ　小学校での訪問授業報告		水島観山
942	2004	平成16年	6	子供達と竹の尺八		中平洪昇山
943	2004	平成16年	7	巻頭言		千葉韶山
943	2004	平成16年	7	続天山荘楽談	126	田邉秀雄
943	2004	平成16年	7	論究　邦楽教育のための純正音律論	（六）	佐伯秋山
943	2004	平成16年	7	支部だより　夏尾中学校で尺八教室を実施して		押川太山
943	2004	平成16年	7	あれこれ　尺八点字楽譜寄贈式		大沢素山
944	2004	平成16年	8	巻頭言		川井恍山
944	2004	平成16年	8	温故知新	古曲をたずねて（69）	久保田敏子
944	2004	平成16年	8	論究　邦楽教育のための純正音律論		佐伯秋山
944	2004	平成16年	8	楽信　小西鏘山先生開軒五十周年記念演奏会・祝賀会に寄せて		合田禮山
944	2004	平成16年	8	支部だより　青森県支部の近況		工藤研山
944	2004	平成16年	8	岩手三曲協会について	屋台骨を支える都山流	伊藤衡山
944	2004	平成16年	8	秋田近況		長野円山
944	2004	平成16年	8	あれこれ　尺八と小学生		濱田忠常
945	2004	平成16年	9	巻頭言		柳田周山
945	2004	平成16年	9	論究　中国における尺・律の変遷と日本への影響	（一）	西川理山
945	2004	平成16年	9	楽信　第十四回福岡県支部演奏会報告		眞鍋向山
945	2004	平成16年	9	支部だより　桃の花祭り　邦楽演奏会		和田修宇山
945	2004	平成16年	9	静岡県支部近況		仁藤季山
945	2004	平成16年	9	奈良だより		神谷仟山
945	2004	平成16年	9	あれこれ　溜まったカセットテープのデジタル化に挑戦		青砥筌山
945	2004	平成16年	9	圭琳社合奏研究会		西谷竹邦
945	2004	平成16年	9	西本響山師の祝賀会を終えて		芦田嶠山
946	2004	平成16年	10	巻頭言		佐藤涼山
946	2004	平成16年	10	温故知新	古曲をたずねて（70）	久保田敏子
946	2004	平成16年	10	論究　中国における尺・律の変遷と日本への影響	（二）	西川理山
946	2004	平成16年	10	支部だより　ただいま基礎鍛錬中		畑　洽山
946	2004	平成16年	10	ぶらり佐賀		眞崎楠山
946	2004	平成16年	10	あれこれ　一つを成したとき親も考え込んだ		小島寛山
946	2004	平成16年	10	門人国籍移住に寄せて		川元龍山
947	2004	平成16年	11	巻頭言		山本邦山
947	2004	平成16年	11	公益法人改革の現状		
947	2004	平成16年	11	論究　尺八の管内温度実験値の紹介		西川理山

947	2004	平成16年	11	楽信　五OO人大合奏の演奏会		野村峰山
947	2004	平成16年	11	峰山会二十五周年記念史上初の演奏会、	驚きの連続	鈴木峰妃
947	2004	平成16年	11	小西鏘山開軒五十周年記念演奏会		西村槐山
947	2004	平成16年	11	支部だより　支部演奏会を終えて		長谷川展晃山
947	2004	平成16年	11	演奏の旅		吉田峯山
947	2004	平成16年	11	あれこれ　真夏の異次元世界、	欧州演奏旅行	森田柊山
947	2004	平成16年	11	尺八研究会に参画して		林　連山
948	2004	平成16年	12	巻頭言		間﨑愁山
948	2004	平成16年	12	温故知新	古曲をたずねて（71）	久保田敏子
948	2004	平成16年	12	第三十回本曲コンクール終わる		
948	2004	平成16年	12	楽信　知られざる中尾都山の魅力	五十回忌追善レクチャーコンサート	森田柊山
948	2004	平成16年	12	都山流尺八ブラジル公演を顧みて		矢崎信山
948	2004	平成16年	12	兵庫県支部統合記念演奏会報告		工藤和久山
948	2004	平成16年	12	支部だより　香川県支部演奏会		赤松凛山
948	2004	平成16年	12	あれこれ　河内観心寺と蝉の宿にての尺八合宿		長谷川震吹山
948	2004	平成16年	12	日韓伝統音楽交流演奏会を終えて		桐山隆山
948	2004	平成16年	12	歴史の転機の出発点となった「ヨーロッパ・ピクニック」五十周年記念	「日本音楽の夕べ」に参加して	廣見要山
949	2005	平成17年	1	巻頭言		四代中尾都山
949	2005	平成17年	1	竹韻随想	（一）	月渓恒子
949	2005	平成17年	1	楽信　大阪の初秋を竹音で魅了	第三十六回大阪府支部定期演奏会報告	小田峰惠
949	2005	平成17年	1	伊勢神宮献楽に参加して		佃　夕山
949	2005	平成17年	1	あれこれ　小学校での伝統音楽を聴く会に参加して		横山悠山
949	2005	平成17年	1	近況報告「中学校がステージに」		千葉韶山
950	2005	平成17年	2	巻頭言		千葉韶山
950	2005	平成17年	2	温故知新	古曲をたずねて（72）	久保田敏子
950	2005	平成17年	2	流祖直門竹琳軒永田彰山師回想の記		小島許山
950	2005	平成17年	2	楽信　県支部演奏会を顧みて		貝原悠山
950	2005	平成17年	2	支部だより　支部活動の一年を振り返って		岡崎澄山
950	2005	平成17年	2	あれこれ　流祖中尾都山師への思い出		守本鹿山
950	2005	平成17年	2	コックスご夫妻来日記念演奏会		山田都久山
951	2005	平成17年	3	巻頭言		川井恍山
951	2005	平成17年	3	竹韻随想	（二）	月渓恒子
951	2005	平成17年	3	第五十三回評議員会報告		
951	2005	平成17年	3	比地原叡山師を偲んで		岸　湧山
951	2005	平成17年	3	主人と尺八		比地原夏枝
951	2005	平成17年	3	あれこれ　学校対策の展開例		水島観山
951	2005	平成17年	3	愛嬢愛管		岸　湧山
951	2005	平成17年	3	小西鏘山先生の受賞を祝して		花岡眞山
952	2005	平成17年	4	巻頭言		柳田周山
952	2005	平成17年	4	温故知新	古曲をたずねて（73）	久保田敏子
952	2005	平成17年	4	楽信「峰の月」発祥の地記念邦楽演奏会のこと		福井篤山
952	2005	平成17年	4	尺八とその伝統と発展をめざして		藤原匠山
952	2005	平成17年	4	支部だより　山形県支部の特色あるグループ活動		高橋欽山
952	2005	平成17年	4	宮城近況		佐藤皖山
952	2005	平成17年	4	福島へどうぞ		柚原粛山
952	2005	平成17年	4	あれこれ　中学二年生の邦楽教室		廣見要山
952	2005	平成17年	4	カナダ便り		信原鶏山
952	2005	平成17年	4	尺八置台を試作しました		横山整山
953	2005	平成17年	5	巻頭言		安宅雄山
953	2005	平成17年	5	竹韻随想	（三）	月渓恒子
953	2005	平成17年	5	支部だより　大阪府支部の一年		青柳映山
953	2005	平成17年	5	福井県支部総会より		冨澤和山
953	2005	平成17年	5	ブラジル都山流尺八の北伯遠征		斎藤深山
953	2005	平成17年	5	あれこれ　尺八普及の為の試み		柳　朋山
954	2005	平成17年	6	巻頭言		四代中尾都山
954	2005	平成17年	6	温故知新	古曲をたずねて（74）	久保田敏子
954	2005	平成17年	6	「個人情報保護法」施行について		

954	2005	平成17年	6	支部だより　河南地区研究会始末		板倉蘆山
954	2005	平成17年	6	あれこれ　選択授業一年を振り返って		宮澤寒山
955	2005	平成17年	7	巻頭言		千葉韶山
955	2005	平成17年	7	竹韻随想	（四）	月溪恒子
955	2005	平成17年	7	支部だより　流祖五十回忌の年の追善支部演奏会		吉野櫻山
955	2005	平成17年	7	年間の活動計画について		清間証山
955	2005	平成17年	7	島根県の芸術活動		松崎洸山
955	2005	平成17年	7	愛知万博の尺八コンサートに参加して		後藤朔山
956	2005	平成17年	8	巻頭言		川井恍山
956	2005	平成17年	8	温故知新	古曲をたずねて （75）	久保田敏子
956	2005	平成17年	8	松本礎山師を偲んで		西山逍山
956	2005	平成17年	8	あれこれ 「鶴の巣籠」を考察する		矢萩晃山
956	2005	平成17年	8	美保神社で献楽		小川燕山
957	2005	平成17年	9	巻頭言		柳田周山
957	2005	平成17年	9	竹韻随想	（五）	月溪恒子
957	2005	平成17年	9	楽信　流祖中尾都山五十回忌追善　宮城県支部二十周年記念	「第二十回都山流尺八演奏会」を終えて	鈴木寒亨
957	2005	平成17年	9	支部だより　三重県支部活動近況		伊藤真山
957	2005	平成17年	9	沖縄だより		宮里剣山
957	2005	平成17年	9	あれこれ　石清水八幡宮宿泊研修		窪　修山
957	2005	平成17年	9	圭琳社合奏研究会に参加して		田中月峰
958	2005	平成17年	10	巻頭言		佐藤涼山
958	2005	平成17年	10	温故知新	古曲をたずねて （76）	久保田敏子
958	2005	平成17年	10	森籠山師を偲んで		椎原随山
958	2005	平成17年	10	楽信　夏季講習会を受講して		上田規山
958	2005	平成17年	10	第二十回愛媛県支部定期演奏会報告		原　藁山
959	2005	平成17年	11	巻頭言		山本邦山
959	2005	平成17年	11	竹韻随想	（六）	月溪恒子
959	2005	平成17年	11	楽信　知られざる中尾都山の魅力	その2	森田柊山
959	2005	平成17年	11	流祖中尾都山五十回忌追善　大阪府支部第三十七回定期演奏会の報告		吉田幸山
959	2005	平成17年	11	浜根湲山開軒五十周年記念 「湲山会演奏会」を終えて		俵　草山
960	2005	平成17年	12	巻頭言		間崎愁山
960	2005	平成17年	12	温故知新	古曲をたずねて （77）	久保田敏子
960	2005	平成17年	12	流祖五十回忌追善都山流全国大会　追善演奏会を終わって		川井恍山
960	2005	平成17年	12	流祖を偲ぶ会		千葉韶山
960	2005	平成17年	12	「木枯」ゆかりの地での演奏		森田柊山
960	2005	平成17年	12	実行委員会顛末紀		稲村隆山
960	2005	平成17年	12	総務奮闘記		加藤了山
960	2005	平成17年	12	進行・誘導記		西海谷梦山
961	2006	平成18年	1	巻頭言		四代中尾都山
961	2006	平成18年	1	竹韻随想	（七）	月溪恒子
961	2006	平成18年	1	第三十一回本曲コンクールの結果と講評		
961	2006	平成18年	1	楽信　九州支部連合演奏会を終えて		眞崎楠山
961	2006	平成18年	1	高槻市民邦楽協会第一〇〇回記念演奏会を終えて		青柳映山
961	2006	平成18年	1	あれこれ　貴重な体験	郷里・母校の中学校での尺八授業	鈴木秋山
961	2006	平成18年	1	視聴覚障害者「教養講座」に招かれて		長谷川朝山
962	2006	平成18年	2	巻頭言		千葉韶山
962	2006	平成18年	2	温故知新	古曲をたずねて （78）	久保田敏子
962	2006	平成18年	2	楽信　流祖五十回忌の演奏会	宗家を迎え松江で開催	木谷棲山
962	2006	平成18年	2	あれこれ　学校対策の展開例		水島観山
962	2006	平成18年	2	道山会「秋の京都巡り旅」		林　菰誠
963	2006	平成18年	3	巻頭言		川井恍山
963	2006	平成18年	3	竹韻随想	（八）	月溪恒子
963	2006	平成18年	3	第五十五回評議員会報告		
963	2006	平成18年	3	あれこれ　二つの中学校における尺八指導の紹介		千葉韶山
963	2006	平成18年	3	雅楽尺八		三浦春高
963	2006	平成18年	3	笛吹神社献奏		長谷川震吹山

964	2006	平成18年	4	巻頭言		柳田周山
964	2006	平成18年	4	温故知新	古曲をたずねて （79）	久保田敏子
964	2006	平成18年	4	あれこれ　三曲の舞台に上がった中学生達		宮澤寒山
964	2006	平成18年	4	筒井春景遺品展		曽我岱位山
964	2006	平成18年	4	流祖枚方邸跡を訪ねて		西村槐山
965	2006	平成18年	5	巻頭言		安宅雄山
965	2006	平成18年	5	竹韻随想	（九）	月溪恒子
965	2006	平成18年	5	楽信　三重県支部第50回記念定期演奏会を終えて		浜口喜峰山
965	2006	平成18年	5	あれこれ　中学校での体験学習実施報告		神谷仟山
965	2006	平成18年	5	小学校五年生の邦楽教室		廣身要山
966	2006	平成18年	6	巻頭言		四代中尾都山
966	2006	平成18年	6	温故知新	古曲をたずねて （80）	久保田敏子
966	2006	平成18年	6	二代宗家三十三回忌・三代宗家十七回忌追善第七十五回関東支部演奏大会を終えて		稲村隆山
966	2006	平成18年	6	あれこれ　佐賀城本丸歴史館を舞台にした邦楽演奏会のご紹介		多々良楠風
967	2006	平成18年	7	巻頭言		千葉韶山
967	2006	平成18年	7	竹韻随想	（十）	月溪恒子
967	2006	平成18年	7	楽信　柳内童山先生を偲んで		武林燁山
967	2006	平成18年	7	支部だより　ロコンさんに尺八を教える		中村炫山
967	2006	平成18年	7	あれこれ　倉敷翠松高等学校学外発表会を終えて		西谷竹邦
968	2006	平成18年	8	巻頭言		川井恍山
968	2006	平成18年	8	温故知新	古曲をたずねて （81）	久保田敏子
968	2006	平成18年	8	楽信　福岡県支部演奏会始末記		安河内嘉山
968	2006	平成18年	8	第二十一回涼山会演奏会を終えて		杉尾涼宝山
968	2006	平成18年	8	支部だより　限界集落		長野円山
968	2006	平成18年	8	岩手県支部と岩手三曲協会		立野呈山
968	2006	平成18年	8	あれこれ　尺八エッセイ	国際交流と異文化体験への考察	奥　昂山
969	2006	平成18年	9	巻頭言		柳田周山
969	2006	平成18年	9	竹韻随想	（十一）	月溪恒子
969	2006	平成18年	9	故竹琳軒横田楓山さん　偲び草		藤居嗃宇山
969	2006	平成18年	9	あれこれ　道場ありて希う		佐藤庵山
969	2006	平成18年	9	あれこれ　川出濤山先生春の叙勲受賞記念祝賀会		保枝瑛峰山
969	2006	平成18年	9	ブルガリアの「バラ祭り」伝統音楽祭に公演		廣見要山
969	2006	平成18年	9	県立小田原高校での尺八演奏・吹奏指導ボランティア短信		片桐露山
969	2006	平成18年	9	圭琳社合奏研究会に参加して		西谷洛山
969	2006	平成18年	9	グループ「MIYABI」		高橋聖威山
969	2006	平成18年	9	短歌朗詠と尺八		三浦春高
970	2006	平成18年	10	巻頭言		佐藤涼山
970	2006	平成18年	10	温故知新	古曲をたずねて （82）	久保田敏子
970	2006	平成18年	10	楽信　平成十八年度夏季講習会　高松で開催		東原操山
970	2006	平成18年	10	二代宗家三十三回忌・三代宗家十七回忌追善　茨城県支部創立二十五周年記念演奏会を終えて		加藤悦山
970	2006	平成18年	10	支部だより　世界民俗文化の夕に参加して		斎藤深山
970	2006	平成18年	10	あれこれ　流祖愛用尺八カバン		森田柊山
970	2006	平成18年	10	世界遺産登録間近の石見銀山遺跡で「ゆかた会」		秋山寒山
970	2006	平成18年	10	尺八と琉球音楽とのコラボレーション		岸本叔山
971	2006	平成18年	11	巻頭言		山本邦山
971	2006	平成18年	11	竹韻随想	（十二）	月溪恒子
971	2006	平成18年	11	楽信　大阪府支部定期演奏会報告		八幡麦山
971	2006	平成18年	11	支部だより　神奈川県支部「基礎鍛錬」その後		畑　洽山
971	2006	平成18年	11	第三十九回新潟県支部定期演奏会を終えて		斎藤照雲山
971	2006	平成18年	11	あれこれ　合宿で学んだ深し高し尺八道		長谷川震吹山
971	2006	平成18年	11	「人間国宝山本邦山尺八の世界」演奏会に参加して		斎藤紹俊
972	2006	平成18年	12	巻頭言		間﨑愁山
972	2006	平成18年	12	温故知新	古曲をたずねて （83）	久保田敏子
972	2006	平成18年	12	二代宗家三十三回忌・三代宗家十七回忌　第十九回都山流鑑賞会の記		川井恍山
972	2006	平成18年	12	第三十二回本曲コンクールの結果と講評		

972	2006	平成18年	12	楽信　第3回名曲「峰の月」発祥の地記念邦楽演奏会	福井篤山
972	2006	平成18年	12	あれこれ　宗家をお迎えして	小西鏘山
972	2006	平成18年	12	ジュニアへの尺八指導を続けています	石川州山
973	2007	平成19年	1	巻頭言	四代中尾都山
973	2007	平成19年	1	竹韻随想	(十三)　月溪恒子
973	2007	平成19年	1	楽信　二つの演奏会に想ふ	千葉韶山
973	2007	平成19年	1	あれこれ　出前尺八授業	中平洪昇山
973	2007	平成19年	1	箏・尺八「錦の秋コンサート」開催に寄せて	松井蕗山
973	2007	平成19年	1	懇談会と献曲	岡清以山
973	2007	平成19年	1	邦楽舟で尺八演奏	花房苑山
974	2007	平成19年	2	巻頭言	千葉韶山
974	2007	平成19年	2	温故知新	古曲をたずねて（84）　久保田敏子
974	2007	平成19年	2	楽信　富山県支部尺八演奏会報告	柴田聡山
974	2007	平成19年	2	ガンと闘った吉田暹山師／七回忌追善　中島浩山師／富山県功労表彰記念　富山県支部演奏会	深澤海汪山
974	2007	平成19年	2	第三十五回都山流八幸会記念演奏会を終えて	堀内悠山
974	2007	平成19年	2	支部だより　関東支部の近況	稲村隆山
974	2007	平成19年	2	中国で演奏交流会を開催	伊藤惺山
975	2007	平成19年	3	巻頭言	川井恍山
975	2007	平成19年	3	竹韻随想	(十四)　月溪恒子
975	2007	平成19年	3	第五十七回評議員会報告	
975	2007	平成19年	3	楽信　第三十四回九州支部連合演奏会を終えて	横山澄山
975	2007	平成19年	3	第百回記念三曲演奏会	背戸心山
975	2007	平成19年	3	支部だより　岡山だより	金島玄山
976	2007	平成19年	4	巻頭言	柳田周山
976	2007	平成19年	4	温故知新	古曲をたずねて（85）　久保田敏子
976	2007	平成19年	4	論究「続音階考」尺八の調律	(一)　西田仙秋山
976	2007	平成19年	4	支部だより　山形だより	高橋欽山
976	2007	平成19年	4	若手を中心とした新しい風	松本椋山
976	2007	平成19年	4	あれこれ　八ツ目イタチと虚無僧塚	廣見要山
976	2007	平成19年	4	都山流創韻社の紹介	河津虹山
976	2007	平成19年	4	東大阪市制四十周年と三曲協会	川元龍山
976	2007	平成19年	4	カナダ便り	信原鶏山
977	2007	平成19年	5	巻頭言	安宅雄山
977	2007	平成19年	5	竹韻随想	(十五)　月溪恒子
977	2007	平成19年	5	論究「続音階考」尺八の調律	(二)　西田仙秋山
977	2007	平成19年	5	楽信　神奈川県支部第三十九回演奏会を終えて	畑　洽山
977	2007	平成19年	5	支部だより　福井だより	冨澤和山
977	2007	平成19年	5	あれこれ　本年度最初の慰安演奏会を終えて	藤井粛山
977	2007	平成19年	5	社会教育表彰授賞式に臨んで	額見軒山
977	2007	平成19年	5	讃岐に広がる尺八の音色	植田秋山
978	2007	平成19年	6	巻頭言	四代中尾都山
978	2007	平成19年	6	温故知新	古曲をたずねて（86）　久保田敏子
978	2007	平成19年	6	論究「続音階考」尺八の調律	(三)　西田仙秋山
978	2007	平成19年	6	支部だより　尺八合奏による高齢者福祉施設慰問活動	高田鑑山
978	2007	平成19年	6	雪の立山連峰を眺めての本曲練習	吉野櫻山
978	2007	平成19年	6	あれこれ　第十八回全国生涯学習フェスティバルに参加して	菊池楷山
978	2007	平成19年	6	地域に密着したコンサート	奥　昴山
978	2007	平成19年	6	中学校における尺八指導の紹介	千葉韶山
979	2007	平成19年	7	巻頭言	千葉韶山
979	2007	平成19年	7	竹韻随想	(十六)　月溪恒子
979	2007	平成19年	7	論究「続音階考」尺八の調律	(四)　西田仙秋山
979	2007	平成19年	7	楽信　佐藤涼山先生米寿演奏会を終えて	山岸練山
979	2007	平成19年	7	支部だより　島根だより	橋本啓山
979	2007	平成19年	7	佐賀近況	黒髪象山
979	2007	平成19年	7	あれこれ「竹絃和音の日」に集う	神谷仟山
979	2007	平成19年	7	「邦楽に親しむ学習」の出前講座をおこなって	児島観山
979	2007	平成19年	7	レクリエーション	西山遒山

980	2007	平成19年	8	巻頭言		川井恍山
980	2007	平成19年	8	温故知新	古曲をたずねて （87）	久保田敏子
980	2007	平成19年	8	論究 「続音階考」尺八の調律		西田仙秋山
980	2007	平成19年	8	あれこれ　かやぶき古民家でのコンサート		花岡天山
980	2007	平成19年	8	初舞台		石川州山
980	2007	平成19年	8	支部の「学校対策研究会」報告		水島観山
980	2007	平成19年	8	角田季綺子師演奏会報告		寺岡憧山
981	2007	平成19年	9	巻頭言		柳田周山
981	2007	平成19年	9	竹韻随想	（十七）	月渓恒子
981	2007	平成19年	9	楽信　山本邦山・真山親子鷹　昭南島に凱旋す		上野宏秀山
981	2007	平成19年	9	竹の響き「伝統から創造」芸術公演出演奮闘記		岡野茂峰山
981	2007	平成19年	9	支部だより　沖縄より		宮里尚山
981	2007	平成19年	9	あれこれ　第十九回交歓交流合宿に参加して		田中筦翠
981	2007	平成19年	9	圭琳社合奏研究会に初参加して		佐藤佐山
982	2007	平成19年	10	巻頭言		佐藤涼山
982	2007	平成19年	10	温故知新	古曲をたずねて （88）	久保田敏子
982	2007	平成19年	10	支部だより　大阪府支部に楽理講習会始まる		窪　修山
982	2007	平成19年	10	あれこれ　カナダ便り		信原鶏山
983	2007	平成19年	11	巻頭言		山本邦山
983	2007	平成19年	11	竹韻随想	（十八）	月渓恒子
983	2007	平成19年	11	楽信　夏季講習会　福島市で開催		柚原粛山
983	2007	平成19年	11	故桐山隆山「追悼演奏会」を終えて		井藤侃山
983	2007	平成19年	11	第三十九回大阪府支部定期演奏会		青柳映山
983	2007	平成19年	11	第十九回広島県支部演奏会		名雪苔山
984	2007	平成19年	12	巻頭言		間崎愁山
984	2007	平成19年	12	温故知新	古曲をたずねて （89）	久保田敏子
984	2007	平成19年	12	第三十三回本曲コンクールの結果と講評		
984	2007	平成19年	12	楽信　第52回北海道支部演奏秋を終えて		小西鏘山
984	2007	平成19年	12	堀田震山師開軒50周年を祝して		長谷川震吹山
984	2007	平成19年	12	あれこれ　三重県三曲協会に加入できました		大平琥山
985	2008	平成20年	1	巻頭言		四代中尾都山
985	2008	平成20年	1	竹韻随想	（十九）	月渓恒子
985	2008	平成20年	1	楽信　青少年に対する普及事業への助成	第40回都山流尺八演奏会実施報告	駒井光山
985	2008	平成20年	1	高平艟山先生七回忌追善演奏会を終えて		藤井岩山
985	2008	平成20年	1	追善演奏会詳報		武林燁山
986	2008	平成20年	2	巻頭言		千葉韶山
986	2008	平成20年	2	温故知新	古曲をたずねて （90）	久保田敏子
986	2008	平成20年	2	楽信　第三十五回九州支部連合演奏会を終えて		井上萃山
986	2008	平成20年	2	「KANREKI2007 尺八コンサート		秦　瓢山
986	2008	平成20年	2	あれこれ　中学生への尺八指導顛末記		宮瀬照山
986	2008	平成20年	2	たからもの		西山逍山
986	2008	平成20年	2	「無歯類」		山崎北山
987	2008	平成20年	3	巻頭言		川井恍山
987	2008	平成20年	3	竹韻随想	（二十）	月渓恒子
987	2008	平成20年	3	第五十九回評議員会報告		
987	2008	平成20年	3	支部だより　高知の近況		山崎愛山
987	2008	平成20年	3	あれこれ 「第32回ジャパンウィーク･ワルシャワ」に参加して		田島晋山
987	2008	平成20年	3	「古曲」合宿研究会		黒住素山
988	2008	平成20年	4	巻頭言		柳田周山
988	2008	平成20年	4	温故知新	古曲をたずねて （91）	久保田敏子
988	2008	平成20年	4	支部だより　奈良県支部の歩み		焼田教山
989	2008	平成20年	5	巻頭言		吉田修宇山
989	2008	平成20年	5	竹韻随想	（二十一）	月渓恒子
989	2008	平成20年	5	支部だより　北海道道場開設		金子縑山
989	2008	平成20年	5	あれこれ　小・中学校における尺八指導二例		千葉韶山
989	2008	平成20年	5	小学校での邦楽体験教室		西山逍山
989	2008	平成20年	5	瀧廉太郎と尺八		
990	2008	平成20年	6	巻頭言		四代中尾都山

990	2008	平成20年	6	温故知新	古曲をたずねて（92）	久保田敏子
990	2008	平成20年	6	支部だより　弟子は師匠の半芸		三代朱山
990	2008	平成20年	6	あれこれ　楽理講習会を受講して		太田燎山
990	2008	平成20年	6	笛を吹き候		山本廬山
991	2008	平成20年	7	巻頭言		安宅雄山
991	2008	平成20年	7	竹韻随想	（二十二）	月溪恒子
991	2008	平成20年	7	楽信　第七十七回関東支部演奏会を終えて		久保誓山
991	2008	平成20年	7	支部だより　宮崎県支部の会員状況		肱岡深山
991	2008	平成20年	7	日本移民百年記念サントス市前年祭		斉藤深山
991	2008	平成20年	7	あれこれ　古里のコンサート		木谷棲山
992	2008	平成20年	8	巻頭言	（二十三）	森田柊山
992	2008	平成20年	8	温故知新	古曲をたずねて（93）	久保田敏子
992	2008	平成20年	8	宮崎県における都山流師匠第1号「綾部渚山」について		肱岡理山
992	2008	平成20年	8	楽信　滋賀県支部第三十回記念都山流尺八演奏会を終えて		畑　快山
992	2008	平成20年	8	竹生会の船出に寄せて		河村醒山
992	2008	平成20年	8	支部だより　岩手県支部の活動状況		伊藤衡山
992	2008	平成20年	8	秋田近況		長野円山
992	2008	平成20年	8	あれこれ　北海道神宮例祭献笛に寄せて		日小田衡山
992	2008	平成20年	8	閑話一題		長野円山
993	2008	平成20年	9	巻頭言		川井恍山
993	2008	平成20年	9	竹韻随想	（二十四）	月溪恒子
993	2008	平成20年	9	懐かしき人びと		北原篁山
993	2008	平成20年	9	楽信　「森田柊山　箏・三味演奏会」と桃の花祭りコンサート		清水筒山
993	2008	平成20年	9	東海ドウ？場		山口祝山
993	2008	平成20年	9	あれこれ　音楽大学への出張講義		佐藤庵山
993	2008	平成20年	9	道場入門		堀　奘山
993	2008	平成20年	9	琴弾岩と弾琴祭		佐野常山
994	2008	平成20年	10	巻頭言		吉田修宇山
994	2008	平成20年	10	温故知新	古曲をたずねて（94）	久保田敏子
994	2008	平成20年	10	過ぎ越し歳月		北原篁山
994	2008	平成20年	10	楽信　「平成二十年度楽会夏季講習会」を受講して		羽田野逢山
994	2008	平成20年	10	第二十二回愛媛県支部演奏会報告		長谷川奎山
994	2008	平成20年	10	支部だより　躍進二年目の楽理講習会を受講して		山崎星山
994	2008	平成20年	10	あれこれ　児童尺八体験講座　―小学校一年生の特訓の成果？		藤谷涼山
994	2008	平成20年	10	夏季講習会　余禄！　余禄？		廣田鉈山
994	2008	平成20年	10	たつの市小宅小学校体験教室		西山道山
994	2008	平成20年	10	「瑛琳会」合宿研究会を終えて		松本惷山
995	2008	平成20年	11	巻頭言		山本邦山
995	2008	平成20年	11	竹韻随想	（二十五）	月溪恒子
995	2008	平成20年	11	海外公演の憶い出		北原篁山
995	2008	平成20年	11	支部だより　基礎鍛錬の継続と新企画への挑戦		野口継山
995	2008	平成20年	11	あれこれ　端正な服装で受験を！		藤谷涼山
996	2008	平成20年	12	巻頭言		間崎愁山
996	2008	平成20年	12	温故知新	古曲をたずねて（95）	久保田敏子
996	2008	平成20年	12	海外公演記		北原篁山
996	2008	平成20年	12	第三十四回本曲コンクールの結果と講評		
996	2008	平成20年	12	楽信　大阪府支部第四十回定期演奏会に寄せて		佐藤和久山
996	2008	平成20年	12	第四十二回箏曲葵会　第六回都山流天山会　演奏会報告		加藤天啓
996	2008	平成20年	12	支部だより　大震災を乗り越えて「第30回記念演奏会」開催		吉田峯山
996	2008	平成20年	12	あれこれ　ちょんまげスイスを駆ける		三浦春高
997	2009	平成21年	1	巻頭言		四代中尾都山
997	2009	平成21年	1	竹韻随想	（二十六）	月溪恒子
997	2009	平成21年	1	楽信　第三十六回九州支部連合演奏会報告		板谷莫千山
997	2009	平成21年	1	第四十一回都山流尺八演奏会（支部定期演奏会）実施報告		駒井光山
997	2009	平成21年	1	ブラジル演奏旅行　日本人ブラジル移住百周年		五味春光山
997	2009	平成21年	1	「伝統芸能　邦楽のひびき」を開催して		荒田篤宇山
997	2009	平成21年	1	藤原匠山尺八リサイタル		藤原匠山
998	2009	平成21年	2	巻頭言		森田柊山

998	2009	平成21年	2	温故知新	古曲をたずねて （96）	久保田敏子
998	2009	平成21年	2	楽信　青少年に対する普及事業への助成を受けて		千葉韶山
998	2009	平成21年	2	第二十七回宮崎県支部定期演奏会を終えて		肱岡理山
998	2009	平成21年	2	支部だより　関東支部近況		加藤了山
998	2009	平成21年	2	あれこれ　高等学校の尺八体験学習雑記		澤田蔵山
998	2009	平成21年	2	「第6回オータムフェスティバルin龍野」に参加		西山遉山
999	2009	平成21年	3	巻頭言		川井恍山
999	2009	平成21年	3	第六十一回評議員会報告		北原篁山
999	2009	平成21年	3	楽報「一千号」発行近づく		
999	2009	平成21年	3	楽信　楽会助成事業　都山流尺八演奏会実施報告		村上聖山
999	2009	平成21年	3	支部だより　晴れの国岡山からのメッセージ		大森勢山
1000	2009	平成21年	4	巻頭言		四代中尾都山
1000	2009	平成21年	4	都山流尺八楽会とのご縁と思い出		久保田敏子
1000	2009	平成21年	4	「楽報」一千号の歩み		森田柊山
1000	2009	平成21年	4	先人を想う 「楽報」一千号を迎えて		北原篁山
1000	2009	平成21年	4	昭和二十年代　―大阪		池田静山
1000	2009	平成21年	4	思い出すままに		佐藤涼山
1000	2009	平成21年	4	よみがえった尺八「神通」		井上管山
1000	2009	平成21年	4	東京幹部会講演会の写真		森田柊山
1000	2009	平成21年	4	「楽報」とともに 「一千号記念特集」への寄稿文		作見陽山
1000	2009	平成21年	4	「楽報」と私	～「楽報」と共に四十年～	奥　昴山
1000	2009	平成21年	4	流祖の教え”楽者道也”に学ぶ		野仲矢山
1000	2009	平成21年	4	各地の歩み 「楽報」一千号を祝って		工藤研山
1000	2009	平成21年	4	都山流尺八但馬地域での歴史について		守本鹿山
1000	2009	平成21年	4	龍野邦楽三曲会		西山遉山
1000	2009	平成21年	4	尺八が今私にあるのは？		肱岡理山
1000	2009	平成21年	4	綾部会「回想七十年誌」の発行		新庄綾山
1000	2009	平成21年	4	海南文化協会と私の歩み		木戸地介山
1000	2009	平成21年	4	都山流人として　永年開軒（六十年）表彰を戴いて		山崎北山
1000	2009	平成21年	4	わが尺八人生の一齣を顧みて		千葉韶山
1000	2009	平成21年	4	道場に期待		長谷川朝山
1000	2009	平成21年	4	凶悪犯人”尺八”の妙音に降参!!		辻井嶺山
1000	2009	平成21年	4	尺八でタイムトラベル		長谷川震吹山
1000	2009	平成21年	4	都山流と尺八と私		井本蝶山
1000	2009	平成21年	4	楽信　二〇〇〇年アフリカ演奏旅行		北原篁山
1000	2009	平成21年	4	第五十回菊保会初びき会に参加して		改發旭山
1000	2009	平成21年	4	あれこれ　首振り三年を三日でプロジェクト第二報		高橋欽山
1000	2009	平成21年	4	「箏と尺八のしらべ」を終えて		神谷仟山
1000	2009	平成21年	4	宮城から「竹の会第一回尺八演奏会」のたより		渋谷敲山
1001	2009	平成21年	5	巻頭言		吉田修宇山
1001	2009	平成21年	5	竹韻随想	（二十六）	月渓恒子
1001	2009	平成21年	5	支部だより　小学校での邦楽教室とアンケート		小林太山
1001	2009	平成21年	5	あれこれ　石清水八幡宮の参拝と都山流会館訪問		石川州山
1002	2009	平成21年	6	巻頭言		柳田周山
1002	2009	平成21年	6	温故知新	古曲をたずねて （97）	久保田敏子
1002	2009	平成21年	6	支部だより　ジョンペッソーア日本移民百周年記念祭		斉藤深山
1002	2009	平成21年	6	富山便り		井上管山
1002	2009	平成21年	6	あれこれ　道後への演奏の旅		森崎徹山
1002	2009	平成21年	6	追っかけ金沢道中記		加藤悦山
1003	2009	平成21年	7	巻頭言		千葉韶山
1003	2009	平成21年	7	竹韻随想	（二十七）	月渓恒子
1003	2009	平成21年	7	心、温まる演奏会		北原篁山
1003	2009	平成21年	7	あれこれ　八雲琴と菊岡検校		木谷棲山
1003	2009	平成21年	7	楽しみの中で！　楽理講座の不思議	～第2回大阪府支部楽理講座に参加して～	辻　濤山
1003	2009	平成21年	7	考案「キセル型塩ビ管尺八」		東海林竹泉山
1004	2009	平成21年	8	巻頭言		森田柊山
1004	2009	平成21年	8	温故知新	古曲をたずねて （98）	久保田敏子

1004	2009	平成21年	8	楽信　佐藤涼山先生　継続開軒五十年　卒寿　記念演奏会を終えて		馬場幾山
1004	2009	平成21年	8	尺八峰山会による「竹の響き」vol.2尺八協奏曲		伊藤真山
1004	2009	平成21年	8	正法寺法要と都山流尺八演奏会開催報告		六串観山
1004	2009	平成21年	8	あれこれ　子どもたちの晴舞台		石川州山
1005	2009	平成21年	9	巻頭言		川井恍山
1005	2009	平成21年	9	竹韻随想	（二十七）	月溪恒子
1005	2009	平成21年	9	支部だより　ブラジル日本移民百周年記念祭		斉藤深山
1005	2009	平成21年	9	あれこれ　平成二十一年度圭琳社「合奏研究会」に参加して		大田唱山
1005	2009	平成21年	9	三曲演奏の一つの楽しみ方		廣田銑山
1006	2009	平成21年	10	巻頭言		吉田修宇山
1006	2009	平成21年	10	温故知新	古曲をたずねて（100）	久保田敏子
1006	2009	平成21年	10	楽信　平成21年度夏季講習会を振り返って		加藤了山
1006	2009	平成21年	10	支部だより　沖縄近況		平良華星
1006	2009	平成21年	10	あれこれ　古楽器アウロスに寄せて		太田貴山
1006	2009	平成21年	10	夏季講習会に参加する飛行機の中で		三代朱山
1006	2009	平成21年	10	堀田震山師匠大峰山同行記　平和をねがって		長谷川震吹山
1007	2009	平成21年	11	巻頭言		山本邦山
1007	2009	平成21年	11	竹韻随想	（二十八）	月溪恒子
1007	2009	平成21年	11	あれこれ　中学校音楽教師を対象とした尺八の実技講習会に臨んで		井上萃山
1007	2009	平成21年	11	「聚遠の朝」公刊の思い出		西山道山
1007	2009	平成21年	11	万里の長城に　尺八の音ひびく		長谷川震吹山
1007	2009	平成21年	11	美しい洞爺湖畔で湖上の月を!!		小林奇山
1008	2009	平成21年	12	巻頭言		間﨑愁山
1008	2009	平成21年	12	温故知新	古曲をたずねて（101）	久保田敏子
1008	2009	平成21年	12	第三十五回本曲コンクールの結果と講評		
1008	2009	平成21年	12	楽信　大阪府支部定期演奏会について思いのあれこれ		柿田貢山
1008	2009	平成21年	12	第53回三重県支部都山流尺八演奏会を振り返って		林　連山
1008	2009	平成21年	12	あれこれ　第12回「竹」尺八演奏会を終えて…思うこと		鹿野乙山
1008	2009	平成21年	12	前代未聞のプロ野球開会式の尺八		宮澤寒山
1008	2009	平成21年	12	近況報告		井本蝶山
1009	2010	平成22年	1	巻頭言		四代中尾都山
1009	2010	平成22年	1	竹韻随想	（二十九）	月溪恒子
1009	2010	平成22年	1	あれこれ　尺八の普及活動		中平洪昇山
1009	2010	平成22年	1	龍野城「観月の夕べ」での邦楽演奏		西山逍山
1009	2010	平成22年	1	「岡山足守米蔵コンサート」に出演して		三木嬰天山
1009	2010	平成22年	1	地域の活性化コンサート		野村峰山
1010	2010	平成22年	2	巻頭言		森田柊山
1010	2010	平成22年	2	温故知新	古曲をたずねて（102）	久保田敏子
1010	2010	平成22年	2	楽信　第三十七回九州支部連合演奏会のご報告		宮崎嵐山
1010	2010	平成22年	2	楽会助成事業　こんなことやっています　神奈川県支部定期演奏会の報告		畑　洽山
1010	2010	平成22年	2	あれこれ　新しい風		工藤研山
1010	2010	平成22年	2	五孔尺八は七孔（大分県支部秋季研修会顛末記）		古野柑山
1010	2010	平成22年	2	小学校での邦楽体験教室		西山逍山
1010	2010	平成22年	2	玉野市方角連盟第五十三回邦楽演奏会		虫明圭山
1011	2010	平成22年	3	巻頭言		川井恍山
1011	2010	平成22年	3	竹韻随想	（三十）	月溪恒子
1011	2010	平成22年	3	第六十三回評議員会報告		
1011	2010	平成22年	3	支部だより　楽会助成事業　青少年に対する普及　京都府支部定期演奏会における新企画		高田鑑山
1011	2010	平成22年	3	あれこれ　和文化学習を取り入れた特色ある学校づくり		木原聲山
1011	2010	平成22年	3	天晴れ老将、師範の壁を突破		宮澤寒山
1011	2010	平成22年	3	七十五歳、師範合格の記		鈴木亨山
1011	2010	平成22年	3	近況		浅海翠映山
1012	2010	平成22年	4	巻頭言		喜田嘉山
1012	2010	平成22年	4	温故知新	古曲をたずねて（103）	久保田敏子
1012	2010	平成22年	4	二代吉田暹山襲名式		深澤海王山
1012	2010	平成22年	4	二代吉田暹山襲名式の裏舞台		丸山暹南

1012	2010	平成22年	4	あれこれ　これぞ　竹道の極意！	廣田鉈山
1012	2010	平成22年	4	師匠と尺八へ感謝	眞鍋晋山
1012	2010	平成22年	4	子ども達に伝えたい、尺八の音色	永田鳳山
1012	2010	平成22年	4	小学校で本曲「寒月」を	柳原昊山
1012	2010	平成22年	4	三年目の楽理研究会を受講して	八幡麦山
1013	2010	平成22年	5	巻頭言	吉田暹山
1013	2010	平成22年	5	竹韻随想	月溪恒子
1013	2010	平成22年	5	音楽への考察と北欧楽旅	北原篁山
1013	2010	平成22年	5	あれこれ　地域の中での広報活動例	水島観山
1013	2010	平成22年	5	娘の邦楽リサイタル	西山逍山
1014	2010	平成22年	6	巻頭言	四代中尾都山
1014	2010	平成22年	6	温故知新	久保田敏子
1014	2010	平成22年	6	作曲家と演奏家	北原篁山
1014	2010	平成22年	6	支部だより　尺八指導の一考察	日高省山
1015	2010	平成22年	7	巻頭言	吉田秦山
1015	2010	平成22年	7	竹韻随想	月溪恒子
1015	2010	平成22年	7	楽信　奈良県支部定期演奏会を終えて	神谷仟山
1015	2010	平成22年	7	あれこれ　尺八綾部会『創立七十周年記念演奏会』	新庄綾山
1015	2010	平成22年	7	三浦韻山開軒50周年記念　都山流尺八演奏会	三浦韻山
1015	2010	平成22年	7	船出後の竹生会の今	河村醒山
1016	2010	平成22年	8	巻頭言	森田柊山
1016	2010	平成22年	8	温故知新	久保田敏子
1016	2010	平成22年	8	支部だより　支部の近況	工藤研山
1016	2010	平成22年	8	身辺の整理について思うこと	長野円山
1016	2010	平成22年	8	あれこれ　宗家の「岩清水」に舞うアゲハチョウ	生田燕山
1016	2010	平成22年	8	都山流尺八圭琳社　第十二回合奏研究会に参加して	小郷原筅山
1016	2010	平成22年	8	瑞鳳会結成五十五周年記念献楽旅行	三宅晟山
1016	2010	平成22年	8	この道一途に、八十四歳の背輝く	宮澤寒山
1016	2010	平成22年	8	浜松・鈴鐸山普大寺跡を訪ねて	野村峰山
1016	2010	平成22年	8	笑顔で挨拶	村上阿蘇山
1017	2010	平成22年	9	巻頭言	川井恍山
1017	2010	平成22年	9	竹韻随想	月溪恒子
1017	2010	平成22年	9	支部だより　北海道神宮例祭神賑献笛によせて	中井慎山
1017	2010	平成22年	9	あれこれ　稲村隆山先生　継続開軒五十年受賞記念パーティー	藤倉隆靖
1017	2010	平成22年	9	「平城遷都千三百年祭」と「まほろばステージ」に出演して	神谷仟山
1017	2010	平成22年	9	小学校における和楽器体験出前授業	竹元黎山
1017	2010	平成22年	9	NHKのTVで放映	西山逍山
1017	2010	平成22年	9	「尺八指南」の看板作りに取組んで	森安段山
1018	2010	平成22年	10	巻頭言	吉田暹山
1018	2010	平成22年	10	温故知新	久保田敏子
1018	2010	平成22年	10	楽信　楽会夏季講習会レポート	池田水山
1018	2010	平成22年	10	支部だより　第22回花と邦楽のしらべ演奏会を終えて	山口祝山
1018	2010	平成22年	10	「元気印」は依然継続中です	野口継山
1018	2010	平成22年	10	ブラジル移民百二周年記念開拓先亡者慰霊祭	斉藤深山
1018	2010	平成22年	10	「吹禅」の由来について	多胡恍隠
1018	2010	平成22年	10	あれこれ　蘖第2回邦楽演奏会	西山逍山
1018	2010	平成22年	10	尺八の種を子どもたちに	森　英山
1018	2010	平成22年	10	「小指」が主役の尺八奏法	日高省山
1019	2010	平成22年	11	巻頭言	山本邦山
1019	2010	平成22年	11	楽信　楽会助成事業　第二十回都山流尺八楽会広島県支部演奏会を終えて	木原聲山
1019	2010	平成22年	11	浜根湲山傘寿記念　湲山会演奏会開催	細山鋒山
1019	2010	平成22年	11	あれこれ　本曲コンクールブロック予選を聴いて	柚原粛山
1019	2010	平成22年	11	藤田天山師を迎えての楽理講習会	西山逍山
1019	2010	平成22年	11	登山流尺八葛城社 in 二上山	長谷川晨吹山
1019	2010	平成22年	11	「一人吹きの会」の開催について	羽田野逢山
1019	2010	平成22年	11	能登半島一周刊行親善旅行（二泊）に参加して	梅谷鋒山
1019	2010	平成22年	11	夏季講習会余録！　余禄？（二）	廣田鉈山

1020	2010	平成22年	12	巻頭言		間﨑愁山	
1020	2010	平成22年	12	第三十六回本曲コンクールの結果と講評			
1020	2010	平成22年	12	楽信　大阪府支部第四十二回定期演奏会を終えて		井上猷山	
1020	2010	平成22年	12	あれこれ　上海万博と蘇州大学音楽院での演奏に参加して		中尾峻山	
1020	2010	平成22年	12	カナダディに参加して		三崎箴山	
1020	2010	平成22年	12	香川県護国神社奉奏30年		今田琴山	
1020	2010	平成22年	12	キャンドル　ナイト　ウォーキング		木村流山	
1021	2011	平成23年	1	巻頭言		四代中尾都山	
1021	2011	平成23年	1	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(一)	森田柊山	
1021	2011	平成23年	1	楽信　都山流尺八楽会岡山県支部　第二十五回国民文化祭・おかやま2010に出演		松本惷山	
1021	2011	平成23年	1	第38回九州支部連合演奏会を終えて		肱岡理山	
1021	2011	平成23年	1	三好芫山師籍五十周年記念　清芫社第四十回演奏会を終えて		渡邊粲山	
1021	2011	平成23年	1	開軒三十周年記念演奏会を終えて		斎藤慎山	
1022	2011	平成23年	2	巻頭言		森田柊山	
1022	2011	平成23年	2	温故知新	古曲をたずねて （107）	久保田敏子	
1022	2011	平成23年	2	楽信　楽会助成事業　第21回都山流尺八演奏会（支部定期演奏会）		菊池楷山	
1022	2011	平成23年	2	第1回道場コンサート顛末記		安河内嘉山	
1022	2011	平成23年	2	龍野邦楽三曲定期演奏会		西山逍山	
1022	2011	平成23年	2	支部だより　関東支部近況		加藤了山	
1022	2011	平成23年	2	あれこれ　尺八を楽しむために参加しましょう		肱岡理山	
1023	2011	平成23年	3	巻頭言		吉田秦山	
1023	2011	平成23年	3	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二)	森田柊山	
1023	2011	平成23年	3	第六十六回評議員会報告			
1023	2011	平成23年	3	楽信　楽会助成事業　神奈川県に広がる都山流尺八の輪　　神奈川県支部青少年助成演奏会報告		畑　洽山	
1023	2011	平成23年	3	尺八演奏会を振り返って		東原操山	
1023	2011	平成23年	3	支部だより　さらに魅力ある演奏会を目指して		貝原悠山	
1023	2011	平成23年	3	あれこれ　楽理研究会も私も飛躍のとき		中西博山	
1023	2011	平成23年	3	第30回たつの市小宅公民館祭での邦楽演奏		西山逍山	
1024	2011	平成23年	4	巻頭言		吉田暹山	
1024	2011	平成23年	4	温故知新	古曲をたずねて （108）	久保田敏子	
1024	2011	平成23年	4	論究 「演奏大会の今後のあり方」検討について		榎本杜山	
1024	2011	平成23年	4	支部だより　山形県支部活動に関する意向調査結果		山口綸山	
1024	2011	平成23年	4	第38回都山流尺八九州支部連合演奏会のアンケーロ調査結果について		肱岡理山	
1024	2011	平成23年	4	あれこれ　石橋令邑先生と浜木綿忌		澤　真山	
1024	2011	平成23年	4	大分県支部秋期研修会に参加して		二宮霊山	
1025	2011	平成23年	5	巻頭言		千葉韶山	
1025	2011	平成23年	5	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三)	森田柊山	
1025	2011	平成23年	5	近頃に思うことども		北原篁山	
1025	2011	平成23年	5	支部だより　伝承と継承の輪廻		斉藤深山	
1025	2011	平成23年	5	大阪府支部における作曲者講習会の歩み		檜山佳山	
1025	2011	平成23年	5	成人の日　青葉城跡で「二葉のかおり」		宮澤寒山	
1025	2011	平成23年	5	あれこれ　日中韓三カ国文化大臣フォーラム晩餐会で演奏す		神谷仟山	
1025	2011	平成23年	5	東京農工大学竹桐会の紹介		川添遊山	
1025	2011	平成23年	5	大阪府支部第四十回定期演奏会に寄せて		佐藤和久山	
1026	2011	平成23年	6	巻頭言		四代中尾都山	（公財）都山流尺八楽会
1026	2011	平成23年	6	公益財団法人　都山流尺八楽会認定			
1026	2011	平成23年	6	定款			
1026	2011	平成23年	6	財産目録			
1026	2011	平成23年	6	公益目的事業の内容			
1026	2011	平成23年	6	都山流規程			
1026	2011	平成23年	6	都山流支部細則			
1026	2011	平成23年	6	法人移行記録			
1027	2011	平成23年	7	巻頭言		喜田嘉山	
1027	2011	平成23年	7	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(四)	森田柊山	
1027	2011	平成23年	7	第1回評議員会報告			

1027	2011	平成23年	7	支部だより　尺八が吹ける日本人		石田黎俊
1027	2011	平成23年	7	芸術の出前講座(鳥取市文化団体協議会)七年目		尾崎観祥
1027	2011	平成23年	7	会報発行で支部会員の結束固める		木谷棲山
1027	2011	平成23年	7	あれこれ　定年退職記念「尺八リサイタル」		武林燁山
1027	2011	平成23年	7	中学校における尺八実技教室		廣見要山
1027	2011	平成23年	7	笑顔が尺八仲間を呼ぶ　医療情報誌の表紙を飾る		宮澤寒山
1027	2011	平成23年	7	国民文化祭プレイベント「都山流尺八綾部研究発表会」開催		新庄綾山
1028	2011	平成23年	8	巻頭言		川井恍山
1028	2011	平成23年	8	温故知新	古曲をたずねて（109）	久保田敏子
1028	2011	平成23年	8	都山流尺八音楽は日本の伝統芸術		久田原行山
1028	2011	平成23年	8	最近、心を痛める事ども		北原篁山
1028	2011	平成23年	8	東日本大震災犠牲者鎮魂供養　被災地域復興祈願の献奏		六串観山
1028	2011	平成23年	8	楽信　和文化学習を取り入れた特色ある学校づくり(part2)		木原聲山
1028	2011	平成23年	8	あれこれ　地域の中での広報活動例		水島観山
1028	2011	平成23年	8	尺八と釣鐘		西川智山
1028	2011	平成23年	8	都山流尺八圭琳社第十三回合奏研究会に参加して		長江六吟山
1028	2011	平成23年	8	都山流兵庫県支部第4地区親睦レクレーションでの演奏		西山逍山
1029	2011	平成23年	9	巻頭言		吉田秦山
1029	2011	平成23年	9	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(五)	森田柊山
1029	2011	平成23年	9	北陸開拓の祖　田島昇山		深澤海王山
1029	2011	平成23年	9	あれこれ「学校対策研究会」に参加して		佐藤佐山
1029	2011	平成23年	9	「蘖」第3回邦楽演奏会と「春の恵」		西山逍山
1029	2011	平成23年	9	北海道神宮例祭神賑献笛に参加して		田村豊隆
1029	2011	平成23年	9	箏・尺八教室のスナップ集		佐藤庵山
1030	2011	平成23年	10	巻頭言		吉田暹山
1030	2011	平成23年	10	温故知新	古曲をたずねて（110）	久保田敏子
1030	2011	平成23年	10	百年振りに訪れた大地震と大津波		北原篁山
1030	2011	平成23年	10	楽信「峰の月」誕生の地　第八回邦楽演奏会		伊藤菰山
1030	2011	平成23年	10	あれこれ「双葉会」第六十回記念　氷川丸船上勉強会		香月柊月
1030	2011	平成23年	10	単発授業で後継者は育たないか	～離島の子ども達と	竹元黎山
1030	2011	平成23年	10	老人ホームへ出張公演		西山逍山
1031	2011	平成23年	11	巻頭言		山本邦山
1031	2011	平成23年	11	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(六)	森田柊山
1031	2011	平成23年	11	楽信「なら竹絃の会」第二回演奏会「和のひびき」を終えて		神谷仟山
1031	2011	平成23年	11	まだまだ吹けますぞな(八十三歳にして演奏会を)		宮内鳳山
1031	2011	平成23年	11	あれこれ　夏季講習会　余録！　余禄？(三)	「山辺のみち献奏」	廣田錵山
1031	2011	平成23年	11	第1回大阪府支部合奏勉強会に参加して		佐藤和久山
1032	2011	平成23年	12	巻頭言		間崎愁山
1032	2011	平成23年	12	温故知新	古曲をたずねて（111）	久保田敏子
1032	2011	平成23年	12	楽信　楽会助成事業　第55回都山流三重県支部演奏会を終えて		岡野茂峰山
1032	2011	平成23年	12	楽会助成事業　平成23年度都山流大阪府支部　第43回定期演奏会		檜山佳山
1032	2011	平成23年	12	都山流大阪府支部第43回定期演奏会アンケート結果		川口遼山
1032	2011	平成23年	12	あれこれ　都山流兵庫県支部第4地区作曲者講習会		西山逍山
1033	2012	平成24年	1	巻頭言		四代中尾都山
1033	2012	平成24年	1	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(七)	森田柊山
1033	2012	平成24年	1	楽信　第2回道場コンサート回顧録　～ホスト支部としての準備　そしてリハ・ゲネプロ・本番演奏～		近藤関山
1033	2012	平成24年	1	都山流「八幸会」第40回記念演奏会を終えて		仁科盛維山
1033	2012	平成24年	1	都山流京都府支部　平成23年度定期演奏会を終えて		高田鑑山
1033	2012	平成24年	1	あれこれ　高校邦楽授業レポート		原田頑山
1033	2012	平成24年	1	驚きと喜びそして感動		河村醒山
1034	2012	平成24年	2	巻頭言		森田柊山
1034	2012	平成24年	2	温故知新	古曲をたずねて（112）	久保田敏子
1034	2012	平成24年	2	初代星田一山先生を想う		北原篁山
1034	2012	平成24年	2	楽信　尺八をやっていて本当によかった！　「第44回神奈川県支部演奏会」報告		宮崎津山
1034	2012	平成24年	2	平成23年度龍野邦楽三曲定期演奏会		西山逍山
1034	2012	平成24年	2	あれこれ　都山流尺八岐阜県支部の研修会		池上苑山

1034	2012	平成24年	2	松尾小学校で尺八／十七絃の演奏		北口宗龍
1035	2012	平成24年	3	巻頭言	知られざる流祖の魅力(八)	吉田秦山
1035	2012	平成24年	3	中尾都山伝		森田柊山
1035	2012	平成24年	3	楽信　第8回都山流兵庫県支部第4地区　都山流尺八定期演奏会		西山逍山
1035	2012	平成24年	3	あれこれ　地域の中での広報活動例2		水島観山
1035	2012	平成24年	3	小学生の尺八チャレンジ		花岡天山
1035	2012	平成24年	3	松尾小学校で尺八、箏の体験レッスン		北口宗龍
1035	2012	平成24年	3	音楽療法に参加して		小林奇山
1036	2012	平成24年	4	巻頭言		吉田暹山
1036	2012	平成24年	4	温故知新	古曲をたずねて （113）	久保田敏子
1036	2012	平成24年	4	第2回評議員会報告		
1036	2012	平成24年	4	都山流支部だより 「箏曲組歌発祥之地」石碑について		渡辺無山
1037	2012	平成24年	5	巻頭言	知られざる流祖の魅力(九)	千葉韶山
1037	2012	平成24年	5	中尾都山伝		森田柊山
1037	2012	平成24年	5	楽信　和文化学習を取り入れた　特色ある学校づくり（Part 3）		木原聲山
1037	2012	平成24年	5	ニュージーランド（クライストチャーチ）における邦楽の現状		アラン炫紀
1037	2012	平成24年	5	あれこれ　尺八体験学習を終えて		山口祝山
1038	2012	平成24年	6	巻頭言	古曲をたずねて （114）	四代中尾都山
1038	2012	平成24年	6	温故知新		久保田敏子
1038	2012	平成24年	6	都山流支部だより　地元の参加で盛り上がる　船川利夫を聴く・知るコンサート		木谷棲山
1038	2012	平成24年	6	第60回龍野さくら祭での邦楽演奏		西山逍山
1038	2012	平成24年	6	あれこれ　小学校の箏・尺八体験学習に参加して		中野献山
1038	2012	平成24年	6	高松東高校での尺八体験教室		松尾晶梨
1038	2012	平成24年	6	尺八を通して人との触れ合い		北口宗龍
1039	2012	平成24年	7	巻頭言	知られざる流祖の魅力(十)	川井恍山
1039	2012	平成24年	7	中尾都山伝		森田柊山
1039	2012	平成24年	7	楽信 「都山流関東支部第80回記念・三代宗家23回忌追福演奏会」を終えて		加藤了山
1039	2012	平成24年	7	舞台裏の裏話し		廣田錵山
1039	2012	平成24年	7	初めての総務担当として		亀田禎山
1039	2012	平成24年	7	演奏会を終えて		山川響山
1039	2012	平成24年	7	初めての会計担当として		榎本杜山
1039	2012	平成24年	7	記念曲「創元」を担当して		山本真山
1039	2012	平成24年	7	あれこれ　我らが友　～すごい男が居たもんだ！～		野口継山
1040	2012	平成24年	8	巻頭言	古曲をたずねて （115）	森田柊山
1040	2012	平成24年	8	温故知新		久保田敏子
1040	2012	平成24年	8	楽信　都山流尺八　鹿児島県支部定期演奏会を終えて		横山澄山
1040	2012	平成24年	8	あれこれ　砥ノ峰高原での尺八吹奏（レクレーション行事）		西山逍山
1040	2012	平成24年	8	尺八に願いを込めて		六串観山
1041	2012	平成24年	9	巻頭言	知られざる流祖の魅力(十一)	吉田秦山
1041	2012	平成24年	9	中尾都山伝		森田柊山
1041	2012	平成24年	9	楽信　都山流尺八愛知合奏団演奏会		藤谷涼山
1041	2012	平成24年	9	蘖　第4回邦楽演奏会		西山逍山
1041	2012	平成24年	9	あれこれ　情熱に包まれて…　―作曲者による作品講習会を終えて―		永廣孝山
1041	2012	平成24年	9	福井県に於ける派遣講習会を受講して		佐々木推諒山
1041	2012	平成24年	9	再び「岡山足守」へ		三木嬰天山
1041	2012	平成24年	9	老人ホーム竣工式 「オープニング演奏」参加		新庄綾山
1042	2012	平成24年	10	巻頭言	古曲をたずねて （116）	吉田暹山
1042	2012	平成24年	10	温故知新		久保田敏子
1042	2012	平成24年	10	「そうだ　もう　先生は居られないのだ」		北原篁山
1042	2012	平成24年	10	邦山さんの受賞を喜ぶ		森　故山
1042	2012	平成24年	10	あれこれ　被災地への尺八ひとり旅		名雪苔山
1042	2012	平成24年	10	第3回竹生会発表会を終えて		沖西頑秀
1042	2012	平成24年	10	山田都久山開軒40周年記念演奏会　ご挨拶		山田都久山
1043	2012	平成24年	11	巻頭言	知られざる流祖の魅力(十二)	山本邦山
1043	2012	平成24年	11	中尾都山伝		森田柊山
1043	2012	平成24年	11	昔時と現在を想いて		北原篁山

1043	2012	平成24年	11	あれこれ　夏季講習会　余録！　余禄？(四)	「浜名湖の虹を渡る献奏行脚」	廣田鉈山
1043	2012	平成24年	11	第2回大阪府支部合奏勉強会		八幡麦山
1043	2012	平成24年	11	都山流尺八圭琳社　第14回合奏研究会に参加して		竹内姫山
1044	2012	平成24年	12	巻頭言		間崎愁山
1044	2012	平成24年	12	温故知新	古曲をたずねて （117）	久保田敏子
1044	2012	平成24年	12	第38回本曲コンクールの結果と講評		
1044	2012	平成24年	12	楽信　楽会助成事業　三代宗家23回忌追福第44回定期演奏会を終えて		柿田貢山
1044	2012	平成24年	12	演奏曲目と出演グループ		井上猷山
1044	2012	平成24年	12	楽会助成事業　茨城県支部第22回定期演奏会と青少年育成事業について		雨谷爍山
1044	2012	平成24年	12	都山流支部だより　三代宗家23回忌追善　都山流尺八・第47回岡山県支部定期演奏会を終えて		松尾巷山
1044	2012	平成24年	12	あれこれ　伊勢神宮の式年遷宮		中村志山
1044	2012	平成24年	12	ヤギと尺八と「春の海」		長谷川震吹山
1045	2013	平成25年	1	巻頭言		四代中尾都山
1045	2013	平成25年	1	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(十三)	森田柊山
1045	2013	平成25年	1	楽信　都山流宮崎県支部　第28回都山流尺八演奏会を終えて		肱岡理山
1045	2013	平成25年	1	あれこれ　小中学校音楽会で尺八演奏		花岡天山
1045	2013	平成25年	1	紅葉を眺めながら尺八を楽しむ		六串観山
1045	2013	平成25年	1	仲秋の名月に奏でる		古田優山
1046	2013	平成25年	2	巻頭言		森田柊山
1046	2013	平成25年	2	温故知新	古曲をたずねて （118）	久保田敏子
1046	2013	平成25年	2	楽信　第20回都山流鑑賞会の北海道について		田村信山
1046	2013	平成25年	2	平成24年度龍野邦楽三曲会定期演奏会		西山逍山
1046	2013	平成25年	2	都山流支部だより　岳人山師をサンパウロ市に迎えて		山岡洋雄
1046	2013	平成25年	2	あれこれ　都山流竹琳軒　秋元瑛山先生　開軒60周年記念祝賀会の開催		松本惹山
1046	2013	平成25年	2	明治神宮献楽に参加して		アピー了羽
1046	2013	平成25年	2	「エイジレス章」と「文化大賞」に慶福		新庄綾山
1046	2013	平成25年	2	貸し出し尺八によるワークショップ		三代朱山
1047	2013	平成25年	3	巻頭言		吉田秦山
1047	2013	平成25年	3	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(十四)	森田柊山
1047	2013	平成25年	3	都山流人　挙って　喜ぼう		北原篁山
1047	2013	平成25年	3	楽信　第3回道場コンサートを終えて		山本晶山
1047	2013	平成25年	3	あれこれ 「仲間の親切に触れました」		柚原粛山
1047	2013	平成25年	3	尺八峰山会 「竹の響き　vol.3　～現代邦楽五番立～」 in 名古屋能楽堂		稲葉峰静
1047	2013	平成25年	3	和楽器の体験学習		岩崎穣山
1047	2013	平成25年	3	関東支部第80回演奏会の記念品に感謝		廣見要山
1048	2013	平成25年	4	巻頭言		二代　吉田暹山
1048	2013	平成25年	4	温故知新	古曲をたずねて （119）	久保田敏子
1048	2013	平成25年	4	第3回評議員会報告		
1048	2013	平成25年	4	楽信　第40回九州支部連合演奏会報告		宮里剣山
1048	2013	平成25年	4	あれこれ　地域の中での広報活動例		水島観山
1049	2013	平成25年	5	巻頭言		千葉韶山
1049	2013	平成25年	5	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(十五)	森田柊山
1049	2013	平成25年	5	最近　脳裏に浮かぶことがら		北原篁山
1049	2013	平成25年	5	論究　塩化ビニルによる簡単な尺八の作り方	（二）	吉田秦山
1049	2013	平成25年	5	塩ビ管尺八作りと小学生のための手引き		東海林竹泉山
1049	2013	平成25年	5	楽信　都山流ブラジル支部五十年記念演奏会を顧みて		矢崎信山
1049	2013	平成25年	5	あれこれ　人生、一管の尺八に託す		安藤瓔山
1049	2013	平成25年	5	花一輪		小林太山
1050	2013	平成25年	6	巻頭言		四代　中尾都山
1050	2013	平成25年	6	温故知新	古曲をたずねて （120）	久保田敏子
1050	2013	平成25年	6	都山流　最初の地方演奏会		北原篁山
1050	2013	平成25年	6	楽信　第9回兵庫県支部第4地区都山流尺八定期演奏会		西山逍山
1050	2013	平成25年	6	森田陵山　開軒60年記念演奏会		島崎夕山

1050	2013	平成25年	6	都山流支部だより　宮崎県支部の会員の状況	(二)	肱岡理山
1050	2013	平成25年	6	あれこれ　地域代表者連絡会に初めて出席して		宮澤寒山
1050	2013	平成25年	6	長野駅前イベント		佐藤幸宇山
1051	2013	平成25年	7	巻頭言		川井恍山
1051	2013	平成25年	7	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(十六)	森田柊山
1051	2013	平成25年	7	あれこれ　竹絃和音の日に集う		中野献山
1051	2013	平成25年	7	公共放送にもっと邦楽を		洞谷倭洞
1051	2013	平成25年	7	＝随想＝「尺八と出会って50年、古希にて大学を卒業す」		濱田常山
1051	2013	平成25年	7	伝統ある尺八を次の世代に		石川州山
1052	2013	平成25年	8	巻頭言		森田柊山
1052	2013	平成25年	8	温故知新	古曲をたずねて（121）	久保田敏子
1052	2013	平成25年	8	ロシア演奏旅行		北原篁山
1052	2013	平成25年	8	楽信　第一回長崎県支部尺八演奏会を終えて		竹山鶴山
1052	2013	平成25年	8	箏曲生田流　正派創始百周年記念演奏会に出演して		佐藤和久山
1052	2013	平成25年	8	あれこれ　尺八に対する取り組み方と人との出逢い		北口琮龍
1052	2013	平成25年	8	「龍野おと巡り2013」でのライブ		西山逍山
1053	2013	平成25年	9	巻頭言		吉田秦山
1053	2013	平成25年	9	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(十七)	森田柊山
1053	2013	平成25年	9	流祖の「芸術」は永遠なり		北原篁山
1053	2013	平成25年	9	あれこれ　女子大生に尺八を		高橋欽山
1053	2013	平成25年	9	中国シルクロード：嘉峪関魏晋壁画墓を訪ねて		肱岡理山
1054	2013	平成25年	10	巻頭言		二代　吉田暹山
1054	2013	平成25年	10	温故知新	古曲をたずねて（122）	久保田敏子
1054	2013	平成25年	10	あれこれ　滋賀の都　大津での暑くて深い勉強	楽会主催の夏季講習会に参加して	宮澤寒山
1054	2013	平成25年	10	平成25年度学校対策研究会からの報告		大森勢山
1054	2013	平成25年	10	「尺八講座」を開きました		大林千信
1055	2013	平成25年	11	巻頭言		山本邦山
1055	2013	平成25年	11	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(十八)	森田柊山
1055	2013	平成25年	11	楽信　公益財団法人　都山流尺八楽会主催　第21回都山流鑑賞会に参加しての感想		木原聲山
1055	2013	平成25年	11	あれこれ　邦楽体験教室三題		西山逍山
1055	2013	平成25年	11	作曲者講習会に参加しての感想		河村醒山
1055	2013	平成25年	11	都山流尺八京都慰問団　その後の活動		関　晋山
1056	2013	平成25年	12	巻頭言		間崎愁山
1056	2013	平成25年	12	温故知新	古曲をたずねて（123）	久保田敏子
1056	2013	平成25年	12	第39回本曲コンクールの結果と講評		
1056	2013	平成25年	12	楽信　楽会助成事業　神奈川県支部助成事業の取り組みについて		内海進雨昭
1056	2013	平成25年	12	あれこれ　夏季講習会　余録！　余禄？（五）	「幻想の中の比叡山献奏行脚」ほか	廣田鉈山
1056	2013	平成25年	12	楽友　菊池日山師の墓前奏に想う		石川蓉山
1056	2013	平成25年	12	連続五十回を迎えた陵山会夏期合宿		島崎夕山
1057	2014	平成26年	1	巻頭言		四代中尾都山
1057	2014	平成26年	1	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(十九)	森田柊山
1057	2014	平成26年	1	流祖が愛し遺された京都		北原篁山
1057	2014	平成26年	1	楽信　楽会助成事業　平成25年度大阪府支部第45回尺八演奏会		檜山佳山
1057	2014	平成26年	1	尺八体験コーナーについて		三崎箴山
1057	2014	平成26年	1	あれこれ　助成会員の「合奏と懇親の会」に参加して		山田都久山　松島了羊山　藤澤菫山 木谷精晶　速水夕穂
1057	2014	平成26年	1	三部損益とピタゴラス音律		稲吉箜陽
1058	2014	平成26年	2	巻頭言		森田柊山
1058	2014	平成26年	2	温故知新	古曲をたずねて（124）	久保田敏子
1058	2014	平成26年	2	楽信　第4回道場コンサートを終えて		青柳映山
1058	2014	平成26年	2	定期演奏会をより豊かに		原田頑山
1058	2014	平成26年	2	都山流支部だより　奈良県支部の活動状況報告		神谷仟山
1058	2014	平成26年	2	支部長からひと言		田宮水山
1058	2014	平成26年	2	あれこれ　明治神宮　献楽に参加して		伊勢田周女
1058	2014	平成26年	2	中学校での尺八体験指導		岩崎穣山
1059	2014	平成26年	3	巻頭言		間崎愁山
1059	2014	平成26年	3	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十)	森田柊山

1059	2014	平成26年	3	楽信　第41回都山流尺八　九州支部連合演奏会を終えて		内村泓山
1059	2014	平成26年	3	あれこれ　宮崎神宮新春奉納伝統芸能における邦楽演奏等に関して		肱岡理山
1060	2014	平成26年	4	巻頭言		二代　吉田暹山
1060	2014	平成26年	4	温故知新	古曲をたずねて （125）	久保田敏子
1060	2014	平成26年	4	第4回評議員会報告		
1060	2014	平成26年	4	父　邦山逝く		山本真山
1060	2014	平成26年	4	あれこれ　東と西と		木谷精晶
1060	2014	平成26年	4	小学校で邦楽授業		瀬川晶山
1061	2014	平成26年	5	巻頭言		近藤関山
1061	2014	平成26年	5	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十一)	森田柊山
1061	2014	平成26年	5	楽信　第三回”和のひびき„ 演奏会を終えて		神谷仟山
1061	2014	平成26年	5	都山流支部だより　伝統芸能～和みの祭典～に出演して		川端萠宇山
1061	2014	平成26年	5	あれこれ　我が愛管のX線画像		平江風山
1061	2014	平成26年	5	岩手県陸前高田市震災供養に参加して		六串観山
1061	2014	平成26年	5	最初に善いものを！		永廣孝山
1062	2014	平成26年	6	巻頭言		四代中尾都山
1062	2014	平成26年	6	温故知新	古曲をたずねて （126）	久保田敏子
1062	2014	平成26年	6	楽信　御前演奏に選ばれて		井本蝶山
1062	2014	平成26年	6	あれこれ　龍野小学校、香山小学校での邦楽体験教室		西山逍山
1062	2014	平成26年	6	片山佑山先生開軒50周年祝賀会を終えて		加東吹山
1062	2014	平成26年	6	円通正法寺作務体験記		六串観山
1063	2014	平成26年	7	巻頭言		川井恍山
1063	2014	平成26年	7	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十二)	森田柊山
1063	2014	平成26年	7	都山流支部だより　ブラジル支部の思い出		田口深観
1063	2014	平成26年	7	あれこれ　ヒマラヤの微笑		小林竹義
1063	2014	平成26年	7	小学校への邦楽体験教室に参加して		槙野嵐将山
1063	2014	平成26年	7	忍草　故溝口洸山先生を偲んで		山口祝山
1063	2014	平成26年	7	一期一会		北口琮龍
1064	2014	平成26年	8	巻頭言		佃　夕山
1064	2014	平成26年	8	温故知新	古曲をたずねて （127）	久保田敏子
1064	2014	平成26年	8	楽信　清清しい感動的な幕明け		廣田鉈山
1064	2014	平成26年	8	感動を起爆剤として		谷林尼聖山
1064	2014	平成26年	8	あれこれ　離島隠岐で「夕凪コンサート」	多人数の尺八演奏に魅了	敷　正彦
1064	2014	平成26年	8	山形西高箏曲部定期演奏会に参加して		今野愉山
1064	2014	平成26年	8	震災被災地、寺の行事に参加して		六串観山
1064	2014	平成26年	8	都山流尺八流布を念願して		長沢峭山
1065	2014	平成26年	9	巻頭言		近藤関山
1065	2014	平成26年	9	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十三)	森田柊山
1065	2014	平成26年	9	流祖　都山先生を想う		北原篁山
1065	2014	平成26年	9	楽信 「ひこばえ」第6回演奏会		西山逍山
1065	2014	平成26年	9	あれこれ　逗子小学校　邦楽の鑑賞と体験学習		石井星山
1066	2014	平成26年	10	巻頭言		二代　吉田暹山
1066	2014	平成26年	10	温故知新	古曲をたずねて （128）	久保田敏子
1066	2014	平成26年	10	楽信　豪雨の中の講習会　―平成26年度夏季講習会について		山崎愛山
1066	2014	平成26年	10	大雨洪水警報の中　緊迫の夏季講習		宮澤寒山
1066	2014	平成26年	10	夏季講習会に初めて参加して		黒羽慈山
1066	2014	平成26年	10	都山流支部だより　平成26年度学校対策研究会からの報告		岩指駒山
1066	2014	平成26年	10	あれこれ　学校の体験で尺八アダプターを使用		湯本珖秋山
1067	2014	平成26年	11	巻頭言		森田柊山
1067	2014	平成26年	11	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十四)	森田柊山
1067	2014	平成26年	11	楽信　楽会助成事業　第23回茨城県支部定期演奏会を終えて	（青少年に対する普及活動兼）	菊池楷山
1067	2014	平成26年	11	都山流尺八萌友会第八回演奏会		山田瀏山
1067	2014	平成26年	11	あれこれ　准師範合格記　皆さんに励まされ		ハンフリー棲縁
1068	2014	平成26年	12	巻頭言		間崎愁山
1068	2014	平成26年	12	温故知新	古曲をたずねて （129）	久保田敏子
1068	2014	平成26年	12	第40回本曲コンクール（本選）の結果と講評		
1068	2014	平成26年	12	楽信　楽会助成事業　平成26年度大阪府支部第46回定期演奏会を顧みて		坂本閑山

1068	2014	平成26年	12	楽会助成事業　青少年助成企画曲出演報告		蛯原瓊山
1068	2014	平成26年	12	都山流兵庫県支部第33回定期演奏会		西山逍山
1069	2015	平成27年	1	巻頭言		四代中尾都山
1069	2015	平成27年	1	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十五)	森田柊山
1069	2015	平成27年	1	楽信　楽会助成事業　岡田拓山尺八リサイタル 【平成26年度文化庁芸術祭参加公演】を終えて		岡田拓山
1069	2015	平成27年	1	都山流宮崎県支部　第29回都山流尺八演奏会を終えて		肱岡理山
1069	2015	平成27年	1	竹の響きVol.4　～流祖中尾都山･都山流尺八楽の軌跡～		稲葉峰静
1069	2015	平成27年	1	竹の響きVol.4　～流祖中尾都山･都山流尺八楽の軌跡～　の演奏会を視聴して		近藤関山
1069	2015	平成27年	1	あれこれ　葦高小学校出向指導風景見学記		小郷原筅山
1070	2015	平成27年	2	巻頭言		近藤関山
1070	2015	平成27年	2	温故知新	古曲をたずねて （130）	久保田敏子
1070	2015	平成27年	2	楽信　第5回道場コンサート顛末記		古野柑山
1070	2015	平成27年	2	国際交流イベント2014年　JAPAN WEEK（スイス） に参加して		仁科盛維山
1070	2015	平成27年	2	あれこれ　楽理研究会の現状と課題		松木沁山
1070	2015	平成27年	2	楽理研究会8年目を迎えて		田代振山
1070	2015	平成27年	2	今年も、又、伊勢神宮へ		伊勢田周女
1071	2015	平成27年	3	巻頭言		吉田暹山
1071	2015	平成27年	3	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十六)	森田柊山
1071	2015	平成27年	3	楽信　第42回都山流尺八九州支部連合演奏会		林田沼山
1071	2015	平成27年	3	あれこれ　アメリカで活躍するビル晶山シュルツさん		
1072	2015	平成27年	4	巻頭言		佃　夕山
1072	2015	平成27年	4	温故知新	古曲をたずねて （131）	久保田敏子
1072	2015	平成27年	4	第5回評議員会報告		
1072	2015	平成27年	4	あれこれ　中学校感謝祭		花岡天山
1073	2015	平成27年	5	巻頭言		森田柊山
1073	2015	平成27年	5	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十七)	森田柊山
1073	2015	平成27年	5	天上にての演奏を希う		北原篁山
1073	2015	平成27年	5	あれこれ　門人確保及び要請について		熊元城芳山
1073	2015	平成27年	5	スクールコンサート　楽会から借用の一尺六寸管が大活躍！		熊元城芳山
1073	2015	平成27年	5	日本古来の和楽器尺八演奏とその体験会		大林信渓山
1074	2015	平成27年	6	巻頭言		四代中尾都山
1074	2015	平成27年	6	温故知新	古曲をたずねて （132）	久保田敏子
1074	2015	平成27年	6	あれこれ　早春の一日		宮澤寒山
1074	2015	平成27年	6	花まつりでの小さな演奏会		六串観山
1074	2015	平成27年	6	尺八体験講座		小國天晴
1074	2015	平成27年	6	母校での吹奏体験		山岡穂芳山
1074	2015	平成27年	6	日本に帰りました　尺八レッスン再開		ハンフリー棲縁
1075	2015	平成27年	7	巻頭言		川井恍山
1075	2015	平成27年	7	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十八)	森田柊山
1075	2015	平成27年	7	楽信　関東支部第83回尺八演奏会を終えて		稲津英威山
1075	2015	平成27年	7	あれこれ　チューレイン大学(米国ニューオリンズ)を訪ねて		長澤峭山
1076	2015	平成27年	8	巻頭言		近藤関山
1076	2015	平成27年	8	温故知新	古曲をたずねて （133）	久保田敏子
1076	2015	平成27年	8	楽信　尺八涼山会第三十回記念演奏会		杉尾涼宝山
1076	2015	平成27年	8	あれこれ　第2回都山流尺八楽会女性会員懇親会に出席して		加藤雅星
1076	2015	平成27年	8	「尺八に学ぶ」!?　合奏団の取り組み		今野愉山
1076	2015	平成27年	8	国宝姫路城の下での演奏(兵庫県支部第4地区レクレーション)		西山逍山
1077	2015	平成27年	9	巻頭言		吉田暹山
1077	2015	平成27年	9	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(二十九)	森田柊山
1077	2015	平成27年	9	楽信　四国支部連合第6回都山流尺八演奏会		宮内鳳山
1077	2015	平成27年	9	あれこれ　都山流会館を訪ねて		西村槐山
1078	2015	平成27年	10	巻頭言		千葉韶山
1078	2015	平成27年	10	温故知新	古曲をたずねて （134）	久保田敏子
1078	2015	平成27年	10	あれこれ　夏季講習会　余録！　余禄？(六)		廣田錵山
1078	2015	平成27年	10	夏季講習会雑感		長澤峭山
1078	2015	平成27年	10	東北南支部連合本曲研修会		安川水山

1078	2015	平成27年	10	サンパウロ日系コロニア芸術祭に参加して		山岡洋雄
1078	2015	平成27年	10	初めての「尺八を作ってみませんか」		山崎禄山
1078	2015	平成27年	10	都山流関西合奏団第一回演奏会開催		高橋萌山
1079	2015	平成27年	11	巻頭言		森田柊山
1079	2015	平成27年	11	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三十)	森田柊山
1079	2015	平成27年	11	あれこれ　平成27年度学校対策研究会からの報告		貝原悠山
1079	2015	平成27年	11	水野利彦師を迎えての作曲者講習会		西山逍山
1080	2015	平成27年	12	巻頭言		間崎愁山
1080	2015	平成27年	12	温故知新	古曲をたずねて （135）	久保田敏子
1080	2015	平成27年	12	第41回本曲コンクール(本選)の結果と講評		
1080	2015	平成27年	12	楽信　第47回大阪府支部尺八演奏会報告		八幡麦山
1080	2015	平成27年	12	あれこれ　九回目の青少年支援活動		畑　洽山
1080	2015	平成27年	12	慶長遣欧使節とハポン		小林竹義
1080	2015	平成27年	12	忍草　佐藤和久山先生にことよせて		青柳映山
1081	2016	平成28年	1	巻頭言		四代中尾都山
1081	2016	平成28年	1	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三十一)	森田柊山
1081	2016	平成28年	1	楽信　楽会助成事業　第50回記念都山流岡山県支部尺八演奏会を終えて		井藤侃山
1081	2016	平成28年	1	第50回記念都山流岡山県支部尺八演奏会　新企画「ワークショップ」を担当して		小郷原筅山
1081	2016	平成28年	1	楽会助成事業　東日本大震災復興祈念宮城県支部設立30周年記念第30回都山流尺八演奏会を終えて		宮澤寒山
1081	2016	平成28年	1	あれこれ　中学生に尺八体験をして貰って		山岡穂芳山
1081	2016	平成28年	1	収穫祭に参加して		小西鏘山
1081	2016	平成28年	1	千鳥の歌の地で「千鳥の曲」を演奏		矢崎浩宇山
1081	2016	平成28年	1	晩秋の由布岳登山と温泉		三浦鴻山
1082	2016	平成28年	2	巻頭言		近藤関山
1082	2016	平成28年	2	温故知新	古曲をたずねて （136）	久保田敏子
1082	2016	平成28年	2	楽信　楽会助成事業　平成27年度文化庁芸術祭参加 「片山瞠山尺八リサイタル」を終えて		片山瞠山
1082	2016	平成28年	2	第43回都山流尺八九州支部連合演奏会報告		工藤文山
1082	2016	平成28年	2	都山流関西合奏団第一回演奏会を終えて		坂本閑山
1082	2016	平成28年	2	あれこれ　母校の小学校で尺八体験授業		鈴木火禾山
1083	2016	平成28年	3	巻頭言		二代吉田暹山
1083	2016	平成28年	3	「峰の月」作曲の経緯		森田柊山
1083	2016	平成28年	3	楽信　第12回兵庫県支部第4地区定期演奏会		西山逍山
1083	2016	平成28年	3	あれこれ　尺八教室もうすぐ2年目		長谷川震吹山
1083	2016	平成28年	3	生涯青春まなびの扉　シニアデビュー塾 「気軽に楽しむ尺八講座」あれからいまは		大林信渓山
1083	2016	平成28年	3	忍草　開軒40年表彰を受賞し　師・尾崎三郎先生を偲ぶ		玉井州山
1083	2016	平成28年	3	尺八製管師佐桑政夫氏の逝去を悼む		長澤峭山
1084	2016	平成28年	4	巻頭言		檜山佳山
1084	2016	平成28年	4	温故知新	古曲をたずねて （137）	久保田敏子
1084	2016	平成28年	4	第7回評議委員会報告		
1084	2016	平成28年	4	楽信　都山流竹琳軒長谷川朝山　開軒六十五周年記念演奏会		大久保南山
1084	2016	平成28年	4	あれこれ　和楽器教育		木谷精晶
1084	2016	平成28年	4	平成23年3月11日　大地震・大津波のその後		佐藤皖山
1085	2016	平成28年	5	巻頭言		森田柊山
1085	2016	平成28年	5	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三十二)	森田柊山
1085	2016	平成28年	5	あれこれ　神々を詣で、ご利益やいかに		宮澤寒山
1085	2016	平成28年	5	ビール瓶よりペットボトルで		高橋欽山
1085	2016	平成28年	5	尺八体験講座を終えて		大澤重山
1086	2016	平成28年	6	巻頭言		四代中尾都山
1086	2016	平成28年	6	温故知新	古曲をたずねて （138）	久保田敏子
1086	2016	平成28年	6	あれこれ 「龍野のひなまつり」での邦楽演奏		西山逍山
1087	2016	平成28年	7	巻頭言		川井恍山
1087	2016	平成28年	7	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三十三)	森田柊山
1087	2016	平成28年	7	楽信　宗家司会　第84回都山流関東支部尺八演奏会		廣田錵山

1088	2016	平成28年	8	巻頭言		佃　夕山
1088	2016	平成28年	8	温故知新	古曲をたずねて （139）	久保田敏子
1088	2016	平成28年	8	楽信　第九回萌友会演奏会の報告		沼田法雨山
1089	2016	平成28年	9	巻頭言		二代吉田暹山
1089	2016	平成28年	9	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三十四)	森田柊山
1089	2016	平成28年	9	楽信　楽会助成事業　第20回記念千葉県支部定期演奏会		蜂巣上山
1089	2016	平成28年	9	あれこれ 「石清水八幡宮」での合宿		掃部太山
1090	2016	平成28年	10	巻頭言		千葉韶山
1090	2016	平成28年	10	温故知新	古曲をたずねて （140）	久保田敏子
1090	2016	平成28年	10	楽信　夏季講習会をお引き受けして		橋本啓山
1090	2016	平成28年	10	松江の楽会夏季講習会受講記		宮澤寒山
1090	2016	平成28年	10	あれこれ　平成28年度学校対策研究会からの報告		藤原匠山
1090	2016	平成28年	10	「こころはいつも青春時代」 金沢大学琴尺八部OB会報告		畑　洽山
1091	2016	平成28年	11	巻頭言		森田柊山
1091	2016	平成28年	11	創立120周年記念演奏会祝辞		
1091	2016	平成28年	11	創立記念演奏会の歴史		森田柊山
1091	2016	平成28年	11	創立120周年記念都山流全国大会		
1091	2016	平成28年	11	記念演奏会を終えて		檜山佳山
1091	2016	平成28年	11	曲目の選定について		森田柊山
1091	2016	平成28年	11	三曲合奏練習会を終えて		柿田貢山
1091	2016	平成28年	11	舞台誘導を担当して		坂本閑山
1091	2016	平成28年	11	受付から見た記念祝賀会		山岡昱山
1091	2016	平成28年	11	謝辞		間﨑愁山
1092	2016	平成28年	12	巻頭言		間﨑愁山
1092	2016	平成28年	12	温故知新	古曲をたずねて （141）	久保田敏子
1092	2016	平成28年	12	第42回本曲コンクール（本選）の結果と講評		
1092	2016	平成28年	12	楽信　第44回都山流尺八九州支部連合演奏会報告		船岡上山
1092	2016	平成28年	12	楽会助成事業　第24回茨城県支部定期演奏会		大山功山
1092	2016	平成28年	12	あれこれ　評議員会・地域代表者連絡会の余禄！の余禄！の余録	聖護院門跡での献奏	廣田錵山
1092	2016	平成28年	12	私の尺八人生		大林飯山
1092	2016	平成28年	12	「月光尺八」ミッドウェイに眠る		新田幻山
1092	2016	平成28年	12	忍草 「二代北原篁山先生追悼篁山会尺八演奏会」を終えて		須田朗山
1093	2017	平成29年	1	巻頭言		四代中尾都山
1093	2017	平成29年	1	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三十五)	森田柊山
1093	2017	平成29年	1	楽信　楽会助成事業　神奈川県支部の第10回青少年助成事業に参加して		佐藤倖山
1093	2017	平成29年	1	あれこれ　夏季講習会　余禄！　余録！（七）	月山富田城址で早朝の「夕月」	廣田錵山
1093	2017	平成29年	1	～尺八を携えて～コロンビア大学との交流体験記		野仲矢山
1093	2017	平成29年	1	九十歳の精進		六串観山
1094	2017	平成29年	2	巻頭言		近藤関山
1094	2017	平成29年	2	温故知新	古曲をたずねて （142）	久保田敏子
1094	2017	平成29年	2	楽信　第51回都山流岡山県支部演奏会		佐藤秧山
1094	2017	平成29年	2	第45回記念都山流八幸会尺八演奏会を終えて		田島晋山
1094	2017	平成29年	2	第18回都山流尺八故山会演奏会報告		長澤峭山
1094	2017	平成29年	2	都山流支部だより　神奈川県支部の近況		野口継山
1094	2017	平成29年	2	あれこれ　都山流尺八　岡山の夜あけ（追補版）の概要		三宅晟山
1095	2017	平成29年	3	巻頭言		二代吉田暹山
1095	2017	平成29年	3	中尾都山伝	知られざる流祖の魅力(三十六)	森田柊山
1095	2017	平成29年	3	楽信　第13回兵庫県支部第四地区　都山流尺八定期演奏会		西山逍山
1095	2017	平成29年	3	第2回尺八リサイタル		武林燁山
1095	2017	平成29年	3	あれこれ　楽しかった尺八授業		原田頑山
1096	2017	平成29年	4	巻頭言		檜山佳山
1096	2017	平成29年	4	温故知新	古曲をたずねて （143）	久保田敏子
1096	2017	平成29年	4	第８回評議員会報告		
1097	2017	平成29年	5	巻頭言		森田柊山
1097	2017	平成29年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	（1）「楽」としての尺八	藤田隆則
1097	2017	平成29年	5	楽信 「都之雨社創立95周年記念尺八演奏会」を終えて		澤田侃山
1097	2017	平成29年	5	あれこれ　テレビ放送に出演しました		伊達胤苑山

1097	2017	平成29年	5	阿吽とTOKARAのライブを聴いて		長澤峭山
1097	2017	平成29年	5	名古屋三曲連盟第42回定期演奏会開催		長澤峭山
1098	2017	平成29年	6	巻頭言	古曲をたずねて （144）	四代中尾都山
1098	2017	平成29年	6	温故知新		久保田敏子
1098	2017	平成29年	6	あれこれ　昨年の体験学習		山岡穂芳山
1098	2017	平成29年	6	小学校での箏・尺八演奏と楽器体験		川端萠宇山
1099	2017	平成29年	7	巻頭言	（2）うたまひ、あそび、もののね―「音楽」以前	髙田鑑山
1099	2017	平成29年	7	伝統音楽の言葉・身体・思想		藤田隆則
1099	2017	平成29年	7	あれこれ　旧流祖邸について寄稿頂きました		
1099	2017	平成29年	7	流派・ジャンルを越えた伝統文化継承事業		矢野径山
1100	2017	平成29年	8	巻頭言	古曲をたずねて （145）	近藤関山
1100	2017	平成29年	8	温故知新		久保田敏子
1100	2017	平成29年	8	あれこれ 「六段まつり」について		堀田秀山
1100	2017	平成29年	8	演奏会雑感		檜山佳山
1101	2017	平成29年	9	巻頭言	（3）座奏のいろいろ―跪踞、立て膝、正座	屋敷詠山
1101	2017	平成29年	9	伝統音楽の言葉・身体・思想		藤田隆則
1101	2017	平成29年	9	論究　魔法のソフト		三代朱山
1101	2017	平成29年	9	楽信　海上自衛隊・護衛艦「かが」での艦上演奏会		高杉蒼海山
1101	2017	平成29年	9	あれこれ　合同合宿研修会を終えて		佐藤幡山
1101	2017	平成29年	9	本曲コンクール全国大会の愛知県支部予選		長澤峭山
1101	2017	平成29年	9	「頑山尺八道場」の船出		河村醒山
1101	2017	平成29年	9	都山流関西尺八合奏団のいま		谷口央山
1102	2017	平成29年	10	巻頭言	古曲をたずねて （146）	橋本啓山
1102	2017	平成29年	10	温故知新		久保田敏子
1102	2017	平成29年	10	楽信　夏季講習会を終えて		吉田峯山
1102	2017	平成29年	10	あれこれ　音楽教員対象尺八・箏講習会		西山逍山
1102	2017	平成29年	10	忍草　故佐藤涼山先生追善演奏会		杉尾涼宝山
1103	2017	平成29年	11	巻頭言	（4）「中庸」の意味	川井恍山
1103	2017	平成29年	11	伝統音楽の言葉・身体・思想		藤田隆則
1103	2017	平成29年	11	楽信　楽会助成事業　青少年助成演奏会報告		田端耿玄山
1103	2017	平成29年	11	あれこれ　姫路の夏季講習会に参加して		宮澤寒山
1104	2017	平成29年	12	巻頭言	古曲をたずねて （147）	森田柊山
1104	2017	平成29年	12	温故知新		久保田敏子
1104	2017	平成29年	12	第43回本曲コンクール（本選）の結果と講評		
1104	2017	平成29年	12	楽信　楽会助成事業　都山流大阪府支部第48回尺八定期演奏会		辻　凛山
1104	2017	平成29年	12	あれこれ　野村峰山師参加の2017年度プラハ尺八フェスティバル		大迫晴山
1104	2017	平成29年	12	楽しかった女性会員合奏の会		小島尚山
1104	2017	平成29年	12	旧流祖邸跡で交野節発表会		
1105	2018	平成30年	1	巻頭言	（5）尺八と能楽の接点	四代中尾都山
1105	2018	平成30年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想		藤田隆則
1105	2018	平成30年	1	楽信　第32回国民文化祭　なら2017「邦楽の祭典」に参加して		檜山佳山
1105	2018	平成30年	1	KANREKI2007からKOKI2017へ奮闘記		秦　瓢山
1105	2018	平成30年	1	KOKI2017尺八コンサート拝聴記		稲村隆山
1105	2018	平成30年	1	あれこれ　柊山会　都山流尺八本曲研修旅行―流祖ゆかりの土地を訪ねて―		石井星山
1106	2018	平成30年	2	巻頭言	古曲をたずねて （148）	近藤関山
1106	2018	平成30年	2	温故知新		久保田敏子
1106	2018	平成30年	2	楽信　第45回九州支部連合演奏会を終えて		熊元城芳山
1106	2018	平成30年	2	第14回兵庫県支部第4地区定期演奏会		西山逍山
1106	2018	平成30年	2	夢ある小学生の尺八		原田頑山
1106	2018	平成30年	2	楽会助成事業　三好芫山尺八之会 〈報告と雑感〉		三好芫山
1107	2018	平成30年	3	巻頭言	（6）揺りの起源としての振り	屋敷詠山
1107	2018	平成30年	3	伝統音楽の言葉・身体・思想		藤田隆則
1107	2018	平成30年	3	楽信　都山流尺八京都府支部平成29年度定期演奏会		雲井花山
1107	2018	平成30年	3	都山流関西合奏団第二回演奏会を終えて		土谷江山
1107	2018	平成30年	3	熱帯都市、ジョアン・ペッソアでの邦楽演奏		山岡洋雄

1107	2018	平成30年	3	あれこれ　倍音の威力		三代朱山
1107	2018	平成30年	3	宮崎県における都山流の夜明け		肱岡理山
1108	2018	平成30年	4	巻頭言		髙田鑑山
1108	2018	平成30年	4	温故知新	古曲をたずねて（149）	久保田敏子
1108	2018	平成30年	4	第10回評議員会報告		
1108	2018	平成30年	4	楽信　〝尺八と絆のつどい〟～邦楽と洋楽のコラボレーション～		吉田和美
1108	2018	平成30年	4	第四回赤穂義士四十七士命日追慕祭演奏会		中武築山
1108	2018	平成30年	4	あれこれ　ロスアンゼルスの老人ホームで尺八演奏		久富道山
1108	2018	平成30年	4	メキシコでの尺八演奏		永田鳳山
1108	2018	平成30年	4	中学生への短期授業用教材について		庄子爲山
1108	2018	平成30年	4	忍草　故長谷川朝山先生追善演奏会		長谷川博山
1109	2018	平成30年	5	巻頭言		橋本啓山
1109	2018	平成30年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	（7）遊興と求道、聖と俗との交差	藤田隆則
1109	2018	平成30年	5	論究　一節切尺八の研究		加藤いつみ
1109	2018	平成30年	5	あれこれ 「支部改革プロジェクトチーム」の取り組み～岡山からの報告～		井藤侃山
1109	2018	平成30年	5	西日本放送ラジオ（RNC）が都山流尺八を取材		川井恍山
1109	2018	平成30年	5	古曲の暗譜		藤本禘山
1109	2018	平成30年	5	平成２９年度邦楽体験教室		西山逍山
1109	2018	平成30年	5	アメリカ軍横須賀基地内高校生尺八指導		村瀬額山
1110	2018	平成30年	6	巻頭言		四代中尾都山
1110	2018	平成30年	6	温故知新	古曲をたずねて（150）	久保田敏子
1110	2018	平成30年	6	あれこれ　小学生の邦楽体験教室		原田基山
1110	2018	平成30年	6	小学校の尺八体験教室		田村整山
1111	2018	平成30年	7	巻頭言		佃　夕山
1111	2018	平成30年	7	伝統音楽の言葉・身体・思想	（8）譜字をうたうのはなぜか	藤田隆則
1111	2018	平成30年	7	楽信　第2回都山流長崎県支部尺八演奏会		中川内政山
1111	2018	平成30年	7	了門会創立35周年演奏会		梅谷鋒山
1111	2018	平成30年	7	あれこれ　石狩っ子　邦楽を体験する		清水颯彗
1111	2018	平成30年	7	忍草　石垣征山先生のこと		畑　洽山
1112	2018	平成30年	8	巻頭言		千葉韶山
1112	2018	平成30年	8	温故知新	古曲をたずねて(151)	久保田敏子
1112	2018	平成30年	8	楽信　村田萌山竹琳軒冠称允許第10回都山流尺八萌友会記念演奏会出演及び鑑賞記		尾藤憲山
1113	2018	平成30年	9	巻頭言		川井恍山
1113	2018	平成30年	9	伝統音楽の言葉・身体・思想	（9）伝統音楽の芸道化	藤田隆則
1113	2018	平成30年	9	あれこれ　東北南支部連合宿泊研修会について		高橋聡山
1113	2018	平成30年	9	白鳥小学校での邦楽体験教室		西山逍山
1114	2018	平成30年	10	巻頭言		二代吉田暹山
1114	2018	平成30年	10	温故知新	古曲をたずねて(152)	久保田敏子
1114	2018	平成30年	10	楽信　熊本の夏季講習会準備・実施を支援して		齊藤悠山
1114	2018	平成30年	10	第27回都山流尺八愛媛県支部支部定期演奏会		宮内鳳山
1115	2018	平成30年	11	巻頭言		近藤関山
1115	2018	平成30年	11	伝統音楽の言葉・身体・思想	(10)数寄者について	藤田隆則
1115	2018	平成30年	11	楽信　第25回都山流茨城県支部定期演奏会		黒羽慈山
1115	2018	平成30年	11	あれこれ　夏季講習会　余禄！　余録！（八）	世界文化遺産宗像大社で献奏	廣田錵山
1115	2018	平成30年	11	熊本の夏季講習会に参加して		宮澤寒山
1116	2018	平成30年	12	巻頭言		森田柊山
1116	2018	平成30年	12	温故知新	古曲をたずねて(153)	久保田敏子
1116	2018	平成30年	12	第44回本曲コンクール（本選）の結果と講評		
1116	2018	平成30年	12	楽信　第49回都山流大阪府支部尺八演奏会報告		岡田拓山
1117	2019	平成31年	1	巻頭言		四代中尾都山
1117	2019	平成31年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想	(11)中国から見た日本の尺八	藤田隆則
1117	2019	平成31年	1	楽信　楽会助成事業第50回記念都山流神奈川県支部定期演奏会		小柳寒山
1117	2019	平成31年	1	あれこれ　教職員対象邦楽教室～「児童・青少年への尺八体験活動事業」の一環～		西山逍山
1118	2019	平成31年	2	巻頭言		屋敷詠山
1118	2019	平成31年	2	温故知新	古曲をたずねて(154)	久保田敏子

1118	2019	平成31年	2	楽信　第33回定期演奏会報告と所感		宮澤寒山
1118	2019	平成31年	2	第5回都山流八幸会　佐藤幸宇山リサイタルを拝聴して		今村景山
1118	2019	平成31年	2	都山流支部だより　芸術文化出前教室の開催		大池勁山
1118	2019	平成31年	2	あれこれ　多士済々！手作りの『尺八をより楽しむための講習』		廣田鉈山
1119	2019	平成31年	3	巻頭言		髙田鑑山
1119	2019	平成31年	3	伝統音楽の言葉・身体・思想	(12)自由リズムの背後にあるもの	藤田隆則
1119	2019	平成31年	3	論究　初代中尾都山の作曲法の分析と考察		野村峰山
1119	2019	平成31年	3	あれこれ　奇跡の授業		輿石龍花
1119	2019	平成31年	3	知覧特攻平和会館観音堂慰霊祭顛末記		矢野径山
1119	2019	平成31年	3	都山流尺八本曲合奏〝絆のつどい〟		吉田和美
1120	2019	平成31年	4	巻頭言		橋本啓山
1120	2019	平成31年	4	温故知新	古曲をたずねて(155)	久保田敏子
1120	2019	平成31年	4	第11回評議員会報告		
1120	2019	平成31年	4	楽信　楽会助成事業　兵庫県支部第四地区「青少年に対する普及事業」の実施		西山逍山
1121	2019	令和元年	5	巻頭言		佃　夕山
1121	2019	令和元年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	(13)譜字の母音と音の高低	藤田隆則
1121	2019	令和元年	5	あれこれ　平成最後の演奏会「私のこの一曲」音楽鑑賞会に参加して		奥　昴山
1122	2019	令和元年	6	巻頭言		四代中尾都山
1122	2019	令和元年	6	温故知新	古曲をたずねて(156)	久保田敏子
1122	2019	令和元年	6	あれこれ　文化庁伝統文化親子教室事業を実施して		川端萠宇山
1123	2019	令和元年	7	巻頭言		千葉韶山
1123	2019	令和元年	7	伝統音楽の言葉・身体・思想	(14)音曲における顔振り	藤田隆則
1123	2019	令和元年	7	論究　古典の改訂手付について		藤本禘山
1124	2019	令和元年	8	巻頭言		髙木峰山
1124	2019	令和元年	8	温故知新	古曲をたずねて(157)	久保田敏子
1124	2019	令和元年	8	楽信　都山流功労賞竹琳軒齋藤照山師開軒60周年祝賀　第33回都山流照山会尺八演奏会		渡辺活山
1125	2019	令和元年	9	巻頭言		髙田鑑山
1125	2019	令和元年	9	伝統音楽の言葉・身体・思想	(15)歩行の行程と音楽の行程	藤田隆則
1125	2019	令和元年	9	楽信　故竹琳軒土屋耿山師追善演奏会		横関畔山
1126	2019	令和元年	10	巻頭言		近藤関山
1126	2019	令和元年	10	温故知新	古曲をたずねて(158)	久保田敏子
1126	2019	令和元年	10	楽信　令和最初の夏季講習会を終えて		西谷竹山
1126	2019	令和元年	10	夏季講習会（岡山県倉敷市）を終えて		井藤侃山
1126	2019	令和元年	10	はじめての夏季講習会に参加して		田中楪山
1126	2019	令和元年	10	あれこれ　群れず集う		木谷楓山
1126	2019	令和元年	10	第4回女性会員懇親会及び合奏会に参加して		西澤円山
1126	2019	令和元年	10	第4回女性会員懇親会及び合奏会に参加して		丸野怜山
1126	2019	令和元年	10	第4回女性会員懇親会参加報告		藤澤菫山
1126	2019	令和元年	10	尺八の交流　各地で花を咲かす		宮澤寒山
1127	2019	令和元年	11	巻頭言		川井恍山
1127	2019	令和元年	11	伝統音楽の言葉・身体・思想	(16)音曲の理想を言い表す言葉	藤田隆則
1127	2019	令和元年	11	楽信　楽会助成「響鳴ジュニア発表会・体験会」		今野愉山
1127	2019	令和元年	11	聴衆を魅了した森佳久山　傘寿記念「誕生会コンサート」		須田朗山
1127	2019	令和元年	11	あれこれ　子供のための邦楽イベント　彩サマー		青木舫山
1127	2019	令和元年	11	夏季講習会　余録！　余禄！（九）	山中鹿介終焉の地で「夕月」を献奏	廣田鉈山
1127	2019	令和元年	11	忍草　兄　奎山を偲んで		長谷川象山
1128	2019	令和元年	12	巻頭言		森田柊山
1128	2019	令和元年	12	温故知新	古曲をたずねて(159)	久保田敏子
1128	2019	令和元年	12	第45回本曲コンクール（本選）の結果と講評		
1128	2019	令和元年	12	楽信　楽会助成事業　都山流大阪府支部　第50回　記念尺八演奏会		辻　凛山
1128	2019	令和元年	12	都山流京都府支部　令和元年度定期演奏会		松宮庸山
1129	2020	令和2年	1	巻頭言		四代中尾都山
1129	2020	令和2年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想	(17)平成末期の尺八案内書	藤田隆則
1129	2020	令和2年	1	楽信　第47回九州支部連合演奏会を終えて		三代朱山
1129	2020	令和2年	1	あれこれ　おお牧場はみどりだった！		三代朱山
1129	2020	令和2年	1	ブラジルの日系人学校等での尺八紹介		大野博山

1130	2020	令和2年	2	巻頭言		屋敷詠山
1130	2020	令和2年	2	温故知新	古曲をたずねて(160)	久保田敏子
1130	2020	令和2年	2	楽信　ブラジル支部主催　日本音楽研究会・発足80周年記念演奏会		山岡洋雄
1130	2020	令和2年	2	第5回　都山流尺八愛知合奏団演奏会～若い力をアピール		安井景山
1130	2020	令和2年	2	あれこれ　平成から令和への年、フィリピンでの尺八活動記		枡田雨山
1130	2020	令和2年	2	邦楽鑑賞会と尺八体験授業の感動		井上奏山
1131	2020	令和2年	3	巻頭言		橋本啓山
1131	2020	令和2年	3	伝統音楽の言葉・身体・思想	(18)七五調四拍子論と「変拍子」	藤田隆則
1131	2020	令和2年	3	論究　魔法のソフトⅡ		湯本珖秋山
1131	2020	令和2年	3	あれこれ　〝尺八と絆のつどい〟		吉田和美
1131	2020	令和2年	3	第44回宮崎神宮新春奉納伝統芸能について		肱岡理山
1132	2020	令和2年	4	巻頭言		廣田鉈山
1132	2020	令和2年	4	温故知新	古曲をたずねて(161)	久保田敏子
1132	2020	令和2年	4	第13回評議員会報告		
1132	2020	令和2年	4	楽信　都山流宮崎県支部「第30回都山流尺八演奏会」を終えて		熊元城芳山
1133	2020	令和2年	5	巻頭言		佃　夕山
1133	2020	令和2年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	(19)「不即不離」の社会的起源	藤田隆則
1133	2020	令和2年	5	楽信　第１回道山会尺八演奏会の報告		柴　香山
1133	2020	令和2年	5	あれこれ　演奏会雑感		檜山佳山
1134	2020	令和2年	6	巻頭言		四代中尾都山
1134	2020	令和2年	6	温故知新	古曲をたずねて(162)	久保田敏子
1134	2020	令和2年	6	論究　楽に、大きな良い音を出せる「アクビ呼吸法」の提案《第1回》	アクビ呼吸法の提案	脇坂英山
1134	2020	令和2年	6	あれこれ　「令和二年、尺八活動変革の時」＝新型コロナウイルスとの戦い＝		枡田雨山
1135	2020	令和2年	7	巻頭言		髙木峰山
1135	2020	令和2年	7	伝統音楽の言葉・身体・思想	(20)伝統音楽と「ロ中調味」	藤田隆則
1135	2020	令和2年	7	論究　楽に、大きな良い音を出せる「アクビ呼吸法」の提案《第2回》	アクビ呼吸法での息の吸い方	脇坂英山
1135	2020	令和2年	7	楽信　マレーシアでの「奇跡の」演奏会		ドゥルーリー萌晶
1135	2020	令和2年	7	あれこれ　多重録音ビデオ収録		藤本禘山
1135	2020	令和2年	7	最悪の疫病コロナの時代に都山流の仲間と竹の音色が心の支え		宮澤寒山
1135	2020	令和2年	7	体験学習用尺八をヤフオクで		湯本珖秋山
1136	2020	令和2年	8	巻頭言		千葉韶山
1136	2020	令和2年	8	温故知新	古曲をたずねて(163)	久保田敏子
1136	2020	令和2年	8	論究　楽に、大きな良い音を出せる「アクビ呼吸法」の提案《第3回》	アクビ呼吸法での息の吐き方（吹き方）	脇坂英山
1136	2020	令和2年	8	あれこれ　コロナ時代のお稽古ライフ		吉田工山
1137	2020	令和2年	9	巻頭言		髙田鑑山
1137	2020	令和2年	9	伝統音楽の言葉・身体・思想	(21)「和」の風景	藤田隆則
1137	2020	令和2年	9	論究　楽に、大きな良い音を出せる「アクビ呼吸法」の提案《第4回》	良い音を出せる「スイートスポット奏法」の提案	脇坂英山
1138	2020	令和2年	10	巻頭言		近藤関山
1138	2020	令和2年	10	温故知新	古曲をたずねて(164)	久保田敏子
1138	2020	令和2年	10	あれこれ　シート隔離部屋で自宅稽古		今野愉山
1139	2020	令和2年	11	巻頭言		川井恍山
1139	2020	令和2年	11	伝統音楽の言葉・身体・思想	(22)「呼吸」と「呼吸のイメージ」の違い	藤田隆則
1139	2020	令和2年	11	京都検定試験の実施にあたって		
1139	2020	令和2年	11	論究　尺八での飛沫可視化実験から考えるコロナウイルス対策		北原柊篁
1139	2020	令和2年	11	あれこれ　演奏会雑感		檜山佳山
1140	2020	令和2年	12	巻頭言		森田柊山
1140	2020	令和2年	12	温故知新	古曲をたずねて(165)	久保田敏子
1140	2020	令和2年	12	楽信　−新たなる日常−にむけて　新型コロナウイルス感染防止対策の検討		稲津英威山、舛田路山
1140	2020	令和2年	12	コロナ感染を避けての合奏研究会		西山逍山
1140	2020	令和2年	12	あれこれ　外曲の合奏指導に総譜作成		木谷棲山
1140	2020	令和2年	12	論究　塩化ビニールによる簡単な尺八の作り方（第3回目）		吉田秦山
1141	2021	令和3年	1	巻頭言		四代中尾都山
1141	2021	令和3年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想	(23)テンポを「しめる」と「ゆるめる」	藤田隆則
1141	2021	令和3年	1	論究　「六段の調」誕生の経緯について		檜山佳山
1141	2021	令和3年	1	あれこれ　withコロナの活動は尺八吹奏なしの勉強会から		川上越山

1141	2021	令和3年	1	岡山大安寺中等教育学校における芸術鑑賞会		井藤侃山
1141	2021	令和3年	1	尺八と私（初伝）		堀　由紀子
1142	2021	令和3年	2	巻頭言		屋敷詠山
1142	2021	令和3年	2	温故知新	古曲をたずねて(166)	久保田敏子
1142	2021	令和3年	2	あれこれ　2020年から2021年に向けて		吉田和美
1142	2021	令和3年	2	森羅万象この一管に。尺八の尽きない魅力		長澤峭山
1142	2021	令和3年	2	試験今昔～合奏まで		三好芫山
1143	2021	令和3年	3	巻頭言		橋本啓山
1143	2021	令和3年	3	伝統音楽の言葉・身体・思想	(24)合奏の中の「ずれる」と「すれる」	藤田隆則
1143	2021	令和3年	3	忍草　追悼　三代星田一山師		松山簫雨山
1143	2021	令和3年	3	三代　星田一山師を偲ぶ		藤本一酔山
1143	2021	令和3年	3	論究　尺八の飛沫防止カバーについて		眞鍋晋山
1144	2021	令和3年	4	巻頭言		廣田錵山
1144	2021	令和3年	4	温故知新	古曲をたずねて(167)	久保田敏子
1144	2021	令和3年	4	第14回評議員会報告		
1144	2021	令和3年	4	忍草　竹友の死を悼む		宮澤寒山
1144	2021	令和3年	4	あれこれ　山の尺八教室		渡部勝彦
1145	2021	令和3年	5	巻頭言		髙田鑑山
1145	2021	令和3年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	(25)流祖なら今をどのように生きたか？	藤田隆則
1145	2021	令和3年	5	都山流支部だより　「一人吹きの会」～大分県支部の試み		羽田野逢山
1145	2021	令和3年	5	あれこれ　雑感		宮澤寒山
1146	2021	令和3年	6	巻頭言		四代中尾都山
1146	2021	令和3年	6	温故知新	古曲をたずねて(168)	久保田敏子
1146	2021	令和3年	6	楽信　令和3年度たつの市桜祭での邦楽演奏		西山逍山
1146	2021	令和3年	6	あれこれ　コロナ禍中での「派遣講習会」を終えて		熊元城芳山
1147	2021	令和3年	7	巻頭言		髙木峰山
1147	2021	令和3年	7	伝統音楽の言葉・身体・思想	(26)「入門以前」という段階について	藤田隆則
1147	2021	令和3年	7	夏季講習会収録風景		事務局
1147	2021	令和3年	7	あれこれ　日本の伝統音楽（その1）	【伝統音楽の軌跡】	西田仙秋山
1148	2021	令和3年	8	巻頭言		千葉韶山
1148	2021	令和3年	8	温故知新	古曲をたずねて(169)	久保田敏子
1148	2021	令和3年	8	あれこれ　日本の伝統音楽（その2）	【伝統音楽の概歴】	西田仙秋山
1149	2021	令和3年	9	巻頭言		寺岡憧山
1149	2021	令和3年	9	伝統音楽の言葉・身体・思想	(27)〈岩清水〉と「南無八幡大菩薩」	藤田隆則
1149	2021	令和3年	9	楽信　第12回ひこばえ邦楽演奏会		西山逍山
1149	2021	令和3年	9	あれこれ　初めてのユーチューブ		永廣真翁山
1149	2021	令和3年	9	「中尾都山伝」を読んで　山陰の草分けを確認		木谷棲山
1149	2021	令和3年	9	木谷棲山師の投稿について		森田柊山
1150	2021	令和3年	10	巻頭言		近藤関山
1150	2021	令和3年	10	楽信　定期演奏会を終えて		大萩慈庵山
1150	2021	令和3年	10	あれこれ　福岡検定試験を終えて		渡邉篆山
1150	2021	令和3年	10	尺八演奏のビデオ収録について		藤本禘山
1151	2021	令和3年	11	巻頭言		川井恍山
1151	2021	令和3年	11	伝統音楽の言葉・身体・思想	(28)遠くに届く強い声へのヒント？	藤田隆則
1151	2021	令和3年	11	楽信　都山流山梨県支部創立40周年記念演奏会		岩間龍山
1152	2021	令和3年	12	巻頭言		森田柊山
1152	2021	令和3年	12	温故知新	古曲をたずねて(170)	久保田敏子
1152	2021	令和3年	12	楽信　都之雨社創立百周年追悼演奏会		吉村椒山
1152	2021	令和3年	12	あれこれ　東京藝術大学邦楽科のご紹介をします		野村峰山
1153	2022	令和4年	1	巻頭言		四代中尾都山
1153	2022	令和4年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想	(29)日本音楽の本質と理想的なあり方	藤田隆則
1153	2022	令和4年	1	あれこれ　私の大きな文化の日－宮城県教育文化功労章の受賞式を終えて－		宮澤寒山
1154	2022	令和4年	3	巻頭言		森田柊山
1154	2022	令和4年	3	楽信　八幸会第50回記念演奏会～半世紀の時を刻んだ演奏会～		志水草宇山
1154	2022	令和4年	3	「第18回オータムフェスティバルIN龍野」での邦楽演奏		西山逍山
1154	2022	令和4年	3	片山瞠山開軒50周年記念　第6回　瞠山会尺八演奏会に参加して		後谷那華山
1154	2022	令和4年	3	都山流奈良県支部「定期演奏会」		神谷仟山

1154	2022	令和4年	3	あれこれ　新型コロナ禍における3好事		廣田鉈山	
1155	2022	令和4年	5	巻頭言		髙田鑑山	
1155	2022	令和4年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	(30)荘子の「無心」「道への合一」	藤田隆則	
1155	2022	令和4年	5	第15回評議員会報告			
1155	2022	令和4年	5	楽信　都山流徳島県支部第74回定期演奏会		山上明山	
1155	2022	令和4年	5	あれこれ　コロナ禍での自主研鑽		長澤峭山	
1155	2022	令和4年	5	「楽報」から学ばさせていただいていること		吉田和美	
1156	2022	令和4年	7	巻頭言		屋敷詠山	
1156	2022	令和4年	7	あれこれ　第70回龍野さくら祭りでの邦楽演奏		西山逍山	
1156	2022	令和4年	7	忍草　都山流師範　陳　龍門宏山師をしのんで		上野宏秀山	
1157	2022	令和4年	9	祝　重要無形文化財保持者認定へ　野村峰山師			
1157	2022	令和4年	9	巻頭言		橋本啓山	
1157	2022	令和4年	9	伝統音楽の言葉・身体・思想	(31)蝉の声の音風景	藤田隆則	
1157	2022	令和4年	9	楽信　第36回滋賀県支部都山流尺八演奏会		芦田鉦山	
1157	2022	令和4年	9	都山流支部だより　コロナ禍、3年ぶりの支部演奏会を開催		稲津英威山	
1157	2022	令和4年	9	あれこれ　地方の都山流史出版を　山陰の草分けの伝記取材に着手		木谷棲山	
1157	2022	令和4年	9	夏季講習会に参加して		雲井花山	
1157	2022	令和4年	9	忍草　柳田周山先生を偲んで		柳田周謡山	
1158	2022	令和4年	11	巻頭言		大山功山	
1158	2022	令和4年	11	楽信　第26回茨城県支部定期演奏会の開催		森田晋山	
1158	2022	令和4年	11	都山流兵庫県支部第35回定期演奏会報告		長谷川博山	
1158	2022	令和4年	11	あれこれ　人生百年時代を生き抜く　山本喨山師の教え		今田琴山	
1159	2023	令和5年	1	巻頭言		四代中尾都山	
1159	2023	令和5年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想	(32)義太夫礼賛―老人はなぜ回帰するのか	藤田隆則	
1159	2023	令和5年	1	野村峰山師　重要無形文化財保持者　認定記念祝賀会			
1159	2023	令和5年	1	尺八人間国宝認定復活　歴史的かつ感動的祝宴		稲葉遊山	
1159	2023	令和5年	1	第46回本曲コンクール（本選）の結果と講評			
1159	2023	令和5年	1	楽信　第53回都山流大阪府支部尺八演奏会の報告		掃部太山	
1159	2023	令和5年	1	都山流尺八菖友会昇格者披露演奏会		荻野惺山	
1159	2023	令和5年	1	竹の音みちのく古都に吹き渡る－第35回定期演奏会を終えて－		宮澤寒山	
1159	2023	令和5年	1	都香社舞台合奏会について		東原操山	
1159	2023	令和5年	1	「輪の祭典」開かれる		尾藤憲山	
1159	2023	令和5年	1	あれこれ　初伝免状をいただいて感動		八田弥英	
1160	2023	令和5年	3	巻頭言		森田柊山	
1160	2023	令和5年	3	温故知新	古曲をたずねて(171)	久保田敏子	
1160	2023	令和5年	3	楽信　第六回「道場コンサート」終了しました		野口心山	
1160	2023	令和5年	3	第六回道場コンサートに出演しました！		猿渡伶山	
1160	2023	令和5年	3	2022年道場研修・道場コンサート感想		佐藤哲綾	
1160	2023	令和5年	3	「第19回オウタムフェスティバルIN龍野」での邦楽演奏		西山逍山	
1160	2023	令和5年	3	都山流支部だより　記念誌「宮崎県における都山流の歩み」の完成		熊元城芳山	
1160	2023	令和5年	3	新しい風の予感		羽田野逢山	
1160	2023	令和5年	3	尺八一人吹き研究会～岡山県支部の取り組み		井藤侃山	
1160	2023	令和5年	3	あれこれ　尺八の旅　おわりは名古屋　野村峰山師の祝賀会余話		宮澤寒山	
1161	2023	令和5年	5	巻頭言		高田鑑山	
1161	2023	令和5年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	(33)楽譜の書字方向が生み出すもの	藤田隆則	
1161	2023	令和5年	5	第17回評議員会報告			
1161	2023	令和5年	5	あれこれ　尺八は擬制家族　入門はまず公民館で		木谷棲山	
1161	2023	令和5年	5	姫路市立林田小学校邦楽体験教室		西山逍山	
1162	2023	令和5年	7	巻頭言		大山功山	
1162	2023	令和5年	7	楽信　「都山流関東支部第89回尺八演奏会」を終えて		山下志山	
1162	2023	令和5年	7	都山流支部だより　都山流宮崎県支部における都山流百年記念事業について		肱岡理山	
1162	2023	令和5年	7	あれこれ　第71回たつの市さくら祭りでの邦楽演奏		西山逍山	
1162	2023	令和5年	7	建て替え前の国立劇場の大舞台に立つ　竹の音が導く人のツナガリ		宮澤寒山	
1163	2023	令和5年	9	巻頭言		野口心山	

1163	2023	令和5年	9	伝統音楽の言葉・身体・思想	(34)伝統音楽における「間」のはたらき ～時間の切断	藤田隆則	
1163	2023	令和5年	9	楽信　「九州支部連合演奏会」を終えて		渡邉篆山	
1163	2023	令和5年	9	都山流支部だより　派遣講習会（特別枠）を終えて		宮里剣山	
1163	2023	令和5年	9	あれこれ　「スポカル2023inつど一む」での尺八体験会＆ステージ演奏		鴨志田練音	
1163	2023	令和5年	9	夏季講習会を受講して		花岡天山	
1163	2023	令和5年	9	岐阜の夏季講習会余話　戦国の名城めぐり思うこと		宮澤寒山	
1163	2023	令和5年	9	夏季講習会（岐阜）余録！余録！（十） 本曲「夕月」と山中鹿之助		廣田鉈山	
1164	2023	令和5年	11	巻頭言		寺岡憧山	
1164	2023	令和5年	11	都山流支部だより　炎暑の夏　清新な竹音 宮城県での定演の有りさま		宮澤寒山	
1164	2023	令和5年	11	あれこれ　初めての受験生		高橋崎山	
1164	2023	令和5年	11	高橋崎山師のご投稿について		（出版係）	
1164	2023	令和5年	11	60年の尺八集大成　秋山師が「民謡集」		藤原煌山	
1165	2024	令和6年	1	巻頭言		四代中尾都山	
1165	2024	令和6年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想	(35)ゴムまりのリズム感と 着地的リズム感の共存	藤田隆則	
1165	2024	令和6年	1	第４７回本曲コンクール（本選）の結果と講評			
1165	2024	令和6年	1	楽信　都山流大阪府支部第54回尺八演奏会を終えて		掃部太山	
1165	2024	令和6年	1	岡山市民会館閉館記念事業 第56回都山流岡山県支部尺八演奏会を終えて		田中枋山	
1165	2024	令和6年	1	令和5年度尺八本曲東海連盟特別演奏会報告		長澤峭山	
1165	2024	令和6年	1	都山流支部だより　4年ぶりの邦楽体験授業		川上越山	
1165	2024	令和6年	1	あれこれ　教育雑誌「教育音楽」の取材を受けて		森　英山	
1165	2024	令和6年	1	タイ・タマサート大学での尺八の紹介と演奏		安川水山・島村美山	
1165	2024	令和6年	1	新企画 和楽器（尺八・箏） 体験ワークショップ事業に参加して		田中楪山	
1165	2024	令和6年	1	小机城址市民の森　竹灯籠まつりでの尺八演奏		野口継山	
1166	2024	令和6年	3	巻頭言		森田柊山	
1166	2024	令和6年	3	あれこれ　子ども達に音楽（邦楽）の光を～ 一子どもが変わる尺八への取り組み一		永田鳳山	
1166	2024	令和6年	3	小中学校音楽教員対象の研修会 「尺八を知ろう」の講師を体験して		星　拓山	
1166	2024	令和6年	3	都山流尺八峰山会「竹の響き」お浚い会に参加		岡野茂峰山	
1166	2024	令和6年	3	師匠愛と共に、「竹の響き」お浚い会Vol.2 ～人間国宝　野村峰山師と共に～に参加して		福田井山	
1167	2024	令和6年	5	巻頭言		高田鑑山	
1167	2024	令和6年	5	伝統音楽の言葉・身体・思想	(36)「松竹梅」をさかのぼる	藤田隆則	
1167	2024	令和6年	5	第20回評議員会報告			
1167	2024	令和6年	5	楽信　第2回道山会演奏会を終えて		村澤寶山	
1167	2024	令和6年	5	都山流支部だより 神奈川県支部　3つの舞台		畑　洽山	
1167	2024	令和6年	5	あれこれ　小学生も出演した「尺八一人吹き研究会」		井藤侃山	
1167	2024	令和6年	5	お一しばらくと笑顔で挨拶 4年ぶりの対面支部長会議		宮澤寒山	
1168	2024	令和6年	7	巻頭言		大山功山	
1168	2024	令和6年	7	楽信　都山流四国支部連合会主催 第7回都山流尺八演奏会 「尺八１００人による音の渦」の開催		山上明山	
1168	2024	令和6年	7	「関東支部第９０回尺八演奏会」を終えて （流祖の関東地域での指南拡大の歴史を感じながら）		稲津英威山	
1168	2024	令和6年	7	あれこれ　島根県の東西交流を目指す 『出雲・石見』が完成し発表会		大槻方陵	
1169	2024	令和6年	9	巻頭言		野口心山	
1169	2024	令和6年	9	楽信　都山流宮崎県支部「都山流尺八演奏会」を終えて （都山流尺八への第一歩から百年 「宮崎県における都山流の歩み」）		熊元城芳山	

1169	2024	令和6年	9	都山流支部だより 夏季講習会の開催支部として感じたこと		畑　洽山	
1169	2024	令和6年	9	あれこれ　燃えるような暑さの中 横浜での夏季講習会に参加		宮澤寒山	
1170	2024	令和6年	11	巻頭言		鈴木力山	
1170	2024	令和6年	11	楽信　松竹会第43回演奏会		西山逍山	
1170	2024	令和6年	11	第27回茨城県支部演奏会の開催		伊藤乾山	
1170	2024	令和6年	11	あれこれ　「六段の調」発祥の地　訪問記		大野博山	
1171	2025	令和7年	1	巻頭言		中尾都山	
1171	2025	令和7年	1	伝統音楽の言葉・身体・思想	(37)「頑張り」が生み出す伝統文化	藤田隆則	
1171	2025	令和7年	1	第48回本曲コンクール（本選）の結果と講評			
1171	2025	令和7年	1	楽信　第50回都山流尺八九州支部連合演奏会報告		徳永鶴道山	
1171	2025	令和7年	1	都山流大阪府支部第55回尺八演奏会を終えて		小田掌山	
1171	2025	令和7年	1	都山流尺八菖友会　昇格披露演奏会 ～原点回帰に心を込めて～		荻野惺山	
1171	2025	令和7年	1	第36回兵庫県支部定期演奏会		長谷川博山	
1171	2025	令和7年	1	あの猛暑での練習　仙台の真ん中で演奏会		宮澤寒山	
1171	2025	令和7年	1	都山流多摩幹部会第60回記念演奏会開催		西海谷梦山	
1171	2025	令和7年	1	あれこれ　モンゴルの大草原で尺八演奏！		須田朗山	
1171	2025	令和7年	1	「野村峰山　都山流開軒50周年記念コンサート ～私が学んだもの～」に参加して		福田井山	
1172	2025	令和7年	3	巻頭言		森田柊山	
1172	2025	令和7年	3	楽信　京都府支部令和6年度定期演奏会開催報告		田中堂山	
1172	2025	令和7年	3	第7回道場コンサートを振り返る －開催地支部としての役割と実際－		東原操山	
1172	2025	令和7年	3	寒風の中たのしい酒田での会 箏・尺八 八千代会60周年記念演奏会		宮澤寒山	
1172	2025	令和7年	3	あれこれ　令和6年の邦楽体験授業		川上越山	
1172	2025	令和7年	3	姫路市林田小学校での邦楽体験教室		西山逍山	